

544

75a

東京書籍
商組合員

圖書總目録



始



露光量違いの為重複撮影

書名	著者名	頁数	形態	定価	送料	内容	発行所
神書 宗教	木下乙市	四五〇	四六判	七〇	八〇	人生の意義に就て迷ふ者は此書に聖き岩清水の光を照らし死せりと考へた者は新しい光明の世界を発見しよう。人数の新宗教の発展を論じて、更に断絶したる宗教運動の渦中に投げられた著者半生の精神史を叙述し、肉より靈への飛躍史である。	新 生 堂
愛の宗教	逢坂信憑	四五〇	四六判	二〇	二〇	混沌！動揺！懐疑！常に現代社會人は嵐の渦の中に苦悶を覚ゆる者がある。著者が其極めて眞摯な苦悶と體驗が生んだ黎明の淡き光を。	集 成 社
偉人と信仰	田中宜太郎	四六六	四六判	一〇	二〇	「目次大要」春の宗教觀。急がば迂回れ。志と新神の題目。等の十八篇を収録。	集 成 社
祈りの生活	植村正久	三一三	四六判	一五〇〇	二〇〇	人間が此の地上に残し行く至上の一大偉業。體験は最後の審判者である。本書は本間先生の本血と涙を以て綴られた體驗の記録である。	集 成 社
恩寵の追懐	本間俊平	三八七	四六判	二四〇	二〇〇	著者が自己の思慮體験を科學上の例證を以つて説明した科學的見解より宗教と科學の合致を明にされたものである。	イデア書院
科學より宗教への思索	佐藤博士	四一三	菊判背布	三〇	八〇	隠れたる現代の聖者と呼ばる著者が四十年間の宗教體験から生れ出した秘録にして死後發表すべき意圖なりし漸く乞ふて茲に上梓す	イデア書院
神を見る	吉田清太郎	四二六	四六判	二二〇	二〇〇	...	警 醒 社 書 店

神書・宗教

東京書籍 商組合員圖書總目錄 (大正十五年六月)

神書 宗教	佛學 宗教	哲學 倫理	論議 哲學	支那 哲學	修養 哲學	教育 哲學	少年 哲學	文學 哲學	詩歌 哲學	歌謠 哲學	俳諧 哲學	川柳 哲學	戲曲 哲學	講義 哲學	漢語 哲學	漢文 哲學	作文 哲學
一二六	二〇六	四〇六	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五
辭書	外國語	英語	和文	英文	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和	英和
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
地 理	傳 記	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理	地 理
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
政治	憲法	行政	國際	政黨	法律	刑罰	民事	商法	民法	民衆	社會	經濟	社會	社會	社會	社會	社會
四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四
醫學	生理	植物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
農 業	畜牧	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶
五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五
工業	建築	機械	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機	電機
五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九
商業	商學	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業
六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝	遊藝
七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂	音樂
七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二
美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術	美術
七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三

索引

80W42620

神書・宗教

神 を 見 る	科 學 よ り 宗 教 へ の 思 索	恩 寵 の 追 懐	祈 の 生 活	偉 人 と 信 仰	暗 黒 よ り 光 明 へ	愛 の 宗 教
吉田清太郎	工藤博士 佐藤定吉	本間俊平	植村正久	田中宜太郎	逢坂信彦	ブラタプ 木下乙市
四六二頁	四一三頁	三八七頁	三一三頁	四六四頁	四四〇頁	一四六頁
送價二二〇〇	送價三〇一〇	送價二一四〇	送價一〇五〇	送價一〇六〇	送價二二〇〇	送價〇七〇〇
表の宗教経験から生れ出た秘録にして死後發	著者が自己の思索を科學上の例證を以つ	人間が此の地上に残り行く至上の一大偉業。	「目次大要」春の宗教觀・念がば迂回れ・志と	混沌！動搖！懊惱！常に現代社會人は嵐の渦	自然科學の研究から社會運動に轉じ、更に斷	人生の意義に就て迷ふ者は此書に聖き岩清水
警醒社書店	イデア書院	イデア書院	丁未出版社	集成社	警醒社書店	新生堂

東京書籍 商組合員 圖書總目錄

(大正十五年六月)

神書 宗教

書名 著者名 頁數 定價 送料 内容 發行所

索引

神書宗教	佛學	基督教	哲學	倫理	心理	論議	支那	教育	試驗	少年	文學	感想	詩歌	川柳	戲曲	講義	漢語	漢文	作文		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

80W42620

神様の戸籍調べ	二酉洞學人	二四〇頁	一・六〇	二松堂	日本は神國で吾々の祖先は神である其祖先たる神様の御父母兄弟御夫婦の關係御性質御行より其神々の逸話傳説を面白く書いたもの。
神と眞理への開眼	宮崎安右衛門	二五二頁	一・三〇	磯部甲陽堂	凡ゆるものを棄て、神と眞理にのみ深く潜心せし自分の良心が本書を公けにした。著者
皇大神宮史	中村徳五郎	六〇餘頁	二・一八	弘導閣	賜天覧 台覽 國體の異なる點を掲げ以て國家的觀念犧牲的精神を養ひ國民道徳の基礎を鞏固にせむ目的を以て著述せり。
祭式及衣紋圖解	神祇學會	菊判和装	一・〇〇	會通社	由來最も複雑難解とされる衣紋調度祭器器具に至る迄法令制度に從つて表解圖解し初心者にも習得容易ならしめた斯道界の範書なり
死生と宗教	帆足理一郎	四五〇頁	二・四〇	新生堂	生か死か我等は如何に生く可き乎？此書は人生の根本問題に一大光明を與へんとする著者が大なる努力の結晶に他ならぬ。
實在を求めて	サンダグ！ 金井爲一郎譯	一三二頁	一・二〇	厚生閣	あらゆる辛酸苦行して遂に印度教・佛教・マホメッド教・基督教の比較研究を大成した貴重な文獻、諸宗教の力強い實在性が闡明される。
實在と宗教	サンダグ！ 金井爲一郎譯	一三五頁	一・二〇	厚生閣	永遠界に輝く實在の光を求めて行く眞理の追求者、偉大なる聖サンダグ・シンダグの瞑想によつて得た思想と貴き信仰體験の記録である。
宗教史概論(上卷)	宇野圓空	五四〇頁	三・〇〇	博文館	本書は個々の宗教の歴史でなく宗教全般に涉つて其間に脈々として流れてゐる宗教的觀念そのもの、發展を辿つて論述せる好譯書。
宗教と教育	文學博士 姉崎正治	六二〇頁	一・六〇	博文館	個人と社會、國家と人道、現實と理想、諸方面より宗教と教育との問題を論究したるもの、教化の大事を教ふる人の熱讀を要す。
宗教と宗門	富田彬	四六二頁	二・〇〇	日實業社	宗教味を解せざる人は玉の盃底なきが如し、宗教心を確保する爲に宗門を訪づれんとする人は、先づ本書を讀むべきである。

宗教と人生	帆足理一郎	四六五頁	二・四〇	新生堂	「如何にして生きん乎」以下論文數十項に渉る著者が清新なる思想の線光と敬虔なる信仰の白熱とは讀者の心胸に一味靈光の閃きを傳へ
時代の宗教と其藝術	井上芳郎	二二九頁	二・五〇	厚生閣	西方亞細亞を中心とする數千年の古代文化人の輝ある生活、不可思議なる宗教、異様に展開する偉大なる藝術を興味深く吾人の眼前に展開す
宗教の改造	文學博士 姉崎正治	四二六頁	二・五〇	博文館	エルクード原著、宗教改造の根本義に觸れて一協會的見地より論述せる世界的なる名著、歸一協會の姉崎氏監修の下に譯出す。
グン 宗教の發達	高野正治	四五四頁	三・〇〇	岩波書店	著者の力説する處は宗教の社會心理學的研究である。本書の如く論據を悉く人類學社會學心理學等の實際材料より輯集し的確なるなし
宗教文化の創造	松原寛	三三四頁	三・五〇	厚生閣	宗教文化の建設を以て人生最高の價値創造なりとする少壯哲人が、眞理の法燈を擧げて現代宗教を批判し、自家の宗教教育論を提唱す
才 宗教への闘争	藤井章	二九六頁	一・八〇	丙午出版社	オイケン教授の宗教論は老いて倍々旺なる意氣を以て書かれて居て吾々をして無關心の惰眠から驚覺せしめずんば已まな底力がある
宗教の門	松原寛	二六〇頁	一・五〇	大阪屋號	科學は只人生の空虚のみ知る、宗教の要素はそこに起る。此論理に立脚しより以上に深められたる宗教こそ我等の宗教である。
修道院雜筆	三木羅風	一六〇頁	一・〇〇	新潮社	三木氏北海道の修道院に籠ること五年。其の間に成せる小品、感想の類を収めた。念々求道の思に燃ゆる氏の心境を窺ふ可き集である
修道院生活	三木羅風	二二二頁	一・五〇	新潮社	修道院生活の實狀と一般修道院の意義、歴史を説き、更に男子の當別修道院、女子の湯川、天竺園の實際及び入院の手續きを記した
日蓮聖人傳十講	山川智應	七八〇頁	四・五〇	新潮社	現代日蓮主義の權威者か二十有餘年研究の結晶を發表された。大判八百七十頁の大巻、宗教界思想界稀觀の一大名著は即ち是れだ。

和譯法華經	山川智應	菊半草裝 九七〇頁送	三〇〇	流暢なる假名交り文に譯し、從來訓讀の舊觀を一變して日本語的法華經となした。附録に法華經大意の外、各種の詳密なる索引がある。	新潮社
聖フランシスの花	久保正夫	四六背布 三二三頁送	一五〇	フランシスとその門人の天真爛漫な生活の記録である。第二の聖書とも云ふ可きいみじき信仰の書で、彼を知るには此書第一である。	新潮社
宗教早わかり	小林篤里	美表装 四六頁送	〇四〇	人類の存する所必ず宗教あり。本書は世界の宗教中より十大宗教を選び、教祖教義今日状況を叙せるもの、一讀宗教の全般を知る。	文藝社
社寺の經營	赤堀又次郎	三三二頁送	二五八〇	社寺の經營の秘を公開せられ加るに全國幾多の社寺の財政經濟及經營を赤裸々に論斷せる快著。	武藏野書院
進化と宗教	海老澤亮	一九〇頁送	一五〇	著者の専門的立場たる宗教教育學の見地より進化説を如何に解し又如何に取扱ふて宗教的生命を發揮し得べきかを明快に論斷せるもの。	厚生閣
神祇史綱要	宮地直一	二五〇頁送	二〇〇	神祇祭祀及び神道の發達變遷を叙し我が固有の神祇と國家との關係を知るに適切な書である。	明治書院
神祇奉仕者の顧問	神祇研究会	四七六頁送	二五八〇	神祇奉仕の事項萬般に亘りて悉くを網羅し、務めて意義の徹底に苦心し、斯道發揚に努力したるもの一般人士の心得べき神祇早わかり書。	磯部甲陽堂
信仰に生きて	武本喜代藏	二八〇頁送	一六〇	世年來各地に傳道しながら不思議なキリストの默示を見、聖靈の光に接した著者の信仰告白であり、活ける宗教的體驗の記録である。	警醒社書店
新時代の宗教	文學博士 姉崎正治	四六〇頁送	二〇〇	大破壊に續いて大建設の起るべき機運は着々として近づきつゝある、人間の本性を回復し世界の醇化に資すべき宗教の新使命を説く。	博文館
神社と宗教	安原清輔	洋装中判 二〇〇頁送	二〇〇	神社と宗教との關係を明にし神道及神社が宗教の如くにして然らず而かも亦宗教的分子の有する所あるを遺憾なく叙述批判せるもの。	弘道館

新宗教	松村介石	四四〇頁送	二二〇	儒教より老莊釋の諸教に移り更に基督教に轉じ、遂に自教の宗教を創造せる著者が始めてその宗教綱領を説き示められたる書。	警醒社書店
人生の故郷	近藤良莖	一八〇頁送	一八〇	人生問題に悩むの人、また他人の同じ悩みを解かんとするの人に本書を薦む。思想荒廢する今日日本書の存在は決して小なるものではない。	傳文社
神道の現代的研究	橋本文齋	五八〇頁送	四一五〇	我國の純文化たり、眞精神たる神道を研究的組織的に論述せるもの、論旨堂々、理に走り、情に墮せず故を温めて新を知る神道研究書。	寶文館
信と美	柳宗悦	五〇〇頁送	三二〇	宗教哲學界の第一人者、新しい美の發見者たる著者が従來相逆く如く見られた信と美が、一知の世界であることを見つけた最近の感想録。	警醒社書店
精神生活の基調	帆足理一郎	四五〇頁送	二一四〇	著者が我國民に靈的更生の力を與ふべき人生及び宗教に關する論文十數章を集録せるもの、國民の精神生活の基調たるべき名著である。	新生堂
聖貧への思慕	宮崎安右衛門	二八二頁送	一五〇	「神に生くる貧富なき生活こそ、神の賜ふ不盡の生命、無限の法悦である」と本書はそれらの體驗が生んだ貴い手記であります。	磯部甲陽堂
聖貧禮讚	宮崎安右衛門	二八二頁送	一五〇	著者が一杖一鉢天下を行乞流瀝して十年に及ぶ其の間の具々に嘗めし辛苦の經驗を溢す、ばかりの法悦さを赤裸々に告白せるもの。	磯部甲陽堂
世界宗教史	金山龍重	三三五頁送	三〇〇	パーソン教授の原著にして大學や専門學校の學生又は一般宗教研究者のための参考書として過去現在の總ての宗教の教理歴史を詳述す。	丙午出版社
大日本者神國也	丸山正彦	六〇〇頁送	二〇〇	一讀神祇の實體あらはれ、再讀神皇民の一致國體を詳かに三讀神國の神國たる所以のづから明かなるべきものである。	川流堂
特選神名牒	内務省	九七〇頁送	三〇〇	神祇官の調査の後を承け教部省の編纂に係るものにして延喜式神名帳の註釋書中最後に成り全國式社の祭神社格所在等始めて明かなり。	磯部甲陽堂

日本宗教史	比屋根安定	菊判背革 一三〇頁 送價二〇・三六	讀書界近來の快著として識者を驚かしたる本 書は本邦に於ける最大最新の宗教史にして收 むる所大古より大正まで二十篇二百三十五章	三共出版社
祝詞作文自在	青木陳實	四〇〇頁 送價三〇・二〇	神事人事工商農事軍事等につき祝詞 作文の習用は供するを旨とし壹百題を撰び一 題毎に作例類句を輯めた懇切なる辭典座右に なるを旨として作成せられた丁寧懇切なる辭典を なす依て祀職によりて大歡迎乞ふ一本を。	會通社
増補祝詞全書	岡吉胤	二〇〇餘頁 送價二・五〇	本邦に於ける神話學建設に半生の勞を傾注せ し著者の業績たる唯一の神話學研究書である 復興重版發賣。	會通社
比較神話學	高木敏雄	三〇〇頁 送價二・八〇	佛敎文化の逆轉殿堂佛敎の罪惡改革論者の主 張を改廢し活ける佛敎を民衆の上に建設せん 壇を改廢し活ける佛敎を民衆の上に建設せん	武蔵野書院
佛敎改革論	豐田劍陵	二八四頁 送價一・八〇	現代人が如何に符呪禁厭卜占祈禱靈怪變異五 行千支に動かされて居るか本書は民族心理の 推移を背景として人類生活の裏面を討尋せり	昭文堂
民間信仰史	加藤咄堂	五〇〇頁 送價四・〇〇	秋吉山に大理石を堀り乍ら幾多の青年達を感 化教育せられたりある聖者本問先生の涙の熱 誠と燃ゆる絶叫體驗の教育と生命の宗教書。	丙午出版社
私の宗教	本間俊平	三七八頁 送價二・四〇	「イエスの十字架に従ひつゝ遂に親鸞の自然法 爾の白道へ不漸の反抗と共に邂逅して來た苦 悶の内的紀行記である。」「十字架より法爾へ」	イデア書院
佛敎				
イエスか親鸞か	山中峯太郎	三四三頁 送價二・四〇	世界唯一の權威。組織されたる理路の整然た る。採擇されたる史料の斬新なる。千歳の疑 案は本書あるによつて解決さる。	双樹社
生ける宗教	前田慧雲	二八五頁 送價一・〇〇	自序曰、我等は傳統に提はれてはいけぬ我 等は暗示にかゝつてはいけない。我等の行路 を決するものは絶対自由な全私の意志である 印刷鮮明和紙本版携帯に便す嚴密なる校訂を 施す、提唱講本用として至便且至廉。	森江書店

印度佛敎思想史	橋惠勝	五八四頁 送價四・二八	世界唯一の權威。組織されたる理路の整然た る。採擇されたる史料の斬新なる。千歳の疑 案は本書あるによつて解決さる。	丸木書店
印度佛敎の研究	手島文倉	四七六頁 送價二・五〇	自序曰、我等は傳統に提はれてはいけぬ我 等は暗示にかゝつてはいけない。我等の行路 を決するものは絶対自由な全私の意志である 印刷鮮明和紙本版携帯に便す嚴密なる校訂を 施す、提唱講本用として至便且至廉。	文献書院
訂校園悟碧巖集	飯田樞隱	七五五頁 送價〇・八〇	「遠羅天釜」は禪師の書簡を収む、導くに老婆 親切を極めたるもの。「夜船閑話」は禪的不老 長生の仙術たり。	森江書店
遠羅天釜・夜船閑話	白隠禪師	一四〇頁 送價〇・四〇	「遠羅天釜」は禪師の書簡を収む、導くに老婆 親切を極めたるもの。「夜船閑話」は禪的不老 長生の仙術たり。	森江書店
改悔文解説	石川舜台	二六〇頁 送價二・〇〇	眞宗の安心を速かに領解するには本書を一讀 せられよ。本書熟讀玩味せば立所に信心を獲 得し歡喜を生ぜん敢て一讀を乞ふ。	森江書店
我觀密敎發達志	權田雷斧	二〇八頁 送價三・〇〇	密敎發達の歴史を詳叙して傳統を無視せる世 上の暴論に一撃を加へて祖師弘法大師の宗旨 を闡明し眞言密敎の根本精神を發揮せり。	丙午出版社
觀音信者の手記	小瀧淳	三三〇頁 送價一・五〇	觀音の實體を闡明するに共に吾人の實生活に 如何に緊密の關係にあるかを力説し情味豊か な筆致を以ての眞剣さが全卷に躍動してゐる	磯部甲陽堂
觀音の救濟	吉田修夫	一〇四頁 送價〇・四〇	著者は觀音を中心し物質精神の二方面を開拓 して人本主義の宗敎を建設す、著者の熱烈な る強固なる信念は蓋し新生の喜びを實現せん	森江書店
觀音の信仰	吉田修夫	一〇四頁 送價〇・四〇	觀音の成立より其佛格慈悲妙智に説き起 して觀音を信仰するものに新使命と活路とを 與ふ、萬人等しく讚歎して措かざる名著たり	森江書店
解脱への道	木村泰賢	四六二頁 送價三・〇〇	一切は永遠に解脱し行く經過で、而も一切を 永遠の解脱に向ける所に人生の價値が存する と云ふ著者の識見は本書に依て詳かである。	甲子社書房

眞宗學序説	新時代の佛敎	人生と信仰	信に生きた人	親鸞讚仰	歴史に於ける親鸞の研究	眞理への思慕	西域之佛敎	赤裸の信仰	輪海一爛
金子大榮	友松圓諦	近角常觀	眞田增丸	拓植信秀	中澤見明	高神覺昇	羽溪了諦	眞繼雲山	今北洪川
四六判送價	四六判ホ ブリン装 送價	菊半裁送價	一三六判 一六五頁送價	一〇九判 一〇九頁送價	二五〇判 二五〇頁送價	四六判ホ ブリン装 送價	菊半本装 五五〇頁送價	菊半二頁 一〇九二頁送價	菊半和装 一三〇頁送價
一〇二〇	二九〇〇	一〇〇〇	〇五〇〇	一七〇 一五〇	二二〇 二二〇	二二〇 二〇〇	三二五〇 一八〇	〇五八〇	〇七四〇
著者曰、私は敢てこれを定説せんとする者 ではなく、普れく志を同じくする人と共に眞 宗を學べんとする機縁をなれかしと云々	著者は舊套陳腐なる學説を排し新しき眼を開 いて佛敎を凝視し思惟し多年蘊蓄を傾倒して 其の眞を擷み茲に本書一卷を生んだのである	現代思想界の亂調は律法的教訓若くは物質的 施設を以て根治して解脱せる眞人生に到達せん 根本的に自覺して解脱せる眞人生に到達せん	田憲氏の獄中に於ける心的過程に關する藤井 教誠師外敷氏の印象記になりたるものなり	親鸞に關する類書は一時非常に刊行されたが 眞の聖人の姿は見失はれてゐる云ふ聲が高 い本書の新説は親鸞に直參せしむるであらう	親鸞研究の流行に依つて誤られたる讀物の多 きを歎き著者正しき史實に依り生きた親鸞深 く懺悔する親鸞を知らしむ。蓋し近來の快著。	本書は深刻なる宗教的思索と體験の果實たる 來の啓示の如く其一行一句は懺悔を以て通る	中央亞細亞大月氏國の佛敎に始まり于闐國、 迦濕彌羅國、健駄羅國、安息國、康居國、龜 茲國、疎勒國、高昌國地方の佛敎史研究書也	著者が日本佛敎新聞を創刊して以來五年間の 信仰生活の記録であり體験によりて得た所の 悟りの眞髓、生死解脱の一路を示す。	本書は老師が學庸論孟の秀句へ禪眼を以て批 判を提下したるもの、其の何か儒、何か佛、 何か禪なるか一味法海の潮を成り了したるもの
文献書院	甲子社書房	森江書店	森江書店	双樹社	文献書院	甲子社書房	森江書店	星風社	森江書店

曹洞宗聖典	大乘佛敎史論	歎異鈔の意譯と解説	通俗觀音經講話	通俗般若心經講話	道元禪師御一代の繪圖	毒語註心經閑話	讀七十五法名目	日蓮上人御一代の繪圖	日蓮聖人傳考證
茂木無文	前田慧雲	梅原眞隆	渡邊小洋	渡邊小洋	銅刻密畫	川尻寶岑	藤岡惠隆	銅刻密畫	船口萬壽
一〇九頁装 送價	三三二頁装 送價	二一四頁装 送價	二〇四頁装 送價	一〇五頁装 送價	袋一枚 入送價	菊判本装 一三〇頁送價	四六判 送價	袋一枚 入送價	菊判並装 一三〇頁送價
〇五〇	二二五〇	一七〇 一六〇	一七〇 一七〇	一〇〇 一〇〇	〇一五	一七〇 一七〇	一五〇 一〇〇	〇一五	〇八〇 〇六〇
收要目錄 般若心經 觀音經 遺教經 諸陀 羅尼 寶鏡三昧 信心銘 證道歌 坐禪義等 同笑 著者の博識なる蘊蓄を傾倒して大乘佛敎の教 理及系統的の異同を専ら史的に考證して其之義 を論究す。大乘佛敎の發達變遷史論たり。	著者は「歎異鈔」に依つて眞實の生命を見出し たのである。如何に多くの現代人が「歎異鈔」 に依つて救はれたかは言ふ迄もあるまい。	大乘佛敎の救濟思想を體現せる觀世音菩薩を 闡明し各人の日常生活上に觀音さまの大慈悲 を顯示すべしと教へた「觀音經」の平易な講義	僅に二百六十二字で佛敎の大哲理を自在に説 破せる「般若心經」を誰人にも解るよう講話 せる長書にして佛敎初人の手引草であります	曹洞宗開山承陽大師道元禪師の御誕生より御 入滅に至るまで御一代の行狀を繪圖に著し通 俗に解釋を附す。	般若心經へ白隠禪師の著語と東嶺和尚の評唱 を加へたもの、本書に川尻翁の親切の解釋を 試み理義字解共に明晰、禪の奥底に參得せん	本書は俱舍論に於ける大宇宙の萬有を科學的 に整理したる分類法なり、萬有篇範篇に大 別して組織的に記述して領解し易からしむ。	日蓮宗高祖立正大師日蓮上人御誕生より御入 滅に至るまで御一代の行狀を繪圖に著し通俗 に解釋を附す。	徳川時代の日蓮聖人傳は傳説本位なり。明治 時代は傳説破壊の時代なり。今や大正の聖人 傳研究は徹に入り細を穿つて其極地に達せん	
森江書店	森江書店	双樹社	國民精神社	國民精神社	文陽堂	森江書店	森江書店	文陽堂	誠志堂書店

日蓮聖人の言葉	星野梅耀	四六判 三五〇頁送	二〇〇	人間はまづ人間の言葉にしたしむ、聖人の胸より凡人の心へかよふ言葉。魂より魂へ〇〇此の書を通してほんごの日蓮聖人をとるべし	誠志堂書店
日蓮聖人の宗教と其實踐	里見岸雄	四六判 四一八頁送	二〇〇	日蓮主義をば宗教として又思想として新人の里見氏がだれにも解るよう最も平易に講述せられしもの何人も来りて一讀すべき名著なり	誠志堂書店
日本佛教と社會事業	橋川 正	四六判 三六四頁送	一五〇	日本の社會事業は佛教精神の發現であるそれが過去に於て如何様に爲され將來は如何様になされなければならぬかを説いて餘蘊なし	丙午出版社
人間の宗教	文學博士 椎尾辨匡	四六判 三六四頁送	一五〇	佛教思想を以て現代社會を論じ、思想を解剖し以て人間生活との交渉を説き、而して偉大なる信仰を語れる求道の士必讀の書である	甲子社書房
白隱禪師法語錄	白隱禪師	四六判 二〇〇頁送	〇七〇	白隱の法語は禪機の奥底より流出する清泉である、之を掬はば嚴肅を正すうちに洒落諧謔を交へ其間また清風颯々の妙味を會得せん	森江書店
般若經捷解	今北洪川	和紙 三〇頁送	〇四〇	本書漢文の解釋を施したるもの、洪川老師の心血を注がれたる頁書なり、文簡にして能く心經の精髓を穿つ、講本用として最適切なり	森江書店
彼岸の世界	金子大榮	菊判布裝 三四五頁送	二二〇	佛教概論以後に到達せる著者の道を示す。著者は茲に印度諸家の唯一書「淨土論」を憶持しつゝ、淨土の原始的眞義を明かにした。	岩波書店
佛遺教經講話	前田慧雲	四六判 一九五頁送	〇八〇	博士印度哲學の蘊蓄を傾けて縱横に佛經の遺教を現代人の上に講述せらるゝ釋尊の思想と精神と大乘教理の一大體系を學ぶ事を得ん。	森江書店
實地應用 佛教演說軌範	加藤唯堂	菊判 二三五頁送	〇八〇	隨喜説法の芳躅を慕ひ應病與樂の活方便を學び時勢に適する演題を選びて自己の云はんことを欲する所を云ひ以て佛教定説の軌範ならしむ	森江書店
佛教概論	金子大榮	菊判布裝 四〇〇頁送	二七〇	佛教の根本的精神を體驗の上に移し來つて教の相學教理修學の三種に分ち究極に於る三學の一致を説く。研究極めて眞摯而生命あり	岩波書店

佛敎思想講話	前田慧雲	四六判 三〇〇頁送	二二〇	大哲の面影ある著者の隨感隨想にして廣大なる佛敎の思想をも明快平易に説き佛經の眞精神を闡明せる萬人日常修養の書である。	甲子社書房
佛敎序説	高神覺昇	四六判 三四〇頁送	二五〇	新しき佛敎概論にして大乘佛敎の生命と理想を遺憾なく道破せし近來稀有の名著である。著者は新進の篤學者。速かに御愛讀を祈る。	甲子社書房
現代思潮 佛敎の根本思想 より見たる	友松圓諦	四六判 三一六頁送	二〇〇	獨逸の碩學ホウマンの原著にして復雜難解の佛敎の哲學と教義を現代思想より解釋して、佛敎の體系を一讀よく理解せしめる名著也。	甲子社書房
佛敎の要諦	大谷光瑞	菊判 六七〇頁送	〇七〇	佛敎は宗教に非らずこの地見より眞如智恵の眞相より五蘊皆空の實相を説き、法報應の三身、佛敎研究上の注意、法華涅槃大經に及ぶ著者は佛敎藝術研究の權威、その總觀を史的に批評的に説明し、興味ある物語をも添ふ。	森江書店
佛敎文學概論	小野玄妙	菊判 六七〇頁送	二五〇	佛敎文學は思想界文學界の胎源精粹である。著者は佛敎藝術研究の權威、その總觀を史的に批評的に説明し、興味ある物語をも添ふ。	甲子社書房
普門品略解の圖	銅刻密畫	一枚刷入	〇一五	觀音經普門品を繪圖に著し通俗に解釋をして一目して普門品の眞隨を知るを得べし	文陽堂
佛敎の早わかり 佛陀	木村善堯	四六判 三四〇頁送	二五〇	佛陀の教理と生活とを最も簡明に然も趣味ある筆致を以て説けるものが本書である。「簡にして纏つた」佛陀の傳として近來の好著也	甲子社書房
佛陀教説の外延	渡邊棟雄	四六判 二一六頁送	〇八〇	本書は「佛説の外延」「佛陀の聖意」の二篇に分ち、多年筆雪の餘瀝を輯めて一卷となす讀者は本書によりて一大光明を得るであらう	甲子社書房
佛陀傳	文學博士 長井眞琴	四六判 二二四頁送	〇八〇	佛陀の傳記として我國唯一の書にして、著者は巴利佛敎界の世界的權威、多年の蘊蓄は擧げて本書にありと云ふも過言ではない。	甲子社書房
佛陀の言葉(全句經)	友松圓諦	四六判 一八八頁送	〇八〇	あえかにも美しく豊かなる思想を處れる四百廿三の詩經は悉く吾等の指針ならざるはなしされば本書一冊を求めて佛陀の聲を聞かれよ	甲子社書房

增補 訂正	佛陀の聖訓	佛陀の福音	佛典物語	平和的宗教	法華經の行者日蓮	法華經の研究	法華物語	佛様の戸籍調べ	文英法 Honen the Buddhist Saint
文學博士 常盤大定	小林鶯里	大澤玄章	村上專精	常盤大定	文學博士 姉崎正治	里見岸雄	境野黄洋	醍醐惠端	淨土宗開宗七 百五十年記念 出版
菊牛布裝 八三四頁送	美六表裝 送	一六六本裝 送	六五頁裝 送	菊判本裝 二九〇頁送	菊判布裝 五九四頁送	菊判布裝 七〇〇餘頁送	本四六判 裝送	二五〇頁 送	菊判洋裝 一〇〇〇頁送
一・八二〇	〇・四〇〇	一・一八〇	〇・五〇〇	二・〇〇〇	三・一八〇	六・〇〇〇	一・五〇〇	一・六〇〇	一・八〇〇
眞理は危激の裡に宿らず、理想は浮華の中に存せず、流れに流るゝ人生、動きに動く世界に於て、本書實に一點の清涼劑を供す。	佛陀の教は深遠である。吾々の日常生活に正しき進路を示したものである。本書は佛陀の言葉の中吾々の生活に適切なるものを抄録す。	世界の平和を祝福し其眞の平和は宗教殊に佛に依る可き歴史を簡明に敘述せられたものである。立後の歴史を簡明に敘述せられたものである。	法句經は佛敎中の詩經にして同時に論語なり。教義と徳訓と渾然一致して簡明なる韻文を以て眼前の事物を譬喩とし佛敎の妙諦を發揮す。	格、經歷、思想、信仰に於いて日蓮上人の人格を發表せるもの、日蓮に關する第一書。	法華經の註釋講録等其類少なからず何れも舊來の講説にて字句の解釋說明に過ぎず。法華經全般の精神を闡明せるはなし唯一頁書。	佛敎の經典で法華經ほど大事な經典は外にない。斯の如く重大なる法華經全部の組織内容を簡明に其の要解を領會し得るは獨り本書のみ。	阿彌陀も釋迦も觀音も不動も總計百十餘佛に至る迄遠慮なく赤裸々に奇拔滑稽で該博なり。	本書は淨土宗本山寶仙國寶法然行狀圖繪四十卷の英譯石塚龍學及びゴーツ兩師二十餘年の苦辛努力に成る、大著述である。	
博文館	博文館	森江書店	森江書店	森江書店	博文館	誠志堂書店	森江書店	二松堂	丸善

漢和 對照	妙法蓮華經	無門關鑿燧	龍樹の中論及其哲學	校訂 繪臨	蓮如上人御文全集	アッシシの聖フランチェスコ	阿彌陀佛より基督へ	イエスを尋ねて	
島地大等	飯田權隱	佐々木月樵	釋宗演	禿氏祐祥	中山昌樹	道廣泰誠	伊藤宗輔	伊藤宗輔	
八六〇頁送	四六布裝 二九〇頁送	四六判 二七〇頁送	一五〇頁送	四五〇頁送	五〇〇頁送	四六六判 二六〇頁送	新四六判 八五頁送	新四六判 八五頁送	
三・一八〇	二・二〇〇	二・一五〇	〇・六〇〇	四・二〇〇	四・二〇〇	一・一五〇	〇・六四五	〇・六四五	
法華經全部の漢譯と和譯とを對照し共に正確な振假名を附し且つ其の大要梗概を説明し難解の字句を解釋した字典と歌集を添ふ。	法華經全文と無量義經及觀普賢經を國譯して訓讀せしめ且つ江部鶴村先生の法華經の大意を説明して全法華の眞意を知るに便せしむ。	近時無門關多くは哲學的又は文學的に解釋せられ佛祖の的意を發揚したるもの少し、於茲老師滿身の血と涙とを注ぎて提講したる者也。	龍樹の中論を中樞として龍樹敎學の一般を説く。大乘の精神を究めんとする者には好個の著と云ふべく、既に敎科書として採用せらる。	本書は嚴密なる校訂に校訂を加へて全く誤謬の絶無を期す。而も携帶の便と閱讀講本用の爲めに三號活字和紙印刷鮮明なり。	内容大要に寫眞版六葉、五帖御文、一帖外御文、(以上約二百六十餘篇)一和歌集、一御文解説、一別本解説、一上人年譜、一蓮如上人の生涯等々。	神を憧れ自然と人間とを熱愛し、清貧と忍従と感激とに充ち溢れた生活を送つた聖者の評傳はサバテイエスの靈筆によつて躍如たり。	元佛敎僧より基督敎に改宗し現に實地傳道に任にある著者が独自の立場より三部經を批判し阿彌陀佛の正體極樂樂莊嚴のモデルを暴露す。	星の導くまゝに旅をして然も他の博士達と共たに幼兒イエスの御許に着くことの出來なかつた一人の博士が終にイエスに邂逅の物語。	
明治書院	森江書店	森江書店	甲子社書房	森江書店	文献書院	新生堂	警醒社書店	厚生閣	

イエスの宗教と其眞理	賀川豊彦	三四六判	送	二〇〇	賀川氏が十五歳の少年時代に接して、今尚、恩寵を感ずることをキリスト教の福音を感激を以て世に叫んだ書として今や數十版を重ね。														
イエスの内部生活	賀川豊彦	三四六判	送	二〇〇	福音書を通してイエスの性格、意志、感情、智慧などに於いて心理的省察を試み、人間としてのイエスの全生活を傳へたものである。														
穿	伊藤宗輔	四六判	送	六〇	兄弟に認められぬ奴隷に賣られたり獄の中から才能を認められて一躍總理大臣になつたよふ人物ヨセフを主人公とした物語である。														
神との對座	賀川豊彦	三五二判	送	一六〇	著者の祈り集である。賀川氏の超人間的活動がその祈りに出でてゐることを知る者は、又本書から神秘な力を發見するであらう。														
神の懐にあるもの	賀川豊彦	三五二判	送	一六〇	ヨハネの宗教思想を味はひつゝ、著者の宗教経験に敘したもので、さすがに體驗から生れた文章だけに一讀何人も神の懐に還されればやまぬ。														
神はわが力	高梨 鎮	一七〇判	送	一五〇	生命の根源は神である。吾等の永生は神に頼るの道に他なしと尊き靈験に浴した著者が確き信念の下に憐れむる現代人へ捧げた心の泉。														
ガリラヤの道	内村鑑三	三五八判	送	二五〇	内村先生が始めて筆を下されたキリスト傳にしてガリラヤ傳道迄の部分である。独自の觀察と思索と體驗は全篇中に躍つてゐる。														
求安録	内村鑑三	二四六判	送	一五〇	基督者に迫る最初の問題中、罪の意識ほど苦しいものはない。本篇に於て著者が如何に苦んで贖罪の眞理に觸るゝに至つたかを知られよ。														
俗通 舊約史談 卷上	三浦 徹	三四三判	送	一五〇	舊約聖書を面白く理解させるものとして、英米の家で愛讀されてゐる Line upon Line の譯書である。碎けた譯文は日本の讀者にも同様の歓迎されてゐる。上巻は天地創造よりヨシエルの死まで、下巻はサムエルの物語よりヨシエルの死まで、下巻はサムエルの物語よりヨシエルの死までを収む毎巻美麗挿繪有り。														
俗通 舊約史談 卷下	三浦 徹	三四三判	送	一五〇	舊約聖書の面白く理解させるものとして、英米の家で愛讀されてゐる Line upon Line の譯書である。碎けた譯文は日本の讀者にも同様の歓迎されてゐる。上巻は天地創造よりヨシエルの死まで、下巻はサムエルの物語よりヨシエルの死までを収む毎巻美麗挿繪有り。														

舊約聖書物語	三浦 徹	四六判	送	三〇〇	世界創造の神秘と興亡五千年の傳説を語る舊約聖書の面白く理解させるものとして、英米の家で愛讀されてゐる Line upon Line の譯書である。碎けた譯文は日本の讀者にも同様の歓迎されてゐる。上巻は天地創造よりヨシエルの死まで、下巻はサムエルの物語よりヨシエルの死までを収む毎巻美麗挿繪有り。														
舊約聖書物語	磯邊泰治	彩色版	送	二五〇	舊約聖書の面白く理解させるものとして、英米の家で愛讀されてゐる Line upon Line の譯書である。碎けた譯文は日本の讀者にも同様の歓迎されてゐる。上巻は天地創造よりヨシエルの死まで、下巻はサムエルの物語よりヨシエルの死までを収む毎巻美麗挿繪有り。														
舊約の詩人と預言者	松田朋三郎	三四〇判	送	二二〇	變遷窮りなき世界の文藝と思想の上に燦然と永久の光彩を放つは舊約の詩人と預言者その姿である。														
奇蹟論	宮澤六郎	菊牛截	送	〇五〇	聖書は奇蹟を傳へ信者は主の奇蹟を信じてゐる。迷信か錯亂か否か心ある者は此大哲學者パウロ博士の著に耳を傾けるである。														
逆境の恩寵	徳永規矩	一六〇判	送	一四〇	著者は疾病苦痛の間に處して宛然龍の雲を獲たる如く靈性之に乗じて聖域に達せる信仰の人の其恩寵溢るゝ半生の實感を記録せるもの。														
逆境の福音	綱島佳吉	二四〇判	送	一五〇	明治大正を貫く大傳道家、大説教者として内外の求道者より敬慕せられたる綱島博士の傳道四十年を紀念するたための代表的説教集。														
キヤサリン	山本つち子	二二八判	送	〇六〇	聰明な娘で信仰の篤い母親に育てられながら、我儘で心に砕けて信仰生活に入つた女の話を柏井園氏が基督教界の碩學であつた事は、憤りながら、大著述である。														
基督教史	柏井 園	九〇〇判	送	六二〇	故柏井園氏が基督教界の碩學であつた事は、憤りながら、大著述である。														
基督教信仰の合理性	ケアンズ	二九〇判	送	一五〇	理智の門より基督教信仰の奥義を究め之を解説したるものである。														
大正十五年度 基督教年鑑	日本基督教聯盟	七〇〇判	送	一五〇	日本に於ける基督教各派の現況を知る唯一の参考書である。														

基督教の起源	波多野精一	三〇〇頁	二・二〇	著者が帝大文科の講座に於て神學や宗教學に立つて基督教の起源を論議せるものである。	警醒社書店
基督教の體驗	哲學博士 アームストロング	四三六頁	〇・五〇	著者が本郷中央教會で學生のため説教したるもので、基督教は神人ナザレのイエスの體的な根本の教として提唱したるもの。	同行社
基督教の本質	ハル、ナツ、ク 山谷省吾譯	三三〇頁	二・八〇	ハルナツクは現代の有する最も勝れた歴史家である。基督教の本質は彼の専門的研究の成果を平易に一般讀者界に送つたものである。	イデア書院
基督再臨問題講演集	内村鑑三	四六八頁	一・七五	基督再臨は實に世界宗教界、思想界の最大問題也。著者の熱誠遂に其確信の爲に獅子吼せり。本書正に眞摯深遠なる講演集たるを信ずる。	岩波書店
基督者の完全	ジョン、ウエ スヨン、ウエ	二四七頁	〇・六〇	理想の人完全の人を何處に求むべきか著者は完全なる人キリストを信じて遂には其姿に似ん事であるを論じてある。	出版文部館
基督者の常識	日高善一	四三〇頁	二・一〇	聖書の成立、ユダヤ略史、基督傳、パウロ傳、教會史、諸儀典の意義等、凡そ基督教徒の常識として知らればならぬ事項を叙述したるもの。	警醒社書店
基督神性論	ニコラ 田島進譯	菊牛裁	〇・五〇	神人となる之基督の神性の所以である如何なる理由ありて基督は神の性を備へてあるかを知らるに必要なるは此書である。	出版文部館
基督傳緒論	ヒル 瀨川四郎譯	四三三頁	一・五〇	人の生涯はその國の歴史と切り離すことは出来ぬ。基督の人格を知る爲めに必要なる歴史及關係の事柄を記してある書である。	出版文部館
基督傳百話	ビイタルス	菊牛裁	一・八〇	全生涯を日本傳道のために捧げたヒイタルス博士が日本語を以て書いた通俗基督傳である。何人にも解り何人にも興味がある。	出版文部館
基督と偕に	アンドリュウ、 マノレ 三谷種吉譯	四三〇頁	一・八〇	神は新舊を聞き給ふて眞理を理解せしめんが爲に基督と偕に新舊學校に於て學ぶべき學課世一を擧げ、懇切に新舊の要諦を説く。	基督教會社

基督に倣ひて	トマス、アケ 中山昌樹譯	四二〇頁	二・五〇	七十年の長年月を修養院に孤獨と沈黙との内に送り置かれたる信仰経験を記せる世界的聖典に對する信仰の眞理性を充分に解明してある。	新生堂
基督の人格	マキントシュ 柏井園譯	七〇〇頁	五・二〇	基督の人格は基督教の中心問題である著者は近代の科學と哲學とを背景にして基督の人格に對する信仰の眞理性を充分に解明してある。	出版文部館
基督の生涯	ヒル 森田俊作譯	四七〇頁	一・六〇	本書は極めて精細な史學的考證の上に立つて基督の生涯と其面目を描寫した好著である。	出版文部館
基督の福音	小林篤里	美六表	〇・四〇	信仰は吾々精神生活の根柢である。本書はキリストの言葉の中最も優れたるもの、吾々に必要なものを抄録したるもの。一讀を望む。	文藝社
基督の模倣	トマス、アケ 日高善一譯	二五四頁	二・〇〇	十五世紀以來歴史に傑出した聖者仁人にして今尚ほ不朽の光明を掲げてゐる典型文學の粹。	基督教會社
苦痛に對する態度	賀川豊彦	四六八頁	一・八〇	凡ゆる災厄を一身に負ふて尙神を讃へた苦難の人ヨブを通して苦難の中に淨化せられ悲哀を経由して知識に達する「苦難の哲理」を説く。	警醒社書店
苦痛の福音	内村鑑三	一八〇頁	一・五〇	「苦痛の福音」以下數十篇の論文いづれも基督の根本的生命に立つて苦痛の秘義を明かにしたるもので深くまた強く人を導くものである。	警醒社書店
現代無宗教主義	ロバート、ホ 千葉勇五郎譯	菊牛裁	〇・五〇	曾て歐米の天地に科學萬能主義と懷疑思想の盛んなりし時一世の碩學ホル博士が神の臨在を獅子吼したる大説教である。	出版文部館
講壇と机上	柏井園	四八〇頁	二・五〇	基督教文學界の書宿たりし柏井園氏の書齋裡の思索と講壇の説教とを選せしものにして独自の内容と表現は故人の面目を躍如たらしむ。	警醒社書店
戸外に叩く主	武本喜代藏	三三〇頁	一・五〇	雜誌體の主筆として靈化運動の急先鋒たる著者がその運動の根柢をなす「戸外に叩く主」といふ神秘的信仰に關連した諸篇を收む。	警醒社書店

聖サントラル・シング	佐藤繁彦	四六判上装 二〇五頁送	一・四〇	聖者サツル・シングは偉大なる宗教的體驗者である。彼の熱烈な信仰生活と宗教的思想は吾人に深刻な感激を與へずにおかぬ。	イデア書院
聖フランシスコ・ザベリヨ	山本秀煌	四六判上装 一八七頁送	一・五〇	彼の人物學識信仰と又苦心努力を、當時の風俗文化を通じて見る時に、今更らに學ぶべきもの多く、感銘を禁ずることは出来ない。	イデア書院
沙漠は番紅花の如く	藤井武	四六判上装 一五〇頁送	一・五〇	靈性完成身體復活萬物復興を希望する希望の子即ち「沙漠は喜びて番紅花の如く咲く其時を望む」基督者たる著者の信仰と思索の論集。	岩波書店
聖アウグスティヌス懺悔録	中山昌樹	四六判上装 一五〇頁送	一・八〇	人間靈魂の最も深い内的經驗を赤裸に表現せる世界三大懺悔録の一也熱砂の如き情慾と清澄星の如き心靈との巨人的闘争史也。	新生堂
讚美歌	讚美歌委員	四六判第一編 小形紙 一・八〇	一・六〇	「さんびか」二編中の主要なる歌曲二百餘篇を選んで作者の小傳、歌曲の由來、變遷、反響及び時代の背景等を詳細に説き及んでゐる。	教文館
讚美歌物語	マクネア	四六判上装 一五〇頁送	二・五〇	箴言、傳道書、ヨブ記、雅歌、詩篇、哀歌等猶太民族の殘した詩と劇の解説。其處に深刻な人類の悩みが歌はれ大理想を寓されてゐる。	警醒社書店
舊約書の文學 詩歌と劇	渡邊善太	四六判上装 一五〇頁送	二・二〇	宇宙構造論より物質構成の電子説に至る最近自然科学を通じ宗教的眞理を明かにし神の實在と神と科學との合一性を叫ぶ。萬人必讀書。	警醒社書店
自然科學と宗教	工學博士 佐藤定吉	四六判上装 一五〇頁送	四・五〇	眞に基督を知らんとすれば初代の基督教即ち使徒時代を知らなければならぬ。此書は其時代を研究するに良書である。	厚生閣
使徒時代	工學博士 遠藤能完譯	四六判上装 一五〇頁送	一・六〇	福音は個人の靈性を目的とすると同時に社會を目的とする。寧ろ人類全體の救を全ふする爲めに社會的福音が必要である事を説く。	教文館
社會的福音の神學	ラウシエンブ フツシユ 友井 慎譯	四六判上装 一五〇頁送	一・六〇		出版部

殉教の兄弟	原 茂吉	四六判洋装 四三〇頁送	二・五〇	懺か宗教の岐路に立つて悩み盡し、遂に殉教の死を選べた兄弟。殘虐なる宗教裁判を背景として傳統と異端の争闘を描けるもの。	警醒社書店
食前の感謝	伊藤宗輔	菊中装 三三三頁送	一・〇〇	食前の短い感謝の祈りは家族打集ふて神と交感する所に特殊の意義がある。その模範的祈り三百六十を配して家庭聖化の一助とした。	厚生閣
信仰五十年	田村直臣	四六判上装 三三〇頁送	二・〇〇	安政五年生れの著者が靈的誕生五十年を記念して、人生の歩みと信仰の歴史を回顧し、同時に明治大正を貫く日本基督教界の側面史だ。	警醒社書店
信仰日記附歌ごころ	内村鑑三	菊中装 三三三頁送	一・三〇	透徹した史眼と冷靜な理智と熱烈なる信仰を以て使徒行傳以後の聖徒、殉教者、異端者等の生活の叙したるもの。前後篇二部完成せり。	警醒社書店
信仰の友	植村正久	四六判上装 三五〇頁送	一・〇〇	植村先生の遺著中最も博く讀まれ求道者信徒の間で深刻なる感動と激勵とを與へ來つた書傳道書として永遠の生命を持つものである。	警醒社書店
新 生	藤井武	四六判上装 二一〇頁送	一・七〇	著者が身に餘る恩寵を獨り恣に爲すに忍びずして公にせし者。渺たる小冊子に過ぎざるも氏が新生の光景の一斑を語り得て餘あり。	岩波書店
人生と宗教	工學博士 佐藤定吉	四六判上装 二一〇頁送	一・八〇	儂なき人生の彼岸にこそ滅びなき新天地がある。科學に徹して神を發見した博士の本書こそ惱める現代人への最大の慰藉と光明である。	厚生閣
人生のうた	藤井武	菊中装 一〇八頁送	一・六〇	限りなき人生の福を歌つた最も麗しい詩であり、著者が愛する日本國民に贈る希望と歡喜と光明とに満ちた朗らかな聲であり、希望の歌である。	岩波書店
新 生 命	工學博士 伊藤重吉譯	四六判上装 二六六頁送	一・三〇	信仰の幼稚なる信者の爲に、信仰生活に缺くべきからざる事柄を、一々聖書を引いて、痒い所へ手の届くやうに懇切に教へたるもの。	基督教書類會社

神秘と奉仕の宗教	WRインダ 田中勉之助	一六〇 一九三頁	送價 一・一六〇	宗教の神秘的方面と實際的方面、見えざる世界との交渉が人生に如何なる能力と感化とを與へるか。偉大なる哲人の宗教思想の紹介。	厚生閣
新約聖書神學	ステイヴンス 吉村大次郎譯	七〇〇 七〇〇頁	送價 五・二〇〇	新約聖書の神學思想を組織的に叙述したものは多くあるが、本書は到るに好評を博しえてゐる。	出版文部館
新約聖書物語	ハルバット 磯邊泰治譯	彩色版 彩色版	送價 二・一〇〇	新約聖書の記事を面白く子供に傳へたもので迎されたものはない。近來歐米で此書程歡迎されたものはない。	出版文部館
新約聖書物語	三浦關造	四六六 五〇〇頁	送價 三・一〇〇	キリストの波瀾ある生涯と其復活昇天後の使徒の熱烈なる傳道と當時の史實に基き著者の靈活な筆によつて書かれたるもの。	誠文堂
聖書の結婚觀	藤井武	四六六 三二〇頁	送價 一・一八〇	此の解決を等閑にして何人の生涯も有意義であり得ない。人生の重大事結婚について聖書は如何に語れるか。本書によつて見られよ。	岩波書店
聖書之研究	宮崎小八郎	四五六 五五五頁	送價 〇・三五〇	聖書は如何なる書なるか？その性質はどんなものか？その記事に對しては如何に考ふべきかなどを簡明に、説きたるもの。	同行社
生命の洗濯	高橋長藏	一六三 一六三頁	送價 〇・一八〇	二十年来罪に沈んで、鐵窓の中に呻吟してゐた著者が、キリストによつて更生の歡びに還つた、深い、貴い宗教體驗の告白書である。	基督教書類會社
聖書物語	ハルバット 磯邊泰治譯	八〇〇 八〇〇頁	送價 四・二〇〇	新約聖書物語の合本である、彩色版寫眞部備へておく價値あり。	出版文部館
體驗宗教の研究	佐藤繁彦	三三六 三三六頁	送價 二・二〇〇	(一)序論(二)體驗宗教の意義(三)本論(四)カントの結論。	收造社
デビト	ボーター 山本つち子譯	四六六 三二二頁	送價 〇・二〇〇	山の中で父に育てられ世間に出てからは厄介な物にされてゐたデビトは世界で風指の大音楽家の一人子であつたと云ふ面白い話。	出版文部館

天地生き活く	工學博士 田中龍夫	菊半 二四〇頁	送價 一・二四〇	田中博士の科學詩集であり同時に近代科學に裏づけられた神の福音である。電子説出て、進化論現れその何れも知識に出て信仰に還る。	警醒社書店
英和獨語集	内村鑑三	菊半 一八〇頁	送價 一・一〇〇	「聖書之研究」誌巻頭に連載せられ、歐文を蒐めて成れる者。著者獨特の英文を以て内外人に向ひ恐れず其信する所を語つて居ります。	岩波書店
ニコル・基督傳	柏井園	三三〇 三三〇頁	送價 二・二五〇	近代人の著した基督傳の多くが歴史の批評的である間にあつて初代使徒の如き白熱的信仰と豫言的精神を以て描かれし基督傳の名譯。	警醒社書店
日本基督教史 卷上	山本秀煌	菊判布裝 四七〇頁	送價 三・二五〇	近世日本文化に多大の色彩を影響を投じた基督傳の歴史は、斯界の權威たる著者が博く内外の史實を涉獵して發表せる畢生の大著なり。	新生堂
日本基督教史 卷下	山本秀煌	菊判布裝 五五〇頁	送價 四・二五〇	上巻の後を承け、關ヶ原戰役より徳川中世維新初期に及ぶ吾が基督傳の最も多事にて而も興味深き時代につき愈々精到な叙述を試みた。	新生堂
日本西教史 全二冊	太政官	菊判布裝 各壹〇頁	送價 各五・八〇〇	本書は足利時代の始めより徳川時代中葉に至る最も著名な史籍に就て細大洩す所なく記述せられたる。	太陽堂
パウロ研究	野々村戒三	四六六 二八〇頁	送價 二・二〇〇	東京女子大學に於て著者の講義せし稿録にしてパウロの生涯と事業を始め、その書翰の文學的地位、その神學に到る迄檢討せるもの。	警醒社書店
パウロ傳	高垣勳次郎	四六六 七七〇頁	送價 三・二五〇	著者の深き歴史眼と廣き地理的知識に加へるの幼年時代からその最後までを描けるもの。	警醒社書店
パウロの人格	ジエフ・ハー 中西貞雄譯	三一九 三一九頁	送價 一・二〇〇	パウロは人間味の缺けた超人的な傳道者でもなく冷たい教理者でもない血あり涙あり白熱の愛を抱いて吾等の中に立つ。	出版文部館
日々の基督	ミラー博士 津金潤村譯	四六六 七四〇頁	送價 一・二〇〇	全文を三百六十五日に分割し日々その一章宛に親しむ事によつて基督の生涯を學び、其教訓に親しみ啓發されるよふに仕組んである。	出版文部館

五十 週	日々 の聖訓	日々 の力	日々 の光	比 喻 釋 義	ピ リ ピ 書 註 解	靈 界 ペ ト ン 物 語	マ タ イ 傳 註 解	幻 な け れ ば	マン ・ イン ゼ ・ メイ キン グ Man in the making	神の最 後の書
田中龜之助	根本正	基督教書類社	トレンチ大野啓 ハイナド譯	インブリー 博士著 井深梶之助譯	近藤良重	田中達	今井三郎	今井三郎	クラーク	景山賀
三五判 布装 四一六頁 送	菊判 クロース 紙 一五〇 送	寸珍 總布 三七五頁 送	菊判 總布 四一九頁 送	菊判 上装 二〇〇 送	二四二頁 送	菊判 上装 五五〇頁 送	四六判 上装 一〇八頁 送	四六判 上装 一〇八頁 送	四六判 上装 一〇八頁 送	四六判 上装 一〇八頁 送
一・五〇	一・一〇	一・二〇	三・〇〇	二・〇〇	一・二〇	三・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	一・五〇	一・五〇
人生の苦難に遭遇せし時神の力を得んさせば 十二週に聖句を配列し味徳體感せしむるもの Daily Strength for Daily Needs の譯文に て一年三百六十五日日々修養の座右銘たり。 舊新約全書の名句を抜萃し、之を三百六十五 日に配したるもの、信仰の煉冶のため、獨撰の 自戒のため必携の寶典と云へる(東京朝日評) 聖書に載する比喩に對し定義、教訓、解説に 就て著者が多年の蘊蓄を披瀝したるもので、 三十の比喩を網羅し、一々批判詳論してある ピリピ書はパウロの愛の書簡である使徒時代 即ち初代の基督教社會の美はしい友情を見る に本書は鏡の如きものである。 サチユー、シングが非常に評判になつてある 者の外には傳はつてゐない。敢て此書を讀んだ 著者は稀に見る比較宗教學の學者であつた。 同氏の聖書に對する見識は未だ西歐の人の届 かざる域まで福音の意を深探つてゐる。 幻は理想である。理想のない人間は退歩する 今日の日本には、ごんな幻がなければならぬか 本書はそれを各方面から述べてゐる。 基督教精神に立つた平易な英文を教科書用に 編輯したものである。完全な英文集とも云へる 中等三四年程度。 聖ヨハネがパトモス島に流刑獄夫として苦役 して後、神喜の幻を得て悟りを開き、天國と 地上、愛と審判とを叙した宗教哲學の解説。	ルナンの「耶穌」以上最早耶穌傳を書く餘地 なしとの定評ある名著で、流麗典雅な佛蘭西 文はこの直接譯によつて完全に移植された。 神學と教條によつて神秘の雲深く掩はれてゐ た基督を近代人の心を以て直接に味は、んご 試みたる心理的基督傳である。 日々の讀物のよふに仕組れた信仰稱養の名著 である此世に處すべき肝要なる問題に思を潜 ましむることか本書の眼目である。 度に通つた言語態度の魅力は限りない。一般 の若い女子の良友并に母親や教師の参考書と するにも良書である。 舊約書は猶太民族の先祖が残した大きな遺産 だ。其中でも預言文學はヒブル宗教の精髓を 傳へるものとして無上の價値をもつ。その解説 著者が學者として詩人として又異常なる宗教 體験者たるを世に認めらるゝに至つた著作に して、著者朱筆補修の原本より新に訂正改版 文學士龜谷凌雲君(元富山縣の由緒ある寺院 の住職)は本書を購ひて熱心に愛讀し、之が動 機となつて基督教に改信するに至れりといふ 精神的に救はれた少女は周圍の人々にこのや うな美しい感化力を持つてゐるか本書をよむ 者には思ひ半ばにすぎない。 ルーテルの生涯中最主要部を叙説爲たる書に 他に不得る福音の眞髓は最明確に説かれたり 世界の産出せる最大偉人の一人。ルーテルの大 波瀾萬丈の生涯、内的苦闘の末遂に信仰の大 歡喜を獲得せる大英雄の深刻なる經驗書なり	厚生閣	出版文部館	出版文部館	出版文部館	傳文社	出版文部館	出版文部館	出版文部館	厚生閣

耶 蘇	耶 蘇 の 人 格	ゆ か し き た し な み	預 言 文 學	ヨ ハ ネ 傳 研 究	ヨ ハ ネ 傳 講 義	ル イ ズ	ル ー テ ル 傳 講 演 集	ル ー テ ル の 生 涯 及 事 業
廣瀬哲士	山田寅之助	スターレット 森田松榮譯	渡邊善太	柏井園	堀内文一	スビーア 弘中つち子譯	内村鑑三	リンゼー 藤井武譯
四六判 入布装 五三〇頁 送	四六判 型 四二〇頁 送	菊判 洋装 一三〇頁 送	六〇〇頁 送	四七〇頁 送	四六二頁 送	菊判 美装 一八二頁 送	四六判 布装 一六六頁 送	四六判 表装 一〇〇頁 送
二・八〇	二・五〇	〇・五〇	三・〇〇	二・八〇	二・五〇	〇・六〇	一・三〇	一・八〇
ルナンの「耶穌」以上最早耶穌傳を書く餘地 なしとの定評ある名著で、流麗典雅な佛蘭西 文はこの直接譯によつて完全に移植された。 神學と教條によつて神秘の雲深く掩はれてゐ た基督を近代人の心を以て直接に味は、んご 試みたる心理的基督傳である。 日々の讀物のよふに仕組れた信仰稱養の名著 である此世に處すべき肝要なる問題に思を潜 ましむることか本書の眼目である。 度に通つた言語態度の魅力は限りない。一般 の若い女子の良友并に母親や教師の参考書と するにも良書である。 舊約書は猶太民族の先祖が残した大きな遺産 だ。其中でも預言文學はヒブル宗教の精髓を 傳へるものとして無上の價値をもつ。その解説 著者が學者として詩人として又異常なる宗教 體験者たるを世に認めらるゝに至つた著作に して、著者朱筆補修の原本より新に訂正改版 文學士龜谷凌雲君(元富山縣の由緒ある寺院 の住職)は本書を購ひて熱心に愛讀し、之が動 機となつて基督教に改信するに至れりといふ 精神的に救はれた少女は周圍の人々にこのや うな美しい感化力を持つてゐるか本書をよむ 者には思ひ半ばにすぎない。 ルーテルの生涯中最主要部を叙説爲たる書に 他に不得る福音の眞髓は最明確に説かれたり 世界の産出せる最大偉人の一人。ルーテルの大 波瀾萬丈の生涯、内的苦闘の末遂に信仰の大 歡喜を獲得せる大英雄の深刻なる經驗書なり	東京堂	出版文部館	出版文部館	出版文部館	出版文部館	出版文部館	出版文部館	岩波書店

ルカ傳註解	村田四郎	菊入上裝判 四二〇頁 送價 二・五〇	基督教聖書の内のマタイ傳註解ピリヒ書註解等と一つの叢書をなせるものである。	出版文部館
靈交錄	栗原基譯	菊牛裁 四五〇頁 送價 一・〇〇	系統的に聖書の所々を一週の日々に割あて之を解説し聖日には一つの纏つた思想を體驗せしむるよふに書いてある好著である。	出版文部館
靈魂不滅觀	下村孝太郎	四六判 三七〇頁 送價 二・〇〇	化學研究中、學に殉じて失明せる下村博士が爾來試験管を捨て、靈魂の不滅を研究せんことを欲し哲學的科學的に思索した八ヶ年の記録	警醒社書店
靈性の危機	植村正久	三〇〇頁 送價 一・〇〇	「靈性の危機」以下植村先生が圓熟せる思想と信仰を以て福音新報紙上に數萬の信徒と見えし快心の説教中、代表的のものを選集す。	警醒社書店
舊約書の文學 歴史文學	渡邊善大	三〇〇頁 送價 三・五〇	現代世界の人類解放史の序説として特殊の意義を持つ舊約歴史文學の研究である。	警醒社書店
わが欽仰	マセソン博士 鷲山弟三郎譯	菊牛裁 二四〇頁 送價 〇・九〇	十九世紀の英國の牧師マセソンにしてワズワースの如き自然詩情が滲み出た詩篇にして牧師マセソン博士の如き自然詩情が滲み出た詩篇にして牧師マセソン博士の如き自然詩情が滲み出た詩篇にして	出版文部館
我國の實業家と基督教	泉田精一	二五三頁 送價 一・〇〇	日本現代の實業界に活動しつゝある、基督教主義の先聲諸氏の半生の事歴——信仰を實生活に織込みたる體驗談を叙したるものなり。	丁未出版社
哲 學				
生ける宇宙	エル・ビー・ジ ヤツクス 長澤三郎譯	一五五頁 送價 一・五〇	宇宙は生きて居るもの断定の下に教育・文化及靈魂不滅の三大問題を論じたものである。眞に燈明畫發見の感と與へずにはおかない名著	厚生閣
意識の問題	西田幾多郎	三〇〇頁 送價 二・三〇	「自覚に於ける直観と反省」の終に於て達した立場から主として意識の問題を論ず。此問題の攻究に依て精神科學の基礎概念を明にする。	岩波書店

意志と現識としての世界	シヨベンハウ エル 姉崎博士譯	菊判布裝 七五〇頁 送價 二・四〇	シヨ氏の哲學は近世思想とギリシア思想との融合、東洋思想と西洋思想との聯續、この大哲の名文、姉崎博士の麗筆にて譯出さる。	博文館
印度哲學研究	宇野博士 井伯壽	四六判 六〇〇頁 送價 五・五〇	學界を驚嘆せしめし名著の續篇。收る各篇何れも百頁に亘る長篇にして亦斯界未踏の研究にして卓見である。(第一第二索引を附す)	甲子社書房
生れ月の神祕	山田耕作	小型ボ 三〇〇頁 送價 一・五〇	大音楽家たる山田耕作氏にこんな研究があること既に不思議である。而も著者自身實に恐るべき程よく當ると告白してゐる好讀物。	日實業社
ヴントの哲學と心理學	西谷謙堂	四六判 二五〇頁 送價 一・八〇	ヴントの哲學概論、ヴントの心理學、ヴントの論理學、ヴントの哲學體系、ヴントの民族心理學に涉つて彼の全思想の醍醐味を傳へた好著	東京堂
科學概論	田邊元	菊判布裝 三七四頁 送價 二・八〇	批判哲學の見地より科學に依つて立つ所の基礎學的諸立脚地に關し其全體の歸趨を明にす	岩波書店
現代哲學に於ける科學と宗教	赤松智空	菊判布裝 五二八頁 送價 二・八〇	佛蘭西第一の碩學ブール博士の大作を現出せるもの、科學と宗教に關する圓熟せる思想と高遠なる研議とは好學者の精讀に値す。	博文館
科學に於ける哲學的方法	桑木嚴翼	四六判 一〇〇頁 送價 一・四〇	哲學と科學との交渉を歴史的に論じ謬られた科學に對して哲學的地位を辯明し新しい意味に於ける哲學的方法を科學に導入せる快著。	岩波書店
科學の價值	田邊元	四六判 三三〇頁 送價 一・八〇	原著は著者の數ある著述中最有名。文章秀麗の知識を美し精神を發露し他に求め難き獨特の内容に於ける哲學的方法を科學に導入せる快著。	岩波書店
カント雜考	桑木嚴翼	四六判 三四〇頁 送價 一・八〇	内容カントの自然觀。カントの物自體論に就て。カントの政治哲學に就て。問題としてのカント。カントと現代。等。	岩波書店
カント實踐理性批判	波多野精一 宮本和吉	菊判布裝 三七八頁 送價 二・八〇	近代哲學者の泰斗たるカントの熾烈、森嚴なる道徳感に參し其根本的なる道徳原理の究明に與り彼の本體を視ふは獨り本書に待つのみ	岩波書店

新刊 カント實踐理性批判	高松永 篤材 三四六頁 送價二〇八〇	カント純粹理性批判卷上	天野貞祐 菊判布裝 五七〇頁 送價四〇二七〇	カントと現代の哲學	桑木殿翼 菊判布裝 四八〇頁 送價三二二七〇	カントの實踐哲學	安倍能成 二四〇頁 送價一五八〇	カントの哲學	稻毛胤風 一〇〇頁 送價〇〇八〇	カントの目的論	田邊元 一六六頁 送價一八八〇	行の哲學	紀平正美 四二二頁 送價二二七〇	參訂 聖き愛の世界へ	帆足理一郎 四八〇頁 送價二四〇〇	アチ 希臘天才の諸相	和田中哲英 四六七頁 送價二一五〇	近世に於ける我の自覺史	文學博士 朝永三十郎 五〇一頁 送價三一五〇
カントの實踐理性を最も忠實に全譯したるも、 のに於てカント研究者の必讀を要する良書な り。譯文の正確なること定評あり。	カントの名を不朽ならしめし最重要著作。批 判哲學に同する否に拘らず、哲學者に必要 とする者に取て本書の攻究は不可避的に必要 とす。	二十世紀一切の思潮はカントの批評哲學より 流出で、復た、に流還る。カントを研究する 事はやがて現代を研究する事に他ならず。	カントの道徳哲學實踐哲學の精神は本來普遍 妥當其理解亦遙に一般的であり得る。彼の精 神は常に説く可く特に現代日本に力説を要す 難解なるカントの哲學に對し、斯界の權威者 たる著者が小冊子の中によく大哲學者の思想 の要旨と人格生活を平易明瞭に叙述せるもの 知識の對象たる自然と、道徳的意志の對象た る自由とを結合し、其統一としての文化の世 界に基礎を興ふるもの是である。	行の哲學とは人間文化の動力の研究である。 從て藝術、宗教、科學、哲學、又其等に應じ ての社會組織の批判である。	幽玄なる哲理を背景に著者が常に唱道してゐ る聖愛主義の宗教は此參訂改訂版せる一篇に一 段の藝術味を加へて活現してゐる。	希臘精神への手引として定評ある名著にして 西洋文化の理解が希臘精神の理解なくして不 可能なる以上現代日本人の必讀すべき書也。	ルネッサンスに於ける「我」の發見より現代の 新理想主義に論及し、獨逸哲學を一貫せる中心 特徴を捉へて叙説せり。												
帝國教育會 出版部	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	博文館	博文館	博文館	岩波書店	岩波書店	松陽堂	寶文館		

文藝及思想講習叢書 近代思想講話	片上伸 九〇頁 送價〇五四〇	藝術哲學	植田壽藏 三四四頁 送價二二七〇	藝術と道徳	西田幾多郎 四〇二頁 送價二二七〇	和ケール博士小品集	久保勉 四六六頁 送價二一五〇	和ケール博士續小品集	久保勉 五五〇頁 送價二一五〇	和ケール博士續小品集	久保勉 三七五頁 送價二〇八〇	獨ケール博士續々小品集	ケール 二四〇頁 送價三二五〇	現代三大思潮批判	佐々木吉三郎 三〇〇頁 送價一〇二〇	現代思想六講	金子白夢 一六〇頁 送價〇八五〇	現代哲學概論	文學博士 金子筑水 四三〇頁 送價二二八〇
ルネッサンス時代のモンテニエウの思想より説 いて近代思想を解剖し、オイケン・ベルグソン の新理想思潮迄、簡潔雄勁の文で説かれてゐる ○藝術の理念○藝術の進展性を新鋭の氏が熱烈に 論究す。	内容美の本質。感情の内容と意志の内容。 眞善美の合一。社會と個人。作用の意識。 美と善。法と道徳。眞と美。眞と善。	崇高なる人格あり流露せる其思想は神と哲學 と文藝とに對する誠實なる信仰の告白にして 圓熟優雅天來の啓示に富む。	崇高なる人格より流露せるケール先生の思 想は、神と哲學と文藝とに對する誠實なる信仰の 告白。圓熟優雅天來の啓示に富む。譯文高雅	希臘羅馬の古典より近代歐羅巴諸國の文學に 傾ける其博大なる學識と深遠なる理解とを 博士晩年の超地上的なものにして、魂の新鮮さ をつた思想を披瀝したるものにして、如き書をすむ を失はぬ若き人々に此の玉の如き書をすすむ 會て「教育研究」誌上に連載したるものを訂正 増補したるもの、現代思潮の變遷沿革を推究 し公正適確なる批判を加へたる好著書である	本書は人間教養の基調として宗教哲學藝術道 徳教育等現代人の生活に於て最も必要とする 問題に明快に流麗に叙述した人間讀本である	哲學の本領と範圍とは時代により變遷し推移 ある。現代に至つて甚だしく複雑多岐を極めて ゐる。著者は之を系統組織的に講述された。													
改造社	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	大日本 圖書會社	新生堂	東京堂				

古代日本の理想主義と其發達	里見岸雄	七九頁並裝	送價	〇五五	古代日本の理想主義を提げて全世界の主權者に讀んで一日も早く日本國體の正義を知れ。	誠志堂書店
ニエこの人を見よ	三井信衛	二六〇頁裝	送價	二〇八〇	全能の神すらも人類に向つて頽廢と衰亡を與へる弱者だ叫んだ彼れニエチエの思想は本書に簡明に語り盡されてゐる。	太陽堂
根本經驗論	永野芳夫	三〇〇頁裝	送價	二九六〇	獨創的主張をなす世界の識者を驚がした大天才オチエイムスの極致の哲學そのものである。	三共出版社
自覺に於ける直觀と反省	西田幾多郎	四三〇頁裝	送價	三二七〇	著者が多年の心血を凝いで獨特なる自覺的體系の見地より現代哲學の中心問題に深遠而精緻なる解決を與へたる其哲學的努力の結晶。	岩波書店
新學說大系第三編 時間と自由意志	ベルグソン	二四四頁裝	送價	二二〇〇	哲學の素養なきものにも直に以て譬喩と獨創に充ちたベルグソンの生命哲學直觀哲學の堂奥を知ることを得る二代代表著作を収めてゐる。	新潮社
新學說大系第六編 社會生活と精神生活	高橋正熊	二四〇頁裝	送價	二二〇〇	「社會主義」現代人は何故に宗教に立還りつつあるかの一編を收む。就て社會主義に對する深刻なる批判、現代人と宗教の交渉を聽ける。	新潮社
新學說大系第十一編 理想	津久井龍雄	二二八頁裝	送價	二〇八〇	道徳的中心の國家の必要を力説し、哲學者を以て帝王とすべき事を強調したもので、原書の高雅にして典麗なる文章の條を傳へてゐる。	新潮社
新學說大系第十三編 實踐理想批判	高井篤譯	二二二頁裝	送價	二二〇〇	中世以來の神秘主義を減却して、先天的な倫理學を設立せるものが實踐理想批判である。	新潮社
ニエ全集第一編 人間のな餘りに人間の	生田長江	四六六頁裝	送價	二一五〇	ニエ全集が嚴密にニエチエらしき思想と表白の如く七首の如く火藥の如き警語に成る。	新潮社
ニエ全集第三編 黎明	生田長江	四八一頁裝	送價	二一八〇	題名に十分象徴されたやうに是れこそは著者自らの大なる哲學の「黎明」であり、又最も壯烈なる新生命の「黎明」である。全集中の異彩	新潮社

ニエ全集第四編 悦ばしき智識	生田長江	四九二頁裝	送價	二一八〇	此の標題を見ても、當時の暗やかな作者の心境を想像する可く、内容も形式もニエチエが最も圓熟せる時期への最終の段階である。	新潮社
ニエ全集第五編 ツアラトウストラ	生田長江	五三〇頁裝	送價	二一八〇	ニエ全集集中、最も重きをなすものは此の書である。彼の奔放なる詩歌や深刻なる哲學や、悲壯なる宗教や收めて悉く此の中に在る。	新潮社
ニエ全集第六編 善惡の彼岸	生田長江	五五六頁裝	送價	二一八〇	この二つの著作に於て、ツアラトウストラの中に詩人的に表現されてゐた様々なるものが、改めて哲學的に論議されてゐるを見るであらう。	新潮社
貧者の實	メエテルリン	二二二頁裝	送價	〇七六〇	詩人として思想家として現代に於て最も大なる一人たる著者の論集で、神秘主義の眞髓と稱せらるゝもの。譯文精麗にして暢達。	新潮社
人生論	トルストイ	二二〇頁裝	送價	〇四五〇	トルストイの根本思想は、本書に於て遺憾なく窺ふことが出来る。まさに人生最高最貴の書としてあらゆる人に一本を捧げたく思ふ。	新潮社
性慾論	トルストイ	一九二頁裝	送價	〇四五〇	一面最も烈しき靈の渴望を抱きながら、一面更に最も強き肉の欲求に悩めるトルストイは、此「性慾論」に於て何を述べたであらうか。	新潮社
ツアラトウストラ 解釋並に批評	阿部次郎	四六六頁裝	送價	二〇八〇	極めて難解と稱さるゝ「ツアラトウストラ」の眞意を發きて其の幽趣微韻をも傳へんとするもの。ニエチエ論として眞に世界的權威である。	新潮社
思索と體驗 (増訂版)	西田幾多郎	三二四頁裝	送價	一八八〇	内容に認識論に於ける純理論派の主張に就て法則。論理の理解と數理の理解。自然科學と歴史學。ベルグソンの哲學的方法論。他九項。	岩波書店
自然と文化との諧調	笹川臨風	三一〇頁裝	送價	二〇八〇	我が文化史の一面、我が文藝史の側面を觀察せる名著にして自然を背景とせる建築、美術の趣味深き研究であり解説である。	博文館
社會哲學の諸問題	鈴木宗忠	三〇〇頁裝	送價	二〇八〇	社會哲學の諸問題を著者独自の見を以て明快に説述せられしもの。	天地書房

宗教哲學概論	帆足理一郎	菊判特裝 八五二頁送	五・八〇 二・四〇	著者の體驗を基とせる思索の結晶、宗教哲學に於て同時に一個の人生哲學である。本書一卷に於てなされた著者の講演である。豊かなる感情と力強い思索とを透して其講演が聴衆に響いたこと同じ感激を廣く讀者に期待する。美と藝術との思想的根源並に系統的的地位を明かにした。此問題に對し徹底的解決を與ふ。社會改造に關する近時の思想的混亂に對し人格主義の立場から解決の原理を示し、人性の理解と理想の情熱に基いた普遍人間の原理である。バウン博士パーソナリズムの翻譯なり丁寧懇切の以上の譯文を會て見ず熟讀玩味始めて本書の眞價を知り哲學の奧蘊を窺ふを得べし。	岩波書店
宗教哲學の本質 及び其の 根本問題	波多野精一	菊判布裝 一八二頁送	一・八〇 一・八〇	大學に於てなされた著者の講演である。豊かなる感情と力強い思索とを透して其講演が聴衆に響いたこと同じ感激を廣く讀者に期待する。美と藝術との思想的根源並に系統的的地位を明かにした。此問題に對し徹底的解決を與ふ。社會改造に關する近時の思想的混亂に對し人格主義の立場から解決の原理を示し、人性の理解と理想の情熱に基いた普遍人間の原理である。バウン博士パーソナリズムの翻譯なり丁寧懇切の以上の譯文を會て見ず熟讀玩味始めて本書の眞價を知り哲學の奧蘊を窺ふを得べし。	岩波書店
純粹美學原論	小笠原秀實	菊判總布 裝入 三〇〇頁送	二・八〇 二・二〇	美と藝術との思想的根源並に系統的的地位を明かにした。此問題に對し徹底的解決を與ふ。社會改造に關する近時の思想的混亂に對し人格主義の立場から解決の原理を示し、人性の理解と理想の情熱に基いた普遍人間の原理である。バウン博士パーソナリズムの翻譯なり丁寧懇切の以上の譯文を會て見ず熟讀玩味始めて本書の眞價を知り哲學の奧蘊を窺ふを得べし。	引導閣
人格主義	阿部次郎	菊判布裝 四五〇頁送	二・八〇 二・七〇	社會改造に關する近時の思想的混亂に對し人格主義の立場から解決の原理を示し、人性の理解と理想の情熱に基いた普遍人間の原理である。バウン博士パーソナリズムの翻譯なり丁寧懇切の以上の譯文を會て見ず熟讀玩味始めて本書の眞價を知り哲學の奧蘊を窺ふを得べし。	岩波書店
人格的宇宙觀	今泉眞幸	菊判洋裝 三一八頁送	二・五〇 一・八〇	社會改造に關する近時の思想的混亂に對し人格主義の立場から解決の原理を示し、人性の理解と理想の情熱に基いた普遍人間の原理である。バウン博士パーソナリズムの翻譯なり丁寧懇切の以上の譯文を會て見ず熟讀玩味始めて本書の眞價を知り哲學の奧蘊を窺ふを得べし。	出版文部館
人格の生活	文學博士 吉田靜致	菊判 三七六頁送	二・八〇 二・七〇	社會改造に關する近時の思想的混亂に對し人格主義の立場から解決の原理を示し、人性の理解と理想の情熱に基いた普遍人間の原理である。バウン博士パーソナリズムの翻譯なり丁寧懇切の以上の譯文を會て見ず熟讀玩味始めて本書の眞價を知り哲學の奧蘊を窺ふを得べし。	富山房
數理哲學研究	田邊元	菊判布裝 五二四頁送	三・五〇 二・七〇	本書は批評哲學の立場から現代數學の根本概念を論じ其認識論的性質を明にせし者。	岩波書店
生活の哲學	栗田仙堂	四六 〇〇頁判 送	一・〇〇 〇・八〇	現代生活の混亂せる思潮を概観し其基本的觀念を確立し批判能力を養ひ吾人の生活的基調を高唱せる警報なる卓見先づ一書を供へよ。	リズム出版部
生存競争の哲學	賀川豐彦	四六 〇〇頁判 送	二・〇〇 二・二〇	生存競争の原理を闡明し生存互助の哲理を説き生命の愛の力が生存競争を超越するを進化論的に證す。	改造社
生の哲學	リツケルト 小川義章譯	菊判上裝 三四六頁送	二・八〇 二・四〇	理想の魂なき生の偶像を禮讃するの愚を悟り眞の生の意義を闡明せるもの新理想の巨擘たる著者の傑作。	改造社

西洋近世哲學史 (ローマ字書)	桑木殿翼	菊判布裝 二四〇頁送	二・五〇 二・二七〇	東京帝大商大早大及女子大等の講義を骨子となして編まれた名著で學界久しく翹望して已まなかつた桑木先生最初の哲學史である。	岩波書店
西洋宗教思想史 (希臘の)	波多野精一	菊判布裝 二八五頁送	二・二〇 二・二七〇	ホメロスや抒情詩人や悲劇作家の藝術、ソクラテス以前の哲學、オルフィク教徒やピユタゴラスの徒に現れた神秘思想等を廣く詳述す。	同
大西博士全集三卷四卷	大西祝	總四六 布判 送	上三五〇 下二五〇 二・二六	本書上卷に於ては古代哲學と中世哲學とを收め、下卷に於ては近世哲學と相結んで西洋哲學思想の幹流を流し、その發展の跡を組織的に論述す。	警醒社書店
西洋哲學史	ロジャース 北吟吉譯	菊判 七八〇頁判 送	五・〇〇 二・二七〇	哲學史の新人北吟吉氏の最新譯ロジャースの西洋哲學史で原著は歐米諸大學の教科書として聲譽ありし權威書です。	富山房
西洋哲學史要	波多野精一	菊判洋裝 三六六頁送	二・三〇 二・二〇	哲學史の要を得たる點に於て行文の簡明淨潔に於て載量の妥當なる點に於て本書の右に出るものなし近年は學校教科書にも用ひらる。	大日本圖書會社
絕對運命の精神 (前編) 宇宙觀人生觀	大山幸太郎	菊判洋裝 四四〇頁送	三・〇〇 一・一八〇	日本人の獨創になれる唯一の系統的哲學でその徹底的思想は現代思想界の羅針盤たり教育の根本的問題を解決す鍵たるべきを信する。	目黒書店
善の研究 (改訂版)	西田幾多郎	菊判布裝 三二四頁送	一・八〇 一・一八〇	第一篇は著者の思想の根柢たる純粹經驗の性質を明にし第二篇は著者の哲學的思想を述べ第三篇は善を論じ第四篇は宗教に就て述ぶ。	岩波書店
創造と個性	宮島清	四六 〇〇頁判 送	一・〇〇 〇・八〇	ノルソン博士の所説を骨幹とし著者の體驗を肉體として發表されたもので高遠の學理を一片の小冊子にまとめ平明にしたるもの。	集成社
體系的哲學科精義	岡田怡川	菊判 四五〇頁判 送	三・八〇 三・三〇	本書は哲學科全般を收むる著作の嚆矢である。哲學概論、哲學史、藝術哲學、經濟哲學、宗教哲學、現代哲學思潮を述べ教育家讀書子に薦む。	太陽堂
大思想家の人生觀	オイケン 安倍能成譯	菊判布裝 八五〇頁送	四・五〇 三・六〇	人生の根據を明にし其理想を示すのが哲學第一の務である。オイケンが此立場から古今大思想家の人生觀を觀察敘述し批判したる者。	岩波書店

體認の系統	第四次延長の世界	妥當性の哲學	小さい哲學概論	教育の根本 問題としての哲學	哲學概說	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論	哲學概論		
小笠原秀實	成瀬關次	北 吟 吉	佐藤直丸	小原國芳	稻毛祖風	紀平正美	帆足理一郎	ウインデルバント 松原寛譯	伊達保美	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作	三浦藤作		
菊判總布 三五〇頁 装函入 送價	一〇〇頁 裝函入 送價	三四六頁 送價	四六六頁 二布裝 二二二頁 送價	五一一頁 菊判總布 送價	六九〇頁 菊判布裝 送價	五九〇頁 菊判布裝 送價	六〇〇頁 菊判布裝 送價	四三九頁 菊判布裝 送價	四五六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	二四六頁 菊判布裝 送價	
三・二〇 一・八〇	〇・五〇 〇・六〇	二・三〇 二・二〇	一・五〇 一・八〇	三・八〇 一・八〇	五・三〇 二・八〇	三・二〇 二・七〇	三・〇〇 一・八〇	四・三〇 一・八〇	三・五〇 一・六〇	一・五〇 〇・八〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇	四・八〇 二・七〇
論理の根源にある精神の自覚を基礎とし、此事 實より價値の系統を組織し、様式化したのが本書 著者十數年の思考と生活との結晶體なり。	第四次元の難問題を極めて平易に、而も哲學的 のアイニシタインの第四次元を載す。	新カント學派研究の權威たる著者は本書にそ の蘊蓄を傾け、妥當性概念を闡明し、その政治學 道徳學及エセテツクへの適用の可能を論じた	本書は哲學上の諸問題及び其思想發展の概観 にカントを中心として發展された現代の哲學並 に文化哲學の内容を懇説せる初學者の必讀書 二つを一つにして見たいと云ふ著者の要求か ら生れたもので、教育の針路を示すものである	本書は西洋哲學史、東洋哲學史、日本哲學史 を兼ねた現代哲學概論であつて、哲學に關する 學說一切を網羅す。哲學概論書中の白眉なり	著者其全人格の流露たる力の哲學を宣傳せん とする者。ヘーゲルの理に依てシヨウベンハ ワリーの意志に光明を與ふるが實に本書の抱負 一々明快なる批判を加へてある名著である。	邦語哲學概論中最良のもの、行文流麗、簡單 一々明快なる批判を加へてある名著である。	ウヰンデルバントは最もよく「哲學概論」の意 義と職分を理解した人である、哲學概論に して恐らく本書の右に出づるものはない	本書は現代思潮の源流たる批判本質その諸原 理及び諸問題を文獻的且つ系統的に展開した もので上巻だけでも孤立した本である。	専ら哲學の初學者又は學校講習會用の教科用 書として叙述せられた最も平易にして最も 系統的なる哲學概論なり。	あらゆる諸大家の學說を歐米及び日本の學界 に亘りて集成したものを、之を系統的體系に收 めて初學者に圓熟した知識を與へる新著。	古代希臘の悲劇から一般的法則を抽象するこ れ自身の存在の理由を説明したものである。	哲學者として、獨自の偉大さを持つてゐるシ ラーがカント哲學の精神に刺戟され、自らの體 験に基いて美及藝術の問題を論じたもの。	「形而上學叙説」ライブニッツ、アルノー、往復 書簡」を収む。是等はライブニッツの著述中最 も永遠的並に現代的の意義を有する者である	希臘哲學より現代哲學に至る學說相互の發展 的關係を明にし、尙哲學史全體の一大體系を示 し兼て哲學概論ならしむることに努めたり。	著者はマルクス派學徒で古代より近代に至る 哲學思想の史的考察と共に進化學說の變遷を 語るもの。	一般哲學研究者の爲めに廣義の現代文化哲學 全般に亘り平易簡明に編述したもので、故一讀直 に其の要點を把握し得るのである。	知識の正確に於て語彙の豊富、識見の高邁、内容 の最新、叙述の簡潔、説明の平易、檢索の簡便及び 價格の低廉に於て、今更贅言を要せざるべし。					
弘導閣	曠臺社	泰文社	廣文堂	イデア書院	廣文堂	岩波書店	新生堂	イデア書院	泰文社	帝國教育會 出版部	中興館	太陽堂	岩波書店	同	同	同	同	同	同	同	同	

哲學概論大集成	哲學綱要	哲學詩學	美學論集	形而上學叙説	哲學史綱	哲學思想の史的考察	現代哲學辭典	岩波哲學辭典
三浦藤作	桑木嚴翼	松浦嘉一	大庭米治郎	河野與一	北澤定吉	ウインターマン 森喜一譯	哲學研究會	岩波書店
六七八頁 送價	四八〇頁 送價	二六〇頁 送價	三四〇頁 送價	六五〇頁 送價	六五〇頁 送價	二四二頁 送價	四六六頁 送價	四六六頁 送價
四・八〇 二・七〇	三・二〇 二・一〇	二・二〇 二・二〇	二・五〇 二・二〇	三・八〇 二・七〇	二・三〇 二・二〇	二・〇〇 二・〇〇	三・七〇 一・八〇	一・八〇 五・四〇
帝國教育會 出版部	太陽堂	岩波書店	同	同	弘道館	改造社	啓文社	岩波書店

哲人叢書(1)	哲學叢書第一編	哲學叢書第二編	哲學叢書第三編	哲學叢書第四編	哲學叢書第五編	哲學叢書第六編	哲學叢書第八編	哲學叢書第九編	哲學叢書第一〇編
デカール	認識	最近の自然科学	哲學概論	論理學	西洋古代中世哲學史	論理學の根本問題	精神科學の根本問題	美 學	西洋近世哲學史
朝永三十郎	紀平正美	田邊元	宮本和吉	速水滉	安倍能成	阿部次郎	上野直昭	阿部次郎	安倍能成
菊判布裝	四二二頁送	三三〇頁送	三五二頁送	四二二頁送	三八四頁送	三五〇頁送	三三九頁送	三五六頁送	四六〇頁送
二・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇
アカトガル	論の批判	物理學	哲學の問題	多年教授	無味乾燥	近代思想	倫理と共	著者は精神	最新學說
先驅を抜いて	の批判に至つて	の中心として	立地より開眼	立地より開眼	立地より開眼	立地より開眼	立地より開眼	立地より開眼	立地より開眼
その創始者	最も心力を傾け	最近自然科学	全體を擧げて	全體を擧げて	全體を擧げて	全體を擧げて	全體を擧げて	全體を擧げて	全體を擧げて
目である	た	の問題を説き	見地を説き	見地を説き	見地を説き	見地を説き	見地を説き	見地を説き	見地を説き
所以	た	た	た	た	た	た	た	た	た
岩波書店	同	同	同	同	同	同	同	同	同

哲學叢書第一編	哲學叢書第二編	大系	大系	大系	大系	大系	大系	大系	大系
現代の哲學	心理學	カントの哲學	哲學體系及其他	カン 哲學と現代の教育	哲學と人生	哲學の改造	哲學の科學的方法	哲學の話	哲學
高橋里美	高橋 穰	松 永	桑木殿翼	岡田怡三雄	帆足理一郎	中島慎一	佐々木喜市	栗田仙堂	栗田仙堂
四三〇頁送	五五〇頁送	五五〇頁送	二六〇頁送	三八二頁送	四五〇頁送	二二六頁送	三三〇頁送	精巧印刷	精巧印刷
一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇	一・八〇
實證主義批判	世の心理學	至難なカント	博士が最近	難解なカント	哲學の人生	哲學の改造	經驗派哲學	初心の哲學	初心の哲學
網を擧げ説明	系に擧げ説明	研究して之を	を徹底的に	附けて論じた	哲學の人生	哲學の改造	に於ける論理	に於ける論理	に於ける論理
大體	大體	大體	大體	大體	大體	大體	大體	大體	大體
岩波書店	同	同	同	同	同	同	同	同	同

哲學の門	松原寛	四六判 二三四頁	送價 一・五〇	「藝術の門」「宗教の門」の姉妹編として初心者 の向つて極く平易に哲學への手引を書いたも のである。(東京日日評)	大阪屋號
哲學の問題	中込本治郎	菊判背革 二一〇頁	送價 一・七〇	經驗派哲學叢書第一編。有名なるラツセルの 哲學概論である。即ち哲學は何を問題とする かを説いたものである。哲學者の一讀を要す。	三共出版社
哲學の要領	橋本文憲	菊判布裝 三六〇頁	送價 二・二〇	本書は著者が豫て講義せるものを纏めたもの で哲學に關する一般の智識を極めて平易に叙 述したもので初學者必讀の良書である。	寶文館
哲學早わかり	小林鶯里	美表裝 四六頁	送價 〇・四〇	人生觀の樹立は萬人の要求する所、哲學は難 解のもの、一讀哲學全般の知識を得らる。 博學深厚なるコミアリストテレスミ併稱され るライブニッツのモナッド説其他の名篇を佛 蘭西の原書より嚴密に翻譯せる權威書である	文藝社
哲學名著選集 ライブニッツ	小暮永雄	美表裝 約一五〇頁	送價 一・九〇	愛の宗教に立脚せる創造的人格主義の一大福 音なる解剖刀を振つて人生至難の謎を解く。 本書には「人間不平等起原論」の外に「學藝論」 をも收めてある。此の二篇はルツソフが世界 の思想界に不動の地位を得た名篇である。	尙文堂
改訂 人間苦と人生の價値	帆足理一郎	美表裝 四四〇頁	送價 二・〇〇	所謂西南學派を大成した原著者が優秀な其根 本思想を開陳せる名著「認識論の二途」及「認 識の對象」なる大論文を極精確に譯出せり。	博文館
人間不平等起原論	内山賢次	四六判紙 二六〇頁	送價 一・八〇	ガントの高弟キユルベが實驗心理學の立場に あつて述べた美學で、美學史概説、美的原理 美の異態に詳細なよく纏つた美學原論である	太陽堂
ルツケ 認識の對象	山内得立	四六判 五〇〇頁	送價 二・〇〇	佛陀の最高哲學華嚴聖典とカントの二大批判 哲學との相似點を闡明して前人未發の說を立 てたるもの哲學研究者の好資料。	岩波書店
美學原論	藤井ユルベ	四六判 三六〇頁	送價 二・五〇	佛陀の最高哲學とカントの哲學	東京堂
佛陀の最高哲學と カントの哲學	龜谷聖譽	菊判布裝 一二五頁	送價 一・五〇		寶文館

物質觀の革命	田中龍夫	四六判 布四六頁	送價 一・四〇	最近電子説を根柢として唯物論を倒し自然科 學と宗教を握手せしめ現代人を再び神に還ら しめんとする著者の思想的根據をなす書。	警醒社書店
物理學と認識	桑木瑛雄	美表裝 二三四頁	送價 一・五〇	○物理學と認識 ○文藝上の描寫論と科學 ○物 理學上の認識の問題 ○絕對運動論 ○外四篇	改造社
普遍への復歸	西晋一郎	美表裝 三〇〇頁	送價 二・〇〇	謙虛自然な博士の多年の研究と體驗。我報本 反始の教に前人未言唯一徹底なる哲學的宗教 的解釋を下す。國家及國民道德研究の至寶。	日本社
プラトン對話篇(1) ソクラテスの辯明、クリトン	阿部次郎	菊判布裝 一五〇頁	送價 一・八〇	カント哲學から新しい實在の哲學を創出すに はプラトンに歸へる必要あり其意味で此書は 歴史の意義現代に對する豫言的意義に満てり	岩波書店
プラトンパイドン	菊池慧一郎	菊判布裝 二〇〇頁	送價 一・六〇	エルゴン、ロゴス、ミストの三大要素より成り ソクラテスの死及當日の模様を全篇の土臺と して大覺の偉大なる人格を傳て余す所なし。	同
プラプロタゴラス	菊池慧一郎	菊判布裝 三二〇頁	送價 二・一〇	プラトン初期の傑作啓蒙思想家のプロタゴラ スとソクラテスとの談論を以て骨子となし徳 の問題頗る看るべきものあり。譯筆流麗的確	同
文化生活と人間改造	帆足理一郎	美表裝 四八〇頁	送價 二・四〇	人生の活劇を大觀して著者はあらゆる方面 り社會改造の理想を搜り徹底的に人格主義を高 調せる新人の一大獅子吼。	博文館
リツケルトの歴史哲學	米田庄太郎	美表裝 六六六頁	送價 四・七〇	尤も解り易く解いた一書米田博士の懇到の釋 義亦喜ぶべし。	改造社
文化哲學叢書第二篇 新カント派の歴史哲學	板垣鷹穂	美表裝 二一八頁	送價 一・五〇	○歴史實在の意味 ○歴史哲學の概念と歴史 ○ カントの批判哲學と科學方法論 ○外三章	同
文化哲學叢書第一篇 ジムメルの經濟哲學	恒藤恭	美表裝 四四〇頁	送價 三・〇〇	○序説 ○本篇價値と貨幣 ○貨幣と實體價値 ○ 目的系列に於ける貨幣 ○附録著作年表參考書	同

文化哲學叢書第四篇 デイルタイの哲學	勝部謙造	二八四頁裝 送價	一・八〇 二・〇〇	〇傳記及び重なる著作〇デイルタイの哲學的立場〇精神科學論〇世界觀說〇藝術論〇結語	改造社	
無産階級の哲學	ヨセフ・ディンゲル 山川均譯	三三八頁裝 送價	二・五〇 二・二〇	現代のブルジョア哲學に對し無産哲學の新提唱新時代學徒の必讀すべき文獻	同	
無門關解釋	紀平正美	菊判ク 四〇六頁裝 送價	二・八〇 二・二七〇	著者は我國思想の一要素たる禪的思考を傳統的専門家に任せ置くべきでなしに無門關四十八則を論理的に解釋し思想の源泉を闡明す	岩波書店	
メシア思想を中心としたる イスラエル宗教文化史	文學博士 石橋智信	菊判布裝 七八〇頁裝 送價	四・八〇 一・八〇	從來の研究に缺けたるメシア・クリスト出現の思想的準備を一般宗教文化史の上からあつげんと努めた學位論文の公刊書	博文館	
現代に於ける 理想主義の哲學	文學博士 西田幾太郎	三五六頁裝 送價	一・八〇 一・二〇	我哲學界の權威たる著者が透徹明快なる頭腦も筆致を以て難澁の稱ある理想主義哲學を最も平明に講述せるものにて斯界の一大福音也	弘道館	
増訂 ルツソオ懺悔錄	石川戲庵	二四二頁裝 送價	四・〇〇 一・八〇	大正の劈頭に於て出版界を獨歩せし名著にして今尙需要盡くるなしルツソオ懺悔錄の譯書として此行屆きたる良書なり	大日本圖書會社	
笑の哲學	ベルグソン 廣瀬哲士譯	四六六頁裝 送價	二・〇〇 一・〇〇	本書は現代哲學界の最高權威ベルグソンの喜劇と滑稽に就ての研究であり笑の哲學である笑と笑文學の關係喜劇と悲劇等縱横に説く	東京堂	
倫理	カントの道德哲學	松永材	四六六頁裝 送價	一・三〇 〇・八〇	カントの道德哲學を明晰に叙述し其の精神を何人にもわかるやうに紹介したものに於て哲學的研究の必讀を要するものなり	帝國教育會出版部
教育的倫理學	文學博士 吉田熊次	菊判上裝 四七八頁裝 送價	三・〇〇 一・八〇	我國道德の根本たる本邦固有の道德思想と歐米傳來の倫理思想との融合調和を詳述せる他に比類なき良書也斯道に志す者一榮を賜へ	弘道館	

教育に關する勅語の本義	勿來關守	菊〇頁裝 送價	〇・二五 〇・二五	文字や語句のみの解釋にあらす専ら聖旨に基き勅語の本義を闡明せしもの也學校に於ては子弟の教養に家庭に在ては自己の修養に適用す	山海堂
現代青年處女の作法	玉井廣平	菊半洋裝 一六〇頁裝 送價	一・〇〇 〇・四〇	新しい時代には又其に適應する禮儀作法がある本書は其れを精査撰擇して詳細な説明を付したもので青年處女の必讀すべき良書である	文展堂
現代の作法	松元三千秋	三判洋裝 一〇〇頁裝 送價	〇・二五 〇・二五	前年文部省で作法教授事項取調委員の、師範中學校中學校作法教授要項に就いて審議決定したるものを骨子として詳述されてある	川流堂
行爲の價値	土屋幸正	菊判布裝 四五〇頁裝 送價	三・九〇 二・五〇	倫理學の根本論に於て東西大家の重要學說を詳かにすると同時に真正適確なる批判を加へたるもの	天地書房
公民科概論	大杉謹一	三判布裝 三三〇頁裝 送價	一・八〇 一・二〇	公民教育は既に實行の時期に入つた。茲に著者は北米に於ける各種公民科教科書を研究して教育者の參考の爲め本書を發表した	三共出版社
公民倫理	マツカ 宮田一譯	四六六頁裝 送價	二・五〇 一・八〇	本書は民主的公民の主要なる特色を倫理的事實と信念とに結びつけて説いたもので、現代の世相に鑑み時代に最も適合した良書	廣文館
國體と倫理	文學博士 吉田熊次	菊判布裝 五四四頁裝 送價	三・八〇 二・七〇	國體觀念、祖先崇拜、國民性、神道、武士道等の發達を闡明し更に國史教育と地理的環境との特質、國民道德研究の沿革を敘述せり	富山房
國民道德史論	河野省三	菊判本裝 三〇〇頁裝 送價	二・〇〇 一・二〇	國民道德を歴史的に詳述して現代思潮の批判に及ぶ。教育家座右必備の寶典である	森江書店
國民道德と現代思想	櫻井賢三	菊判布裝 四〇〇頁裝 送價	二・二〇 一・二〇	國民道德專攻の著者が其蘊蓄卓見を詳密に叙述せるものにして其眞髓と發展とは勿論荷も國民道德に關する一切の知識寶庫を含蓄す	寶文館
國民道德要義	文學博士 深作安文	菊判布裝 六五八頁裝 送價	四・〇〇 一・六〇		弘道館

國民道徳要論	河野省三	菊判本裝 二六五頁	送價 二〇〇	現代思想に直面して現れた新しい國民生活に接觸して建設された堅實なる我國國民性を根底として研究された生氣ある國民道徳論である	森江書店
國民道徳要領	吉田靜致	菊判裝 二五〇	送價 二一〇	本書は我が國民道徳の由來とその特質を述べ、その益々發揮すべき所以を力説せる文檢受驗者必讀の良書なり。	寶文館
作興詔書十講	渡邊小洋	菊判洋裝 一六八頁	送價 一三〇	國難來！國難來！此國難を突破して國運發展を圖るの道は「作興詔書」の遵奉實踐のみ本書は此詔書を透徹明快地に講義せる國民必携の書	國民精神社
三大詔勅謹解	新教育研究會	菊判布裝 二八〇頁	送價 一〇〇	教育勅語、戊申詔書、國民精神作興に關する詔書につぎ大御心の存する所を謹解し以て國民精神の發展に貢獻すべく編纂したのである	三共出版社
主觀道徳要旨	藤井健次郎	菊判洋裝 六一九頁	送價 一五〇	倫理學を事實科學なりとして從來の想像説を排斥し常識的道徳意識を徹底的に説明叙説し何にも能く理解する、斯界の一大好著也。	弘道館
思想善導	小林篤里	美表裝 四六頁	送價 〇四〇	思想善導の急務であることは多言を要しない。徒に六ヶ敷く、堅苦しく主張してゐる秋では、ない。本書は平易にその目的を果さんとする。	文藝社
文部修身科教案提要	研究會	菊判布裝 四〇〇頁	送價 三〇〇	中學校修身科教授細目を参照して文檢委員の著書數種を精密に研究し依て各學年の教材を配當し適切簡明に毎課毎時の教案を示したり	啓文社
文部修身科受驗提要	三浦藤作	菊判布裝 六〇〇頁	送價 三二〇	修身科全部の學說を系統的に編述せるもの合力的智識の絕對標準を示し且ノート作成の勞力を省かしむ受驗者無二の指針である。	同
實業修身教科書	高深木安武	菊判洋裝 全上下二冊	送價 一八〇	本書は補習前期の都市用として編著せる良教科書也。科書也都市の青少年訓育に最も關係深き資料を選択排列し貫くに詔勅の大精神を以てせり	弘道館
實業修身教科書	高深木安武	菊判洋裝 全上下二冊	送價 一八〇	本書は補習前期用として編著せる良教科書也。農村の青少年訓育に恰好なる教材を選択排列し聖旨一貫の大精神に基けるは他に比類なし	同

生活内省と修身教育	河野通賴	菊判布裝 三一五頁	送價 二五〇	生活内省を根本として個人主義生活と新道徳を考察し藝術・宗教・公民教育との見解を希念を叙し修身教育に及ぶ。熟讀三省に價す。	厚生閣
西洋倫理學史	三浦藤作	菊判布裝 五三二頁	送價 四二七〇	高等程度の諸學校に參考書として公認せられ盛んに採用されて居る、日本唯一の特色ある又要を得た倫理學史だに推賞されて居る。	中興館
西洋倫理學史	市川一郎	菊判布裝 五二〇頁	送價 三三八〇	倫理學說を十九世紀に止めず現代の諸大家全部の說をも悉く網羅しこれを系統的に而も闡明に叙述したるの文檢受驗者必讀の名書。	啓文社
攝政殿下の御日常	山本信次郎	菊判活字 一三〇頁	送價 〇七五	日本國民として攝政殿下を知らないものは殆んどないであらうが、本書に接すれば猶ほ其日常が明かに分るのである、直に本書に接せ	警友社
體系的修身科精義	岡田怡川	菊判洋裝 四五〇頁	送價 三三八〇	本書は文檢修身科の參考書にして、倫理學、倫理學史、東洋倫理及び史、國民道徳、社會倫理、實踐倫理、倫理思潮等を要領よく説く	太陽堂
再大正中等修身書	山本良吉	菊判洋裝 全五冊	送價 二一八五	輓近の世相に鑑み社會生活を重視し立憲思想の涵養國際的關係民族的美點の發揮に努め再訂編述せる者眞に斯界の一大燈明臺なり。	弘道館
小さい國民道徳	蜷川龍夫	菊判洋裝 二六〇頁	送價 一五八〇	赤化思想宣傳の熾烈なる折柄、此の弊風打破國民道徳樹立と發展とを目的として著された好著で、天下萬民必讀咀嚼すべき最良書。	廣文堂
小さい倫理學	蜷川龍夫	菊判洋裝 一八四頁	送價 一八〇	本書は人間生活、道徳的判斷、真心に關する考察、道徳的標準、本務、徳、等一般に堅苦しく考へらる、倫理學を最も簡潔平易に解説す	同
道徳思想の發達	野上俊夫	菊判洋裝 二四六頁	送價 一五二〇	思想問題に煩悶せる青年男女、その解決をなさんとする世の識者に必讀の好著也要之本書は大學講座の延長大學講演のエキス。	弘道館
カン道徳哲學原論	安原能正成	菊判布裝 二〇〇頁	送價 一八八〇	批判的道徳の面目を最簡明に示す重要著述。實踐性批判に於る根本問題は本書に備る。批判の堂に入らんとする者の必讀を要す。	岩波書店

道徳の原理	吉田博士致	四菊判布裝 四五〇頁送	三・一八〇	著者の持説「特殊即普通主義」を徹底的に高調せるもの。人生一切の困難問題も労働問題も政治問題も社會問題も本書能く之を解決せん。	寶文館
訂改 東洋倫理綱要	服部宇之吉	四菊判美裝 四〇〇頁送	三・二七〇	博士の東洋倫理説は、西洋倫理を比較參酌し組織整然見卓越。從來諸説の缺點を補ひて遙かに時流を抽く。實に文檢受驗者の必讀書	京文社
東洋倫理思想概論	岩橋遵成	三菊判布裝 三七〇頁送	三・二五〇	東洋倫理の概要を平明に詳述したるもの。	天地書房
日本國民道徳	村上辰午郎	三菊判上裝 三二〇頁送	二・一六〇	國民道徳につき著者の權威は定評がある。本書は主として中等學校の教科書専門學校の參考書として著作されたもので好評を博してゐる。	南郊社
日本道徳論	清原貞雄	五菊判上裝 五六四頁送	四・三〇〇	本書は從來學者の敢て試みなかつた歴史の考察を爲して立言堂々六百頁に亘り眞に道徳學の堂奥を衝く概がある教育家學者の必讀書	改造社
日本倫理學史	三浦藤作	五菊判布裝 五四九頁送	四・二五〇	此の位工合よくまとまつた本は他にない。該博なる研究を精細に叙述し、極めて明快に讀者の頭腦に組織的の體系と記述を刻み込む	中興館
日本倫理思想の系統	文學博士 補永茂助	四菊判布裝 四〇〇頁送	三・二八〇	神道武士道儒教獨立學派心學派等の史的討論を重れその代表的人物を列挙し一々彼の論議と言行を説いて脈絡整然たるもの也。	天地書房
輓近倫理學說研究	三浦藤作	三菊判布裝 三四〇頁送	三・一〇〇	倫理學に造詣深き著者最近倫理思想を最も適確明晰に叙述す輓近の倫理學說を最も系統的に最も平易に紹介したるものたゞ本書あるのみ	文化書房
婦人の新倫理	近藤貞董	三菊判布裝 二一四頁送	一・一五〇	新らしき時代に於て、女性は如何に新らしき理想に生かすべきかを實際問題を背景にして説く。某女學校はこれを好箇の參考書と認定す	傳文社
普遍への復歸	西晋一郎	三菊判洋裝 三〇〇頁送	二・一〇〇	個我と普遍との關係に對する著者獨特の見地より我報本反始の教に深き哲學的宗教的意義を見出したるもの。眞に國民道徳研究の至寶	日本社

約説 倫理學史	三浦藤作	四菊判布裝 四〇七頁送	二・一九〇	日本・東洋・西洋の倫理學を多くの表によつて歴史的に羅列約説した。高等學生・文檢受驗者の頭腦を纏めるに頗る適切なものである。	中興館
倫理學	菰田萬一郎	七菊判布裝 七五〇頁送	三・二一〇	原著者ジュエ・イ・タフツは倫理學の權威者として世界的聲名あり、今や譯者其人を得て最も完全なる邦譯出づ。	博文館
倫理學	文學博士 大西祝	四菊判布裝 四八〇頁送	二・二五〇	倫理學は大西博士の最も力を注いで研究せられたる學科にして、その説き方の精緻周到にして且つ批評的なる優に斯學研究者の教權たり	警醒社書店
倫理學原理	土屋幸正	四菊判布裝 四六〇頁送	三・二八〇	道徳上の諸問題を透徹せる論旨で飽くまで徹底的に取扱はれたるもの、論斷の周到なるに敘述の巧妙なるさは他に比を見ざるもの。	天地書房
倫理學原論	馬場文翁	三菊判布裝 三一〇頁送	二・一五〇	著者が研鑽數年の結果に成りたる名著、倫理學の基本原論に觸れた根本的叙説を試みた點に於て他の類書と其撰を異にしてゐる。	寶文館
倫理學原論	市川一郎	五菊判布裝 五〇〇頁送	三・一〇〇	倫理學說中最も缺點少く且吾々道義心に満足する與へる自我實現説を叙述せるミュア・ヘット倫理學の最新改訂第三版を翻譯せるもの。	啓文社
倫理學史綱	北澤定吉	四菊判洋裝 四三〇頁送	三・一五〇	透徹明瞭なる頭腦を以て懇切に斯學の概念的性質を明にし思想の變遷學說の立脚地を系統的に辨別叙述し以て其發展を明示せるものなり	弘道館
倫理學說精義	三浦藤作	四菊判布裝 四五〇頁送	三・三八〇	古今東西の代表的學說を最も詳細・的確に批判し其歸着點を明かにしたるもの、倫理史と概論との長所を併有せる良書である。	太陽堂
倫理學大集成	三浦藤作	八菊判布裝 八六七頁送	五・二五〇	古今東西の學說を集め其の精粹を抜き分派異論を集成大成した。文檢受驗者唯一の好師友と稱せられ今や訂正七版を發行した。	中興館
倫理學の根本問題	西晋一郎	三菊判布裝 三四二頁送	二・二七〇	著者の體系的思想を基礎として倫理學の根本問題(1)意識と道徳的原理(2)道徳と客觀界(3)道徳と藝術及宗教(4)自然の理性化	岩波書店

スツプ 倫理學の根本問題	藤井健治郎	菊判布裝 六〇〇頁	送價 三・八〇	内容は悉く人格主義を以て一貫し自由なる人 格の力と光とを躍々として讀む人の胸にさし 迫り、生命の甦新をさせれば止まぬ感觸あり 人倫の道は總ての根本である。倫理は學者の ある。學問ではない國民一般の心得べきこと ある。本書によれば一讀直ちに了解せらる。	同文館
倫理學の話	小林篤里	美六表判 表裝送價	〇・四〇	年四回の發行にて東京高等師範學校倫理教育 研究會の編纂により諸大家の研究を發表した るものにて斯學研究者の唯一の參考書。	文藝社
倫理教育研究	東京高師 倫理研究會	菊判洋裝 二五〇頁	送價 一〇〇	功利主義が英國の政治道德の基調をなすは 人の知る所なるが本書は之に關し著者年來研 鑽の結果を公にせるもの實に無二の資料。	寶文館
倫理叢書第一篇 英國の政治道德の基調としての功利 主義の發達	島本愛之助	菊判布裝 三九〇頁	送價 二〇〇	何人も生を國家に托する以上は倫理學の國家 生活に關し著者多年の蘊蓄を傾倒したるもの 問題に關し著者多年の蘊蓄を傾倒したるもの	同
倫理叢書第二篇 國民生活の倫理	池岡直孝	菊判布裝 四五〇頁	送價 二〇〇	世に國民道德を説きたる書多し。雖未だこれ を歴史的に究明したるものあるなし。倫理學 者にして國民史に造詣深き先生の徹底的名著。	同
倫理叢書第三篇 日本國民道德史	伊藤千惠三	菊判布裝 四六〇頁	送價 二〇〇	新日本の自主的建設の爲井上博士が多年の蘊 蓄を傾倒して大成、多くの缺點と危険とで満 ざれてゐる累卵の日本を救ふ唯一無二の名著	同
我が國體と國民道德	井上哲次郎	菊判布裝 四九八頁	送價 三・八〇	宗教學の學理的基礎に立ち歴史的事實と國民 的理想的を考へて我國體の眞髓を闡明し又之 を神道の關係を精密に叙述論評せる好著也。	廣文堂
我國體と神道	加藤玄智	洋六判裝 四六頁	送價 二・五〇		弘道館
生きる人とする心理	橋本嘉勝	四六判ボ ブリン装 二五〇頁	送價 二〇〇	生きる人とする意志の活動を觀察したる情意心 理學である。情意の活動する目的性とその過 程とを平明に叙述してある、獨創的なる研究	丸木書店

ヴントの民族心理學	桑田芳藏	菊判上裝 五一六頁	送價 三・五〇	(一)序論(二)本論民族心理學(三)別論文化と 歴史(四)文化の領域(五)文化の將來(四)附録	改造社
學校兒童心理學	關寛之	菊判上裝 四七二頁	送價 二・七〇	○學齡兒童を研究の對象として實驗的にまた 演繹的にその心理狀態を考究したる教育的心 理學である。	同
學習心理	武瀨政太郎	菊判洋裝 五〇〇頁	送價 三・〇〇	コルヴィン氏原著 機能主義と實用主義の立 場より教育心理學を組織し、種々なる教育 問題に心理學上より解決を與へたる好參考書	松邑三松堂
教育心理學講義	セームス博士 福來友吉譯	菊判洋裝 送價	二・三〇	著者は自己の性格の同型なるセームス博士の 原著を努めて平明輕快の筆を以て譯述せるも のにして一讀やがて巻を掩ふ能はざらざるも	弘道館
教育的測定學	田中寛一	菊判裝 送價	四・〇〇	心理學界の泰斗田中博士が最近歐米より歸朝 せられ第一著手として發表せられた斯界の珍 寶である。	松邑三松堂
教育的發生心理學	大瀨甚太郎	菊判布裝 五四〇頁	送價 三・五〇	總ての心理學は必ず發生的原理の基礎に立ち て發生的特質を有たなければならぬ。原著者 イー・エイ・カークハートリック氏は云ふ。	同
思想と人格	巽軒叢書 文學博士 深作安文	菊判 五〇〇頁	送價 三・五〇		富山房
實驗心理學十講	文學博士 松本亦太郎	洋六判 六二二頁	送價 五・〇〇	最新研究の結晶たる本書は江湖より熱狂的歡 迎を受けたつゝありスクリブナー・チャップ マン等諸大家の實驗研究の結果を簡明平易に詳述	弘道館
實際的心理學	高島平三郎	菊判布裝 三八〇頁	送價 三・八〇	最新心理學の通俗化應用化を企てられた名著 活上の諸事實に適用應用を以て日常百般的實生	廣文堂
兒童心理學	吉原登	中判美裝 三〇四頁	送價 一・二〇	本書は主としてワイルドの兒童心理學序論と 兒童心理學の全般を概論し一定の組織に纏む	同

最新 兒童心理學	關 寬 之	菊判 三六二頁 送價 二・八〇	從來の古い兒童心理學の殻を破つて新しく組 織立て、精神生物學を背景として行動主義的 心理を加味した教育者の必讀活用の良書。	廣 文 堂
兒童心理講話	高島平三郎	中判布裝 三五〇頁 送價 三・五〇	嬰兒・幼兒・少年・青年の心身發達の過程、知情 意の心的作用と教育との關係等兒童心理の全 般を何人に解るやうに懇説す通俗平易類書の王	同
宗教心理學	藤井 章	菊判布裝 四八〇頁 送價 四・五〇	科學的基礎の確でない宗教の生命は甚だ短い 將來に宗教心理學の力を無視する譯にゆかぬ 學殊に宗教心理學の力を無視する譯にゆかぬ	丙午出版社
心理學	田中博士 外三博士	菊判洋裝 二二六頁 送價 〇・八八	心理學の二大傾向である構成的研究と機能的 研究との成果を採り實驗的立脚地から意識現 象を説明し尙人間工學的研究にも加味した。	松邑三松堂
參考心理學	久保良英	菊判布裝 五四八頁 送價 二・四八	心理學に通曉する絶好の參考書、著者其人を 得て深遠なる研究を周到懇切なる叙述に托し 理解に易からしむ。	博文館
心理學概論	見尾勝馬	四六〇頁 送價 二・五〇	本書は兩著者が多年大學に於て構成せる經驗 を綜合せるものにして平易且嚴密なる正に心 理學上の劃期的著作である。	早稲田社
心理學講話	文學博士 松本亦太郎	四六六頁 送價 四・二〇	一般心理學を體得せんと欲する學徒のために 解り易く書かれた我國で心理學の最良書。	改造社
心理學綱要	高島平三郎	四〇〇頁 送價 二・三〇	本書は心理學界の權威者高島先生が一般心理 學を系統的に組織したて、解説されたものであ る。師範學校專攻科女學校高等科生等必讀書	廣文堂
心理學綱要	文學博士 元良勇次郎	菊判洋裝 三三二頁 送價 二・五〇	我邦心理學の元祖たる著者が可及的卑近の實 例をさり心理學の一般を何たるかを知らしむ ものにて何人にも斯學の何たるかを知らしむ	弘道館
最新心理學十講	小熊虎之助	菊判布裝 四五〇頁 送價 三・五〇	心理學の一般基礎的知識の平易にして興味あ る系統的叙述、並に實驗、犯罪、應用等各種 心理學の大觀及び多數の具體的なる圖解。	太陽堂

心理學新教科書	文學博士 塚原政次	菊判洋裝 全一冊 送價 二・六三	博士は新界の一大明星也本書は豐富なる學識 の幾多の創見卓説は他にその餘を觀ざる所也	弘 道 館
心理學大集成	三浦 藤 作	菊判布裝 一〇三頁 送價 六・三六	本書一部を讀破すれば數十部の心理學書を獵 せられ文檢受驗者の寶典となつて居る。	中 興 館
訂增心理學通義	上野 陽 一	菊判洋裝 九〇餘頁 送價 四・五八	說明の親切丁寧は無数の挿圖と相俟つて人の 知らんと欲する所を盡せり本書の特徴は趣味 豐富の點に在り斯界の珍書として推獎す。	大 日 本 書 會 社
心理學と兒童心理	多田不二	四六八頁 送價 二・五〇	心理學の一般と殊に、兒童心理について詳説 の必用なる兒童心理學を平明に説いて、人 吾々はまづ自分自身を知らなくてはならない に叙述して國民一般に心理を了解させる物。	日 實 業 社
心理學の話	小林 鷺 里	四六八頁 送價 〇・四〇	本書は從來一般に行はれてゐた心理學に對し て革命の導火を點じた最も斬新味獨創味に富 む精神科學派の心理學を力説せる良書である	文 藝 社
精神科學的心理學	蘆田正喜	菊判美裝 普及版 送價 一・二〇	本書は精神分析學の正統流たるフロイド學派 の學說を叙述し、其の應用を明示し、且その 批判を試みたもので教育者、一般世人必讀書	廣 文 堂
精神分析學	前野喜代治	菊判洋裝 二二四頁 送價 一・二〇	本書は團體としての精神作用を學理と實際の 上より詳述してこれを教育上作業上如何に應 用すべきかの重大問題を一切解決せる名著。	同
團體心理學	山本義夫	菊判洋裝 二〇〇頁 送價 一・二〇	本書は著者が高等學校生への講義の大意を組 織付られたもので新傾向の學說を加へて一般 心理學の諸問題を一言の無駄なく叙説す。	同
小さい心理學	後藤弘毅	中判布裝 二〇二頁 送價 一・八〇	近代思想の理解は必然にカントの理解を以て 始まらなければならぬ。本書は複雑難解なカ ントの論理を極平明な國語に寫してある。	同
知識の問題(カント認識論の解釋)	村岡省吾郎	菊判布裝 一五二頁 送價 一・二〇		岩 波 書 店

論理學概論	永野芳夫	菊判背革裝 六二〇頁 送價 三・一八〇	論理學說の二大主流たる希臘の形式論理と印度に起れる因明法を明かにし更に近世のペイコン及ミルの歸納法にも及んでゐる。	警醒社書店
論理學	田外三博士	菊判洋裝 一二三頁 送價 〇・五〇	本書は特に方法論を詳しく書いたこの方面は小學校に於ける實際の教授及び研究と密接な關係有り。尚教授要目範圍で新叙述試みた。	松邑三松堂
小さい論理學	後藤弘毅	布裝函入判 二〇二頁 送價 一・一八〇	本書は著者が高等學校で行はれた講義を骨子として論理學の全般を自己の體驗と共に平易に叙述された好著。眞理思慕求道者必讀の書。	廣文堂
論理學	大西博士全集一卷	文學博士 祝 五六〇頁 送價 二・二五〇	論理學說の二大主流たる希臘の形式論理と印度に起れる因明法を明かにし更に近世のペイコン及ミルの歸納法にも及んでゐる。	警醒社書店
夢學	高峰博	菊判布裝 八六二頁 送價 六・五〇	不可思議な夢に關する一切を學術的に考察し大成せる最も興味深き名著である。精神作用としての夢の研究は一切本書に詳し必讀あれ。	廣文堂
佛教心理の研究	橋惠勝	菊判布裝 二二四頁 送價 二・〇〇	大藏經に散見する心理說を組織して纏めたるもの。意識過程と意識内容を區別して觀察したるが如きは泰西心理學者の未知の研究。	丸木書店
日本國民思想史	清原貞雄	菊判布裝 七三〇頁 送價 五・五〇	著者多年研究の一端を今公にせり現下國民思想の傾向に留意するの士又は日本文化の研究に興味を有する人の是非一讀を要する書。	寶文館
二十四の腦髓	三浦逸雄	菊判布裝 四〇〇頁 送價 二・八〇	パビニの文藝哲學論集である。ダンテ、シルレル、ヘーゲル、ニイチエ、ハムレット等廿四の藝聖をパビニ獨得の辛辣に批評したるもの。	弘文社
智能心理學	文學博士 松本亦太郎	菊判上裝 二〇〇頁 送價 九・〇〇	人間力の智能方面を、博士独自の廣汎にして精緻なる立場より研究したるもの。	改造社

支那哲學

論理學概論	永野芳夫	菊判上裝 三五〇頁 送價 一・一五〇	論理學の一般に亘り正確なる概念を得せしむべく平易丁寧に説明したるもの。師範校及專門學校程度の教科書として最も適當なり。	三共出版社
新論理學綱要	紀平正美	菊判洋裝 三五八頁 送價 二・一五〇	乾燥無味なる論理を平明に叙述し趣味と實益とを兼備せしめ且處處々に註解を挿みて注意を促し最も最新の研究に成れる無二の良著なり。	弘道館
論理學早わかり	小林鷲里	美四六裝 送價 〇・四〇	演說にも、談話にも、文章にも常に論理學は基礎をなすものである。本書の如く平易に述べれば論理學は決して難解のものにあらず。	文藝社
易と運命之研究	武市雄圖馬	菊判洋裝 八七〇頁 送價 二・一五〇	易を讀んで、章編三たび絶つて古聖も云つた命を易と自然科學とより研究したものである。	六合館
管子	有朋堂文庫型 天金綴布裝 九五〇頁 送價 二・〇五〇	管子は支那には珍らしい思想家である。科學的素質の豊かな點に於て優に泰西の思想家と對立する事が出来る。彼此比較研究の好材料。	有朋堂	
韓非子	有朋堂文庫型 天金綴布裝 八一八頁 送價 二・〇五〇	法家としてのきびしい筆致は亦他に得がたいものである。文檢問題などにもよく出る實生活に資する所も尠くない。面白い本だ。	同	
近思錄、傳習錄	有朋堂文庫型 天金綴布裝 九四〇頁 送價 二・〇五〇	近思錄は朱子學、傳習錄は陽明學の經典として東洋哲學史上に絶大の權威を爲すもの。共に再讀三讀すべき重要書である。	同	
孔子及孔子教	服部宇之吉	菊判美裝 四三〇頁 送價 三・二七〇	博士は自ら孔子の徒を以て任じ、孔子教の研究を以て終生の使命とせらる。本書收むる十有餘篇の論文、孔子教の眞體を説述し盡くす。	京文社
詩經、書經、易經	有朋堂文庫型 天金綴布裝 九九〇頁 送價 二・〇五〇	五經中の三經を収め上欄に原文下欄に假名附の譯文と詳細な註解とが附してある。東洋道義の源泉を知らんとする者の必讀書。	有朋堂	

漢文叢書 四書	漢文學叢書 四講義書	漢文叢書 儒學史(卷上)	漢文叢書 荀子	漢文叢書 淮南子	漢文叢書 小學、孝經、孔子家語	異軒叢書 日本古學派之哲學	異軒叢書 日本朱子學派之哲學	異軒叢書 改訂 日本陽明學派之哲學	漢文叢書 七書、鬼谷子
興文社編輯所	宇野哲人	宇野哲人			文學博士 井上哲次郎	文學博士 井上哲次郎	文學博士 井上哲次郎	文學博士 井上哲次郎	
五三九頁	菊半截形 八〇〇頁	菊判布裝 七〇〇頁	有朋堂文庫型 六一六頁	有朋堂文庫型 八五一頁	有朋堂文庫型 七六〇頁	有朋堂文庫型 七八〇頁	有朋堂文庫型 八二〇頁	有朋堂文庫型 六九〇頁	有朋堂文庫型 六一四頁
送價 二・五〇	送價 三・五〇	送價 五・八〇	送價 二・五〇	送價 二・五〇	送價 二・五〇	送價 四・二七	送價 四・二七	送價 四・二七	送價 二・五〇
四書は東洋道德の最高の經典である。苟も日本人として四書の一通り位心得ぬ様では心細い分り易い四書の一ききとして本書を薦める。	興文社の少年叢書漢文學講義云へば既に世に定評あり、其の縮刷改裝版なり。	本書は著者が心血を凝らしたる名著上は唐虞より下は漢唐まで巨細漏らさず儒學の要旨歴々指し示すべく實に學界津梁不朽の寶典たり。	儒學の一大家として而も性惡を説き實學の必要を高調した荀子の議論には今の吾々の傾聴すべきものが澤山にある。	支那文學には様々な故實典故がある。淮南子一卷はさうした、故實典故を知るに於て得難い資料である。	儒學系の書として小學孝經は勿論撰撰といふ疑を受けながらも孔子家語亦さうしても逸する事の出来ぬ一つの權威的典籍である。	巽軒井上哲次郎先生を繞る人々によりて組織された「巽軒會」の事業として本書を發行す先づ井上博士の舊著「日本陽明學派之哲學」訂増補版の發行を初めとし吉田博士の「人格士の生活—深作博士の「思想と人格」吉田熊次博士の「國體と倫理」相次いで成る今、後巻を	限らず人を限らず各方面に涉りて權威ある大著を選み續々之を發行せんとす執筆者は何れも一代の碩學必ずや學界の一偉觀たるべし。	思想的に兵法を説いた書として支那文學中に味がありそして得難い教訓がある。	思想家として墨子の兼愛には彼獨自の面白い而も深遠な立場がある。諸子の代表者として是非研究して見るべき價値がある。
有朋堂	興文社	寶文館	有朋堂	同	同	富山房	同	同	有朋堂

漢文叢書 墨子	漢文叢書 ポケツト論語	漢文叢書 蒙求	新譯漢文叢書 孟子附索引	補註 孟子集註	孟子新鈔	孟子通解	禮記	漢文叢書 列女傳、女四書	漢文叢書 老子、莊子、列子
矢野恒太	濱野知三郎	佐藤正範	簡野道明	簡野道明	簡野道明	簡野道明	簡野道明	簡野道明	簡野道明
有朋堂文庫型 六〇六頁	有朋堂文庫型 六八九頁	有朋堂文庫型 三二〇頁	有朋堂文庫型 八〇〇頁	有朋堂文庫型 三四〇頁	有朋堂文庫型 九二二頁	有朋堂文庫型 一三〇頁	有朋堂文庫型 七一五頁	有朋堂文庫型 八一二頁	有朋堂文庫型 九〇四頁
送價 二・五〇	送價 二・五〇	送價 二・五〇	送價 二・二〇	送價 一・七二	送價 一・二〇	送價 五・二〇	送價 二・五〇	送價 二・五〇	送價 二・五〇
思想家として墨子の兼愛には彼獨自の面白い而も深遠な立場がある。諸子の代表者として是非研究して見るべき價値がある。	論語一部、朱熹集註に據り著者獨特の訓話を加へたるもの、袖珍一書の裡に修養の經典を藏す居常寸時の補讀に至便なり。	日本人に讀まれた漢籍の中でも最も多く讀まれたものは本書である。幾多德行の事例は本書に悉されてゐると稱しても過言ではない。	孟子の論は奇警にしてその文章は勇勁、實に支那文學中の第一位である。本書はこれを譯し原文と對照し註釋を附し更に索引を附す。	「補註論語集註」と同様の趣旨を以て朱熹の集註の不備を補ふ教科用として又一般の孟子愛讀者の爲め便利を圖つた書である。	孟子中の名篇を、梁惠王、公孫丑、滕文公、離婁、萬章、告子、盡心の七篇に分ち、各題目、段落、頭註を附記した新式の教科書。	其の解釋は丁寧親切、平明的確、初學者でも容易に孟子の眞精神を了解することが出来る。添へてある孟子年譜及び索引また至便也。	禮記は五經中の一つで支那道義の大きな一面を占めて推されてゐる。その意味から是非とも一讀しておくべき典經である。	支那女流の生活を窺ふには本書を措いて他に求められぬ。その内容が端的に女子の處生訓であると共に亦男子を訓ふる所も尠くない。	老莊列は儒學に對立した所謂道學を代表する所の大立物である。彼が社會的道義的であるに反し此は哲學的文學的で獨得の妙味である。
有朋堂	博文館	有朋堂	至誠堂	明治書院	山海堂	明治書院	有朋堂	同	同

孝子解義	簡野道明	五菊判布裝送價	四・二〇	老子の學說に明快懇切なる解説を施したるものとして、何人も熟讀含味すべき好著である。	明治書院
新譯漢文叢書 譯論	大町桂月	袖珍布裝送價	二・三〇	論語は世界の聖典にして我が國民道德の根柢である。本書は著者一流の筆を振つてこれを譯出し、三千年來の教典を現代に活躍せしむる譯讀・章句・字義・直解・考異・餘義の六項に分けて極めて詳細懇切に講述した論語の新解釋書で、卷末に詳細な語句索引が添へてある。	至誠堂
論語解義	簡野道明	七六〇頁布裝送價	三・一八〇	每章之を訓讀・字解・解義・校勘・異說・備考の六項に分ち極めて入念丁寧な講述した論語の新解釋書で、卷末の附録又錦上に花を添ふ。	明治書院
批解論語講義	經學攷究會	菊布裝送價	九・三五〇	朱熹の集註本につき本文の誤謬を正した上先哲の諸説を引照し語句の出所意義を説明したもので教科用並に論語愛讀者の至便の書。	光風館
論語集註	簡野道明	二五〇頁布裝送價	一・一五〇	固苦しき修養より脱して知らず識らず身を修めんとし、例により、格言により、但によりて人の履むべき道を叙べしもの。	明治書院
新しき修養	小林爲里	美四表六裝送價	〇・四〇	如何にして一身の方向を定め、其の職業を撰び、如何にして一身の方向を定め、其の職業を撰ぶに懇切に説いたもの。東宮殿下の台覽を賜へて、青年第一の關心事たる希望達成の道を科學的著は歐米の讀書界を震動せしものである。	文藝社
如何にして一身の方向を定め可きか	上谷一續	四六八頁布裝送價	一・七〇〇	成功するには如何にして達す可きか亦成功の手段方法に其意義を明にして成功を欲する人々の爲めに指針たらんとす。	日實本社
如何にして希望を達す可きか	上谷一續	二六八頁布裝送價	〇・八五〇	成功するには如何にして達す可きか亦成功の手段方法に其意義を明にして成功を欲する人々の爲めに指針たらんとす。	同
如何にして成功す可きか	高橋北堂	四一六頁布裝送價	〇・八五〇	成功するには如何にして達す可きか亦成功の手段方法に其意義を明にして成功を欲する人々の爲めに指針たらんとす。	博進堂

心身修養 偉人の言行	中井修	三三〇頁洋裝送價	一・九〇〇	本書は古今に通じ、巨細に涉つて、修養に資すべき凡百の金言美行を分類叙述し、興味と共に心身修養の伴侶たらしめたる良書なり。	下村書房
偉人の修養	小林爲里	美四表六裝送價	〇・四〇	古人の殘した修養の跡を辿ることは現代人の忘れてならぬことである。本書は偉人英雄の裏面に隠れたる修養法を選択せるもの。	文藝社
一日一言	新渡戸稻造	三三三頁上裝送價	〇・二〇〇	一年三百六十五日に宛てはめて、修養に關する感想を記し、尙東西古今の金言、道歌を採み、その日々の修養に資せられしもの。	日實本社
如何運命を支配し得るか	ホルムス	中布裝函入型送價	二・一〇〇	絶望、懊惱、病弱、貧苦の淵に沈める者一度此の書を讀まば、直ちに希望の光明を與へられ、生命の泉を授けられん。	同
如せば運命を支配し得るか	谷口雅春	三六八頁布裝函入型送價	二・一〇〇	絶望、懊惱、病弱、貧苦の淵に沈める者一度此の書を讀まば、直ちに希望の光明を與へられ、生命の泉を授けられん。	同
青少年團研究叢書第二輯 英米國の青少年團	日本青年團會	一〇〇餘頁紙裝送價	〇・三五〇	本書は英米諸國のボーイスカウトに就て簡潔明快に記述したもので我國青少年團指導者及び團員に取りては唯一無二の參考資料である。	日本魂社
永遠に楽しく生きよ	關弘道	三二四頁布裝送價	二・一〇〇	悟らざれば百千の經卷も猫に小判、悟れば獨の頭から大光明を放つ、死中に生を得、窮地に活路を求めんと欲する者は讀め。	磯部甲陽堂
恐ろしい因果物語	堀内新泉	六〇餘頁洋裝送價	一・一八〇	善因善果惡因惡果とは現代人の耳に極めて陳腐に響くが、著者の實見實聞を示せる因果應報の事實を本書に見る時何人も否定は出来ぬ。	廣文堂
おのが鏡	寒澤振作	二〇八頁洋裝送價	一・五〇〇	古今内外の模範的人物の史談にして之を個々の性格と事體とに區別し蒙求の編纂に倣ひたるものにて修養に資すべき良書なり。	大日本圖書會社
斯の如き人は成功する	小林爲里	美四表六裝送價	〇・四〇	成功すべき人はどこかに人に秀でた性質を持つてゐる。本書は古來の成功者中から成功すべき性質を抽象して述べた物、成功者の福音。	文藝社
活論語	安達大壽計	三二八頁洋裝送價	二・一〇〇	文部省認定論語主義實行の第一人者たる澁澤子爵が、大聖孔子の論語に新生命を與へ、社會に活用せしめようとして論述されたもの。	宣傳社

家庭の覺醒	小鹽高恒	菊半 二二〇頁	送價 〇・六四〇	著者多年感化教育に従事せる経験により、不 良兒童發生の原因が主として家庭の缺陷に在 ることを知り、家庭覺醒の急を絶叫せる書也	中央報徳會
處世 鳩翁道話	日本修養會	三六〇頁	送價 〇・八五〇	本書は原田鳩翁の心學に關する講演の筆記で あり其目的とする處は平言なる言語と通俗の 例言とを以て人の善心を啓發し道徳を高む。	博進堂
修機會を活用せよ	高橋北堂	三〇〇頁	送價 〇・八五〇	成功は總て機會の活用如何に依て成否は定ま る世の人多くは其機會を見逃す人多し本書を 讀みて機會の何んたるかを知られよ。	同
學生から 社會人へ 群をぬく人々	出口 競	三六〇頁	送價 〇・八六〇	學校と學生と世の中とを結びつけ、若さと元 氣とエウモアとに富める愉快な物語集、青年 の心持、學生の氣分をビタリと把握す。	博文館
軍神の妻 (乃木 靜子)	大久保四州	二〇〇頁	送價 〇・六四〇	明治天皇御大葬の夜「出てまゐりて」の一首を殘 して夫君に殉じた乃木夫人の一生は日本婦 人の龜鑑である其得難い尊き活教訓書なり。	川流堂
通俗 教育道話	安藝愛山	四六〇頁	送價 二・一五〇	色々な面白い話、珍しい話の裡に不知不識人 を導き守るべき、道を訓へるのが道話の價値 あるところ、本書は此種の書籍中の白眉。	雄大 辯日 會本
建國の精神に還れ	永田秀次郎	九二二頁	送價 〇・五〇〇	堂々建國の精神を闡明し、時弊を指摘し、以 て國民の進路を知らしめんとする。天地正大 の氣概溢する一大快著である。	日實 本業 社之
研 心 錄	二宮峰男	三二〇頁	送價 二・〇〇〇	印度佛敎以前の哲學たる私の哲學を説きしも 拓するの心的修養を説きしものである。	同
現代の青年と修養	北山 茂	四六〇頁	送價 二・一八〇	著者獨特の剛健なる筆致を以て道徳的知識的 方面の修養法及身體鍛鍊法は勿論青年團の施 設等懇切丁寧に叙述せる青年修養の好伴侶。	寶文館
福島大將 剛健主義	綿貫仁門	三〇〇頁	送價 〇・六五〇	國寶と稱せられた當年の單騎遠征冒險大旅行 の世界的偉人が旅行中の珍談奇談或は少青年 時代の回顧又晩年世界大改造の豫言書なり。	川流堂

精神 復興 皇 國 策	四宮憲章	菊判 一六〇頁	送價 一・〇五〇	著者皇明會を起し各地に講演せる要旨を收め たるものにて我國立國の本義より、更始一新 詔書に基き實行に努めざるべからざるを説く	警眼社
向上發展の基礎	小林鷲里	美四表 六六頁	送價 〇・四四〇	向上發展の方法には色々あるが、その根本 なるものは、基礎を述べ向上へ導かうとす。	文藝社
公民としての心得	小林鷲里	一四〇頁	送價 〇・四四〇	公民教育の必要は現下一般の風潮である。本 書はこれが普及をはかり材料の選擇に十分の 注意を拂つてあるもの。	同
文部省認定 國民 生活	小林鷲里	四六六頁	送價 一・〇二〇	國民日常の指導書として生れたるもの吾人處 世の羅針盤として生れたるもの國民生活の總 ては立所に解すること出来る。	同
國民精神之基礎	河野省三	菊判 一〇一頁	送價 〇・五二〇	我が國民精神の基礎は要するに皇室の御盛徳 と國民の誠忠と君民一體の活動とにある。	川流堂
國民精神の作興	水野 治	二菊判 二二頁	送價 〇・一五〇	詔書を通釋し國體の精華を闡明高潮し附録 して文化文明個人主義よりあらゆる主義を論 評し更に猶太禍米禍に及ぶ筆鋒鋭利行文流暢	米本書店
國民としての常識	小林鷲里	美四表 六六頁	送價 〇・四四〇	國民の一人として必ず知らねばならぬ事を選 んで一讀すべき良書。一讀大道を闊歩せよ。	文藝社
國民の心得	關屋龍吉	各一三六頁	送各 〇・六〇〇	教育界の巨頭たる關屋先生の力著にして新舊 思想の變化に處し嚴正臣民心得を述べられた る模範的教科書なり。	大日本工業 會
後藤子國民訓	後藤新平	三六〇頁	送價 一・〇〇〇	一代の傑物後藤新平爵の青年修養訓話を骨 子にして社會的に果た民衆的に其の處世法を 親切に訓示した意義ある書。	日本書院
これからの人間	澤柳政太郎	菊半 三六〇頁	送價 一・〇〇〇	教育界の大家として知られた澤柳博士が我が も豊富なる學識より訓話されたるもの本書也	同

これからの婦人	嘉悦孝子	菊半	三〇〇頁	送	一〇〇八〇	嘉悦孝子女史は我が女流界に於ける第一人者である。如何に現代の女流に向つて修養すべきかを教訓したる尊重すべき名著である。	日本書院
改訂版 西國立志編	中村博士	菊半	五七六頁	送	一〇二八〇	自助の精神の福音を説ける名著として少壯人士の無二の修養書として最も廣く世界に讀まれたるもの名譯すに定論あり。	博文館
三種神器物語	尾原静乗	菊半	一三〇頁	送	〇三四五	『鏡』『玉』『劔』の三種の神器を智仁勇に配列して一々事例を擧げて専ら祖先の遺風を宣揚す近時青年に對し一服の清涼劑なり。	森江書店
立志 三百六十五日	關天園	菊半	三三〇頁	送	〇八六五	日々の修養を三百六十五日に類別記載し知らず知らず人格を養成すべく編纂せるが故に一讀無厭なき金言を以て滿せり。	博進堂
人格 自覺 自修	寺内類	菊半	二四〇頁	送	〇〇六〇	生活は自己創造である自己創造人格完成が吾人の理想である第一章體的生活より十二章自覺自修に至る迄細微を極めて其眞諦を盡くす	米本書店
如何に自己を大成す可きか	上谷 續譯	菊半	三四七頁	送	一〇七〇〇	本書はマーテン博士が晩年その圓熟せる思索と經驗とを得て全世界青年に與へたる大説示にして、一讀眞に儒夫を立たしめる。	日實業社
訓話資料 自己修養秤	萩尾雷音	菊半	一五〇頁	送	〇五四〇	古今東西の格言金言を蒐め之れを尺度として編まれたものである。	日本旅行文化協會
思想善導の基準	増田義一	菊半	三四五頁	送	一〇五八〇	國民思想の善導、社會の重大病根、進んで難局に當る氣魄、新努力主義等、三十三項に別つて國民思想の善導を説きたる大雄編。	日實業社
時代と報徳	井口丑二	菊半	二一〇頁	送	〇九四〇	本書は報徳教の眞髓は固より、地方自治の要諦、農村振興の秘策より現代に活動せる地方篤志家の事業に至るまで興味深く描ける者也	中央報徳會
知つて居らねばならぬ 實用常識	湯川大三郎	菊半	二五二頁	送	〇六六〇	皇室、國家、社會、家庭の四編に分つて日常生活上必須の事項、六十二項、三百〇三頁を簡明に記してある重寶記。	磯部甲陽堂

姉妹の胸へ	山中峯太郎	菊半	二九〇頁	送	一〇五八〇	信念の偉力は縁に觸れ物に應じて美しくしき眞如の月影を投げて居る、其は温い歡喜と法悦に満ちた涙は眞に偉大なる力を起させる。	森江書店
社會創作への道	文學博士 深作安文	菊半	三〇〇頁	送	一〇八〇	社會倫理學の最高權威者として名聲噴々たる深作博士の著で新しい社會創作への指導書である。社會生活原理の基點を本書に求よ	廣文堂
社會の覺醒	小鹽高恒	菊半	三〇八頁	送	〇七六〇	主として歐米社會事業家の面影を傳へたるもの、特に本書の過半を占むる「玉屑瓦片」は哲學あり諷刺あり、眞に寸鐵殺人的の警句に満學あり	中央報徳會
社會奉仕の仕方	西川光二郎	菊半	四四〇頁	送	二〇二〇	個人の幸福を増進する仕方、社會平和の方法を古今東西の實例を列擧して親切丁寧に説明したるものであります。	丁未出版社
修養	新渡戸稻造	菊半	五五六頁	送	一〇五六〇	一代の人格者たる博士が、五十餘年の學問と経験を傾けて品性人格、處世法に亘りて懇切せられたるものである。	日實業社
少年鑑	亘理章三郎	菊半	上三九二頁	送	二〇七二〇	子弟教育のすぐれたる資料を提供するため主として古今東西偉人の少年時代の模範とするに足るもの多方面より集めしもの。	弘道館
勝利への路	浮田和民	菊半	三九二頁	送	一〇七八〇	本書は「生活藝術」の姉妹編で、著者獨特の處世哲學より人生の戰場に勝利を得る主觀的側面を専ら力説したものである。	日實業社
處女會文庫 認定 親愛なる處女へ	天野藤男	菊半	四六六頁	送	一〇一八〇	性に関へ戀に悩み或は職業に結婚に家庭の不和に身の不遇に人知れず悶へ鬱みを持つ處女の解決書將又主婦としての行くべき道を教ゆ	淺見文林堂
心學修養物語	高橋淡水	菊半	三〇六頁	送	一〇九〇〇	近世數十種の心學書中より、家庭、職業、社會等あらゆる生活ものを選び、多趣多味なる筆を以て時代譯としたる、興味ある修養書也	下村書房
人格と修養	文學博士 井上哲次郎	菊半	五〇〇頁	送	二〇一八〇	人格の意義内容を説き修養の目的方法を論じ古來の聖賢偉人の歩める跡を辿つて其功績を頌述し現代人士の行くべき道を示した快著	廣文堂

現代 修養	新聞を読む基礎の知識	新日本の青年の標語	新日本の鹿島立	心膽の修養	人生日訓	新修養	信行ありのままの記	新舊一新	修養人格の養成	
巖田春郊	小林篤里	保々隆矣	長岡外史	蘆川忠雄	内ヶ崎作三郎	國民修養會	高田清太郎	仲小路廉	吉田辰次	
三六二頁	四六六頁	四〇〇頁	四四〇頁	三〇〇頁	四六六頁	五五〇頁	全一冊	四四〇頁	三二〇頁	
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	
一〇六〇	〇四〇	〇二〇	〇九〇	〇九〇	二五〇	二二〇	二三八〇	〇五八〇	〇八五	
一服の喫煙時間應接間の待合時間等を利用して ある。一讀修養の益を得るやう編纂した袖珍本で	新聞は社會の教科書、讀まざる者は一人もな らぬ。然るに基礎の知識なくしては解する事の出 來ない事がある。本書はその基を與ふる物。	復興亞細亞の黎明の曉鐘を鳴らすべく渾身の 努力をなさればならぬ。我國の青年諸君は先づ この標語を熟讀して後、邦家の爲に起て！	五大強國の一に其班を占て勢威隆々たる我國 が日清戰役前後の如何に幼稚であつたか又如 何に列國に輕んぜられたかを知る良書なり。	心膽の修養を巧妙に力説し、實行に便ならし むべく單純な理論のみでなく、面白き事實談 をも加へ實例を示し、人物を磨く有益の一書	古今の金言聖語を三百六十五日に配當し同類 の思想を一日一章に集め毎朝一讀して身心を 修養せしめるもので家庭必備の書である。	新しい時代には新しい修養が必要である。本 書即ち新國民の生きた教科書として亦青年の 修養書として最も時代に適應せる書。	話者は日本精神界の隱君子、さながらにフラ ンシス法然を現代化したる純潔な冥想と善行 の豊富なる物語は汲めど盡せぬ恩恵の泉なり	世に一般社會を益するかなを知らぬ。今や遺書 何に一般社會を益するかなを知らぬ。今や遺書	一代の人傑仲小路閣下逝く本書即ち閣下が在 世に發表された先生の思想の表現であつて如 に一般社會を益するかなを知らぬ。今や遺書	修養の根本は人格の修養にあり著者永らく教 鞭を取り青年の心理をよく考察し最も現代的 に人格の養成を述べたり是非一讀あれ。
大日本圖書會社	文藝社	大阪屋號	川流堂	下村書房	大日本圖書會社	日本書院	磯部甲陽堂	日本書院	博進堂	

成功座右銘	精神修養	青年出世訓	青年團とは何ぞや	青少年團振興方策	青年と修養	青年と人生觀	青年の自覺	青年の進路	青年の進むべき道
實業之日本社	小林篤里	増田義一	日本青年團會	日本青年團會	増田義一	佐々木吉三郎	山崎延吉	足立栗園	小林篤里
五〇頁	四六六頁	四七八頁	一〇〇頁	六四頁	五三六頁	一六九頁	一七二頁	四六六頁	四六六頁
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
〇四二〇	〇四〇	二〇〇	〇三五	〇二〇	〇五〇	〇三八〇	〇五〇	〇八〇	〇四〇
「如此人は必ず失敗す」世は如此青年を要求 す。この二項目について實に鋭き教訓を現代 の青年に與へたものである。	物質萬能の世の中はさすれば精神的方面を 没却する。本書は精神修養の必要を説き、現 代に力強く生きんとする方途を述べたもの。	處世の要訣として一般青年が先づ志望を選定 し自己の特長を生かし、世上人事の諸問題に 對して必得べき專柄を懇切に説述したるもの。	青年團の發達を策するには青年團とは何ぞや は此大問題を解決すべき絶好の参考書。	本輯には青年團標準服解説並青年團禮式準 則が收められてあるのみならず都鄙青年團振 興方策に關する具體的諸項が輯録されて居る	青年の模範、青年の修養、青年と煩悶、青年 と家庭、青年と職業問題等に大別して多數の 實例をあげ親切に説いたものである。	誰にでも解る平易な文章を以て宇宙人生社會 かを論じ、何故青年は人生觀を持たねばならぬ かを懇切に訓へたものである。	平易簡潔の文を以て極めて適切に青年の自覺 を勧めたるもの、眞に元氣溢れる青年の本 書を讀んで得る所頗る大なるものあらん。	青年の將來處する方針を示し古今内外の例話 や事實を紹介し、尙現代名家の所説を掲げて 青年の進むべき路を教へたり。	國家の中堅とも云ふべき青年が如何なる方面 に進むべきかを述べたもので、迷路にある青 年の爲めに其の進路を示したものである。
日實業社	文藝社	日實業社	日本魂社	同	日實業社	同	中央報徳會	文陽堂	文藝社

生活戰術	浮田和民	三判クロ 四二二頁	送價 一・五〇 〇・六〇	『處生學』、『生活競争の新戦術』、『組織的の協 録』として『讀書法』以下三編を付す。	日實 本業 社之
青年美談	熊田葦城	四六判ク 二五三頁	送價 一・五〇 〇・八〇	十五六歳より十七八歳までの青年につき、古 美學を數百擧げしもの。	同
世界の格言と警句	小林鶯里	一四六判 一〇一頁	送價 〇・四〇 〇・四〇	古今東西の格言警句を収め、先哲偉人が如何 なる事を絶叫したるかを歴史的に研究する資 料とし、一には日常の修養に資せんとする。	文藝 社
備へよ常に	大山正夫	三四六判 三四〇頁	送價 二・五〇 一・五〇	著者は少年團の少壯權威者十三年間の體験に 基き、日本のボーイスカウトの教範として編 まれたもの。青少年團關係者の必讀の書。	文展 堂
その日その日の物語	加藤末吉	菊判クロ 一五二頁	送價 各三・五〇 一・八〇	一年三百六十五日を日日について、その日そ の日の物語をしるす。我が國史の誇りとする美談を あつめ各月には立派な原色の口繪を入る。	日實 本業 社之
大國民の根底	増田義一	三判クロ 一七九頁	送價 一・八〇 〇・〇〇	大國民としての修養を説き、世界的常識の養 成を唱へ歐米人の國民性中感すべき所を擧げ 附録として洋行中の隨筆『歐山米水』を付す。	同
原文泰西の格言と俚諺	原田英夫	三判洋裝 三八〇頁	送價 一・八〇 〇・六〇	廿年に亘る讀書生活の收穫、泰西の碩學鴻儒 先哲の名言並に遍く人口に膾炙する、俚諺を 悉く原文と註釋を附して一卷としたもの。	健文 社
青年着手の個所	山本瀧之助	三判洋裝 二六〇頁	送價 一・五〇 一・五〇	理屈は分つて居る、要は實行に在る、本書は 其の執れから先づ手を下さすべきかを示したも のであつて、一々是れ著者の足跡である。	磯部 甲陽 堂
超常識と沒常識	蒼海樓	三判洋裝 四七〇頁	送價 一・二〇 〇・八〇	人間として常識を尊重すべきではあるが、沒 常識では駄目だ。人間須らく超常識でなくては はからぬ。實際論から立論したるもの。	日本 書院
努力	中井修	三判洋裝 三〇〇頁	送價 一・九〇 一・〇〇	本書に収むる幾十の偉人、それは殆んど名も 無き労働者、或は一寒書生から成功した人の みである。此實際を綴りて努力せられん事を	下村 書房

内身改造の秘訣精神統一自修	横井無隣	四六判 一七四頁	送價 二・五〇 一・二〇	本書は現代人の心の奥底に満ちた難き要求を 癒やし難き渴望を醫し、病める者惱める者の 心の糧であり生命の泉である。	内 観 察
男女青年訓	松村介石	一四六判 一四〇頁	送價 〇・八〇 〇・四〇	一代の警世家介石先生が高き道德觀を六十年 の生活經驗より、家庭を論じ夫婦選擇の第一 義を示した書。結婚前男女の規準書であらう	警 醒 社 書 店
二宮翁金言集	井口丑二	一三六判 一三〇頁	送價 〇・三〇 〇・二〇	二宮尊徳翁の偉大なる教の精髓は收めて此書 中に在り、以て修養の指針とすべく、座右の 銘となすべきもの少からざるべし。	中 央 報 徳 會
二宮翁道德哲學の新研究	石原惣六	三判洋裝 一三八頁	送價 一・五〇 一・五〇	本書は二宮尊徳の教訓に對し哲學的考察を以 て批判すると同時に、報徳哲學の現代に適用 して各種の問題を解説すべき教なるを説けり	同
能率讀本	上中甲堂	菊判 三四〇頁	送價 二・八〇 一・六〇	能率教育家の手に成つた我國最初の能率讀本 である。内容は能率學の全般に亘り懇切周到 啓發的に指導して居る。國民一般必讀の書也	中 外 産 業 調 査 會
暢び行く生命	原房孝	三判洋裝 一八〇頁	送價 一・二〇 〇・四〇	無限の展暢を希ひつゝ、現實に苦迷に深刻に悩 みつゝ、青年女子に對して根本より出發したる 迷を變じて光明ならしむる爲に書かれたもの	寶 文 館
裸一貫から	實業之日本社	三判洋裝 二九四頁	送價 一・七〇 〇・〇〇	現代日本の實業界に雄飛しつつある十六名士 の、實に無比の刺戟劑である。	日 實 業 社 之
働け働け飽迄働け	大隈重信	三判洋裝 三三〇頁	送價 一・三〇 一・二〇	明治大正の偉人大隈重信侯の現代青年に對す る最も意義ある修養書で、閣下一流の愉快な る言論集、老も若きも傾聴に價する寶典。	日 本 書 院
婦人の覺醒	山崎延吉	菊判 一〇四頁	送價 〇・三〇 〇・二〇	本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資 し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔 の同情を以て著はせるものなり。	中 央 報 徳 會
新ら婦人の修養	村田豊秋	三判洋裝 三四〇頁	送價 〇・八五 〇・六五	カピの生えた陳腐な古い所説に非ず突飛な跳 れ上りの破壊思想でも無し穩健な新知識を 兼ねた時代の要求せる適切な婦人修養の良書	博 進 堂

婦人の進むべき道	婦人の務	婦女子の爲めに	文化生活の基調	奮闘の青年	平凡道徳	報徳溯源	報徳清談	成功の扉 自ら開拓せよ	愉快に働け
小林篤里	文學博士 下田次郎	宮崎爲山	小林篤里	石井常造	小林篤里	井口丑二	井口丑二	高橋北堂	日本修養會
美四六裝判送	美二八二頁送	美三〇〇頁送	美四六裝判送	四四〇頁送	美四六裝判送	一四六頁送	一四六頁送	三三〇頁送	三三〇頁送
〇四〇	一八〇	〇〇六	〇四四	一八〇	〇四四	一五〇	〇七四	一五〇	〇八五
古來の習慣にのみ因はれて来た婦人は一日も早くよき道に向つて進まなくてはならない本書は之を平易に叙述し一讀婦人の進路を示す含著深く趣味豊かな筆致を以つて婦人の本務を修養を説ける好著、古きに泥まらず新しきに過ぎず、最も進歩的なる意見を載す。	日常の作法よりお化粧の心得、妊娠及分娩時の注意、育児法、料理法に至る迄婦人一通りの智識を懇切丁寧に書いたものである。	文化生活の高唱せらるる今日世人はその基調をも辨へないで徒らに上調子に流れやうとする本書はその基調を解し易く叙べたもの。	現代の青年に新生氣を鼓吹せんが爲に著者滿腔の碧血を吐露したるもの議論堂々文章雄大頑夫も廉に情夫も志を立てしむべし。	道は近きにある。徒らに遠きを望むべきではない。平凡な中に眞理は存する。本書はこの平凡なる中に人倫の眞理を見つけたるもの。	著者曩に日光今市の報徳圖書館に籠居する。この三個月に宮翁の遺書一萬餘巻を讀破り報徳の眞髓を組織的に解説したるもの本書なり。	報徳教を新らしき時代に活用せる篤志家の逸話と教訓を輯むるこころ百篇、博識なる著者の話説は讀者に盡きざる趣味と教訓とを與ふ。	過去の苦心を人に愚痴るを止め之れを肥料として正に向上の一路を辿れ新天地開拓の一歩である。かくして成功の扉は開かる、ので有働け働け常に愉快の心を持って働けば必ず物事は順當に撥ぶものなり愉快に働く方法は如何なる事かは本書に依りて詳細なり。	前者「修養」の姉妹編として外部的生活即ち世に處して如何にして自己を發現せしむるかを叮嚀に説きしもの。	本書は先づ各人共通の缺點を指摘し、其矯正方法を説き、進んで立身出世に必要な修養を各方面から縷説した懇切此上もない好著である。早くものにならんとする人のために社會のあらゆる方面に亘つて、立志より成功への近道を説明せるもの、青年女子に絶好なる物。
文藝社	博文館	米本書店	文藝社	寶文館	文藝社	中央報徳會	同	下村書房	博進堂

世渡りの道	立身の基礎	立志より成功への近道	理想の家庭	冷水一滴	鍊膽術	新譯 若き女性に	自叙傳 我身の物語	歐米教育史
新渡戸稻造	増田義一	小林篤里	小林篤里	塚本埋木	日置黙仙	水野治	三上正毅	文學博士 大瀨甚太郎
美三二頁送	四七五頁送	美四六裝判送	美四六裝判送	美二〇〇頁送	美二五八頁送	美四〇〇頁送	美一九八頁送	菊判洋裝 九六〇頁送
一五〇	二二〇	〇四〇	〇四〇	〇二五	〇七五	〇二八	〇九八	六五〇 三六〇
本書は先づ各人共通の缺點を指摘し、其矯正方法を説き、進んで立身出世に必要な修養を各方面から縷説した懇切此上もない好著である。早くものにならんとする人のために社會のあらゆる方面に亘つて、立志より成功への近道を説明せるもの、青年女子に絶好なる物。	外來思想の消化に苦しむ我國民は改善を慮らんとする傾向がある本書は新しき理想的家庭を建設するの好資料として著はされしもの。	田舎の小學校で教職にあつた著者が田舎小學校生徒の日常競争を古今の名歌、格言、或は高著を抜萃引證して批判したるものである。	永平寺の前管長たる日置黙仙禪師の鍊膽苦心の講話である。一讀膽を鍊り、智略出で、大勇氣起り大人格備はる。	母性愛、結婚愛、恒久愛、新時代の第一線に立つて最有意義なる新生活を送るべき青年女子に嚮つて眞善美聖の文化價値を寄與す。	婦人の修養書にして盲目、啞者なる著者が不平等なく平和と喜びとに勉學修養したる万人必讀の良書なり。	本書は曩に著したる歐米教育史續歐米教育史の最近世歐米教育史を改版し一巻に纏めたるものにして古代を簡に近世を詳論せり。	成美堂	

空間教育の實際	小川通司	二一〇頁	送價	一・三〇八〇	空間教育は數教育と相まつて數學教育の一大分野である著者は多年この方面の研究に没頭し茲に本書を大成した。教育者必讀の良書。	三共出版社
異常兒童	富士川游	三〇〇頁	送價	三・二〇一〇	大阪毎日評：多年異常兒童の研究をして來た著者の全研究を傾けた近來の好著である。其原因現象教育法及療法等をつくしてゐる。其	太陽堂
意的生命論に立脚せる余の自學主義の教育	樋口長市	四二二頁	送價	三・一五二〇	吾が國初等教育界に自學主義の教育を提唱して今日あらしめたる著者がその後に於ける研究を發表せるもので自學主義教育の聖典である	目黒書店
いばらの冠 <small>(或る青年教師の手記)</small>	三浦藤作	四七〇頁	送價	二・一五二〇	著者が一村落の青年教師たりし最も不遇の時さい若し田舎教師の血と涙が滲んでゐる	文化書房
英米小學教育の實際	奥野庄太郎	四六〇頁	送價	三・一〇八〇	著者留學中の視察になるもの、本書によりて始めて英米小學教育の實際を知悉すべし。深	同
教へざる教育	小島政一郎	二一七頁	送價	一・四二〇〇	「念佛者は無碍の一道なり」この親鸞上人の精神に生き、凡てを抱擁し精進努力する著者の豐富な心的經驗の記録である	イデア書院
大人の教育	柳澤泰爾	三八〇頁	送價	二・一五二〇	歐米に於ける大人教育の盛なるに比して我國の施設の甚貧弱見るに足るべきものなきを慨して著者はされたるものに實に教育界最初の試	寶文館
大人の教育	山掛儀重	四六〇頁	送價	一・〇〇八〇	前大阪市視學にして現衆議院議員たる著者が歐米各國に於ける大人教育を親しく視察調査し其長所を極めて發表したる青年唯一の伴侶	モナス
カーレント學生參考書	山口鏡之助 山口鏡之助 山口鏡之助 山口鏡之助 山口鏡之助	二〇〇頁	送價	〇・三〇四〇	日本地理、外國地理、物理學、化學、幾何、代數、論英文法、動物學、植物學、礦物學、生理衛生。	教文書院
輝ける二女性	澤柳政太郎	一三〇頁	送價	一・八四〇〇	兩著者發見の大明星。一はナポリ灣に廢艦の營みつゝ形式教育を本質的に救済する二女性	日本社

再學級經營	澤正	二五六頁	送價	一・〇五〇〇	小學校に於ける學級經營をして一層効果あり切叮嚀に説述せる無二の良書なり。	弘道館
自學級經營の新研究	小林佐源治	五五〇頁	送價	三・一五八〇	教師は具案的に學習に訓練し學級經營の方針をたて、その實現に向つて努力せねばならぬ自學教育の本尊小林先生年來の筆々吼である	目黒書店
學校管理法	田中博士 外三博士	三一九頁	送價	一・〇二八〇	本書は地方學事通則を始め凡て最新の法令に基づいて記述してあるから安心して使用する	松邑三松堂
學校管理法新教科書	塚原政次	菊判洋裝	送價	一・二二四〇	博士の周密なる研究と著實なる經驗とは遂に容形式共に世間同種のものに比し異彩を放つ	弘道館
學校教育	文學博士 小西重直	五〇〇頁	送價	二・〇二八〇	教育學の權威たる著者が個人の生活、家族の生活、國家の生活、世界人類の生活上に偉大な影響を來すべき學校教育を縱横論述す	博文館
學校教師論	三浦修吾	二七一頁	送價	一・一八二〇	一身を賭し日本教育の爲めに盡瘁せんとする氏の眞劍なる教育は本書讀者にある反響を與へるであらう	イデア書院
學校劇論	小原國芳	一七九頁	送價	一・一六二〇	その根本原理を教育者の立場より批判し生かす、一方實際的な指導を総合的に述べたものは本書の外にあるまい。	同
學習各論	木下竹次	五〇〇頁	送價	一・〇一八〇	前著學習原論の續篇とも見るべきもので各科の學習に關して一層詳細徹底せる研究を試みたものである。	目黒書店
學習原論	木下竹次	六四四頁	送價	四・一五八〇	他律的教育學を包攝して自律的の學習學を建設したるもので學習の原理を平易に説明し且つその實際にまで十分に具體化してありませ	同
尋常學習指導書	高二十四先生師	全十九冊	送價	四・一五八〇	教育は自學自習たれこの本旨を體して編纂されしもので各教師が如何にすればこの本旨に適合するに各學課について説いたもの	帝國地方行政學會

學習の原理及其實際	渡部政盛	菊六五〇頁	送價四・七〇	現今教育界の基本問題たる學習及其指導法に就ての細大漏さず論述せしもの我國の學習研究の不備は漸く本書に依つて救はれる。	太陽堂
玩具と子供の教育	關寛之	洋中裝判送價二・一八〇	二・一八〇	新進児童心理學專攻の大家たる著者が種々雑多な玩具を心理學的考察のもとに極めて詳細に説きたる名著。子供を有せらるる家庭必讀書。	廣文堂
國定 基本點畫筆法掛圖	山口彦總	丈二五寸幅一七寸葉全十二葉	送價四・二五〇	現國語書方手本の筆者山口氏が書方指教用として其の運筆筆法の基本を最も簡明に正確に考究し、筆法を述べたもので書方教授唯一の羅針盤。	文書堂
近世教育史	田外三博士	菊二八〇頁	送價一・〇六二	思想に於ては努めてその發達の跡を釋れて之が傳統を審かにし傳記に於ては努めて其の時代の思潮を個性との交渉を表明した。	松邑三松堂
近世日本の文化と教育	三浦藤作	裝判布裝送價四・八〇〇	二・一八〇	著者が旺盛なる精力を該博なる學識を傾けて執筆せしもの、明治以後の文化と教育の進歩を知るに最も必要なる文獻である。	文化書房
近代教育思想史	入澤宗壽	洋裝判送價五・一〇〇	一・八〇〇	近代教育思想の祖ラトケより現代に至る迄の其思想學說の根據發展徑路等を系統的に明にし一般文明と教育の實際との關係を叙述せり。	弘道館
訓練論	文學博士 吉田熊次	菊布裝判送價五・〇四〇	三・一〇〇	具體的に訓育の意義方法を説き盡して餘蘊なし、歐米の長所を採りて我短を補ひ彼我相扶けて眞の徹底せる訓練を詳述せる唯一の好著也。	同
藝術教育思想史	關衛	菊布裝判送價四・〇〇〇	三・二八〇	上古中古並にルネッサンスの藝術教育に説き起し廿世紀への過渡期から現代に及んでその教授上の諸問題並にその諸相と近況を詳説す。	厚生閣
藝術教育の最新研究	帝國教育會	裝判布裝送價五・八〇〇	三・二二〇	現代教育の中心思潮をなす藝術教育に對し徹底せる理解を與ふべく斯界の名士卅餘人に執筆を乞ひたるもの、藝術教育に志す者の必讀書。	文化書房
藝術教育論	松原寛	裝判布裝送價二・〇六〇	一・五二〇	藝術の本質と眞義を明かにし、教育の理想と價值を究め藝術教育の問題を根本的に解決しようとしたものである。	イデア書院

系統的教科解説	渡部政盛	菊布裝判送價七・〇〇〇	四・一五〇	試験問題を中心として出た問題出する重要な問題を並に教育學教授法教育史心理學理論教育思想を系統的に解説し且基礎學たる學科を解説し潮を系統的に解説し且基礎學たる學科を解説し	啓文社
系統的的教育學	文學博士 吉田熊次	菊洋裝函入判送價八・五九〇	五・一五〇	斯界の權威吉田博士が教育學の一般を系統的に説述せるもの、重版又重版斯界に一大貢獻をなせること甚大也、大正時代の著書と云ふべし	弘道館
系統的 日本 西洋 教育史	吉原藤久	菊布裝判送價六・〇〇〇	四・一八〇	複雑難解なる教育史を最も系統的に簡明に詳述す西洋教育史を十九世紀に止めず現代まで詳述す等類書中最も新らしき文檢用參考書也	啓文社
教育部 教育科受験提要	渡部政盛	裝判布裝送價五・〇〇〇	三・一五〇	教育部全部の學說を系統的に編述せるもの、合力的智識の絕對標準を示し且つノート作成の勞力を省かしむ受験者無二の指針である。	同
教育學	田外三博士	菊布裝判送價三・一〇〇	一・二八〇	本書は従來の教科書の項目の如く多く科學的區別に従ふ事を避け成るべく實際的區別によつて實地教育の理論を了解させる事に努めた	松邑三松堂
教育學 概論	佐藤熊治郎	菊布裝判送價一・三二〇	一・三二〇	本書は教育上の理論の根本を徹底的に明らかにしめ依つて自己を新にするの實力を養はしめんとの企圖の下に成れる名著。	寶文館
教育學 概論	野田義夫	菊布裝判送價八・〇〇〇	四・一五〇	所論の奇抜を求めず、深く世界の動勢に鑑みて古今に於ける教育の事實と最新の學理とに基づきて穩健的確の針路を示さんことに努力す	同文館
子女教育學教科書	石川弘	菊布裝判洋裝價	・八五	大正七年二月十八日四版發行	光風館
實業 教育學網要	矢田篤	菊布裝判送價一・八〇〇	一・八〇〇	緒論・實業補習教育の意義・教育學の性質・實業補習教育の發達・第一編目的論・第二編方法論・第三編學校及教師論・附録關係法規。	明文堂
最近心理 參照 教育學十講	林博太郎	菊布裝判送價二・〇〇〇	一・八〇〇	東京府女子師範學校に開かれたる府縣視學講習會に講演せし原稿を更に修補して發行せるもの、説明平易、教育學の最近學說を通覽し得	寶文館

文檢參考 問題中心	教育學精義	教育學說の 論理批判 及其	純粹教育學の理念	職業指導と學校教育	教育學大全	教育學の話	教育學要領	新思潮の 教育教授の施設と經營 生める	教育思想大觀	隱者 の 夕 暮
高橋 勇	渡部 政盛	大關 増次郎	櫻井 香織	谷 本 富	小林 篤里	龍山 義亮	吉 真 信之	中島 半次郎	福島 政雄	福島 政雄
五七〇頁 洋裝送價 四・一八〇	四四〇頁 洋裝送價 三・二〇〇	三四五頁 洋裝送價 二・〇〇〇	二八〇頁 洋裝送價 二・〇〇〇	三〇〇頁 洋裝送價 二・〇〇〇	四六六頁 洋裝送價 二・〇〇〇	二二六頁 洋裝送價 〇・九五〇	四〇〇頁 洋裝送價 二・一八〇	四〇〇頁 洋裝送價 二・一八〇	四〇〇頁 洋裝送價 二・一八〇	四〇〇頁 洋裝送價 二・一八〇
教育學概論の中に文檢教育科試驗問題を巧みに織込み、解答の模範を示し、又準試験問題を掲げて自學用試験準備用の兩面を備へてゐる。	代表的學說即ち社會的個人的主知的道德的美論的宗教的實際的國家的人格的文化的等の概念論理的考察し批判したるもの文檢受驗者必讀書	眞の教育學なるものは如何と云ふ問題に關して、著者の研究を發表したるもの教育事實の中の本質たる教育一般を對象として組立ててある。	職業指導と學校教育との關係について、汎く實例を引用して理論と實際との兩方面から徹底的に究明してある教育實際家の好參考書。	本書は教育學の範圍を學校のみならず家庭より幼稚園、兒童學校より大學にまで網羅せり。	文明人に取つて教育は如何なる大切な仕事はない、人々に教育の何であるかを知らぬ人が多い、その人々に教育全般の知識を授けやうとした物。	本書は初學者に教育學の要領を與へんが爲め、及び教科書となさんか爲めに編纂したるもの、叙述詳密、説明懇切にして好評噴々。	歐米諸國に於ける新教育の施設經營を如實に傳へ併せて我國教育の欠陥と改革の途を指示す。	古今唐虞三代の教學。希臘羅馬の人文主義。より實科主義。宗教主義。理想主義。自然主義。等十章に分ち東西古今の思潮を講述せる好書。	ベスタロツチの原著を譯述したもので、隱者の夕暮の價值及び意義を忠實に傳へてある。尙原文を添へて一般研究者の參考にしてある。	
三友社	太陽堂	寶文館	同	同	同文館	文藝社	大日本圖書會社	天地書房	東京堂	目黒書店

教育思想精華選第二編	兒童神聖論	教育思想の研究	現代教育思潮大集成	教育辭典	教育新思潮大觀	教育生活と體驗	教育精神と體驗	統計法 教育測定法講話	最新教育大意講義	教育大意要義
長田 新	小西 重直	渡部 政盛	篠原 助市	篠原 助市	齋藤 薰雄	齋藤 薰雄	福島 政雄	本庄 精次	吉原 藤政	吉田 熊次
洋裝送價 一・〇六〇	洋裝送價 三・二八〇	洋裝送價 四・一八〇	洋裝送價 五・一八〇	洋裝送價 五・一八〇	洋裝送價 二・一五〇	洋裝送價 二・一五〇	洋裝送價 二・一五〇	洋裝送價 二・一五〇	洋裝送價 二・一五〇	洋裝送價 二・一五〇
現代教育社會の無反省を開拓し現代思想の渦中にあり乍らしづかにフレールベルの古典を求めて譯述したもので教育の聖典である。	本書は學徒一世に高き博士の近業で、思想篇・時事篇・歴史篇に別し思想源流體系を理路整然明快なる文章にて詳述す。教育家諸彦必讀。	本書は最少限度の時間と經濟力とを以て現今教育思潮の全體並其の實際を知悉せしむべく編述したもので教育研究者は第一に本書を見よ。	獨逸サンデルの教育辭典に勝ることも劣らざる自信の下に成れるもの蓋し類書中一頭地を拔ける好著今回四六六頁に縮刷して重刊せらる。	プロジェクトメント、ダルトンプラン、ゲリーシシステム以下最近の教育界に於ける新思潮の精華を集め解説を試みた頗る便利な本。	本書は著者の教育生活を正直に告白したものである。若くして濼溺たる意氣に燃ゆる内面の記録は教育上の問題に幾多の暗示を與ふ。	著者が十數年來の教育體験の實際に得た尊い論文であり、また感想と研究をものせ終始一貫せる獨特の論說が流れてゐます。	メンタルテストの最大權威たる本庄先生の著、理論上より實驗上より斯學の巨細を悉したる點に於て幾多類書中の白眉好評噴々。	内容簡明に平易に叙述す難解の熟語には割註をなす初回よりの全問題の摸範的解説を附す。	又學校教科書として益々採用されつつあり。	教育の要義を學術的に説き其の中に一般教育學の綱要と教育の基礎學としての心理學と形式論理學の概要とを收めた教育の寶典である。
目黒書店	廣文堂	啓文社	啓文社	寶文館	寶文館	寶文館	寶文館	寶文館	啓文社	目黒書店

教育的兒童心理學	青木誠四郎	二一〇頁裝 送價	一・七〇	兒童の立場に立つて其本來の貌を知り兒童の個性解放を個性尊重と高唱したものである	古今書院
教育的人生觀	鶴藤幾太	二八〇頁裝 送價	二・五〇	教育者其人に人生觀がなくは教育は畢竟飾り立てたる人形に同じ本書は此點に鑑み哲學的立場から人生觀を與へんと努めたもの	實文館
教育的心理學	文學博士 大瀨甚太郎	七〇〇頁裝 送價	五・八〇	本書は巽に定評ある教育心理學を根定より改訂其の組織も學說も最新の研究に基き全卷面目一新し更に學習心理を詳説せる一大名著	廣文堂
教育哲學概論	テユウイ 帆足理一郎	六〇〇頁裝 送價	四・二〇	人生の目的は人生其物也と觀、其向上發展の過度は即ち教育的生長に他ならぬと見る傳來の教育理論及實際に革命的影響を與へし名著	新生堂
教育と遺傳(社會學的的研究)	ギョウオ 西宮藤朝	四六〇頁裝 送價	二・八〇	ベルグソンやジエームスの先驅者たるギョウオの名著教育をして社會的創造活動に參加せしめやうとする生命中心的教育論である	東京堂
教育とエスペラント	柴田義勝	八六頁裝 送價	〇・六〇	國際教育の前提として先づ國際語の問題を解決せよと叫び世界に於けるエスペラント語教育の實際を説いたもの尙ザ博士の小傳を載す	曠台社
教育と宗教	谷本富	六〇〇頁裝 送價	三・二〇	科學に立脚した教育のある現代人に宗教とは何ぞやと著者一流の深い造詣から説明し、進んで親鸞や歎異鈔その他にも詳細に論及せり	同文館
教育と人生	帆足理一郎	四二〇頁裝 送價	二・四〇	創造的進化の人生哲學に立脚せる著者は教育即ち人生の原理に基き教育の宗教的信念と人格を以てする以て人傳人の訓育を主張せり	新生堂
教育と内省	文學博士 岡部爲吉	三七五頁裝 送價	三・八〇	岡部先生は若くして逝かれた篤學者であつて本書は其の唯一の遺稿である。現代日本教育者は是非細くべき教育論文集である	イデア書院
教育の基礎としての倫理學	伊藤千眞三	三八〇頁裝 送價	二・五〇	個人及集團心理の全般に亘り特に新心理學とへ方便的要求よりも學理的欲求に應んとする者	太陽堂

教育の基礎としての哲學	倍賞義雄	三六〇頁裝 送價	二・五〇	哲學に關する一般概念を明にし更に其教育に對する關係を叙述す。所論明快首尾一貫したるもの教育家は元より廣く一般人にも薦む。	太陽堂
教育の基礎としての藝術	村田良策	三八〇頁裝 送價	二・五〇	美と云ふ事、藝術と云ふ事實が吾々人生に密接することば現象と其理論とを解説してある。	同
教育の基礎としての倫理學	伊藤千眞三	三八〇頁裝 送價	二・五〇	教育の目的は倫理學に依るべきであること云へる哲人の言の如く教育學の倫理學に負ふ所の少なからざるを論究し詳説したるもの也。	同
教育の基礎としての本能	岡寛之	四五〇頁裝 送價	三・五〇	最新の論理學說を網羅し眞の教育の仕事に對して直接要求する合理的基礎を與へやうとしたもの所謂死骸的形式論理學の書に非ず。	同
教育の原理及方案	大島井弁三	菊判洋裝 送價	四・八〇	本書は學說實驗を引用して本能的哲學的に、心理學的に亦生物學的に攻究し更にこれに基きて本能的教育の全般に亘つて説き明したる者	同文館
帝國の教育の根本的改造	保々隆矣	四六〇頁裝 送價	二・五〇	人類社會學に造詣深き著者が從來の教育學唱廿年苦心の結果獨創的新教育學を建設せり	弘道館
教育の理想と生命	福島政雄	三〇〇頁裝 送價	二・〇〇	●帝國の危機と教育 ●政治上の深憂 ●形式中●東京思想の病所 ●小學校に於ける公民教育 ●倫敦に於ける教育組織 ●地方教育其他	大阪屋號
教育の方法學に就いて	佐々木秀一	四六〇頁裝 送價	二・五〇	教育の理想は國家、社會、家庭等とごんな關係已を以て精密に述べ國家や社會、家庭、利己を以てする教育は決して理想的でない	同文館
教師の生命	鈴木春浩	四七〇頁裝 送價	一・八〇	高師教授にして附小の主事として初等教育界に謳歌せられた氏が文部省及若溪會講演に於ける内容整理と増補して著はしたものである	目黒書店
教師の生命	鈴木春浩	四七〇頁裝 送價	一・八〇	福島縣の教育界に多年貢獻した著者が愈々病を得て退職の止むなきに至り教師の天職と其悲哀を物語る最も眞剣なる教育訓話	日本書院

台覽 教 練 指 針 <small>(上下二冊)</small>	現 今 教 育 學 說 の 根 本 思 潮	現 代 教 育 諸 相 の 由 來 と 批 判	現 代 の 教 育 者	校 風 漫 畫	文 部 省 新 制 定 公 民 科 教 授 要 綱 解 説 及 資 料	公 民 教 育	公 民 教 育 大 觀	國 語 教 育 論
小林編輯部	吉田熊次	鎌田牛雅	櫻井賢三	近藤浩一路	島山彌榮藏	木村正義	教育新潮會	赤坂清七
四六半載 六〇餘頁 送價	五〇〇頁 送價	二八〇頁 送價	二四五頁 送價	三〇〇頁 送價	五四〇頁 送價	三四〇頁 送價	四〇二頁 送價	一八八頁 送價
六〇六〇	三五八〇	一八二〇	二二二〇	一〇〇〇	三三八〇	三〇七〇	二二二〇	一三二〇
文部、陸軍當局の御意圖を體し、要路の將校拾 數名苦心協同し、一般學生、青少年の爲平易に 理解し得る如く、編纂したる、唯一の教練教科書	現今教育學說の背後に潜在する根本思潮を究 明し思想界の鎮定を期し我が教育學界の根本 的整頓に資せんことを期したるものである	現代教育の諸相に關してその由來を叙し更に 詳細なる批判を試みたもので現代教育者とし て必讀すべき適應の書である教育者に奨む	著者の眞摯なる筆致を以て教育者の内省的立 觀の方面を總説せられたもので新に教壇に立 たるもの教育學界稀有の良書である	全國各大學各高等學校、各専門學校を捉へ、 其校風の一面を漫畫に現し且つ絶妙の漫文を 以つて酒脱に描き出せる奇書	本書は今回新に制定せられた公民科教授要綱 に於て懇切に之を解釋し且つ之が資料を豊富 に蒐録せるもの公民科教授唯一の好參考書	今や最も切實ななる公民教育の要求に對す る最新最密の解説書で斯學研究者や實施者の 絶好指針であります。發行第四版	公民教育に對する理論と實際とを専門家によ りて蒐集したるもの其の施設方法、諸方面よ りの研究指導を試みた所に特色がある	「外國語を知られば母國語は分らない」とはゲ ーテの言葉、氏の國語教育に於いてはじめて 其の深い意味を發見する
川 流 堂	目 黒 書 店	寶 文 館	同	博 文 館	寶 文 館	富 山 房	中 興 館	イ ア ア 書 院

國 際 教 育	國 際 教 育 の 理 論 及 實 際	國 史 教 育 の 根 本 問 題	子 供 の 心	三 大 教 育 學 說 の 約 説 と 批 判	自 然 と 兒 童 の 教 養	思 想 問 題 と 教 育	最 實 業 補 習 學 校 の 經 營	近 實 業 補 習 教 育 研 究	實 業 補 習 教 育 制 度 の 研 究
學文 部省 務局 普通 局	國 際 教 育 會	上 里 朝 秀	高 崎 能 樹	佐 藤 熊 治 郎	留 岡 幸 助	小 原 國 芳	松 本 喜 一	山 鈴 菊 木 地 口 啓 市 樹	千 葉 敬 止
菊 判 布 裝 送 價	三 五 〇 頁 送 價	三 三 六 頁 送 價	三 五 〇 頁 送 價	四 七 〇 頁 送 價	二 四 六 頁 送 價	四 〇 六 頁 送 價	二 〇 〇 頁 送 價	三 〇 〇 頁 送 價	四 八 〇 頁 送 價
二 九 八 〇	一 一 八 〇	二 〇 二 〇	一 一 八 〇	三 三 八 〇	一 一 七 〇	二 一 五 〇	一 一 五 〇	四 一 五 〇	二 一 八 〇
現代の教育家は一日も國際關係を念頭から去 る事は出来ない而も國際關係の機微に通曉し て適宜の方針を定めねばならぬ見よ本書を	世界永遠の平和確保のため國際教育の使命 は大である今後の教育者は方法の尖のみ生命 頭せず國際教育問題を十分研究して貰ひたい	從來の國史教育に對する一大反抗としてその 史實の基に生命の源泉、躍如として人に迫ま る人生の展開相をその根本問題として論じた	十數年來子供の研究に没頭せる著者が子供の 奇言奇行を取材として其中に潜める眞理を明 かに掘出し教育の立場から批判したるもの	現代教育學說から二派を代表してナトルプと アユウキを選り中間に經驗派のベルゲマンと 理想派の人格教育學を配し學說の要點を示す	不眞兒の發生が多く都市生活に起因するを感 じ北海道の千町歩の原野を開拓して不眞兒教 化を實行しつつある著者の自然界兒童教育論	現代思想の全部を解剖し批判して、その歸趨 を明かにし教育の愛の進いきである著者の 息み難き教育への愛の進いきである著者の	本書は前篇に於ては汎く補習教育全般に及び 業補習學校に於ては研究物の發表を兼ねて居る 業補習學校に於ては研究物の發表を兼ねて居る	本書は實業補習教育の經營に關して眞に體験 の著心な表現あり斯教育の伸張に眞に體験 の著心な表現あり斯教育の伸張に眞に體験	實際家に補習教育の制度をよく理解し活用し 年實地研究された點を公にされたものである
寶 文 館	文 化 書 房	集 成 社	新 生 堂	目 黒 書 店	警 醒 社 書 店	集 成 社	三 友 社	明 文 堂	三 友 社

モイ實驗教育學綱要	阿野重陽一	六六二頁	送價	三・一五〇	前篇は實驗に基礎を置きたる兒童心理學に於て後篇は各科教授の實驗的建設なり實驗に據らざる言議は空論也教育者は先づ本書に問へ	大日本圖書會社
實驗合科學習	池内房吉	三〇〇頁	送價	一・九〇〇	目下熾に叫ばれてゐる合科學習の潮流を訪れ而も著者の實驗に俟てる眞面目な研究は内容を視はせるに足る。一般實際家の絶好伴侶。	目黒書店
兒童教育學概論	河野清丸	四六六頁	送價	二・一五〇	本書は「文化教育學」の先驅者たるパウレンの教育學に據り訓育を中心とした「教育學概論」である。教科書參考書として最適也。	東京堂
自由教育眞義(普及版)	手塚岸衛	四六六頁	送價	二・一三〇	著者は我國自由教育の本尊で往年本書を出して教育界を驚かした今回舊著を改訂しその主義を普及する目的で普及版を公にされた。	寶文館
自由教育眞義	手塚岸衛	布判	送價	三・一五〇	我國自由教育の提唱者たる著者が多年の経験と學理により自由教育を徹底的巨細に説明したるもの小學教育に大改訂を劃すべき名著。	同
自由教育の根本問題	石井信二	二八〇頁	送價	一・一八〇	本書は著者の實際の経験努力によつて出來たもので其根本問題に觸れたる點に於てその新主義を徹底的に闡明せる所に特色がある。	寶文館
自由教育論	小原國芳	一三三頁	送價	一・一八〇	本書は著者が成城小學校に於ける數年間のあらゆる心の體驗から生れ出たもので著者の「教育改造論」に對する「建設論」である。	イデア書院
宗教教材の解説	安藤專哲	四六六頁	送價	三・一五〇	國定教科書の研究はあらゆる方面から研究されたるが宗教の上からの研究は本書を以て嚆矢とする。父兄教育家は勿論江湖に驚む。	甲子社書房
宗教と教育	小原國芳	一七〇頁	送價	一・一五〇	宗教の本質を論じ更に宗教と諸科學との關係を論じて著者の私見を述べたものである。	太陽堂

演趣味の講話集	山北清次	五〇四頁	送價	三・一八〇	本書は毎月講話祝祭式日記念日講話處女會青年會講話及講話資料の四編より成り學校其他で之を面白く話す事の出來る様に書いてある	三友社
尋一教育の實際	山本德行	三二〇頁	送價	二・一五〇	著者は非常の興味と大なる責任感とを以て成城小學校で尋一を擔任した。本書は實に其の努力の忠實な記録である。	文化書房
小學校特別教室の設備	東京市學務局	四六四頁	送價	二・一八〇	理科圖書手工裁縫音樂家事六科の特別教室設備圖を詳解して専門家に實際家の熱慮攻究の上得たる衛生經濟教育上最も完備せる成案。	山海堂
英小學校の教室學習の實狀	吉田惟孝	二一〇頁	送價	一・一八〇	英國小學校の授業中の實況を興味深く活叙し道とを吸引するかに説き教育の眞諦を傳ふ。	厚生閣
初學年兒童取扱法	淺野誠	二六〇頁	送價	二・一八〇	本書は入學當初の兒童を如何に取扱ひ、又如何に最も明細に講述したる初學年教授者必備の書	廣文堂
新時代の處女會及其施設	片岡重助	四〇〇頁	送價	二・一五〇	多年の研究と許多的資料を基礎として新時代の處女會は如何に施設經營されなければならぬかを詳述したる最も信頼すべき唯一の名著。	興文社
教育的社會問題として少年福祉の研究	宮島清	四六六頁	送價	二・一〇〇	將來の社會は兒童の爲に其全能を發揮せればの爲にこれ等を討究したるもの。	集成社
新學校の主張と其實際	永野芳武	六三〇頁	送價	三・一五〇	日本に於ける新しき十六學校の主張と其實際に付著者自身行脚して實地に付深酷なるもの	三共出版社
新教育學講義	文學博士 大瀨甚太郎	四一〇頁	送價	三・一五〇	幾多の改訂教育學講義を修正したるものにして幾多の新主張新思想上の變化教育の理法に付	成美堂
新教育學說の體系的的研究	教育學研究會	四〇〇頁	送價	二・一五〇	内外の代表的教育書數十卷を參考して最新の教育學說を簡明に體系的に解説す學說と學說との比較研究學說と實際問題との關係を説く	啓文社

新教育法講話	入澤宗壽	三判布裝 三一〇頁	送價 二・一五〇	本書は新教育法を講話體に最も讀み易く説述せられたるもの。著者の蘊蓄が如何に易々として讀者の前に展開せらるゝかを見よ。	天地書房
新教育論	横山榮次	三判洋裝 三五〇頁	送價 二・一八〇	我國現時の教育が理論上にも實際上にも甚しく行詰つてゐる折柄その進路をどうしての教育論を著者多年の経験に基いて立論したるもの。	目黒書店
新公民教育の研究	鹿兒島登左	四判洋裝 四七二頁	送價 三・一四〇	新時代に於ける唯一の欠陥！それは公民教育のそれである。斯界の第一人者たる鹿兒島先生の依つて究められた實際家の好資料である。	同
新時代の教育	眞田幸憲	五判布裝 五四〇頁	送價 四・一〇〇	常に變遷し行く時代の趨勢に順應して施設すべき實際教育に關する著者の意見論である。獨斷を避け偏見に陥らぬやうにしてある。	同
創作・鑑賞を中心としたる新綴方教育	守屋貫秀	八判洋裝 八〇〇頁	送價 四・二八〇	綴方教育が創作と鑑賞の二方面の徹底にあり綴方学習指導の秘訣を解明したものである。	三友社
新入學兒童語彙の調査	千葉鳴濱	二判布裝 二四〇頁	送價 二・二〇〇	兒童が入學當初何程の語彙を有するか。尋一大なる文獻を一讀し置く必要がある。	文化書房
新複式教育	小林佐源治	五判洋裝 五〇〇頁	送價 三・一五〇	自由教育に於ける優等兒劣等兒編制三學級二學級の諸問題を詳細に論及してある。	目黒書店
數概念の擴充と數學教育	小川通司	三判布裝 三三〇頁	送價 一・九二〇	本書は數概念の擴充が數學教育に於て根本的のものであり其發展には嚴格なる系統ある事を明にし、かつ之が教育の方法を詳述した。	三共出版社
數學教育改造論	小倉金之助	二判布裝 二八〇頁	送價 一・一五〇	數學教育改造の基調、形式的陶冶の研究、算術教授最近の諸問題等何れも數學教育の根本に立脚せるものにして斯界の一大革命である。	モナス
數學教育の根本問題	理學博士 小倉金之助	二判布裝 二六五頁	送價 二・二〇〇	世の數學教授者へ反省を求められた小倉博士の名著である。之なきには日本の數學は、更に一層傳統の中に影をひそめるにちがひない。	イデア書院

一般兒童に對する性愛教育	關原吉雄	四判 四八〇頁	送價 三・二〇〇	著者の眞に公にせる一小学校兒童の生命と性問題の姉妹篇にて現今喧しき性愛教育の實行方法を徹底的に眞面目に研究せるもの。	實文館
精神科學派の哲學及教育學說	三浦藤作	四判 二〇〇頁	送價 一・五〇〇	教育學の新思潮として注目せられて居るデイルタイ、シュプランガー、シュテレン、リット等の説を最も簡明に最も正確に叙述したるもの。	帝國教育會社
成人教育の話	小林鸞里	四判 一〇〇頁	送價 〇・四〇〇	文化の程度を高めるには成人の教育が必要である。本書は成人として欠くことの出来ない事項を平易に且つ明快に述べたものである。	文藝社
精神胎内教育鑑	高村靜眠	一判 一九頁	送價 一・三〇〇	本を忘れて末にのみ走つて居る現今の胎内教育法理論と實際を詳論したる有益出色の好著也。	出版風部會
青年と語る	池園哲太郎	三判布裝 三〇〇頁	送價 一・九二〇	本書に語る處飽まで親切にして青年を待つに朋友を以てするの熱情が溢れてゐる。青年に語りての實踐哲學とも稱すべき青年の必讀書。	同文館
聖の世界と教育	辻幸三郎	四判洋裝 四六頁	送價 一・四八〇	教育者の共にみがかき共に究むべきは自己の立場を明らかにするに在り。その源を尋ねて現代の教育界に警鐘を與へたものである。	目黒書店
西洋教育史概説	吉田熊次	七判布裝 七七〇頁	送價 四・五〇〇	内容を總論古代に於ける教育の發達中世に於ける教育近世に於ける教育の發達に大別し各時代に於ける教育の理想と經驗とを叙す。	同
全國學校名鑑	帝國行政學會		送價 六・五〇〇	本書全國官立私立學校の全部を網羅し、各種學校の初めに各學校令を掲げ、各府縣に關する疑點は本書一冊で總べて解決される。	帝國行政學會
全國各種學校名簿	文藝社編輯部	四判 六六頁	送價 一・二〇〇	大學から中等學校に到るまで全國各府縣に就き正確な調査に基いて編めるもの。各種營業者の宣傳能率の増加に缺くべからざるもの。	文藝社
全國圖書館名簿	文藝社編輯部	四判 六六頁	送價 一・二〇〇	官立、私立の圖書館を所在地によつて府縣別に排列したるもの。なほ卷末に全國新聞社、所在地を掲げたり、營業者座右の寶典。	同

家庭並に學 校に於ける	早教育の理論と實際	新宮恒次郎	四六 三〇頁	紙判 送價	二・五〇 一・二〇	家庭教育の理想として著者が實行し來つた早 を教育に就て科學的體形を保ちながら其の經驗 を纏めたもので親や教師の必讀の書である。	廣 陵 社
繹方の自 由教育	創作と鑑賞	水島川安爾	三三〇 頁	布裝 送價	二・〇〇 一・〇〇	繹方教育の眞髓たる創作と鑑賞の本領を闡明 した繹方自由教育の組織體系である著者の體 験により詳細に論述したものである。	寶 文 館
創作にみちびく教育		大杉謹一	二六〇 頁	布裝 送價	一・五〇 一・二〇	人の心の獨創的、發見的、創造的方面を如何 に培つてゆくべきかに付著者が多年研究した 實際的方法を忠實に發表したものである。	三 共 出 版 社
素質検査の研究		三木知一	六〇〇 頁	布裝 送價	四・五〇 一・五〇	メンタルテストに關する書多しと雖も完全な るもの少なきを慨し著者が東京府立第六中 に於ける入學受驗者に對し實施した結果の發表	寶 文 館
素質と教養		栗原基	四六 判	送價	一・〇〇 〇・八〇	原著書がその透明な物理學の蘊蓄その流麗 明快な文を以て素質と教養の問題を探究した ものな栗原三高教授が譯されたものである。	集 成 社
體系的的教育科精義		岡田怡川	四五〇 頁	菊判 送價	三・八〇 三・〇〇	文檢受驗者及び一般教育研究者に適せる良書 教育哲學、教育史、論理、心理、教 育行政、學校衛生、現代教育思潮等を説く。	太 陽 堂
體系的 國民道德要領精義		岡田怡川	三〇〇 頁	菊判 送價	三・二〇 三・〇〇	本書は文檢受驗者の味方を以つて自他任する 著者に依りて其の眞髓を平明直截にしかも受驗 者の爲め問題解答式に記述せるもの。	同
胎教と幼兒教育		矢野西雄	二二〇 頁	菊判 送價	一・七〇 一・〇〇	胎教の無智は胎兒を傷け、育兒法の無智は幼 兒を傷つて本書は此點に關して根本的に研究 せるもの一般家庭必備の寶典なり。	寶 文 館
タルトニ案の主張と適用		成城小學校	五三〇 頁	菊判 送價	二・五〇 一・二〇	本書は成城小學校に於けるタルトニ案實施の 實際報告である。本案實施の初期に於ける苦心 と努力、工夫と考案の尊い記録である。	文 化 書 房
タルトニ案と我國の教育		赤井米吉	四六 判	送價	一・五〇 一・二〇	タルトニ案教育について斯界の一人者赤井先 生がその長短兩面を明瞭にされた我國教育界 への唯一のいはなむけである。	集 成 社

タルト ニ案の 批判的 新研究	帝國教育會	四六 判	布裝 送價	二・〇〇 一・二〇	タルトニ案の新教育法に就て斯界の權威者十 數氏が懇切なる紹介と嚴正なる批判を下した もの如斯き書は歐米にも稀なるものといはれる	文 化 書 房
タルト ニ案の 理論及實際	赤井米吉	四六 判	送價	二・五〇 一・二〇	一年間に七ヶ國語に譯された云ふ本邦唯一 のパーカスト女子原著の譯である。	集 成 社
實施經驗による タルト ニ案の 批判	廣瀬均	一八〇 頁	上裝 送價	一・五〇 一・二〇	本書はタルトニ案協會叢書第一編で、著者が新 しい學校として著名な福井師範附屬でタルト ニ案を實施経験した其研究の發表である。	文 化 書 房
タルト ニ式 學習の 實施經驗	吉田惟孝	二七〇 頁	特裝 送價	二・三〇 一・八〇	我國最初のタルトニ案研究者たる著者が自校 に實施經驗し其結果を詳細に紹介したものの本 書である。新進氣鋭の實際教育家に與ふ。	厚 生 閣
タルト ニプランの 學的 基礎と最近の 經驗	吉良信之	五九〇 頁	布裝 送價	三・八〇 二・三〇	タルトニ案の學的基礎を明快に説き、更に本 案の最近經驗を述べて本案を實際に行はんと する士の指導者たらんことを期す。	天 地 書 房
タルト ニプランの 進歩と其適用	吉良信之	四二〇 頁	布裝 送價	二・八〇 一・八〇	タルトニ案の學理と實際を説明し之を如何に 我が教育に適用すべきかを説けり。	同
小さい教育學	阿部重孝	二五〇 頁	洋裝 送價	一・五〇 一・八〇	常に變遷して行く時代の趨勢に順應する複雑 なる教育學の一般を新進なる斯學研究者阿部 先生が系統的に組織立てられたもの。	廣 文 堂
小さい教育心理學	青木誠四郎	二〇〇 頁	中判 送價	一・五〇 一・八〇	本書は一言にして教育のための心理學を建設 されたものである。從來極めて曖昧不當に取 扱はれて來た教育心理學を明快直截に叙述す	同
知能の本質	大伴茂	三五〇 頁	菊判 送價	二・五〇 一・二〇	本書は知能研究の最も盛んな米國に於ける權 威者サーストン教授の名著を邦譯せるものに して知能の測定をなさんとする人士の好參考	同 文 館
小學校 補習學校 青年團 中心の 公民教育	田子一民	四六 判	送價	二・〇〇 一・八〇	小學校補習學校青年團を中心として公民とし て教育せらるべき立憲政治自治の各項に互り て如何に教育すべきかと云ふ事を説いたもの	帝 國 地 方 行 政 學 會

女子教育論	辻幸三郎	四六判	送價	二〇〇	十七世期末葉佛國文壇に名を轟かしたエネロンの女子教育に對する論文で彼の宗教的而も古典的な雄渾なる思想の流が現れてゐる	目黒書店
教育より見たる女性と母性	福島政雄	四〇〇頁	送價	二四〇	女子教育上の眞理を説き、チルドの女性中心説を紹介して批評を加へミルの女子職業論を中心として相對主義の女權論を根本的に批判す	同文館
圖畫藝術教育論	矢澤弦月	三〇〇頁	送價	二五〇	美術に入り細に互り美學を説き藝術論を論じ藝術の教授の要諦を演繹し其歸趣を示せるもの美術研究家にも絶好無二の寶典たり	教文書院
圖畫手工の教育	稻森縫之助	五〇〇頁	送價	三八〇	兒童の成長兒童美術の研究に出發したる實際的主張で著者體験の披瀝である。成城小學校研究叢書第十四編、尋一より尋六迄の參考書。	文化書房
綴方教育の辿るべき道	守屋貫秀	二〇〇頁	送價	一五〇	本書は兒童創作教案中心主義に立脚して容易に綴方教育の要領を會得し得る様に書いてある。善く綴方教育の眞髓を表はしてゐる。	三友社
低學年教育の新研究	藤井利龜雄	三〇〇頁	送價	二五〇	本書は低學年の不自然な不合理な非心理的の教育を斥け如何にするのが自然で合理的な世の教育であるかを示したものである。	文化書房
低學年の國語教育	苦瓜惠三郎 守村田英吉 守屋貫秀	五〇〇頁	送價	四二〇	低學年に於ける國語教育上の問題は之を心理學的に照し實際に鑑みて徹底的に解説したるもの。學に要する諸點は洩れなく掲げてある。	三友社
選抜試験としてのテスト綱要	江上秀雄	二五〇頁	送價	一八〇	人間各般の能力を測定する各種のテストに就て幾多の調査や實見を材料として實際の方面より原理と方式に就て簡明に叙述したるもの。	曠臺社
批判主義に基づく哲學的教育學	稻垣末松	八〇〇頁	送價	四八〇	理想主義に立脚し理論的方面に知育、德育、美育、宗教、並に此等相互の關係を叙し實際的方面は家庭、學校、成人教育等を説く。	同文館
哲學と體驗と教育	早井上嘉吉	三三四頁	送價	二五〇	教育は基調を失ひ混迷の中に彷徨しつゝある之が教育は體驗主義の教育なる所以を明らかにし教育改革を力説せる新人の名著。	厚生閣

道德及宗教々育の本質	長田新四	四六判	送價	一四〇	ベスタロッチの原著を明快なる筆致を以て邦譯せるものにてゲルトルドは如何にしてその子を生かすか、の迷妄を喝破せられ、童謡教育の根本を暗示されてゐる。	目黒書店
童謡と兒童の教育	野口雨情	二一八頁	送價	一五〇	野口先生はこの迷妄を喝破せられ、童謡教育の根本を暗示されてゐる。	イデア書院
讀書索引	井關經	二〇〇頁	送價	二二〇	あらゆる階級の忙しい人々の頭の代用となり、一冊備付けて置けば便利無類の新案。	實業界社
圖書學概論	田中敬	六〇〇頁	送價	四七〇	眞に創造的著述で圖書發達の歴史を叙述し其將來を暗示し且印刷裝幀等圖書に關して一切の知識を網羅してをります。	富山房
圖書の整理と利用法	林靖一	五五〇頁	送價	四七〇	圖書及圖書館に關する參考書として唯一のものである。圖書館の最新設備を説き一書籍は如何に取扱ふべきかを懇切に實際的に解説す。	大阪屋號
日本教育史	文部省	三〇〇頁	送價	一八〇	太古より江戸時代末までの總説家庭教育社會教育専門教育等に分類し其變遷沿革を最も平明的確に叙述せるいと權威ある本邦教育史也。	弘道館
日本の兒童と藝術教育	沖野岩三郎	四六六頁	送價	一八〇	兒童教育と童話について卓越せる見識を持つてゐる著者が獨特の研究と意見を述べたもので教育界の一大警鐘となるべき大名著です。	金の星社
日本文化教育學	入澤宗壽	三〇〇頁	送價	二〇〇	文化教育學と體験教育とは我が教育界の視聽を廣げて居るべき針路を示唆するものである。	三友社
入學前の教養	米教育省	二〇〇頁	送價	一七〇	アメリカで數十萬部を賣盡した本です。小學校に入る迄の幼児の教育養護を如何にすべきか、家庭の母たる方々に是非一讀をすむべきもの。	文化書房
小學校農業實習指導法	服部眞一郎	三六三頁	送價	二〇〇	著者は現下の情勢に鑑み農業商業指導に關し其内容が實際的且教育的なるを特色とする。	明文堂

農業教育及教授法	横井時敬	菊判布裝 三四〇頁送	三・五〇	一八〇	寶文館
農村教育の新研究	帝國教育會	菊判布裝 四三九頁送	二・八〇	二二〇	文化書房
農民の國デンマルク	平林廣人	菊判上裝 二〇〇頁送	一・七〇	二二〇	同
能率増進と人の成功	近藤留藏	菊判美裝 一二〇頁送	一・二〇	二二〇	寶文館
母の爲の教育學	小原國芳	菊判上裝 二九七頁送	二・〇〇	二二〇	イデア書院
美事善行	文部省	菊判洋裝 二三〇頁送	一・五〇	二〇〇	寶文館
フルー人の教育	原田助	菊判洋裝 四〇〇頁送	二・八〇	二四〇	寶文館
批判的教育學の問題	篠原助市	菊判布裝 四〇〇頁送	三・五〇	二二〇	寶文館
ヘーベルの批判的教育思想	河野清丸	菊判洋裝 二七二頁送	二・八〇	二二〇	廣文堂
百科通俗講演集	懷德堂	菊判洋裝 二〇八頁送	一・五〇	二二〇	弘道館

舊著「小學農業教授法」に一大改訂を加へ面目一新して出す農業教育及び教授法に關する著者年來の抱負を全く此一書に傾倒されたり農村教育に關する學者と實際家二十有余氏の意見と優良農村に於ける實際施設状況を紹介したる無二の良參考書。

デンマルク農村の文化をつかみ其教訓を明かにせるものは本書あるのみ。農村青年の好讀物！補習學校の好參考書！

産業振興の鍵である能率増進科學的經營法を通俗化し誰にでも分り易く最も平易に圖解した上に各種の模範的實例を圖示したるもの。

「最上の遺產は教育」最初から最後までの上の教育者はお母様です。偉人の母は偉人です。子供の前に親が醒めればなりません。

關東大地震當時の美事善行數百件を詳細に調査して發表せるもの非常時に於ける我國人の犠牲的精神奉公的精神を發揚し得て遺憾なし開明主義教育の提唱者、幼稚園の創設者とし近世教育史上の巨人と稱へらるフルーベルの教育説にして、教育界の一大經典たり。

本書は著者が批判哲學の眼を以て正面より教育各般の問題に對し論評批判せられたるもの叙述懇到論評鋭利敢て薦む。

本書はヘーベルリンの批判的教育思想の源流に遡りその心核を明快に叙述されたもので新理想主義の哲學を奉ずる教育者の必備書なり

本野、新城、大井、木村、近重等の理工博士の各自獨得の最新研究を最も通俗卑近に講話せる筆記錄也最新の學理を容易に會得するを得可し

中等教科表解叢書	中等教育研究所	各二〇〇頁送	〇・三五	二二〇	光世館
婦人の典型	林靜太	菊判特裝 四三〇頁送	二・二〇	二二〇	警醒社書店
婦人問題と教育	小原國芳	菊判洋裝 四〇〇頁送	三・三〇	二二〇	集成社
文科學術講演集	懷德堂	菊判洋裝 三〇八頁送	二・〇〇	二二〇	弘道館
文化教育の原理	越川彌榮	菊判布裝 三九〇頁送	二・四〇	二二〇	寶文館
文化と教育上の諸問題	佐藤熊治郎	菊判上裝 一七三頁送	一・三〇	二二〇	同
ペスタロツチを巡りて	福島政雄	菊判上裝 一七三頁送	一・三〇	二二〇	イデア書院
ペスタロツチの新生	長田新	菊判上裝 一三三頁送	一・二〇	二二〇	同
ボーイ・スカウトの精神	奥寺龍溪	菊判上裝 二六四頁送	一・五〇	二六〇	中央報徳會
幼稚園及小學校保育要目	萬國幼稚園協會	菊判洋裝 一三〇頁送	一・五〇	二八〇	教文書院

十六科目二十六册内容新多趣味、携帶閱讀と理解記憶に頗る便なり。實に中等學生、受驗生學修能率増進の良書なり。

母として妻として娘として姉妹として男子に及ぼす總ゆる婦人の感化と援助を古今實存の賢婦名媛の事蹟に徴して記述せるもの。

著者が血を吐く思ひして天下の教育者と先輩と父兄に訴へたるものである。命がけて戦つてゐる青年男女に满腔の同情を寄せたり。

原、小西、桑原、高瀬、本庄、宇野六博士の最新研究の各専門に亘る好題目に付面白き實例を擧げ通俗的に講話せるものなり千紫萬紅なり

文化教育云ふ名稱は近時盛に耳にするがまだ一般教育者には其何たるかを十分了解されてゐない本書は之に於て組織的に表したるもの種々の名稱を附して簇出する教育思潮の由て來る本源に溯つて其の真相を明にしたいといふ感激に促されて生れたのが此の快著。

ペスタロツチは人間の教育史上に特立する巨廠である吾人はこの巨廠を巡る毎に益々深く自我の永劫の相を見る事が出来る。

〔内容目次〕一、ペスタロツチへの復歸。二、ヘルバルトよりペスタロツチへ。三、新教育學の基礎。外十項。

國民元氣培養の根源たるボーイ・スカウト(少年團)の眞精神は何處にあるかを、英米其他列強の實狀に照らして詳説したるもの也。

全篇皆先進國の識者が貴き研究の發露で我邦幼稚園及小學校幼児教育に最も有益な文獻として廣く本書を推奨致します。

保護兒童の教育的研究	菊池俊諱	菊池俊諱	五〇〇頁	四・五〇	保護兒童の本質を醫學心理學教育學社會學の各方面より述べ其教育に關する根本原理並に方法を説き進んで其の實際的研究を試みたものなる。補習教育の公民教育に對して一隻眼を有する著者の忌憚なき意見を發表せるものにして眞摯なる創見に満つる絶好の指針たり。	太陽堂
實業補習學校と公民教育	田澤義鋪	菊池俊諱	一〇二頁	〇・三〇	補習教育の公民教育に對して一隻眼を有する著者の忌憚なき意見を發表せるものにして眞摯なる創見に満つる絶好の指針たり。	中央報徳會
補習教育大觀	教育新會	菊池俊諱	三六九頁	二・五〇	補習教育に關する諸學者の學說理論を、實際の経験をもとに、之を組織的に明晰に叙述したるもの、眞に大觀の名に背かない良著。	中興館
本邦教育史概説	吉田熊次	菊池俊諱	七〇〇頁	四・五〇	本邦に於ける教育思想及實際の發達を叙し併せて本邦教育界に影響を及ぼせる範圍に於て支那の教育史を以つてしたるものである。	目黒書店
メンタルテストの概念	海老原邦雄	菊池俊諱	二〇〇頁	一・五〇	世の子供達の教師であり父母である人々にメンタルテストが如何なる者かを了解せしめ幼児の智能測定後其の進むべき道を教へた快著	寶文館
野外學校の學理及實際	小田俊三	菊池俊諱	二〇〇頁	一・八〇	林間學校臨海學校等凡て野外の教育の學理を實際に著者専門の立場より生理的衛生的に説述せるものにして類書中の白眉也。	弘道館
通俗優良學生學講話	池田林儀	菊池俊諱	二〇〇頁	一・二〇	優良學生は單なる學者講壇の問題ではありませぬ。本書は實際問題として所謂優良學生運動の必要を熱烈なる愛國の至情より鼓吹す。	富山房
優良訓話選	初等教育會	菊池俊諱	四三六頁	二・五〇	小學兒童に對する訓話の優良なるものを全國に募集し斯道専門家の合議精選を経たるもの須く實地に應用して其適否を試むべし。	大日本圖書會社
最近優良青年團事績	文部省	菊池俊諱	三三〇頁	一・〇〇	本書は文部省、内務省に於て選奨した全國二十九青年團の概況を悉く集録したもので青年團指導者及び團員の必讀すべき良書。	寶文館
要義と創作	八波則吉	菊池俊諱	五四二頁	三・五〇	尋常小學國語讀本要義と創作への道を合本せるもの讀方教授に對する著者の新説創見を趣味をこめ面白くもせざるものなり。	弘道館

讀方教育の鑑賞	宮川菊芳	尾形猛男	四六四頁	二・一〇	讀方教育は必然に藝術教育である。著者はその詩人的情熱と哲人的冷靜とを以て藝術の本質讀方教育鑑賞の根本義を闡明し餘さず。	厚生閣
讀方教育の實際	尾形猛男	尾形猛男	二〇〇頁	一・三〇	兒童生活の一方面たる讀むといふ事を擴充すべく讀方の教育指導は如何にすべきを徹底的に詳説したるが本書の大特色である。	三共出版社
讀方自由教育の原理と實際	鈴木源輔	鈴木源輔	三二〇頁	二・〇〇	本書は著者が自由教育實施以來七年間に於ける體驗生活より生出でたる讀方教育の諸問題を表現したるもの是非一讀を要す。	寶文館
若き日のペスタロッチ	細井次郎	細井次郎	三二五頁	一・八〇	若き日の思ひ出に若き日のペスタロッチを書きこむはなんぞ幸福な事であらう。善き影が善き魂を彫刻する。それは人生藝術である。	イデア書院
私たちの學校と其研究	教育問題會	菊池俊諱	三六〇頁	一・八〇	巖きに成城小學校で開催された新教育研究會の講演及會員の研究發表の記録で、全國の新しい試みを實施せる學校教育の鳥瞰圖である。	文化書房
私の教育	本間俊平	菊池俊諱	三三〇頁	二・四〇	魂の教育、生命の宗教之れこそ現日本の教育界、思想界を救ふ必須の糧である。信じます。	イデア書院
私の國語教育帳	千葉春雄	菊池俊諱	三三〇頁	二・三〇	秩序の名の下に自由を呪ひ傳統に隠れて個性を虐殺した劃一主義の教育は最後の審判を受ける。之正に我國教育界の一大收穫である。	厚生閣
韻文教授の原理と方法	今泉浦治郎	菊池俊諱	三三〇頁	二・五〇	韻文朗讀法に關する確固たる根據を作り韻文の如何にすべきか補充教材を如何にすべきか等教材及其取扱に就ての詳密な研究。	寶文館
お話と聽方教授資料(上)	成城小學校國語研究部	菊池俊諱	四〇三頁	三・五〇	聽方のごんなものを説き、その實際方法を示す、一學年五十一篇、二學年二十七篇、三學年二十四篇を編輯したものである。	イデア書院

お話と聴方教授資料 (下)	成城小學校 菊川 布判 三・五〇	一學年の巻。一、鬼の子だまし。外三十九篇。二學年の巻。一、虎と坊さん。外三十四篇。三學年の巻。一、呪の石像。外數十篇。	イデア書院
實際に 改正小學國史の教授 即したる 小學五年用	内海 靖 四〇〇頁 送價 三・五〇	改正小學國史を堅實なる現代精神と透徹せる史眼に依り解説せる書。参考事項は比類なく網羅され、教授用として最高價を擔つてゐる。	厚生閣
各科教授法	田中博士 菊川洋装 一・六〇 外三 菊川洋装 四二五頁 送價 〇・八〇	従来の教科書が教授の實際を指導する權威に乏しい所以を考察し周到注意を加へた、實地教授を練習した後再び本書を熟讀玩味せば可	松邑三松堂
小學後に グラフ教授と實際	中野恭一 二七〇頁 判 一・八〇 送價 〇・二〇	グラフ教授の目的、發生發展の過程を探究し各グラフ教材の連絡系統に體系あらしめ以て教材論及實際論の立脚地を明かにしてゐる。	目黒書店
教育教授の没落	志垣 寛 二二〇頁 美裝 二・〇〇 送價 一・〇〇	著者は「諸君は亡びゆく教育の挽歌をかきかすや」と峻厳なる豫言者の態度で新らしき教育を高唱してその改革に投ぜられた一大爆彈。	厚生閣
現代國史教授の諸問題	菊地勝之助 布 裝 二・三〇 送價 一・二〇	多方面の實際問題を捉へ歴史上重視すべき思想問題と國史教授、自學主義の教育と歴史教授に全力を注いで適切なる解決を與へたり。	寶文館
高等小學國史教授書	中山榮作 菊川和裝 六〇〇頁 送價 三・二〇 菊地勝之助 六〇〇頁 送價 一・八〇	各科の主眼點を明にし各教材數符の程度を示し挿畫の説明を試み取扱上の注意を述べ史實の原據教授上の趣味資料大家の論述を網羅す	同
教材解説 高等小學算術教授書 取扱の實際	中野恭一 菊川洋装 二八〇頁 一年用 二・二〇 二年用 二・二〇	難しい算術教授……本書は該博の學識と多年の實際的研究により成績の顯著と名譽を博せられたる著者精力傾倒の大成他の追隨を許さず	同
新らしくて 鑛物の鑑識法 と教授の實際	栗田鼎造 菊川布裝 四六〇頁 送價 三・二〇	本書は鑛物の鑑識法と教授上に於ける實際の注意を極めて分り易く而も有興味に説明したもので教師や學生の参考書として好適。	同
實用補 公民科教授	鈴木靜穗 四六六頁 判 三・〇〇 三九〇余頁 送價 二・七〇	本書は著者が公民科教授の實際案を公にしたもので新制公民科教授要綱の主旨は本書に依つて知ることが出来る唯一の教授資料である	明文堂

公民科教授資料	花井金藏 菊川布裝 全三冊 送價 一・二〇	公民教育の要諦を理解し其の目的を達せんがため教師用として編纂したるもの、その卓越せる識見は最も信憑するに足る。	興文社
公民教材の解説	後藤純 上裝 帙入 式 三・五〇 多田義太 菊川布裝 三・二〇	現代社會の熾烈なる要求に應じ小學校國定教科書中に表はれたる公民的教材を抽出し之に解釋を加へたものでカード式とし教授に至便	廣陵社
國語教授と眞教育	瀨谷眞吉 菊川布裝 三八〇頁 送價 三・〇〇	國語教授の權威者たる著者が多年の研究を發表したるもの、國語教授と眞教育との關係を道破せる近來出色の好著なり。	寶文館
國語教授の考察及考查	森越保三 菊川洋裝 三〇〇頁 送價 二・七〇	渾沌たる現時の我が國語教授界に光明へのヒントを與へ斯道研鑽の眞面目なる實際家に必ず何物かを齎らす事を堅く信じて疑はない。	教文書院
尋常 國語讀本教授詳案 卷十二	田上新吉 菊川紙裝 全十二冊 送價 三・三〇	卷(一)九〇 卷(二)一・三〇 卷(三)一・八〇 卷(四)一・五〇 卷(五)二・二〇 卷(六)七〇 各一冊 卷(八)九二〇 各一冊 卷(二)二・〇〇	目黒書店
國史の新潮と教材の運用	中野八十八 菊川布裝 五一〇頁 送價 三・三〇	國史教育の新思潮に基きその教材の運用法を説けるもの、特に新制高等小學國史に意を注げり。	天地書房
教育思潮の批 國史教授の 判に立てる 本質的研究	渡邊茂雄 菊川布裝 三七〇頁 送價 二・八〇	本書は現代教育教授の思潮の混沌たるを概し實際家の生活に縁遠きを感み學界の諸説を緯とし著者十五年の經驗を經きたる快著なり	寶文館
國定理科書教材精説	神田正梯 四年・五年・六年 各一冊 送價 〇・一八〇	實際教授に際しての必要な知識は勿論各教材の基礎事項、實用的應用方面の重要資料等に	目黒書店
子供の數學 年二	女子學習院 菊川繪入 一四〇頁 送價 〇・六〇	所謂新主義の數學に基き其理論を實際教授の學習院の教科書として現に女子	モナス
最新教授學精義	小川正行 菊川布裝 五四六頁 送價 三・一八〇	教授法を科學的理論的立場から系統的に論述し從來の教授上の種々の問題を悉く歴史的に闡明し尙すべし明快な批判を加へてゐる。	目黒書店

裁縫教授法	高橋イネ	菊判布装 二三八頁	送價 二〇〇	永い傳統から脱し新時代に叶ふ教授法として現れたのが本書である。文檢受驗參考用、師範教科用、中小學校教授の指導書として無二國民教育獎勵會の選に應じて名譽の月桂冠を得たる新研究。徒らに理論を弄せず實際教壇上の苦心を生ける血と肉とを以て示す。	文書堂
算術學習指導の實際	小黒俊治	菊判布装 三一〇頁	送價 二〇〇	國定算術書の要求は奈邊にあるかを先づ研究し教材を縦に横に研究し在來の算術教育界に取殘された重要問題を悉く網羅せる名著。	厚生閣
算術新教授法大成	佐藤武	菊判布装 七〇〇頁	送價 四〇〇	本書は算術教授に關する凡ゆる問題をその原理並びに實際の兩方面に亘り精細に網羅蒐集し、穩健著實、斬新透徹せる解決論を試したる者。	同文館
執筆姿勢勢圖	山口彦總	幅一尺七寸 送價	〇五〇	兒童の執筆の際の正しき姿勢を標示したる掛圖なり。小學校の各教室指教用、印刷石版七色刷鮮麗。	文書堂
時勢と世界地理教授の實際	菊地勝之助	裝釘洋装 送價	〇六八〇	教育教授の進歩に供ふ地理科教授上の最新問題を捉へ時勢の要求に鑑み特に著實な態度を以て之が實際教授の適切なる討究を試みたもの。	目黒書店
兒童の公民的生活	鹿兒島登左	菊判布装 四七〇頁	送價 二九〇	發達期にある兒童の公民的地位を明にし、公民科教授の好參考書ならしめんとせる新著也。	天地書房
珠算教授眞義	水戸部寅松	菊判函入 五〇四頁	送價 三〇八〇	著者十年の經驗研究の結晶である。教授の方法、教材の精選、練習等を掲げ、珠算教育の全般に亘つた最新の教授方法を細叙してある。	目黒書店
修身教授革新論	小原國芳	菊判 三五〇頁	送價 二五〇	新時代の國民を養成せんとするものは新しき思想新しき方法を以て臨むべきものである。本書は是等を詳説した德育教育人間生活改善	集成社
修身書教授細案	野澤正浩	菊判紙装 全七册	別記	尋二用二〇〇、尋三用三〇〇、尋四用二六〇、尋五用上二四〇、下二二〇、尋六用上二四〇、下二二〇、郵税各一二	目黒書店

修身教授書	川島次郎	菊判紙装 各三〇〇頁	別記	直ちに教壇上に活用出来る實際案である。六四年上、五年上、下各二・五〇、六年下二・六〇、四年上、下三年上、下各二・一〇、送料各一・八	目黒書店
修身教授の基調	澁谷義夫	菊判布装 七六〇頁	送價 四・五〇	近時の思想轉換機に際會して教育界に最も難問題として見られて居る修身教授を如何にすべきかにつき著者多年の研究が本書をなす。	天地書房
修身教授の實際	小原國芳	菊判各 八〇〇頁	上下各 四・五〇	各項目に對し教育者が的確な智識をもつ様に親切に詳論し生きた例話や補充材料を示して徹底的に説明したものである。	集成社
最新趣味の厚紙建築	岡山秀吉	菊判布装 二二三頁	送價 三・〇〇	學校官衙旅館會堂住宅其他各特色ある代表的諸建築物の模型を四二二箇の圖と共に解説又直ちに切取つて試作する別冊の工作圖を添ふ。	文書堂
最新思潮に基ける小學校算術科教授	新宮恒次郎	菊判布装 二八〇頁	送價 二・五〇	其の標榜せる如く最新思潮に基ける小學校算術科教授に關し著者の經驗と蘊蓄とを遺憾なく發揮せるもので實に斯界最新の權威である。	廣陵社
小學國史の活用	中山榮作	四六判ク ロース装	送價 一・二〇	小學國史教授に對する實際的方向を示しそれを標準として進むべき其の活用法を細叙したものである。	目黒書店
小學算術書取扱の實際	山本孫一	菊全五册	別記	尋四用二・五〇、尋五用二・七〇、尋六用二・八〇、高一用三・三〇、高二用三・〇〇、郵税各一・八	同
小學唱歌教授法精義	鈴木敏雄	菊判ホ プリン装	送價 二・八〇	人生と音樂より起り音樂の原理・唱歌教授の教材選擇・配列・音階豫習等三十五章に亘り多年の蘊蓄を傾盡大書されたもの教授者必讀。	廣文堂
改尋常小學地理教授書	菊地勝之助	菊判洋装 五〇〇頁	送價 二・八〇	本書内容を要旨區分教具教材解語及挿畫の説明教授上の注意參考資料の七項に分ち説明詳細を極む敢て實際教授者の座右に薦む。	寶文館
思想回轉機に於ける新國史教育	中野八十八	菊判布装 四〇〇頁	送價 二・八〇	現時の思想回轉機に於ける國史教育の斬新なる研究書也。	天地書房

新國史 至難 教材 の究明と躍動	中野八十八	五二〇頁 送	三・五〇	小學國史上下二卷を通じて最も至難とする教材を展開して解説を加へ真相を究明するに共	天地書房
新國史詳説及教法	木藤重徳	菊三五〇頁 送	三・二八〇	教科書中の材料を詳解し興味多き原稿を満載し國體問題社會問題思想問題等には特に慎重な説明と博大な意味を加へてある。	集成社
尋常 小學 新算術取扱の實際	中山本孫一	菊判紙裝 全三冊 送	三・二〇〇	改正された尋常三年までの算術書取扱上の實際の取扱法を各要目に亘つて精説してある。	目黒書店
尋五 尋六 新地理教授の實際	三木英太郎	四六〇頁 送	二・六〇	改定の國定教科書に準據し徹頭徹尾地人一體の關係を闡明するの地に立ち教材を敷衍し教授の力説を明にしたものである。	集成社
生命の綴方教授	田上新吉	菊判布裝 六六〇頁 送	四・五〇	内容を綴方教授最近の傾向現行綴方教授の缺陷を述べざるに著者の感想批評を赤裸々に披瀝すに四大別し著者の感想批評を赤裸々に披瀝す	目黒書店
地理教授参考掛圖	菊地勝之助	四六全判 極彩色 刷	價三六〇〇	現代地理教授の權威たる著者苦心の編述に成り各種の統計數量を最も具體的に最も直觀的に表現し地理教授上無二の良著述である。	廣陵社
綴方教授に關する 最近研究	帝國教育會	菊判上下 各三〇頁 送	價各二・八〇	全國師範學校附屬小學學校並に優良小學學校の最近に於ける綴方の研究及成績を網羅せるもの綴方教授上多大の貢獻をなすものである。	文化書房
綴方指導の原理と其實際	奥野庄太郎	菊判上裝 三六四頁 送	二・六〇	國語研究家として令名ある同氏が成城小學校に於ける六年間苦心の結晶で、同校研究叢書第拾壹卷實に綴方指導の一轉期を劃すべき書	同
綴り方の内面的研究	飯田恒作	菊判布裝 五六〇頁 送	三・八〇	外からの研究法を離れて生む心の伸展を究明して指導の實際を詳述す。	天地書房
低學年理科教授の 理想と實際	諸見里朝賢	菊判布裝 三五四頁 送	四・五〇	低學年に理科教授を試みその生きた體驗を基とせし實績を説き我教育界未踏の原野を開拓せる貴き文獻である。教育者の必讀に價す。	厚生閣

文化と國史教授の方向	大久保馨	四六判 洋裝 送	一・二〇	本書は人類文化の本質を訪ね過去人類が如何なる價實現をなしたかを深く究め國史教授の方向を明示せしものである。	目黒書店
本譜教授の實際	小笠原良造	菊判布裝 二〇〇頁 送	二・三〇	尋常三年から高二までの樂曲材料及音程練習の實際を詳説された本譜教授の實際的名著。	廣文堂
本譜教授用掛圖	田村虎藏	縱三尺六寸 横三尺六寸 三十一枚一組 送	一四〇〇	本掛圖は讀譜視唱の習練完全易容を期する上に於て最も必要最も効果の多い教授用備品であつて音楽教育の盛な所から各小學校必備品	同
メートル法及びグラフ 教授の最新研究	井間規矩治	菊判洋裝 一九〇頁 送	一・〇〇	如何にしてメートル法を容易に確實に習得せしむるか如何にしてグラフをより以上に利用せしむるかの問題を詳叙したるもの。	寶文館
讀方教授の刷新	五味義武	菊判布裝 七三四頁 送	五・二〇	去來の讀方教授に對する刷新の道を講じたるのみならずその根本的改善に立ちて、讀む力を闡明し實際教授の要諦を明示したるもの。	目黒書店
國語 讀方教授の 理論と實際 一卷	垣内松三	四六判 送	二・二〇	從來の教授書類は全然異つた研究で、ごまでも根本的に深究し最新學說に立脚し獨自の組織によつて讀方教授の眞髓を示してある。	同
各學 年の 理科教材詳説	吉田弘	菊判布裝 四三三頁 送	三・三〇	直接教授に便せんが爲め出來得る限り詳細に理化教材を詳説せしもの、實際教授に必須の参考書也。	天地書房
理科教材の解疑	淺野誠	中判布裝 七九八頁 送	四・二〇	生理・化學・動物・植物・礦物・天文・地文・氣象・生理衛生等理科教材の總べてに亘つて疑はしい問題難解な問題を徹底的に解説す。	廣文堂
理科教授の原理	大島鎮治	菊判布裝 六〇〇頁 送	四・二〇	小學校又は中等學校理科教師諸君にして一度本書を繙かば必ずや理科教授に對し高き見識と新しき理想とを築くことを信じ敢て推奨す	同文館
理科教授法の實際化	成田千里	菊判布裝 三〇〇頁 送	二・二〇	理科教授の形式のみでなく充實と改善併に其教授の實際化を徹底的に指導せるもの理科教授に生きたる魂を入れんことの抱負と自信の書	三共出版社

試験問題

十五年學生年鑑	高等學校入學の研究	文部省 國語科受験準備の指導	文部 國語漢文受験要訣	中學校・女學校・入學試験 國史方及問題全集	新入學試験 算術難問三百題	電氣技術者 資格檢定 試験問題解答集	最新 警部警部補 試験問題解答集	最新 警部警部補 試験問題解答集	國師範學校問題集	受験者の取るべき道	國語 漢文 受験之鍵	心理試験の總練習	全國女學校 入學試験問題集	中學全科獨修自在	地理學方及答案全集	綴方學方及文例全集	高等專門 入學試験問題集
山海堂編輯部	出口 競	三浦圭三	吉波彦作	小學教育會	小學教育會	工業教育會	內藤三郎	內藤三郎	X Y 社	藤森良藏	野中元三郎	小學教育會	小學館編輯部	堀田相爾	小學教育會	小學教育會	山海堂編輯部
三五判 三〇〇頁 送價 〇・六〇	三六判 二八七頁 送價 一・〇五	四七〇頁 送價 二・一八	四六〇頁 送價 三・五〇	菊引離式 二〇〇頁 送價 一・九五	菊引離式 二〇〇頁 送價 一・九五	四六判 假裝 異なる 送價 一・二〇	三六判 三四〇頁 送價 二・〇八	三六判 二五〇頁 送價 一・〇八	二六〇頁 送價 一・〇六	四四〇頁 送價 一・〇三	五六判 五一一頁 送價 一・〇八	菊引離式 九四頁 送價 一・四〇	洋六判 送價 一・〇二	假四六判 送價 一・〇四	四六判 送價 一・九八	四六判 送價 一・八五	二〇〇頁 送價 〇・五〇
上級學校への徑路、關門の突破、卒業より就職、苦學者の便學、立身への捷徑等學生と離る可らざる一切の問題を解決する珍書也。	入學手續と試験、各學科の準備法、受験前の修養法と食物、高等學校の學費、試験問題と答案の書き方、試験問題集等を收む。	文檢國語科受験準備講習會に於て講述せし稿本に改訂増補を加へたるもの本書に依て國語科の眞の準備を知り進むべき方向を習得せよ	國語と漢文に分けて其の研究の順序方法、研究的參考書を説き次に最近十三年間の模範的解説を附す受験者の必讀書である。	小學國史を或は人物中心に、或は事件中心に簡條書に編んである。記憶し易いので好評を得、すでに第二十六版を重ねてゐる。	全國中學校女學校の入學試験問題數千題から難問を三百題選り自習的に、豫習的に研究し得る優等生用の準備書である。	明治四十四年以降の試験問題を課目別に統一し解答を附したもので、電氣家の登龍門である。選試受験者には、必携の關鍵である。	各府縣に實際に行はれたる試験問題を輯集して之れに模範的解答を與へたるものにして之等試験に應ずるもの爲には必要の書である。	本書は警視廳の試験問題及答案集を實際にわたつて蒐集したもので、荷も受験者に必要なる事項は細大漏さず載せてある。	受檢用として理想的參考書である本書を讀むで合格せざるものは殆んど皆無である本書は官吏登龍門の秘訣を教示するものである。	全國師範學校の入學試験問題數學は勿論。國語、地理、歴史、其他全部を集めたるもの。國師範學校入學受験者諸兄の絶好參考書なり。	武士に武士道あり、受験者に受験道なかるべからず。受験準備に於ける方法、受験前の攝生、試験場に於ける注意等、世の父兄に薦むる人々に取り最も要領よき受験用書にして又斯學自修の好參考。	マンタルテストは入學試験に直接及び間接に必要である。之によつて思考力を練ることは受験上の近路である。	試験必勝秘訣はこゝにあり、全國代表的の學校の入問は殆んど集められた。最近ごんな問題が出るか云ふ事がわかる良書である。	本書は中學生諸君理想的勉強法を公開するものにして、これによつて勉強すればよき成績を得る事請合。諸君の座右の寶典である。	細かい地圖を入れ、簡條書に分り易く著はされてゐる。受験用地理として一番好評で勿二版を重ねてゐる。	受験中心の文題二百題と兒童模範文數百題とを載せ、文例及び作法を盡してある。類例ない模範文集である。	之れによりて受験の大勢を知り、之によりて益々自己の實力を鍛錬せば試験場裡の勇者たり得べきや必せり。
警友社	東海堂	研考社	富山房	慶文堂	慶文堂	小學館	甲子社書房	慶文堂	同	同	同	同	同	同	同	同	同

最新 警部警部補 試験問題解答集	最新 警部警部補 試験問題解答集	國師範學校問題集	受験者の取るべき道	國語 漢文 受験之鍵	心理試験の總練習	全國女學校 入學試験問題集	中學全科獨修自在	地理學方及答案全集	綴方學方及文例全集	高等專門 入學試験問題集
內藤三郎	內藤三郎	X Y 社	藤森良藏	野中元三郎	小學教育會	小學館編輯部	堀田相爾	小學教育會	小學教育會	山海堂編輯部
三六判 二五〇頁 送價 一・〇八	三六判 三四〇頁 送價 二・〇八	二六〇頁 送價 一・〇六	四四〇頁 送價 一・〇三	五六判 五一一頁 送價 一・〇八	菊引離式 九四頁 送價 一・四〇	洋六判 送價 一・〇二	假四六判 送價 一・〇四	四六判 送價 一・九八	四六判 送價 一・八五	二〇〇頁 送價 〇・五〇
受檢用として理想的參考書である本書を讀むで合格せざるものは殆んど皆無である本書は官吏登龍門の秘訣を教示するものである。	全國師範學校の入學試験問題數學は勿論。國語、地理、歴史、其他全部を集めたるもの。國師範學校入學受験者諸兄の絶好參考書なり。	武士に武士道あり、受験者に受験道なかるべからず。受験準備に於ける方法、受験前の攝生、試験場に於ける注意等、世の父兄に薦むる人々に取り最も要領よき受験用書にして又斯學自修の好參考。	マンタルテストは入學試験に直接及び間接に必要である。之によつて思考力を練ることは受験上の近路である。	試験必勝秘訣はこゝにあり、全國代表的の學校の入問は殆んど集められた。最近ごんな問題が出るか云ふ事がわかる良書である。	本書は中學生諸君理想的勉強法を公開するものにして、これによつて勉強すればよき成績を得る事請合。諸君の座右の寶典である。	細かい地圖を入れ、簡條書に分り易く著はされてゐる。受験用地理として一番好評で勿二版を重ねてゐる。	受験中心の文題二百題と兒童模範文數百題とを載せ、文例及び作法を盡してある。類例ない模範文集である。	之れによりて受験の大勢を知り、之によりて益々自己の實力を鍛錬せば試験場裡の勇者たり得べきや必せり。		
警友社	東海堂	研考社	富山房	慶文堂	慶文堂	小學館	甲子社書房	慶文堂	同	同

東京、京都、上田、各専門各縣立 蠶業學校 入學 試驗 問題 集	明文堂編輯部 裝幀 四六判 三五〇頁 送價 一・一五〇	最近七年入學試驗問題 高等學校 答案詳解	諸 教 授 四六判 送價 一・一五〇	高等學校各種專門學校 入學 受驗 案内	學事調査會 二〇〇頁 送價 一・二〇〇	官公私立大學 高等專門學校 入學受驗指針	東京 受 驗 會 二二〇頁 送價 一・四〇〇	農業者中等教員檢定試驗 農業科 受驗 提案	石瀨 傳 藏 四〇〇頁 送價 一・一八〇	文檢各科受驗指針	市川 一 郎 四六判 送價 一・一八〇	文官普通能く問題と模範的な答案 警部考試出る問題と模範的な答案	富益 義 衛 三六〇頁 送價 一・四〇〇	中學校、女學校、入學試驗 理科學び方及答案全集	小學教育會 四六判 送價 一・二〇〇	體 育	三橋 義 雄 四六判 送價 一・一八〇	ヴァレーボール	第五回、第六回、殊に第七回の極東競技大會 著者独自の研究體験に基き懇説された良書。	廣 文 堂
---------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------	----------	------------------------	------------------------------------	-------------------------	----------------------------	-----------------------	-----	------------------------	---------	--	-------

運動 心理	佐々木 等 四六判 送價 一・一五〇	オリムピアの印象	野口源三郎 寫眞入 送價 四・二七〇	學校體操の指導	大谷 武 一 裝釘洋裝 送價 一・二〇〇	學校體操要義	永井道明 菊判洋裝 送價 三・八八〇	學校遊技	藤山快隆 挿繪數十 送價 二・二〇〇	各種ゲームの記録法	寺 田 瑛 四〇頁 送價 一・〇六〇	最も實 際的な 學生劍道の粹	高野三郎 富永堅吾 四六判 送價 一・九八〇	體育を主 としたる 競技と球技	中園 精 一 菊判洋裝 送價 二・二〇〇	グラフ教授の 系統的新研究	宮地 秀 夫 菊判洋裝 送價 二・〇二〇	教育的體育ダンス	寺岡 英 吉 四〇頁 送價 一・〇八〇	情操教育上最も兒童の心境に合致し體育的効 果の甚大なる新しい教材十種を選び實演寫眞 説明圖と樂譜も付して實行容易にして有る書	坂本書店
-------	-----------------------	----------	-----------------------	---------	-------------------------	--------	-----------------------	------	-----------------------	-----------	-----------------------	-------------------	------------------------------	--------------------	-------------------------	------------------	-------------------------	----------	------------------------	--	------

現代の學校體操	三橋喜久雄	三二〇頁	洋裝價 二・〇〇	生理機能的重視より筆を起し兒童の心理發達の階級を基礎として趣味化美術藝術化させ兒童の自發自律のものたるを大著述である	モナス
劍道學	金子近次	八〇〇頁	菊判特裝價 六・〇〇	斯道の大家たる著者が劍道の全般に涉つて、詳細極めて論述しその奥儀秘傳を公開せる大著武士道立國の日本人は必ず一本を	聚英閣
於ける巧緻運動	中島海	四六六頁	說明圖入送價 一・〇六	學校體操の教材中に於ける巧緻運動の意義を明らかにし實際教授に適用する場合如何にすべきかを説く	目黒書店
合理的體操學	今井學治	菊判布裝 四五〇頁	菊判布裝價 四・八〇	本書は我が體育界に一新紀元を劃したる一大名著として既に絶大の歡迎を受けてゐる。震災後更に訂正増補改訂版復興面目一新す	廣文堂
改造社運動叢書第四篇 山岳スキ	平井左門	四六六頁	四六六頁裝價 二・五〇	〇スキー沿革の概説 〇用具及び準備具 〇スキー・ツリーストとしての資格と訓練 〇外九項	改造社
増補柔道教範	横山・大島	菊判半裁 二八〇頁	菊判半裁價 一・三〇	柔道全般に亘り解り易き様平易懇切に一々實地取組みせる鮮明なる寫眞を添へ手を取り教ふる如く説明せるもので講道館柔道の稱あり	二松堂
疲勞十分間體操	白井規矩郎	美三六頁	美三六頁裝價 一・〇〇	多忙な人の十分間運動、胃腸矯正十分間運動、卓側運動、若返り十分間運動等に亘り一々圖解を以てせるもの。別に圖表を添ふ	日實業社
新しい小學校運動會	眞行寺朗生	四二〇頁	四二〇頁裝價 二・六〇	小學校運動會に清新な気分を持たせる爲め著者多年の研究を擧げて本書を大成せられた。體操教師、軍人、學校派遣將校諸士の必讀書	三共出版社
新體育家の思潮	小原正忠	四二〇頁	四二〇頁裝價 一・〇六	體操教師其人の修養上の参考となり心得となるべき事項を流暢の筆を以て書かれたもの	寶文館
改造社運動叢書第三篇 水泳	梅澤親光	四六六頁	四六六頁裝價 二・〇〇	〇游泳術 〇水上競技 〇教導と指導 〇雜件 〇附表	改造社

スキーイソク初步	東京帝大 學友會 大	四六六頁	四六六頁裝價 一・五〇	斯界の權威なる東大スキー部が、理論と經驗により編述せるものにて、初步より指導詳細を極む。唯一の指南書	改造社
世界の運動界	岡部平太	四二〇頁	四二〇頁裝價 二・七〇	世界の各運動國を巡りて得た有名選手の勝利の理由を研究したオリムピックゲームスの高利等批評である	目黒書店
體育即生活論	三橋喜久雄	中判布裝 三七四頁	中判布裝價 二・八〇	本書は我が體育界のオリソリテ三橋先生が親しく歐米諸國の體育現狀を視察歸朝後最初にのり吼である。先生獨創の卓見、必讀あり	廣文堂
體育ダンス	砂本靖二	中判洋裝 一九三頁	中判洋裝價 一・八〇	學校ダンス競技ダンス遊戯ダンス劇場ダンスを教育的藝術的體育的價値ある數十種を選びて實演寫眞樂譜を添へて解説した優良の好著	同
體育の諸問題	大谷武一	寫眞版入送價	寫眞版入送價 三・〇〇	社會問題となつた體育問題をどう見るか。著者はその抱負を公にするに本書を以てした	目黒書店
正しき體操の指導	西海龍藏	菊判布裝 三〇〇頁	菊判布裝價 二・八〇	體育指導の實際大家として噴々たる著者の苦心研究表で最も適切な指導法、適當な取扱正しき要領の會得等を寫眞挿入懇説す	廣文堂
團體遊技	寺岡英吉	菊判布裝 三七二頁	菊判布裝價 三・五〇	著者多年の經驗から考案發表になる大著で團體遊戯の種々類用器具設備服裝並に個性觀察言語舉動不公平心の矯正共同一致等を詳細解説す	同
女子競技	三橋義雄	中判布裝 六五〇頁	中判布裝價 四・五〇	指導の大家たる著者の經驗と數度の競技會出演選手の實際を基礎として最新女子競技の理論的研究と實際的研究を説述すスポーツ好愛書	同
女子體育學	雜賀三省	菊判布裝 二五〇頁	菊判布裝價 三・二〇	著者は女子體育を専心研究せらる、事多年其蘊蓄を傾け大成されたのが即ち本書で解剖學上心理學上の見地から女子の體育を解説す	同
テームゲームス	大谷武一	菊判布裝 五五〇頁	菊判布裝價 三・五〇	内容を夏冬を主とせる十數の團體競技に頭各種競技發達の歴史、概説、練習方法、策戦、競技者の心得ルール等を平易に詳述してある	目黒書店

テニスの科学的考察と趣味	鷹部屋福平	一四六頁	送	一・五〇	世界的な名手熊谷氏苦心の著述。硬球式庭球の唯一の指南書。スポーツを知らんとする人の好伴侶。	改造社
テニスの智識と競技	進藤延	二〇〇頁	送	一・三〇	硬球と軟球とのテニスの相違から説明し、初めてラケットを持つ人にも充分に解るやうに書いたもの。	紅玉堂
テニスの秘訣圖解	グエール	一〇〇頁	送	一・四〇	本書は、テニスのダブル、シングル共に寫真説明を以て充實す。初等者熟達者共に好参考書なり。	文陽堂
バスケットボール	三橋義雄	二五〇頁	送	二・三〇	近來バスケットボールは頓に隆昌を極めて来たが、これの完全に解説された事は皆無と言つていい。著者これを憾み實地に基き懇説す。	廣文堂
野球バットの響	安倍季雄	二〇〇頁	送	一・八〇	早慶試合の復活。大投手の腕力。記念のバット。瘡痍を裏んで。本塁打の教訓。マ、サン讓次等著者獨得の痛快なる野球ロマンス。	大阪屋號
第二野球ホームラン	安倍季雄	二〇〇頁	送	一・八〇	●魔球。主將の涙。天下分目の戦。太平洋を越へたる。審判は神聖也。野球小説界の第一人者たる安倍氏の一大創作を讀め。	同
子供の遊ばせ方	坂内みつ	二〇〇頁	送	一・八〇	子を持つ親達。勿論幼稚園の保母諸姉、小学校初年生の受持教師諸賢が好箇の教材、参考書として必讀に値すべきもの。	教文書院
野球	三宅大輔	三三六頁	送	二・八〇	野球界の三宅氏は情理兼備の名將として好球児に普く知られる。本書は科學的研究の結晶にして文章亦雄健。	改造社
野球規則註解	支倉萬里	三五五頁	送	一・〇〇	野球は今や世界的な競争となつた。是れを完全に行ふべく種々の規則がある。最近改正せられた野球規則に註解を加へたれば一讀了解すべし。	網島書店

カド式野球試合記録帖	小泉葵南	石版印刷	送	一・四五	野球競技の記録は専門家の仕事時代は最早昔の物語で今はフアン氏の筆記時代なり。本書は愛球家より進により三田稻門の公認記録發刊。	河内書店
野球新規則の詳解	小泉葵南	袖珍形	送	一・九〇	研究ある著者が規則全般に亘り平易註釋を加へ他に類なき野球百科辭典とも申す良書也。	同
野球の話	小林鶯里	四六頁	送	一・四〇	現時如何なる人間の地でも野球の行はれて居ない所はない。本書は始めて野球をやる人の爲に野球を見る人の爲に解り易く述べたもの。	文藝社
野球の遊技	佐々木等	二九〇頁	送	二・四〇	著者連が實際に試みたものに對して出来るだけの選擇を加へ就中教育的價値と興味深きものとの大體學年別に要目の配當をしてある。	目黒書店
ラゲビー	香山蕃	三二八頁	送	二・五〇	(一) 總論 (二) 競技の精神 (三) 起原及發達 (四) 概説 (五) 本論 (六) 結論 (七) 注意事項 (八) 練習 (九) 規則	改造社
陸上競技會	秋葉祐之	寫眞版入	送	一・五〇	競技會の當事者が如何なる點に注意して計畫すべきか又如何にせば理想の競技會が出来るか等行ふに當つての計畫と實際を細説す。	目黒書店
陸上競技指導要項	佐々木等	寫眞版入	送	一・八五	實演に際して無用の手数を省き自由活動に基づく短時間の努力の好果を主眼とせる等明らかなに實際教授者の資料とせしものである。	同
陸上競技法	野口源三郎	寫眞版入	送	四・五〇	野口監督! その名は西歐の體育界をも風靡してゐる。數々の體験より得た完全なフォームを氏獨得の妙筆で叙した。實寫眞數十入。	同
愛のふるさと	安倍季雄	寫眞版入	送	一・七〇	文部省認定書、若溪會推獎、口繪一葉、挿繪三葉、好評第八版、大火の教訓、納豆賣の子、孝子茂量、私の母様、等十二篇を收む。	丁未出版社

小説	青い蠟燭	野邊地天馬	菊形 上三六三頁	送價 一・五〇	原書は英國スラットン女史の作、滑稽で皮肉である。高女程度の女學生に最適の小説。	丁未出版社
蘆笛の唄	松美佐雄	三四二頁	送價 一・七〇	文部省撰 標準圖書 挿繪四葉、運河番の娘・ヒルトの万年筆・銀貨さん・等著者の自撰せる十六篇を載す。		同
學習 一郎の讀方	秋田喜三郎	四〇六頁	送價 一・〇〇	國語讀本と連絡をとりつて一郎といふ小學生を題材とし、讀方學習法の急所をたれにもわか		目黒書店
英傑傳叢書(1)	八幡太郎と鎮西八郎	須崎邦武	二四〇頁	送價 一・五〇	八幡太郎は智慧あり策戦の勝れた徳の高い戦の神様に尊敬された名將で、鎮西八郎は強弓天下に無類と言はれた、豪の者である。	日本供社の
英傑傳叢書(2)	頼朝と義經	濱田廣介	二二二頁	送價 一・五〇	平家の國政を憤り、一族徒黨を引具して、源家の再興を謀りし頼朝、弟義經の飛躍と、其の生ひ立ちも面白し。	同
英傑傳叢書(3)	楠公父子	遠藤早泉	二二〇頁	送價 一・五〇	純忠無二の楠正成正行は我が帝室に忠節を盡した第一人物である又國民全般からも崇敬の念深く、我日本國民の龜鑑となる可き大忠臣	同
英傑傳叢書(4)	日蓮と親鸞	佐野敏一	二四〇頁	送價 一・五〇	日蓮と親鸞とは、日本の宗教史を彩る大聖人である、幼少より苦と戦ひ専心教への道に凡てを託して大業を爲し遂げし傑人である。	同
英傑傳叢書(5)	信長と秀吉	額田六福	二五〇頁	送價 一・五〇	戦亂の世を統治せし、信長の力量、草履取よ布きし、太閤秀吉の大功と遺訓。	同
英傑傳叢書(6)	加藤清正と石田三成	下田美佐夫	二四〇頁	送價 一・五〇	加藤清正は智、仁、勇の揃つた立派な武將であり、石田三成も主家豊太閤の大恩に報ひ、若君秀頼公の爲に最後まで盡した眞劍の士。	同
英傑傳叢書(7)	山田長政と錢屋五兵衛	望月紫峰	二四〇頁	送價 一・五〇	島國としての我國は、海外の仕事が一番肝要である。山田長政も錢屋五兵衛も早くより海外に志を置き大活躍をした大人物である。	同

英傑傳叢書(8)	柳生但馬と宮本武蔵	森 卷雄	二二〇頁	送價 一・五〇	神免二刀流の開祖と云はれた宮本武蔵は如何に生じた立ち何んな活躍をしたか？神陰流を編み出した柳生但馬の武藝と相待つて痛快談。	日本供社の
英傑傳叢書(9)	赤穂義士	遠藤早泉	二二五頁	送價 一・五〇	眞劍な心の持主赤穂四十七士は見事主君の仇討を決行し後の世までも義烈の手本として傳へられる美譽美談。	同
英傑傳叢書(10)	大塩平八郎と佐倉宗五郎	田中貢太郎	二四五頁	送價 一・五〇	尊王論の先驅者大塩平八郎の義舉、義民佐倉宗五郎の献身的飛躍は、共にめばらしい活動振である。	同
英傑傳叢書(11)	水戸烈公と伊井直弼	苦田悦雄	二二〇頁	送價 一・五〇	烈公の攘夷説、直弼の開港説、主義主張は相異れども、國を思ふ忠義の一徹、之等愛國の士に依つて維新大業の端緒が開れたのである。	同
英傑傳叢書(12)	維新の三傑	小川鹿影	二四〇頁	送價 一・五〇	明治維新の大業に飛躍奔走して、現在の我國の基を築き上げたその三傑は何人なるや。	同
児童文學	おもしろい話	児童文學會	全四六冊	送價各 一・三〇	悉く児童の生活を本位とし自然の美しさや科學的趣味をそれとなく理解せしめじかもし児童の喜んで聞きたがる話ばかりを集めた好讀物	文明社
	おもちゃの裁判	久保田万太郎	二一六頁	送價 一・二〇	たやすく演じ出せる純藝術的な児童劇集。日本ではじめて本當の意味の児童劇を發表しつゝある輝ける雑誌「赤い鳥」の收穫の一つ。	赤い鳥社
	外國の讀本から	眞田幸憲	菊判美裝	送價 一・四〇	著者が遊學の折得たる外國の讀本より面白い児童讀物を探り出して我國の児童のため公にせるものにて興味ある童話が満載されてある	目黒書店
	面白い科學百話	松本道夫	三〇〇頁	送價 一・六〇	世界中に於ける面白い事實、不可思議な事實の珍らしい事を一々寫眞圖版を入れて談話體に説明せるもので家庭の好讀物である。	二松堂
	メンタル各科豫習書	栗本正信	四九〇頁	送價 一・二〇	算術の部は式題應用題變形題讀方の部は形式題内容題聯想題推理題選擇題斷題續方の部は構成題作文題として詳細に述べてある。	目黒書店

ラセン式 練習算術 五、六年の巻	ラセン式 學習算術 五、六年の巻	小學生 學習の仕方 上下	鑑賞詩集	鑑賞兒童文集	汽車の話	少年キリスト傳	空中征服	クレヨン畫とその畫き方 下級用	美術 クレヨン染と版畫	
研究指導 會洋六 二五〇頁 送價各 〇七五	研究指導 會洋六 二五〇頁 送價各 〇七五	塚本 清四六 送價一 〇二八〇	田中未廣 春夏秋冬 四六判 送價 〇五〇	岸野庄太郎 雄尋常各 學判 送價 〇三五	小島政一郎 二三四頁 送價 一〇二〇	巴拉ード 二八頁 送價 〇一五	宮崎一雨 挿繪多 送價 〇二〇	横井曹一 美四六 倍判 送價 〇八五	横井曹一 三四六 判入 送價 〇二八〇	
ラセン式と云ふ、最新式の力をつける配列法によつて編輯し、なほ最近中等諸學校新傾向入學試験問題を参考に添えてある。	ラセン式と云ふ、最新式の力をつける配列法によつて編輯し、なほ最近中等諸學校新傾向入學試験問題を参考に添えてある。	兒童の學習困難なのはありませぬ。教師の指導をうけて充分の學習は出来ませぬ。教師の本書は兒童自身にて充分な効果をあげうる。	現代名家の名作を集め評釋詳説して初學者に分類して季節に依り索引し得。	成城學校及全國各小學校から幾千萬點の兒童作品を集め其の中より選りて各一々小供への評譯を加へ小供を自然に作品に導く。	日本近代の文豪を中心に西歐藝術の作品をも交へ内容價値に興味を伴ふ少年的文例を集め一々精密な評譯と各文に對する講話を施さる。	少年には少年の専門書がなければならぬ。本書は此の方面に於ける唯一書であらう。小學校の高學年、中等學校の初年級に好適。	天地の創造と神と人間を最も簡單平易に説明し一章毎にこれに和したる讚美歌を引照せり。	破天荒の大快學「空中世界一週競争」に我少年飛行家征矢雄君が苦心慘膽あらゆる迫害に打ち克ち第一着の榮冠を得る云ふ熱血小説。	著者は圖畫教育界に於ける第一人者にして多年の經驗と理論とにより兒童のクレヨン畫の入門を學習を容易にせんがための著である。	クレヨンを中心として兒童に出来る趣味の染された兒童版畫の一般を著者の實驗によつて譯
小學館	小學館	目黒書店	集成社	同	同	イデア書院	出版文部館	雄大辯會本	雄大辯會本	

壯絶 決死の猛獸狩	血戦記	健男兒	高等小學算術詳解 (一年用)(二年用)	故郷いつこ	尋常六年國語の學習 と受験準備 卷十二	小學國語讀本研究 四・五・六 年生・前後	尋常小學 國語讀本自習書	標準國語副讀本 全十八册	古事記物語上下
窪田十一	川島堰一郎	上井磯吉	研究學習會 四二二頁 送價 〇四五	青柳白嶺	兒童教育會 三一四頁 送價 〇六五	中村八郎	野澤正浩	兒童文學會	鈴木三重吉
美四六 判入 送價 〇三〇	極美六 判入 送價 〇八〇	洋四六 判入 送價 〇七〇	美四六 判入 送價 〇六〇	美四六 判入 送價 〇三〇	美四六 判入 送價 〇六五	各學年各 冊共 二四〇頁 送價 〇六〇	各學年各 冊共 四六判 送價 〇六〇	各學年各 冊共 三・四年各 冊 五・六年各 冊 送價 〇二〇	各學年各 冊共 一・二年各 冊 三・四年各 冊 五・六年各 冊 送價 〇二〇
未だ嘗て世に紹介されなかつた廣漠たるアフリカ大陸の象狩、河馬狩、獅子狩などの痛快壯烈なる大猛獸狩で一讀快哉を叫びしめるであらう。	鎮西八郎爲朝、源九郎義經、楠正成、新田義貞等歴史最も痛快にして興味多き物語のみを集め興味の課外讀本として最適のもの。	圖書協會から少年少女模範讀物として推薦された評判の書で一名「母を慕はうて幾千里」と稱せられる可憐な健兒の物語。	算術書を極めて丁寧親切に且つ平易に詳解し日常の自習の参考書とし且つ中等學校入學準備書として十分効果あるものと信ず。	生れながらに虚けられた少年が、戀しい生みの母、懐かしい故郷を尋ねて東に西に哀れな旅藝人となつて漂泊ひ歩く涙の物語。	國定教科書の課を追ふて其の大意語句文字解譯應用練習等一々詳解したもので更に實方試験の總練習があり受験準備書としての良書。	國語を學ぶには、暗記するのみにては、何の得るところはない。難かしい所を説明し、問答體でもつて、要點を覚えさせる良参考書。	年上・下各五〇、六年上卷七〇、六年下卷六〇、郵税各册〇六。	現下流布されつゝある副讀本は多いがこれ程文學價値と藝術價値の完全を期したものは他にない。國語の眞教育は斯くして完成す。	われわれの最早の祖先について赤裸々に記録された古事記の話を、兒童向きに、平易な口語で再現した、それ自身又至貴なる藝術作
雄大辯會本	同	同	三友社	雄大辯會本	三友社	小學館	目黒書店	同	赤い鳥社

子供のおもちゃ教育	服部北溟	一〇二頁	送	六〇	玩具は子供の良師であり、恩人である。共に子供の手で作り心で育てる。この玩具教育の価値を知る父兄の是非一讀すべき好著である。	博文館
家庭子供の疑問はと解くか	近藤新一	四六頁	洋装函入	二〇三〇	疑問の多い子供に適切な解答を與へる事は、知性啓蒙の要訣である。本書子供から受けた質問の中から代表的なものを選び、之に解答を附す。	啓文社
子供の四十八癖	服部北溟	二四頁	紙装	二〇六〇	子供の有らゆる癖を調べて、その原因や豫防学校にも家庭にも無二の参考資料。	博文館
子供の震災記	初等教育研究会	三四頁	紙装	二〇八〇	永遠に記録すべき大震災は、数多くも子供の手によって成つた純眞の記録は、本書の他にならぬ。これこそ後世へ傳ふべき寶典である。	目黒書店
理科と子供のラヂオ	齊藤英雄傳	一四五頁	挿圖美装	一四六〇	小さな科学者、若き研究者のため、著者は一懇切にその理を説かれたものである。	厚生閣
家庭算術学習	山内俊次	四六頁	紙装	二〇八〇	家庭に於ても教師の指導のもとにある様に、特別に力を注ぎ、圖示を以て明に示してあります。	目黒書店
算術の學び方	肥後盛熊	全一冊	菊判美装	六〇六〇	このグラフ用紙は、小學校の算術グラフの練習用として最も新らきメートル法に依つて、模範的に製作したのである。	小學館
算術の學び方	肥後盛熊	全一冊	菊判美装	六〇六〇	小學算術の自習用に著せるものにして中等學校入學者にとつての適切な好参考書である。	目黒書店
上學兒童算術	平田巧	四六頁	菊判美装	六〇六〇	本書は、全國大方の學校にて大分採用されつゝあるもの、算術學習に縦横から深い力を注がんとして、各種の問題を色々に工夫指導。	集成社
兒童齒科讀本	フルグソン	四六頁	紙装	一〇四〇	この讀本で、子供を愛する親の選ぶべき讀物の一つである。	紅玉堂

兒童數學

兒童數學	平田巧	菊一判	送	六〇〇	兒童が有する數學的芽生に培ひ、代數的、幾何的取扱を尋一から導入し、發見創造の道を歩かせんとして、新しく試みられたもの。	集成社
兒童文庫第一卷 簡易兒童の化學實驗	石川清一	一〇頁	洋装	一七五	化學實驗を簡易で面白く書いたのが本書です。日曜日に線圖へ出てやつて御覧なさい。學校で教はつた外に新しい知識が得られます。	盛林堂
兒童文庫第二卷 これは化學のお話	石川清一	一四〇頁	洋装	一六〇	この本を読んで化學が面白いかわかたら化學を勉強して下さい。面白ければあります。	同
兒童文庫第三卷 たやすく兒童の植物實驗	松原益太	二〇〇頁	洋装	一〇六〇	龍田姫が織りなしたと云ふ秋の紅葉もさうやせん。國のためにも世のためにもあります。	同
兒童文庫第四卷 わかり地質のお話	藤本治義	一二〇頁	洋装	一六五	かたくなる地質の事を兒童に面白く興味ある様口語體で書いてあります。内容地質、地球盤以下化石、過去の生物界等十四編。	同
兒童文庫第五卷 面白い動物界のお話	水野彌作	一〇四頁	洋装	一六五	人類のまはりには澤山の動物がいます。その人も動物の多いのです。面白さを知る良書。	同
兒童文庫第六卷 少年選手の練習法	安川伊三	一二頁	洋装	一七五	本書は短距離、中距離、リレー、走り幅跳、ホース、ジャンプ、砲丸投げ等面白く其の練習方法が説明されてゐます。	同
兒童文庫第七卷 簡易兒童の物理實驗	石川清一	一五八頁	洋装	一七五	文明の利器といふ利器は一つとして物理の應用でないものはありませぬ。諸君は此の本によつて熱心に實驗して大發見家になつて下さい。	同
兒童文庫第八卷 恐ろしい寄生蟲の話	岡田彌一郎	一〇四頁	洋装	一七五	寄生蟲は、どんな事を云ふのでせうか。著者は、寄生蟲の附着及豫防驅除等面白く説明されてあります。未だ未だ少年諸君是非御一覽を。	同
兒童文學讀本	研究文化會	四六頁	美装	一〇四〇	少年篇の續篇であつて、凡れ幼學年にふさはしい童話を集めてある。美麗な藝術價値ある挿繪とともに本文のそれ一段の光を成してゐる。	目黒書店

兒童文學讀本 少年篇上・中・下	兒童への文話	兒童讀本	小詩の讀本 五年用 上下	尋四、五、六年の算術	尋五優等生の讀方學習(上)	尋六優等生の讀方學習(上)	尋常三、四年の國史 上下	尋常小學學習書	圖式解 尋常小學算術詳解 (五年用)(六年用)	
研究會 裝釘美裝	田中豐太郎 四六判	田中豐太郎 四六判	千葉春雄 四六判	平田操 四六判	安部路兵衛 二〇〇頁裝	安部路兵衛 二〇〇頁裝	池内房吉 四六判	高師二十四生 全十五册	法算術研究會 二〇〇頁裝	
價各 〇・六〇	送價 〇・八〇	送價 〇・八〇	送價各 〇・八五	送價 〇・六〇	送價 〇・七〇	送價 〇・七〇	送價 〇・六〇	送價 〇・三〇	送價 〇・四〇	
本邦及泰西の名文を集め兒童の文學趣味を向上せしめ國語教育の徹底を期せんとする。即ち副讀本として最も高尚のものである。	綴方の批評程六ヶ敷ものはありません。特に子供のは正確な判断ができません。この點に留意し例題を以て着想を明快に批判して下さる。	尋常一學年上の巻、面白くて爲めになる趣味豊かな美しい讀本である。課外讀本として又副讀本として最も廣く世に行はるべきもの。	子供に詩心を培ひ魂全體をほんとうに美しく清らかに育て、ゆく企圖から著者の勞作にして、課外讀本として最も愛重さるべきもの。	十五年度修正國語讀本の學習書！讀方の眞使命に立脚し最も完璧な期したものである。坊間の非教育的類書とは全然趣を異にしてゐる。	我が國語教育の權威たる著者の蘊蓄に成れる本書は正に受用として足るべきもの。	尋常小學三四年に於ける修身書國語讀本中に表はれた國史教材を集録して傳説古書を明に國史初歩としての知識を與へしめる。	本書は兒童の自學自習を促すべく編纂されたもので特に生徒用として各教課に亘りて懇切に説かれた兒童唯一の伴侶であり寶庫である。	算術書を一々圖を以て説明し、極めて丁寧懇切に詳解がしてあるから家庭に於ても自習の参考書として最もよい参考書である。		
目黒書店	同	文化書房	厚生閣	集成社	厚生閣	同	目黒書店	帝國地方行政學會	三友社	

國定 小學國語學習帳	小學國史物語	小學國史物語	小學國史物語	小學國史物語	小學算術おさらひ帳 全六卷(前期用)	小學算術おさらひ帳 全六卷(後期用)	面白くて 小學算術學習帳 一年より六年まで	國定 小學地理學習帳 (五年用)(六年用)	面白くて 小學理科 四年上
佐藤 武	大久保 鑒	元島 英三	元島 英三	中村 八郎	中村 八郎	中村 八郎	山内 太一	阿部七三吉	橋本 爲次
一〇〇頁裝	四六判各	四六判各	四六判各	二五二頁裝	二五二頁裝	二五二頁裝	一三〇頁裝	一四〇頁裝	四六判各
送價 〇・三五	定價別記	送價各 〇・二〇	送價各 〇・二〇	送價 〇・四〇	送價 〇・四〇	送價 〇・四〇	送價各 〇・四〇	送價各 〇・四〇	送價 〇・六〇
各學年共前期後期の二冊になり。國語讀本の練習を兼ね課外讀本ともなる學習帳であるから學校家庭に於ての練習復習に好適書である。	神代より鎌倉時代までを趣味的に細叙す。神代の巻一〇〇、鎌倉の巻一〇〇、送各〇四。	偉人傳、立志談、武勇談、逸話、小學國史の順に書かれた歴史上の記事は美事なる筆によつて手に取るやうに描かれてある。	趣味と學習とを兼ねたる好參考書にして、五年前後と同じく古い型を破つて書かれた「國史物語」は趣味多い課外讀本である。	算術の基本的知識を自然に樂に覺えられるのが本書の特色である。面白い繪と共に練習を兼ねて新しい問題までが覺えられる。	前期用は四月から九月までの使用で、後期用は十月から翌年の三月までの使用です。中村先生獨特の妙案で自然に覺えられます。	最も困難を感ずる算術科について知らず／＼の間に面白く學習の出来る様工夫し學校及家庭に於ても容易に自習が出来る。	全國小學兒童作品三萬餘點を蒐集したる中より選擇編成し解説は鑑賞の態度美的判断特徴等を掲げ表現の爲に適切なる要點をも指示する。	本書は趣味津津たるうちに地理の學習が出来るやうに編纂したもので學校及び家庭に於ける復習には最もよい學習帳である。	科學を知りその應用を具體化するこの必要にせまられたる小學生の理科を趣味的に書いたものである。
三友社	目黒書店	小學館	同	日本業社	同	同	三友社	博進館	目黒書店

小學理科カード 五、六年用二卷	少年少女 文學叢書 少年の頃 (上・中・下三卷)	少年美談	少年日本歴史讀本 全十六冊の内	新傾向算術問題集 入學準備	準備新算術書	自由水彩畫の新學習	生活表現と綴方指導	聖フランシス物語
中村八郎	小野誠悟	熊田葦城	文藝博士 萩野由之	小野誠悟	岡村良馬	横井曹一	丸山林平	小出正吾
四六判 洋裝上裝 二三四頁	各册裝判 函入美裝 二〇〇頁	四六判 洋裝上裝 三六一頁	各册裝判 函入美裝 二〇〇頁	一七〇頁裝 函入美裝	四六判 洋裝上裝 一七〇頁	三卷洋裝 函入美裝 一八八頁	四六判 洋裝上裝 四四〇頁	四六判 洋裝上裝 二五〇頁
送價各 〇・九〇	送價各 〇・四二	送價一 〇・五〇	送價各 〇・四二	送價 〇・六〇	送價 〇・八五	送價 一・二〇	送價 三・〇〇	送價 一・五〇
五年用は教科書の五年相當の分量を、六年は六年相當の分量を教科書にあてはめ、表には原色の繪を入れて裏には其説明をなせしもの	この書は「少年美談」の姉妹編で同じく古今の少女の善行善事を數百あげたもので感心すべき事ばかりです。	明治以後の一流作家から惹いては世界の名文豪の生立ちの記(自傳乃至自叙傳風)の作品を蒐む。立志傳中の人たりむ人は此書を讀め。	古今の少年に關する善行善事を、著者獨特の愉快な趣味ある筆致で述べたものである。讀物とするよりも修養とすべきもの。	皆さん、入學試験中一番苦しまれる算術、に及ぶ秘訣は小學館發行の新傾向算術問題に於て勉強なされば必ず及第する。良書!	小學校算術教科書に基いて基本的な例題を以て説明し明快なる解説をなしたる點は他の入學準備書を數等りよすがしたものである。	放任して何等補導しない自由畫や教へてからみづるの新學習法の表現を啓發せしもの。	生活とは何か表現とは何か本書は著者のさうした考から近時議論の多い綴り方を正しく伸さんためその實際的指導を系統的に書く。	野の聖者フランシスの誕生から放蕩兒としての生立ちより終に召されて昇天に至る迄中世紀の美しき信仰を傳ふ少年少女の好讀物。
日實本業社	協第一出版會	同	博文館	小學館	目黒書店	同	同	厚生閣

世界少年少女偉人傳大系第一編 ジャンヌダルク	世界少年少女偉人傳大系第二編 ローマシーザ	世界少年少女偉人傳大系第三編 ネールソン	世界百傑傳(1) 日本皇太子殿下同妃殿下	世界百傑傳(2) 明治大帝の偉業	世界百傑傳(3) ナポレオンの大望	世界百傑傳(4) 海の一ネールソン提督	世界百傑傳(5) 豊臣秀吉の天下統一	世界百傑傳(6) 徳川家康の智謀
大木雄三	霜田史光	三井信衛	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二
四六判 函入美裝 一七三頁	四六判 函入美裝 一八八頁	四六判 函入美裝 一六九頁	四六判 函入美裝 一〇八頁	四六判 函入美裝 一七三頁	四六判 函入美裝 一七〇頁	四六判 函入美裝 一八三頁	四六判 函入美裝 一八九頁	四六判 函入美裝 一八三頁
送價 〇・九〇	送價 〇・九〇	送價 〇・九〇	送價 〇・三五	送價並上 〇・五〇	送價並上 〇・五〇	送價並上 〇・五〇	送價並上 〇・五〇	送價並上 〇・五〇
可憐なる一少女ジャンヌ・ダルクが奮ひ起つて母國を滅亡から救ふ物語り如何に讀者の血を跳らせるでせうか教訓と興味ある大雄篇	世界的英雄ジュリアス・シーザの一生を以て描かれたるその幼年時代からローマの元老院で殺されるまでの活劇を現した歴史物語です	軍神ネールソンの名は世界中で誰知らぬ者はありませぬ正義の念に強く國家を愛し部下には慈父の如く慕はれた偉人の傳記を見られよ	殿下は日本建國以來の偉大なる皇太子にまします。本書は殿下の御幼少より今日に至る美しく偉大なる御物語。	アジヤの東部にある一小島國日本を、世界の最大強國となし給ふた、明治大帝の御偉業それは國民の必ず拜誦すべきもの。	元氣に富む日本の少年はナポレオンと聞いただけで血を湧かせ、肉を躍らせる而も本書を讀んだら。	海の勇將として、三才の童子も知る東郷元帥と大英國の海軍ネールソンの傳記、一讀血湧き肉躍る、必讀——必讀——	水飲百姓の子に生れながら、ついに天下を統一した秀吉は大英雄です、かうした偉人の傳記を讀んで發奮しなければならぬ。	昔から英雄豪傑は多いが家康ほどの智者はなかつた、家康がその智慧をこぼつて天下をさかした物語は實に面白い極みである。
金の星社	同	同	文陽堂	同	同	同	同	同

世界百傑傳(7) 發明王エチソン 汽車を發明したエチソン	世界百傑傳(8) 奇傑勝海舟	世界百傑傳(9) 豪傑西郷隆盛	世界百傑傳(10) 楠木正成	世界百傑傳(11) 軍神乃木大將	世界歴史譚 全三十六冊	千一夜物語	小全科學習書	小全科學習書	趣味ある 國史の話 會我物語
岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	高山樗牛 他三十餘氏 各一三〇頁	中島孤島	上田萬年	保科孝一	林勇
一四六頁 送價並上	一四六頁 送價並上	一四六頁 送價並上	一四六頁 送價並上	一四六頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上
〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・三〇	〇・三〇	〇・三〇	〇・三〇	〇・一四
今日の發明はほんごエチソンの力によるもの 努力、生ひ立ち、少年の好讀物。	て、江戸百萬の市民を背負つて立つたのは奇 傑海舟である。現代少年少女の必讀書。	豪傑中の豪傑、しかし彼の最後は實に痛まし なものか、誰か一讀、涕せぬものがあらう。	三才の童子も知る正成の誠忠。その智謀百出 情、一讀快を叫ばしめす。	軍神乃木將軍。謹嚴そのもの如き日常生活、 乃木將軍の面目燦然たり。	世界の歴史に頭角を現はした東洋西洋の英傑 三十六名を知名の文人が各々解り易くしかも 快讀に適するやう紹介せる人物傳逸話集。	世界的に有名なアラビヤナイトの代表的名 譯の本はこれ程面白い程讀んでも飽き ない。	全書類の内容の改善と向上を期するた 三省堂・東雲堂・積善館・交盛館・共同出版社の 五社全書發行部が合併して本社を設立し各社 發行書の精進と長さを集めて作り上げたのが本 書で、其内容の正確挿畫の豊富装釘の美全く他 類のない唯一最良の全書參考書である。	天も其の義心に感じて年々に涙雨を降らす 富む物語をさしたるものである。	弓の達人としての爲朝を興味深く書いたもの である文章もすらすらと氣持のよい爲朝の一 生を氣持よく書いてある。
文陽堂	同	同	同	同	博文館	雄大辯會本	雄大辯會本	同	盛林堂

趣味ある 國史の話 爲朝物語	團子串助漫遊記	最新傾向 國語問題 力のいれどころ	小學校 地理學習	學校 地理學習 五年	家庭 地理學習 六年	通俗科學叢書(1) 人間の出來た話	通俗科學叢書(2) 人間の不思議	通俗科學叢書(3) 天上界の不思議	通俗科學叢書(4) 地上界の不思議	通俗科學叢書(5) 海上海底の不思議
林勇	宮尾しげを	小學館編輯部	三浦定吉	齊藤英夫	齊藤英夫	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二	岡本瓊二
四〇〇頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上	二二七頁 送價並上	四〇〇頁 送價並上	四二六頁 送價並上	四二六頁 送價並上	二四六頁 送價並上	二四六頁 送價並上	二四六頁 送價並上	二四六頁 送價並上	二四六頁 送價並上
〇・一四	〇・三〇	〇・八〇	〇・四〇	〇・二〇	〇・二〇	〇・七五	〇・七五	〇・七五	〇・七五	〇・七五
爲朝の達人としての爲朝を興味深く書いたもの である文章もすらすらと氣持のよい爲朝の一 生を氣持よく書いてある。	小さい身體に紋付羽織大刀腰にぶち込んで團 子串助が東海道から九州の果まで山賊退治や 妖怪退治勲善懲惡の珍武者修業の漫畫物語。	皆さん入學試験中一番苦しまれる國語に及第 する秘訣は小學發行の新傾向國語問題によ つて勉強する事必ず及第する良書	本書は地理教科書と併用なすことにより、地 理教育の完全を實現するを得べし教授上にも 自習用にも最適品。	かたくるしい地理の學習に興味と實益を與へ るために家庭に於ける兒童の學習に便せんが ために公にせらるる學準備書としても好適書。	人間がどうして出來たか知らぬ人がある。本 書を一讀すれば、地球の創成より、人類の出 現まで、くはしくわかる。	自分が人間でありながら、自分たちになら ない不思議さを深山もつてゐるそれを知らな い。自分の身體を亡すもさなる。	宇宙に限りなく在現する天體と我が地球との 關係を知ることは、ほんに面白く居ます。	地上があつてはじめて我々は生きてゐる從つ て、地上の人間の大恩人である。その地上の研究は 人間のつとめであらう。	面白い物語が幾萬年の間秘められてゐた海の 不思議を明みへ持出したのが本書である。	
盛林堂	雄大辯會本	小學館	米本書店	目黒書店	目黒書店	文陽堂	同	同	同	同

通俗科學叢書(6)	發明發見界の不思議	岡本瓊二	二四六判	送價並上	〇六〇	發明は幸福の母である日本には發明家と發見家も少ない本書はその暗示をあたへ發明發見家をつくる使命をもつて居る。	文陽堂
通俗科學叢書(7)	雨風地震海嘯の話	岡本瓊二	二四六判	送價並上	〇六〇	恐ろしい地震海嘯はどうか起るかこれをさけるにはどうすればよいか我國のやうな地震國の人々は一讀せねばならぬ。	同
通俗科學叢書(8)	理化學界の不思議	岡本瓊二	二四六判	送價並上	〇六〇	人間の日常生活を幸福にするものは理化學の力です。我々の生活を幸福にするには化學の研究をつみ智識をまさねばならぬ。	同
通俗科學叢書(9)	科學界の不思議	岡本瓊二	二四六判	送價並上	〇六〇	思いもかけぬことが發明發見されるのは科學の力をまたねばならぬ。日本にはその力がまだ薄い是非本書を讀んで科學の力を知られよう。	同
通俗科學叢書(10)	動植物界の不思議	岡本瓊二	二四六判	送價並上	〇六〇	動植物界の話で學校等で聞く事の出来ない珍らしいお話を皆さんにお聞かせ致します。	同
學校綴方學習	次の世界大戰	宮崎一雨	四六判	送價一	〇二〇	歐洲大戰に一敗地に塗れた獨逸が捲土重來、艦隊の危急を救ふ勇少年の大忠烈物語。	雄大辯會
學校綴方學習	綴り方自習の友	五味義武	四六判	送價一	〇七〇	今後の發達に俟たねばならぬ所の多い綴り方の學習に對して著者の獨特な創案を以つて學校家庭に於ける兒童學習に適切ならしめたり尋常小學校五年程度の兒童の自習にあてて目的を編纂されたもので、始めに文の作り方を教へ、次に兒童の手になつた文例がある。	目黒書店
童話の日本史(1)	美しい國(神代)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	神代より人皇の初期に至る歴史の傳説を童話として解き我國の創造の由來を説く。	文陽堂
童話の日本史(2)	寶の國(上代)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	景行天皇より數代に至る間の皇室を中心としたる話を集め建國の由來を説きしもの。	同
童話の日本史(3)	難波の堀江(佛教傳來)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	武烈天皇より文武天皇迄、佛教傳來の期より三韓の折衝入鹿の誅伐壬申の亂に及ぶ。	文陽堂
童話の日本史(4)	奈良の都(奈良朝)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	元明天皇より光仁天皇迄奈良朝七代七十年間の史蹟を擧げ佛教全盛の時より阿部仲麻呂の曲雅遣唐使の事道鏡の事、清麿の忠烈に及ぶ。	同
童話の日本史(5)	平安の都(平安朝)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	桓武天皇より文德天皇に及ぶ、平安遷都より田村麿の東征時佛教盛大を極め最澄空海の高僧輩を出せしことより文物隆盛を説きたり。	同
童話の日本史(6)	十五夜の藤(藤原時代)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	藤原時代の物語で、十五夜の満月のやうにちつとも缺目のないさほこつた藤原氏の面影が忍ばれる。	同
童話の日本史(7)	赤旗の光(平氏)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	平氏でなければ人でないさ迄言はれた平家の全盛時代、今迄に書いてない軍物語が載つて居ます。	同
童話の日本史(8)	白旗の光(源氏)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	著る平家は久しからず、さ赤い旗に變つて天下に號令するやうになつた白旗は、源平の戦ひは歴史物語の事。	同
童話の日本史(9)	鎌倉の山(鎌倉幕府)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	源氏の天下になりました、鎌倉幕府はここに開かれました、義經や靜御前等が出て参ります。	同
童話の日本史(10)	神風の國(北條時代)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	鎌倉幕府の執權北條時代の物語で國難、元寇の役等盡きぬ物語はそれからそれへと續きます。	同
童話の日本史(11)	笠置の山(建武の中興)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	専横を極めた北條氏も時が來れば滅びます、永年の武家政治は、廢れかけました。	同
童話の日本史(12)	吉野の宮(南北朝)	吉田助治	一四六判	送價	〇五〇	皆さんの、おすきな楠正成や正行がどんな苦心をして忠義をつくしたでせう、南北朝の戦ひは、益々、はげしくなります。	同

高等 讀本學習指導書	鷲尾知治	四六判 一五〇頁	送價 一〇四六〇	語句の研究、語句の研究法の指導、引例、意義の自由撰擇、文字語句の應用、文の參考、習研究等及びテスト問題の完成はその特徴。	集成社
中學校・女學校入學試験 小學 讀本學び方全集	小學教育會	四六判美裝 三〇〇餘頁	送價 一〇二八〇	國語の受驗力を或は學校で、或は自習的につづけるやうに苦心し、全國に採用されてゐる優長書で第六版を重ねてゐる。	慶文堂
讀本物語(1) アレクサンドル大王と ペーリトベン	友納友次郎	四六判背布 二六〇頁	送價 一〇一八〇	アレクサンドルはマケドニアといふ一小國から身を起して一大帝國の帝王となり、ペーリトベンは幼時より苦心して世界の樂聖となつた。	日子本社の
讀本物語(2) 禪海と柿右衛門と助左衛門	友納友次郎	四六判背布 二四五頁	送價 一〇一八〇	禪海和尚は、青の洞門を穿ち、柿右衛門は、赤繪を焼出し、助左衛門は白洲の燈籠を築いた此の人々は我日本が生んだ三大偉人である。	同
讀本物語(3) シエイクスピアとリヤ王物語	友納友次郎	四六判背布 二四〇頁	送價 一〇一八〇	文豪シエイクスピアは單に英國文藝史を飾るばかりでなく世界全國に藝術心を打つ撞木である。貧しき身より立てし世界の文豪となる迄。	同
讀本物語(4) トマス・エヂソンとラヂオの世界	友納友次郎	四六判背布 三八〇頁	送價 一〇一八〇	「發明王、電氣王」斯う云へば誰しも、トマス・エヂソン氏を思ひ浮べる。其の一生をラヂオの一般知識は本書に依つて興味的に列る。	同
讀本物語(5) 釋迦とキリスト	友納友次郎	四六判背布 二六〇頁	送價 一〇一八〇	全世界に二大聖者として輝く釋迦と其うして難苦闘の跡。此の大聖人の思想と其の生涯、苦難苦闘の跡。	同
讀本物語(6) 太陽と星と曆の話	友納友次郎	四六判背布 二六〇頁	送價 一〇一八〇	無限な宇宙に點在する太陽、月、地球又は色々な星等に就いての研究と傳説は最も興味深い。又曆の話も一興。	同
讀本物語(7) 孔子とソクラテス	友納友次郎	四六判背布 二三〇頁	送價 一〇一八〇	東洋文明の開祖大聖人孔子、西洋文明の開祖大哲人、ソクラテスとの二大偉人の生涯。	同
讀本物語(8) ダンテとミレーと ミケランジェロ	友納友次郎	四六判背布 二三五頁	送價 一〇一八〇	ダンテの詩、ミレーの繪、ミケランジェロの彫刻其れは何れも世界的藝術家である。藝術を世界に誇る日本の國民は此等藝術家を知る可し。	同

讀本物語(9) ナイチンゲールとジャンダーク	友納友次郎	四六判背布 二六〇頁	送價 一〇一八〇	博愛の天使出づ、愛國の熱血兒出づ、一人はイギリスに、一人はフランスに、前者は博愛仁慈の天使、後者は愛國至誠の權化である。	日子本社の
讀本物語(10) 西郷南洲と勝海舟	友納友次郎	四六判背布 二五〇頁	送價 一〇一八〇	明治維新の大立物、西に隆盛あり、東に海舟あり、二人の偉大なる力に依つて、明治の大業は無事大成されたのである。	同
讀本物語(11) 項羽と劉邦・韓信と張良	友納友次郎	四六判背布 二五〇頁	送價 一〇一八〇	人を信する力の強い劉邦と、自我に生きた項羽と、それ等の人の表裏を活躍した韓信、張良共に支那歴史の萃である。	同
讀本物語(12) リンカーンとワシントン	友納友次郎	四六判背布 二五〇頁	送價 一〇一八〇	アメリカ十三洲を統治し合衆國として獨立せしめたワシントン大統領の一生生涯と、その國威を發揮したリンカーンの物語。	同
涙の握手	水守龜之助	四六判 挿畫入	送價 一〇四八〇	文壇の新人たる著者の力作で、かの「小公子」以上の傑作と稱せられるもの、印度の「城下」に起つた雄々しくも優しい物語。	雄大辯會本
少年 涙の花	平井晩村	四六判 洋裝	送價 一〇二六〇	薄命の詩人たる著者の寂しい病床に描かれたもので、涙ぐましい孝女や、可憐な孤兒の出世談など、感激に溢る、少年少女の小説集。	同
日米 未來戦	宮崎一雨	四六判 入挿畫入	送價 一〇二六〇	彪大なる富と恐るべき野心を抱く米國を假想敵國として憂國義憤の少年が太平洋上に大活躍をして日東男子の意氣を示す痛烈な讀物。	同
日本 少年少女文庫	各二〇〇頁	送價 一〇一六〇	文章平易、尋三四から。内容豊富、五六年迄最組織的、趣味的、教育的な少年家庭圖書館和田英作、尾竹、竹坡、其他一流畫師彩畫無數。	日本社	
1 世界偉人の少時	岡本清逸	各二〇〇頁	送價 一〇一六〇	秀吉、家康、西郷、伊藤、福澤、乃木、瓜生、岩子、ナポレオン、リンカーン、ナイチンゲール、グラッドストーン、伊太利三傑など。少年少女の精神作興に著者は盛名ある新進歌人。竹取、平家、曾我、太平記、謡曲、其他の國民文學から好篇佳話三十を抜萃して少年の朗誦に適するやう改作したもの。	同
2 日本 繪物語	石井直三郎	各二〇〇頁	送價 一〇一六〇	國語、歴史	同

3	君の日本見物 (地理、法經)	坂本榮吉	各二〇頁送	一・三六〇	米國少年の日本觀。木のクツを穿きキノノを 着る人民の政治商工文物やフジとサクラに飾 られた國土の批評。少年覺醒の大文字。	日本社
4	漫遊寫真だより (歐、米)	坂本榮吉	各二〇頁送	一・三六〇	一少年と其妹がトム君の案内で歐米を漫遊し た印象記日記通信(寫真滿載)。到處歴史を回 顧し現代文化の由來を究めた活きた地理書。	同
5	漫遊寫真だより (東南洋阿)	遠藤金英	各二〇頁送	一・三六〇	前巻と同様の結構で、官吏や船長が郷里郎嬢 に寄せた通信。名勝珍奇、古文明の紹介、黃 白諸民族の消長等幼き子等の絶好滋養。	同
6	建國と奈良平安 (國史の一)	關根順三	各二〇頁送	一・三六〇	天地開闢から八幡太郎まで、神や英雄才女學 者高僧等を土中から呼び起して光彩ある大史劇 を演じさせ、内外時事とも比較評論した活書。	同
7	源平と足利 (國史の二)	坂本榮吉	各二〇頁送	一・三六〇	概ね盛衰記平家太平記の時代です、源平對峙 後戰國まで多様な活劇多趣の描寫。眞に一あ つて二なき少年史詩です。	同
8	豊臣と徳川 (國史の三)	坂本榮吉	各二〇頁送	一・三六〇	豊臣徳川の偉業は桃山元祿の榮華を生み、三 國進取王政維新となる。感興最現實な好史談	同
9	數の活動 (算術、理科)	福村省三	各二〇頁送	一・三六〇	兄弟姉妹が家庭で遠足で、試みた平易な算術 度量衡の活用など、趣味實益ある數の變化。	同
10	我等の實驗室 (理科、手工)	西井潔	各二〇頁送	一・三六〇	理科遊戲、奇術大會、玩具製造など(圖解多敷) 四季折々の植物園觀察記。植物の形態生活効 用法まで解つて、家の庭に兄妹の花園農園を	同
11	休日の植物園 (植物、農藝)	朝日直樹	各二〇頁送	一・三六〇	前書同様寫真澤山な觀察記。一層變化と活動 り、富み、遺傳淘汰進化などの理法愈明かにな	同
12	休日の動物園 (動物、生理)	朝日直樹	各二〇頁送	一・三六〇	日本開闢から日清戰爭までに至る歴史上に最 も興味多き事蹟を讀み易く書き下し知らず識 らず歴史の趣味と知識を與へる。	同

日本歴史譚 全二十四冊	大和田建樹	菊判紙裝各八〇頁送	各二〇頁送	一・二四〇	日本開闢から日清戰爭までに至る歴史上に最 も興味多き事蹟を讀み易く書き下し知らず識 らず歴史の趣味と知識を與へる。	博文館
野鳩の宿	下田將美	各三六三頁送	一・二七〇	若溪會推賞の書。口繪三色版、挿畫凸版色 刷三葉、秋風の唄は寂し、ブルース王物語小 羊と少女、涙の眞珠、等の九篇を載せり。	丁未出版社	
花の咲くまで	安倍季雄	各四四三頁送	一・二五〇	若溪會推賞の書。著者十八番の名話「猛火の 守歌」等十篇が収めてあります。	同	
ハナピラ	野邊地天馬	彩色表紙判送	一・〇五〇	美しい片假名の繪及びおはなしの本である。 子さいん方のため、良き本であり、六十一篇あるお	出版文部館	
母のおもかげ	安倍季雄	各三五七頁送	一・二七〇	文部省認定書。最近一年間に日比谷圖書館 にて最も多く閱覽された挿畫三種、口繪 (姫宮と辻占賣の少女)挿畫三葉。	丁未出版社	
パレアナ	ポーター女子史 山本つち子譯	各四六六頁送	一・〇九〇	兩親を失ひ伯母の手で引取られつらひ事苦し い事だらけの月日を送つても少しも不平を云は ぬ寧ろ不平を知らなかつた娘の話である。	出版文部館	
新案 新育 ふしぎな遊び繪本	佐野牧太郎	各四六六頁送	一・〇三五	ごなたにもわかり易く笑ひながら面白く遊べ る家庭に勿論あらゆる階級に大評判の繪本。學校	九段書房	
文學副讀本	小野誠悟 田上三吉 白鳥千代	各四〇四頁送	一・〇四〇	現代作家の作品から國定讀本の内容に聯絡し た兒童向のものから萬載。各學年上下巻全十二 冊揃。全國小學校指定。副讀本中の最高權威	出版協會	
ほんとの日本人	伊藤本隆 塚隆輝 伊藤隆輝	各二四〇頁送	一・〇七〇	少年少女の爲の正しいおもしろい讀本である 面白ければかりで、無二の子供のためになる本だ らぬ本書は唯一無二の子供のためになる本だ	誠志堂書店	
緑のゆりかご	矢島知理雄	各三四〇頁送	一・一七〇	口繪三色版、挿畫三葉、伊藤龍雄氏筆、母に 逢ふまで、巴里からアラスカへ、マリヤ様の お手紙、山城の棲處、等十一篇を載す。	丁未出版社	

實になるまで	安倍季雄	四六七頁	二・五〇	著者會推薦書「金貨のつなみ」千本松原「物に驚かぬ西郷さん」等、著者得意の十篇が集められております。	丁未出版社
心性考査 メンタルテスト 總練習	栗林平佐	二二四頁	一・二〇	メンタルテストの問題には、どんな種類があるか、メンタルテストを加味した、學科問題には、どんなのが出るかを知られば、及第はむづかしい。	小學館
物語第一集 母のふところ	上澤謙二	三〇〇頁	一・八〇	専ら事實の上に立ち、巧みならず、詩情と實理と興味と、調子を並び活す可く取扱つた物語、甘篇を收む。	新生堂
物語第二集 又逢ふ日まで	上澤謙二	三〇〇頁	一・八〇	固苦しい理窟を掲げないで、道念の力ある覺醒を誘ひ、自然に素直に子供心に觸れて、純美な世界へ導びこころとするため書かれた物語集。	同
勇者ダビデ	小林清三郎	四六六頁	一・二〇	一日に熊と獅子とを殺した勇者ダビデは、一個の羊童から大王の位まで上つた人である。本書は少年團の爲めに書かれた面白い讀物である。	出版部
學校用 優等生の國史	隈江信光	菊判洋裝 一五〇頁	〇・八五	著者は東京高師の訓導にして、其の實地經驗より、國定歴史教科書に準據して、面白く、覚え易く書かれたるもの。	博文館
學校用 優等生の修身	佐藤武	菊判洋裝 一三〇頁	〇・五五	さかく無味に流れ易い修身の科目に、新しい興味を吹き込んで、面白く、読むうちに知らず識らず、教訓を得らる、やう苦心した編纂。	同
學校用 優等生の地理	武井勇喜	菊判洋裝 一五〇頁	〇・八五	方法に依つては面白く習へる地理も、教科書と異なる、興味を削がれ勝ちである。本書はこの缺點を補ひ、且覚え易く書かれたものである。	同
學校用 優等生の圖畫	長野新一	菊判洋裝 一五〇頁	〇・六五	阿部東京高師教授、監修の下に、新傾向の圖畫教材用として編まれたもの。感覺を主とし、兒童の個性を尊重せる理想的、長繪手本である。	同
學校用 優等生の綴方	高橋喜藤治	菊判洋裝 一三〇頁	〇・五五	綴方が好きになり、又上手になるには、どうしたらいいか、此問題は、本書出で、解決する自習自作の眞習慣に導く有ゆる注意を拂ふ。	同
學校用 優等生の讀本	高橋喜藤治	菊判洋裝 各一五〇頁	〇・八〇	東京高等師範學校訓導たる著者が、其の實地経験を基として、國定國語讀本に準據して、わかり易い學習用として書かれたるもの。	博文館
學校用 優等生の理科	清水保之	菊判洋裝 各三四頁	〇・八五	小學教育に於ては、物事を讀むと同じ興味を以て迎へ得るやう考慮せる課外補充讀本。	同
趣味ある國史の話 義經物語	林勇	四〇〇頁	一・四〇	國民の間に長く語り傳へられた九郎判官義經のお話の本歴史の本綴方の本としてよい。	盛林堂
中等學校 入學試験 豫習書	肥後盛熊	全六冊	大正十五年版 五月發	算術豫習書、讀方豫習書、地理豫習書、歴史豫習書	目黒書店
讀方學習教本	田中猪作	菊判洋裝 各一四頁	〇・八五	反覆練習しながら實力を向上させることに努めて居る。本書によつて練習するものは、必ずす良い成績を挙げ、優等生になることが出来る。	小學館
讀方學習教本	田中猪作	菊判洋裝 各一四頁	〇・八五	反覆練習しながら實力を向上させることに努めて居る。本書によつて練習するものは、必ずす良い成績を挙げ、優等生になることが出来る。	同
小學 讀方學習字典	秋田喜三郎	三三五頁	三・三〇	著者の讀方教授は有名なものであるが、今又その學習の徹底を期するやうに、五、六各學年の平易な索引と豊富な内容を治めてある。	目黒書店
讀方學習の仕方	山路兵一	美判上下 各一〇〇頁	〇・四〇	上篇には「讀書は何の爲にするものか」について記述し、下篇には「こんな成績をあげるには、どんな學習法をすればよいか」三につき述べてある。	同
讀方學習書	井上宗助	菊判洋裝 二六〇頁	〇・八五		三共出版社
讀方學習書	井上宗助	菊判洋裝 二六〇頁	〇・八五		同

實になるまで	安倍季雄	四六七頁	二・五〇	著者會推薦書「金貨のつなみ」千本松原「物に驚かぬ西郷さん」等、著者得意の十篇が集められております。	丁未出版社
心性考査 メンタルテスト 總練習	栗林平佐	二二四頁	一・二〇	メンタルテストの問題には、どんな種類があるか、メンタルテストを加味した、學科問題には、どんなのが出るかを知られば、及第はむづかしい。	小學館
物語第一集 母のふところ	上澤謙二	三〇〇頁	一・八〇	専ら事實の上に立ち、巧みならず、詩情と實理と興味と、調子を並び活す可く取扱つた物語、甘篇を收む。	新生堂
物語第二集 又逢ふ日まで	上澤謙二	三〇〇頁	一・八〇	固苦しい理窟を掲げないで、道念の力ある覺醒を誘ひ、自然に素直に子供心に觸れて、純美な世界へ導びこころとするため書かれた物語集。	同
勇者ダビデ	小林清三郎	四六六頁	一・二〇	一日に熊と獅子とを殺した勇者ダビデは、一個の羊童から大王の位まで上つた人である。本書は少年團の爲めに書かれた面白い讀物である。	出版部
學校用 優等生の國史	隈江信光	菊判洋裝 一五〇頁	〇・八五	著者は東京高師の訓導にして、其の實地經驗より、國定歴史教科書に準據して、面白く、覚え易く書かれたるもの。	博文館
學校用 優等生の修身	佐藤武	菊判洋裝 一三〇頁	〇・五五	さかく無味に流れ易い修身の科目に、新しい興味を吹き込んで、面白く、読むうちに知らず識らず、教訓を得らる、やう苦心した編纂。	同
學校用 優等生の地理	武井勇喜	菊判洋裝 一五〇頁	〇・八五	方法に依つては面白く習へる地理も、教科書と異なる、興味を削がれ勝ちである。本書はこの缺點を補ひ、且覚え易く書かれたものである。	同
學校用 優等生の圖畫	長野新一	菊判洋裝 一五〇頁	〇・六五	阿部東京高師教授、監修の下に、新傾向の圖畫教材用として編まれたもの。感覺を主とし、兒童の個性を尊重せる理想的、長繪手本である。	同
學校用 優等生の綴方	高橋喜藤治	菊判洋裝 一三〇頁	〇・五五	綴方が好きになり、又上手になるには、どうしたらいいか、此問題は、本書出で、解決する自習自作の眞習慣に導く有ゆる注意を拂ふ。	同
學校用 優等生の讀本	高橋喜藤治	菊判洋裝 各一五〇頁	〇・八〇	東京高等師範學校訓導たる著者が、其の實地経験を基として、國定國語讀本に準據して、わかり易い學習用として書かれたるもの。	博文館
學校用 優等生の理科	清水保之	菊判洋裝 各三四頁	〇・八五	小學教育に於ては、物事を讀むと同じ興味を以て迎へ得るやう考慮せる課外補充讀本。	同
趣味ある國史の話 義經物語	林勇	四〇〇頁	一・四〇	國民の間に長く語り傳へられた九郎判官義經のお話の本歴史の本綴方の本としてよい。	盛林堂
中等學校 入學試験 豫習書	肥後盛熊	全六冊	大正十五年版 五月發	算術豫習書、讀方豫習書、地理豫習書、歴史豫習書	目黒書店
讀方學習教本	田中猪作	菊判洋裝 各一四頁	〇・八五	反覆練習しながら實力を向上させることに努めて居る。本書によつて練習するものは、必ずす良い成績を挙げ、優等生になることが出来る。	小學館
讀方學習教本	田中猪作	菊判洋裝 各一四頁	〇・八五	反覆練習しながら實力を向上させることに努めて居る。本書によつて練習するものは、必ずす良い成績を挙げ、優等生になることが出来る。	同
小學 讀方學習字典	秋田喜三郎	三三五頁	三・三〇	著者の讀方教授は有名なものであるが、今又その學習の徹底を期するやうに、五、六各學年の平易な索引と豊富な内容を治めてある。	目黒書店
讀方學習の仕方	山路兵一	美判上下 各一〇〇頁	〇・四〇	上篇には「讀書は何の爲にするものか」について記述し、下篇には「こんな成績をあげるには、どんな學習法をすればよいか」三につき述べてある。	同
讀方學習書	井上宗助	菊判洋裝 二六〇頁	〇・八五		三共出版社
讀方學習書	井上宗助	菊判洋裝 二六〇頁	〇・八五		同

讀方學習書 <small>(尋讀十一卷用)</small>	讀方學總復習 <small>(尋讀十二卷用)</small>	讀方と綴方	學校理科百講	小理科物語 <small>四、五、六年生用</small>	良治の學習	林檎の花びら <small>少年百讀</small>	歴史の庫 <small>春、夏、秋、冬</small>	私たちの學藝會
井上宗助 菊判洋裝 二六〇頁送價 ●六五	井上宗助 菊判洋裝 二六〇頁送價 ●六五	河野伊三郎 全四六冊 ●八五	清水保之 三〇〇頁送價 ●四〇	栗林平佐 各學年共各學年共 三〇〇頁送價 ●二〇	倉林米作 一〇〇頁送價 ●五〇	安倍季雄 三〇〇頁送價 ●七〇	少年通俗會 各學年共各學年共 三〇〇頁送價 ●二〇	關内海繁太郎 四六冊 三冊 送價各二〇 ●八〇
最新思潮の讀方教育に基き著者の體驗を主として兒童の爲め徹底せる讀方の實力を養ひ得るやう編著したものである。	中學校受験生に對し親切な伴侶となることを主眼とし研究に研究を重ね全く獨創的な形式で編纂したのが本書の最大特色である。	四年・八五 五年前期・七五 同後期一・二〇 六年前期・九〇 六年後期一・二〇 郵税各〇	理科の知識を面白く解り易く説き明しさかくやうに導いた特色ある好著。	本書は小學校理科教科書の順序に従つて親切に面白く書かれてある。小學理科の全課を覚えさせずにはなかな好参考書である。	良治と云ふ學業の芳しくない兒童が或時不思議な光に救われてやがて優等の成績を以つて卒業したと云ふ創作的小説である。	文部省認定書、十大兒童教育家の選定書、巻頭長篇「林檎の花びら」を始め、紅白試合・箱根八里・少年軍と老車力・等十三篇收載。	春、夏、秋、冬の各冊に分つ、古今東西に亘る英雄豪傑學者名僧などの逸話内外大戦の物語などを満載した家庭教材の好資料。	成城學校に於ける學藝會の體驗に基づき更に地方町村の状況を顧み理想的學藝會のプログラムの指導法等を記したものである。
三共出版社	同	目黒書店	博文館	小學之友社	小學之友社	丁未出版社	博文館	集成社

童話

秀逸私たちの心	青い鳥	青い鳥	青い鳥	青い眼の人形	赤い魚	新しき童話集	アメチヨコの天使	世界アラビヤンナイト物語 <small>(上下二卷)</small>	或るコツクの話
大久保龍 二六五頁送價 ●八六〇	メーテル 近藤宗男 一七三頁送價 ●二二〇	メーテル 畑喜代司譯 二〇〇頁送價 ●一六〇	野口雨情 紙綴入美裝 二〇〇頁送價 ●一八〇	小川未明 菊判紙裝 一五〇頁送價 ●一〇〇	小川未明 菊判紙裝 一五〇頁送價 ●一〇〇	小林篤里 四六冊 八入美裝送價 ●三〇八	小川未明 二三四頁送價 ●二〇二	少年通俗會 菊判上裝各二 四三〇頁送價 ●一八〇	村山知義 一〇〇餘頁送價 ●五〇四
秀逸文を集め之れに一々叮嚀に批評を加へ文考に加へてある小學五六年以上の綴方練習書	これはその劇を物語風に編述したものである。行文流麗、「母の愛」がチルチルミチルミチルと逢ふあたり等殊によい。	佛國の清き心の兄妹が魔法の婆さんと青い鳥が次から次へと宮殿や墓場を歩き廻ると云ふ幾場面が次から次へと展開して限りなく面白く物語が口先生の前で圓熟せる時代の傑作のみならず名著であります。挿畫は比類なき逸品。	野口先生の最も圓熟せる時代の傑作のみならず名著であります。挿畫は比類なき逸品。	未明氏が少年時代に北國の自然及び人生から描かれた奇くも美しい印象を再び童心を通じて描いた廿七篇の童話集。装幀池田永治氏の子供にこつて何となく優しい世界でせう。本を讀むと御飯を食ふることも忘れるでせう。	子供にこつて何となく優しい世界でせう。本を讀むと御飯を食ふることも忘れるでせう。	思想的な深い潤ひのある童話集。著者の大きな愛が靜かに讀む人の心に迫る。品のよい作品である。尋常科高學年程度の讀物である。	毎夜々々一人づつの命を取るさいふ恐ろしい心の王様が毎夜々々に面白くお話を聞いて其の心を入れ替へたといふ物語りがこれ。	「お城シリーズ」の第五編。フランスの有名な靴理人の面白くお話の外に「ハンズ」の踊りや靴の怪物を退治したジャックの附録は。	
文書堂	イデア書院	文明社	金の星社	研究社	研究社	文藝社	イデア書院	博文館	婦人之友社

ある夜の星だち	小川未明	三判上装 三四七頁送	二二〇	納むる所廿八篇、たゞ讀むに面白く、考ふるに味あり、敢て子供に言はず、廣く一般にすゝめたいものである。	イデア書院
アンダアセン物語	少年通俗會	二六〇頁送	一八〇	世界で有名な童話作家であつて含蓄の深い意を面白くお囁の中に托したアンダアセンを最も要を得て紹介した物語集。	博文館
アンデイーン	ラ・モット・フウケ 鈴木富太郎譯	二〇頁送	〇九五	アンデイーンは水姫の名であります、彼女の美しさは海面に現れた朝日のやうに水晶の波のしぶきに似た程であります。	教佑社
家なき子	三宅房子譯	紙判入美装 二六五頁送	一八〇	原作は世界的名著で名家に生れながら不思議の運命に弄れ遂に旅藝人に賣られ旅から旅へさすらい歩く哀れな孤兒の物語りであります。	金の星社
家なき娘	三井信衛譯	紙判入美装 三六八頁送	一九〇	「家なき子」の姉妹篇で女主人公パリスが旅路に兩親に死に別れ、また見ぬ祖父をたづねあつて、困難を乗り越え、戦ふ涙の物語です。	同
カナ イソツプオトギ	樋口紅陽	二四六頁送	〇〇八〇	▽面白くて教訓的なイソツプの寓話を一、二年の児童にも容易に讀める様にカタカナで書き解説をひらがなで書いた兒童の課外讀物。	九段書房
新イソツプ物語	青木茂男	二六〇頁送	〇二八〇	イソツプ物語として例のない新機軸により、次から次へといつづつ長い物語を聴かされるやうな、興味綿々たる名作。	崇文堂
世界イソツプ物語	少年通俗會	五四〇頁送	一八〇	誰でも知つてゐる世界で一番有名な寓意談、童話に托して優れた教訓を含め味へば味ふほゞ滋味が感じられる。	博文館
少年一日一善	土川五郎	菊半載 四〇〇頁送	〇八〇	元麩町小学校長として十數年の経験ある土川先生が少年少女三百六十五日に於ける善行を教訓的に配合して全く趣味的に著作した書。	日本書院

一寸法師の鬼退治	東京童話會	一四六頁送	〇三五	本書は尋常三四年程度の讀物にして、子供の難かしい算術をたやすく知らせるやうに、この問題に仕組んだものである。一般にすゝむ	紅玉堂
ウ井ルヘルム・テル	シラ知義	一〇三餘頁送	〇五四〇	「お城シリーズ」第三編。山から山を馳せまはる獵師テル。我が子の頭に載つてゐる林檎を射ようといふ弓を引き絞つたテルのお話です。	婦人之友社
歴史に高い歌物語	吉田辰次	三〇三餘頁送	一七八〇	和歌、俳句等の歴史に名高いものを中心に歌の趣味を得させる所に著者の苦心が存する。	慶文堂
美しい少女童話	久保白萩	二四六頁送	〇〇八〇	▽童話教育實際家の著にして面白く少女の爲になるお話で内容は櫻草の悲しみ、不思議な鍵、風の神様と日の神様、わすれな草外六編	九段書房
繪入カタカナオトギ	樋口紅陽	二四六頁送	〇〇八〇	▽尋常一年から二年の生徒の爲に書いた本で、大皇陛下に忠義を親に孝行を人に親切に先生を大事に友達を助けた話をお伽話に書いた本です。	同
繪入ひらかなおとぎ	樋口紅陽	二四六頁送	〇〇八〇	▽尋常一年から二年の生徒の爲に書いた本で、尋常一年から二年の生徒の爲に書いた本です。	同
サルトカニ	岩山正枝	二四六頁送	一〇〇八〇	最も名高い國民童話の粹を十話えらび、どれもやさしい片かな書にしました。美しい繪と面白くお話しはキツト皆様によろこばれます。	富山房
イソツプものがたり	武井正雄	二四六頁送	一〇〇八〇	キタカセオヒサマ以下すべて二十四話をく、おもしろく書いたものであります。	同
大男と一寸法師	河目正雄	二四六頁送	一〇〇八〇	世界のいろ／＼なお話の中から大男と一寸法師に關した代表的なものを、話の趣の變つた六つのお話にワイルドの我儘な大男を加へた	同
おやゆび姫	橋山正雄	二四六頁送	一〇〇八〇	アンデルセン童話の中から最も美しいお話をふさはしい空想的な初山畫伯の挿畫をいれた	同

源氏と平家(日本歴史) 書のお話の本(5) 第五年用 童話	青い鳥(童話劇) 書のお話の本(6) 第六年用 童話	狼少年	幼きもの (童話集)	幼き人へのお話	をさなものがたり	全編入 お轉婆アリスの夢	オトギウタ 全三冊	西洋土産 お伽十五夜	世界名作 お伽巡禮
小村山正雄 新判二〇〇頁 送價二〇八〇	楠山正一 新判一〇〇頁 送價二〇八〇	小島政二郎 キツプリンク 紙刷入表 送價一九二〇	島崎藤村 三六六頁 送價四〇〇	共同幼稚園 四六六頁 送價二五八〇	島崎藤村 菊判紙裝 送價一五〇〇	益本重雄 カポル 三〇〇頁 送價二四八〇	巖谷季雄 四六六頁 送價各八〇	久留島武雄 四六六頁 送價各七五	巖谷小波 四三〇頁 送價各八〇
源氏の寶劍から寂光院まで源平盛衰の衰れに 供のたれにやさしく書き和げたものです。	名高いメルリンクの子供の作で、愛と幸福の美 しい物語であります。御申越次第進呈。	印度の大自然の中に生れ狼に育てられて成人 した少年が熱帯の森林の中で猛獣と共に暮し て様々の冒険を行ふ勇壯無比の一大雄篇です。	四人の幼い子供を養つて遠い佛蘭西に旅立た れた著者が歸國の上歐洲の面白いたるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	幼稚園の先生達が實際に試みて幼児の最も好 む善いお話を持寄つて編纂せられたお話集で 讀む皆さん自然に詩の世界に引き入れます。	藤村先生が信濃の山地より出京せられた少年 時代の思出を滋味濃かに解かれた少年讀本。 一時代の東京は宛ら景物詩の如く現れる。	世界で有名な 'Alice Adventure in Wonderland' Landの譯を美しい三色刷の挿繪や意匠で物 語の面白さを一層深く、實に興味中心の讀物 昔噺や今のお話を交えて面白く歌風に書 かれ其れに愉々綺麗な挿繪が添へてあります から讀んで愉快唯見る丈けでも興味深い本 黄金の島、太郎とお花、小赤帽、白蛇、小男 不思議な音楽家、盗賊作兵衛、兄と妹、魔法 使鬼の花嫁六羽の白鳥等皆面白い事。	小波先生の「お伽」は世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	小波先生の「お伽」は世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	小波先生の「お伽」は世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。
富山房	同	金の星社	日實業社	寶文館	研究社	成運堂	丸善	日本書院	同

波小 お伽新集 の六巻波	波小 お伽新集 の小巻波	選話集 お伽の日本	波小 お伽百話	お伽夜話	お伽夜話	お伽夜話	オハナ 全五冊	少年 お話の泉	幼年 お話の庫	家庭 お話の種
巖谷小波 四六六頁 送價一〇三〇	巖谷小波 四六六頁 送價一〇三〇	三十名家 五三〇頁 送價三〇二〇	巖谷小波 九八八頁 送價三〇八〇	岩下小葉 四六六頁 送價一〇二〇	巖谷小波 五〇〇頁 送價一〇〇〇	鹿島鳴秋 四六六頁 送價一〇〇〇	新井弘城 袖珍上装 送價一八〇〇	少年通俗 會 五〇〇頁 送價二〇六〇	少年通俗 會 五〇〇頁 送價二〇六〇	博文館編輯部 五二〇頁 送價各四八〇
小波のオチサンが皆さんにニコニコ顔で面白 くお伽を書いた。小波と共に是非御愛讀な お伽の面白さを世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	小波のオチサンが皆さんにニコニコ顔で面白 くお伽を書いた。小波と共に是非御愛讀な お伽の面白さを世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	小波先生の「お伽」は世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	小波先生の「お伽」は世に定評あるもの本書は 小波先生のお伽の面白さを世に定評あるもの を澤山集めて子供達の爲に書かれたもの。	お腹をかへて笑ふ様な可笑しい話や、涙ぐ みながら話したお伽百篇を輯めて成る。	前篇、後篇に分つ、何れも長短合せて百篇の お話を集めて小波先生獨特の軽妙な書きぶり 少年少女諸君を惹きつけずにかね好著。	清新な趣味と教訓に最も富んだ童話を選 澤山の讀物として最も好適であります。 「孝行の巻」先づ出づ、子供のうち一度は讀 むべきお伽としておきたい物語を解り易く面白 く書き綴る父兄にも薦めたい良書。	春、夏、秋、冬、の各冊に分つ、ほゞ季節に當 各冊百篇前後を集め口繪挿繪を多數加ふ 古今東西のお伽の面白さを面白く讀み易く書 かれてゐる。贈答用及賞品としても絶好。	古今東西のお伽の面白さを面白く讀み易く書 かれてゐる。贈答用及賞品としても絶好。	古今東西のお伽の面白さを面白く讀み易く書 かれてゐる。贈答用及賞品としても絶好。	古今東西のお伽の面白さを面白く讀み易く書 かれてゐる。贈答用及賞品としても絶好。
文陽堂	同	博文館	同	日實業社	同	丸善	博文館	博文館	同	

課外 讀物	おはなし文庫一	樋口紅陽	四六判 二二頁	送價	一〇〇八〇	▽愛する児童たちと学校の先生や父兄たちの 爲に最も児童の喜ぶおはなしで心の御飯にな るやうなお話ばかりを集めたものです。	九段書房
課外 讀物	おはなし文庫二	樋口紅陽	四六判 二二頁	送價	一〇〇八〇	児童の精神修養に偉大の力を持つてゐる良 本です。内容、人形の悲しみ、笛の力、利巧 な百姓、貧乏神、たからの箱、外五編。	同
手工と遊戯 と藝術	面白い科學遊び	古谷野輝郎	四六判 一九〇頁	洋裝 送價	〇五〇六〇	おもしろい卵さきかない卵、五色の酒の注ぎ の魔法箱の作り方、洗まぬ針、電氣あそび、銀 の卵さきふやうな手品遊戯を解説してゐる。	松陽堂
	おもちゃ箱	北村壽夫	四六判 一四六頁	上裝 送價	一〇二二〇	みんな純真な創作衝動から生れてゐる。それ でゐる筆觸のなだらかなこと、ごんな幼童に もわかり易い、尋常三、四、五年位が丁度よい	イデア書院
	おやゆびたろう	波野 薫	四六判 一九〇頁	紙裝 送價	〇八六五	ものぐさおやゆび、やぎのおほかみ、おやゆび たろう、其他數編の童話を集む。全部ひらが なで書かれてあるから平易に讀めて面白い。	紅玉堂
學級文庫	アンデルセン物語集	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	世界第一の童話の神様、アンデルセンの童話 を集めたものです。これも、寶玉のやうな美 しい童話ばかりです。	ヨウネン社
學級文庫	グリム物語集	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	グリム兄弟はドイツの生んだ第一の童話作家 です。珠玉のやうな有益なグリムの童話はよ き糧としてドイツ國民から尊重されてゐます	同
學級文庫	イソップ物語集	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	世界でイソップの物語を知らない者はありま せん。それ程、永遠に光り輝いてゐるイソッ プの童話をあつめたものです。	同
學級文庫	まごころ日記	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	原名はイソップ語でクオレミといひます。一小 學兒童のさまざまな事件が、涙ぐましく日記 體にかゝれてあります。	同
學級文庫	ジャンヌダルク	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九八頁	布裝 送價	〇九八〇	可憐な一少女ジャンヌ、ダルクが、神命によ つてフランス國家を救つた、哀れにも優しく 勇しい一少女の愛國美談です。	同

學級文庫	家なき子	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	フランスの文豪エクトルマローの原作です。 哀れなルミ少子、まだ見ぬ親をたづねてさ すらい涙の物語です。	ヨウネン社
學級文庫	平家物語	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 四〇〇頁	布裝 送價	一〇二二〇	平家物語！その名の哀れに詩のやうではあり ません。平家物語を少年少女向きにわかり 易く書き改めたものです。	同
學級文庫	ギリシヤ英雄傳	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	勇しくも華々しい勇士ヘルセウス、ヘルクレ ス、ヤーソン、ケドマスなどギリシヤ神代の 痛快な、胸をおどらすやうな讀物です。	同
學級文庫	弓張月物語	澤柳政太郎 石西重 石井蓉	四六判 一九二頁	布裝 送價	〇九八〇	江戸文學の大家瀧澤馬琴先生の傑作、日本 第一の弓取り鎮西八郎爲朝の痛快極りない一 生を少年少女向きにかき改めたものです。	同
童話集	角笛のひびき	吉江 孤雁	二〇五頁	洋裝 送價	一〇二六〇	著者が佛蘭西に在留中、彼地に於ける児童讀物 の完備せらるるに感じて著せる著者最近の力作 で、歐洲に材をとりたる童話集である。	日實業社
	カタカナオトギバナシ	樋口紅陽	四六判 二二〇頁	送價	一〇〇八〇	一、二年生のコードモサンノタメニソレ イソップオハナシテオモシロクテヨイホンデス。	九段書房
	グリム家庭お伽噺	和田垣謙三 星野久成	四六判 三三二頁	入 送價	一〇二〇〇	グリムお伽噺の内、尤も面白いお伽噺を選定 しました。そしてお話の一つ一つの終りに解 説をつけました。	文陽堂
	カナオトギ叢書(1)	下平 廣惠	四六判 一六一頁	入 送價	〇九六五	カラストスズメ、タヌキノハラツツミ、オニ ノオヤド、オイシイダンゴ等と云つた小品二 十三篇を集む。小學一二年生のための好讀物	第一出版會
	カナオトギ叢書(2)	下平 廣惠	四六判 一六五頁	入 送價	〇九六五	おひるのさわぎ、まちぼうけ、おにのやまで 部平等と言つた小品二十三篇を集めてゐる。全 部平假名で書いてある。小學一二年生の讀物	同
	カナオトギ叢書(3)	下平 廣惠	四六判 一六〇頁	入 送價	〇九六五	この本にはイソップの中でも殊に有名なもの の注を集めてゐる。假名遣ひや文章には細 心の注意を拂つてゐる。一二年生の模範讀物	同

カナオトギ叢書(4)	カナオトギ叢書(5)	カナオトギ叢書(6)	カナオトギ叢書(8)	カナオトギ叢書(9)	カナオトギ叢書(10)	ガリバー物語	ガリバー旅行記	童話兄弟星	ギリシヤの神話
古閑八洲子	井上英夫	梶原千丸	須藤和彦	須藤和彦	須藤和彦	鹿島鳴秋	濱野重郎	富助一	中島孤島
一六〇頁 送	一六〇頁 送	一六〇頁 送	一六〇頁 送	一六〇頁 送	一六〇頁 送	二二〇頁 送	一五五頁 送	二二〇頁 送	四一〇頁 送
●九五	●九五	●九五	●九五	●九五	●九五	●八五	●四二	●八〇	●二五〇
グリムお伽話中の著名な十三篇を選んで、白熱的に迎へられてゐる本。装幀も美しい。	今やアンデルセンは世界中の子供達に愛されてゐる。日本の子供達もこの本を早く読んでほしい。	唯面白くない。お伽話は外に澤山ある。然し面白くない。お伽話はアラビヤナイトをお伽話の好きガリバーが小人國、大人國、飛鳥等へわたつて、そこでさんざん苦しい目にあつたりなかつた。事を演じたりする奇抜なお話。	日本の古い物語の中から子供にこつておもしろいものを集めてゐる。國ピキ、海ヒコ、山ヒコ、ヤクソク、ニソムイタ、神其他十篇。	カタクナモノガタリの後篇も見るべきもの。全部平假名で書いた物語。天若彦と乙姫、島の牛若、七福神、二度目の浦島太郎等十篇。	大人國の不思議、小人國の滑稽、讀めば讀むほど興味が新しく湧いて來るのはガリバーの旅行記である。手輕に經めあげた好著。	ガリバー旅行記、それは有名すぎる程有名で、あらう。しかし原著者は、その間に一つの理想を描いてゐる。小學校四、五、六年程度をあらう。この讀む者にも聞く者にも何もの夢さ事實の中を突き進んだ所から私共の生活を與へる。この出來るのが本書の特色です。	たゞ讀んでも面白いギリシヤ神話である。而も今日では種々の言葉等に多く引用される點に於て、常識の中と言つてもよいと思ふ。		
協一出版會	同	同	同	同	同	博文館	イデア書院	三共出版社	同

基督教童話寶玉集	近世科學の寶船	童話金の鈴	黒船物語	ベータの月世界旅行記	學習參考 決戦の日本歴史	學校家庭 教訓お伽噺	農民 黄金の馬	三十年目 書き直し かがね丸	コサツク騎兵
蘆谷蘆村	高田徳佐	野邊地天馬	沖野岩三郎	田村明一	澁谷義夫	巖谷小波	森口多里	巖谷小波	小島政二郎
四五〇頁 送	四〇〇頁 送	三一〇頁 送	一九一頁 送	二〇〇頁 送	各一〇〇頁 送	五二〇頁 送	一四九頁 送	二二〇頁 送	三一〇頁 送
●三五〇	●二八〇	●一五〇	●一六〇	●一五〇	●一〇〇	●一八〇	●〇〇	●〇八五	●一六〇
トルストイ、アンデルセン、グリム、ロンク、フエロー等の著作中、キリストを取材した作品二十五篇を選び流麗に譯出せるもの。	ラチオ、飛行機、潜水艦などの文明の利器が、水銀から金を得る術、化學應用の用品等數十項に及び近世科學を紹介してゐる。	文部省認定書、口繪石版、尋常二・三・四年程度、五十八種のお噺——四號活字——好評第十一版發行。	黒船來る！それは今我々の想像も及ばぬ驚異であつたに違ひない。この話はその當時の探險記、非常な危険を冒して、目的を達する勇敢な物語です。	國史にあらはれたる面白き決戦物語なり。	東洋の部、西洋の部二冊に分つ、世界各國の著名なお伽噺中で短篇の妙味あるもの約三百篇を纏めてゐる。挿畫も頗る豊富。	東北地方の農民間に傳はる日本固有のお伽噺愉快、滑稽、上品。	小波先生が青年時代の出世作を三十年過ぎて書き直し新古今文を對照せしめた珍しい著作お伽噺界の記念出版物。	特色とする所はユーモアに富む點である。徒らに涙ぐましい感心を強ふるばかりが兒童讀物の使命ではない。小學校中學生年の程度である。	
警醒社	慶文堂	丁未出版社	イデア書院	慶文堂	天地書房	博文館	日實業社	博文館	イデア書院

こどもアラビアンナイト	谷口 武	一八〇頁 裝送	一・二二〇	本書は最も面白く、且つ子供の爲に分り易い話を抜いて平易に書き改めたもの。小学校一、二、三の最低学年用としてお勧めする。	イデア書院
こどもアンデルセン	奥野庄太郎	一八〇頁 裝送	一・二二〇	小学校最低学年の讀物。著者はアンデルセンには深き親しみを有せられる人である。	同
こどもイソップ	岸 英雄	一九五頁 裝送	一・四二〇	有名なイソップ物語の中から教育上興味あるお話を選び、特に尋一、二年程度に適する様、カタカナ、ひらがなに書き換へたものです。	同
こどもグリム	岸 英雄	一八〇頁 裝送	一・二二〇	「こどもイソップ」を書いた著者は、今又「こどもグリム」を書かれた。尋常一、二、三年程度の讀物である。	同
子供のすきな話	波野 薫	二一〇頁 裝送	〇・八五〇	白鳥物語の友情以下十数編の童話を集めてある。美しい挿話を添へて、面白ばかりでなく兒童の純真な心へのよき養ひである。	紅玉堂
童話ニナルハナシ(十編マデ)	栗島 笹舟	一五〇頁 裝送	〇・五五〇	(1)一寸法師(2)ライオンの恩報(3)徳利の鬼(4)梅太郎の鬼退治(5)寶の島(6)青い鳥(7)お伴退治(8)花の命(9)黒猫と野良犬(10)白い鳥。	綱島書店
神曲 子どものダンス	蘆谷 蘆村	二〇〇頁 裝送	一・八八〇	ダンテの「神曲」の童話的記述で「地獄」「煉獄」「天國」を貫く大詩篇の複雑な事件と深刻なる精神が子供に分るやうに書かれてゐる。	警醒社書店
こどもロビンソン	谷口 武	一五〇頁 裝送	一・二二〇	本書は二三年程度の子供が自ら讀めるやうに、平かなで言葉の用法に至るまで注意してある。幼児には讀んで聞かして頂きたい。	イデア書院
金色の柱	原 秀雄	二九六頁 裝送	一・二二〇	ロシアで有名なソログラフの傑作選集であり、でも讀みあかぬ面白いもの豊富。大人が讀んでも、飽きず、飽きず上品で藝術的で、大人が讀んでも、讀みあかぬ面白いもの豊富。	崇文堂
今昔物語	門馬 常次	二〇四頁 裝送	一・六二〇	本書はその子供譯で、單にその不思議な話に興味をそゝられるさいふばかりでなく、當時の國民文化の一端をうかがふ緒もなう。	イデア書院

細菌 とお友達 一寸法師	實業之日本社	一〇六頁 裝送	一・〇六〇	蠅のお腹は細菌の巢、貧民窟の探險等悉く子供にも細菌の知識を與へ、衛生の必要を教へ、しかも興味津津々々としてつきない。	實業之日本社
西遊記	吉田 助治	四二〇頁 裝送	二・三二〇	この怪奇極まる物語を著者一流の見識を以て平易に書きこなしてある。そこには又深き意味も汲めるであらう。尋常科高学年向の讀物。	イデア書院
小波おもちや箱	巖谷 小波	四九三頁 裝送	一・〇〇〇	お伽の大家さざなみ先生の傑作童話、内容は子供の大喜びの爲めになるお話を豊富に集めた大評判の童話であります。	九段書房
小波新お伽百話	巖谷 小波	八二四頁 裝送	三・六八〇	お伽百話に引續いて選輯された新お伽百話に學校でも缺くことが出来ぬ良書。	博文館
小波たから車	巖谷 小波	四一〇頁 裝送	一・〇〇〇	最も兒童の喜ぶおはなしで内容は、御田の竹、隠れマンントウ、地獄満足、鈍太郎、雪の雀、隠れマンントウ、地獄満足、鈍太郎、雪の竹ちゃん、眠の塔若がへる千年萬年。	九段書房
面白いうちに 算術の話	佐藤 武	二五〇頁 裝送	一・〇二〇	算術の爲の趣味讀物の絶無であるのを遺憾とが、興味深く内容を豊かな讀物と與ふるため著者が多大なる努力を以て公にしたのである。	三共出版社
こども シエークスピア	蘆谷 蘆村	二二〇頁 裝送	一・八八〇	ゲエスの商人、あらし、マクベス物語、親不孝な王女、まちがひづくし、ペリクレス王、眞夏の夜の夢等の作品を童話化するもの。	警醒社書店
シエークスピア物語	近藤 宗男	二七〇頁 裝送	一・七二〇	シエークスピア劇のうち、興味多くして且つ子供に了解し易き物語十数篇をベニス商人、リヤ王、マクベス等を譯述したもの。	イデア書院
兒童源平盛衰記	奥野庄太郎	四六二頁 裝送	一・三二〇	國民文學を兒童化して提供されたもので尋常五六年頃より中學三年頃迄の讀物として永久的生命を有する課外讀本である。	集成社
兒童太閤記	山本 徳行	四六二頁 裝送	一・二二〇	子供本位の文を以て、兒童心理の實際に適する様、太閤の生涯の材料を精選して兒童讀物の眞髓に觸れしめんとした著者苦心の作。	同

學級文庫 神代の日本	少年文學	少年對話とお話大會	少年島	小學童話讀本	印度 ジャータカ物語	兒童義經記	兒童八犬傳	兒童太平記
澤柳政太郎 石小西重直 井蓉年	巖谷小波	樋口紅陽	加藤朝鳥	菊池寛	林光雅	鷲尾知治	山本德行	鷲尾知治
一九二〇年 送價 〇九八〇	中判和裝 一四〇頁 送價 〇三五	四六判 二五四頁 送價 〇二八〇	四六判 二四〇頁 送價 〇二八〇	式紙判 全八冊 送價 〇〇六〇	四六判 三九六頁 送價 二〇八〇	四六判 挿繪入 送價 二二〇	美四六判 上下二冊 送價 〇七〇	美四六判 上下二冊 送價 二二〇
日本建國の由來を、少年少女向讀物として書いたもので、讀むうちに、日本の國體がはつきり分つて來ます。	小波先生の圓熟せる筆を以て子供達の心をヒタリ捉へたお伽噺實に百篇お伽噺の新たな標準書と稱せらるゝ名著。	▽兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。	○兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。	○兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。	○兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。	○兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。	○兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。	○兒童たちが讀んですぐ對話が出來たり面白くお話が出来たり大評判の良本です。
ヨウネン社	博文館	九段書店	松陽堂	興文社	二松堂	甲子社書房	同	同

小波新編お伽百話	白い小兎	救いの父	雀のお宿	ストリンドヘルク童話集	童話と砂の塔	聖典イソップ物語	世界一周繪話	改訂 世界お伽噺	童話 世界見物
巖谷小波	小野政為	馬淵冷佑	十八名家	舟木重信	長里きよし	横尾貞憲	奥野庄太郎	巖谷小波	水谷次郎
四六判 一〇五頁 送價 四〇一八〇	四六判 二三五頁 送價 一〇〇	四六判 二三五頁 送價 一〇〇	四六判 五二二頁 送價 二一五〇	四六判 二二〇頁 送價 一五八〇	四六判 二〇〇頁 送價 〇八〇	四六判 四六頁 送價 一〇二〇	四六判 一三〇頁 送價 〇二八〇	袖珍布裝 五〇〇頁 送價 二〇二八〇	四六判 三二〇頁 送價 一〇〇八〇
小波先生の圓熟せる筆を以て子供達の心をヒタリ捉へたお伽噺實に百篇お伽噺の新たな標準書と稱せらるゝ名著。	著者が約十年童話に終始した装幀初山滋氏貴き筆で清浄な名作、分り易き物語を以て幼児に最も教育的なる話にして講話資料として又兒童の讀物として絶好なるもの。	故竹貫佳水先生を記念して十八人のお伽噺の名家が各々得意の篇を寄せて出來た七彩の虹の様に色とりどりの童話選集。	ストリンドヘルクは晩年時代に入つて象徴的神秘的な傾向をあらはして來た、その頃書かれた童話がこの書の主な内容となつてゐる。	著者長里きよし氏は童話七篇童話九篇、何れも純新なる藝術として少年少女の好讀である。	印度の聖典中の動物寓話、譬喩譚、俚諺等の最も價値ある佛敎童話を撰擇して是を現代語に改作して容易に讀解し得る様せしものなり。	著者が世界一周を試みた時、身を兒童の立場に置いて兒童の生活に即したる新しい世界一周記を繪澤山にして編まれたのが本書です。	世界お伽噺百篇を各十冊づゝ合本、袖珍版となつて現はれた。家庭用、學校用として最も多く推薦される理想的なお伽噺集である。	太陽の巻黄金の巻寶玉の巻花鳥の巻として全四冊出來てゐる。春は春の童話秋は秋の童話必要だ。本書即春夏秋冬の四冊に分冊す。	日本書院

世界少年少女名著大系 第一編 ロビンソン漂流記	世界少年少女名著大系 第二編 ナポレオン物語	世界少年少女名著大系 第三編 ドン・キホーテ	世界少年少女名著大系 第四編 コロンブス物語	世界少年少女名著大系 第五編 ガリバー旅行記	世界少年少女名著大系 第六編 ロビンフッド物語	世界少年少女名著大系 第七編 アラビヤン・ナイト	世界少年少女名著大系 第八編 オデッセー物語	世界少年少女名著大系 第九編 シエークスピア物語	世界少年少女名著大系 第十編 グリム童話
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社
一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價
●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇
船乗りになつて遠い國々へ行きたいとあこがれたロビンソンが途中で難船に出遇ひ無人島へ漂着し艱難辛苦して本國へ歸る長物語です	ナポレオンが一代記で地中海の小島に生れた少年が帝王となつて歐洲を征服する榮華の時から南大西洋の孤島で死を遂げる物語です	イスパニヤのお話で毎日騎士の物語りを讀んで気が變になり脊馬に乗つて武者修行の旅に出かけ到るころで大失敗をする物語りです	大偉人コロンブスがあらゆる困難と戦つて遂にアメリカ大陸を発見するまでの變化極りない運命を書いた珍らしい血と涙の物語りです	ガリバーが難船して小人國に漂着し奇想天外の滑稽をや再び航海に出で大人國に漂流してそこでさん／＼な目にあふ面白い物語り	英國の有名な話で伯爵であつたロビンフッドが國を奪れシヤウツドの森にかくれ王を救ふ戦を起し最後に毒殺される悲壯な物語です	アラビヤン・ナイト程面白い物語り世界の中にも特にな面白くないものは集つておます	ギリシヤの詩聖ホメーロスの作で世界中で一番古く面白く物語りです海を越えて出征した勇士オデッセーが神の怒にふれ艱難を耐へる物語	テンペスト。御意のまゝ。ペニスの商人。がみく／＼女馴し。眞夏の夜の夢。冬の夜ばなし。等面白いものを選んで物語風に書いたもの。	グリム童話は少年少女の珍寶として尊ばれてゐる程有名な物になつてゐます本書はグリム兄弟の數多くの作の中最も面白くもばかりです
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社

世界少年少女名著大系 第十一編 繪入イソップ物語	世界少年少女名著大系 第十二編 日本古事記物語	世界少年少女名著大系 第十三編 新約物語	世界少年少女名著大系 第十四編 西遊記	世界少年少女名著大系 第十五編 ローマ英雄物語	世界少年少女名著大系 第十六編 こども聖書物語	世界少年少女名著大系 第十七編 奴隷トム物語	世界少年少女名著大系 第十八編 ギリシヤ英雄物語	世界少年少女名著大系 第十九編 アンデルセン童話	世界少年少女名著大系 第二十編 小公子
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社
一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價	一四六頁 美装判 送價
●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇	●九二〇
一つのお話に一つづつ立派な畫を入れてお話しを讀む面白く讀ませる本は他にありません自慢の本として皆さんに見て頂きたい	古事記物語は立派な神話は世界の何れの國にもありません日本にのみ實際驚く程立派な面白い物語りです日本人として是非讀んでおくべき書	世界の救世主としてあがめられてゐますイエスキリストの一生を聖書に從つて子供のために正確に書いた最初の子供キリスト傳です	支那から印度へお経を取りに行つた支那僧の物語で悟空八戒沙悟淨の三人を供につれ様々の覺物に出逢ふ奇々怪々の世界的名作物語り	ローマの國を開いたロミウラとレマスの不思議な生立ち物語りからはじまつてハンニバルやシーザーなどの英雄が現はれる物語りです	舊約聖書は世界の最も古い文學としてこれ程立派なものはないと云はれてゐます又一つの物語りとしてこんな面白いものはありません	米國で盛んに賣買された哀れな奴隷達の悲惨な生活を書いたもの主人公トムのけなげな精神は如何に讀者に感激の涙を流させるでせう	ギリシヤ英雄の物語りを傳説に從つて書いたものです最も有名上に面白い話をもつてゐる三勇士の活躍に胸をおどらせる物語りです	世界第一の童話作家として有名なアンデルセンの童話の中から最もいい作を集めましたこんな上品な童話は世界を通じてありません	幼くして父を失ひ神の如く氣高き母を待つた小公子を書いた物語りで家庭小説として少年少女のために紹介されたのは本書が初めてです
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社

世界少年少女名著入系 第十一編 母を尋ねて三千里	世界童話叢書 第一編 支那童話集	世界童話叢書 第二編 印度童話集	世界童話叢書 第三編 ろしあ童話集	世界童話叢書 第四編 フランス童話集	世界童話叢書 第五編 ドイツ童話集	世界童話叢書 第六編 ペルシヤ童話集	世界童話叢書 第七編 イタリー童話集	世界名篇物語叢書 第一編 赤穂義士物語	
金の星社	小泉一雄	豊島次郎	永橋卓介	永橋卓介	甲田正夫	甲田正夫	永橋貞介	足立期々	
四六判 一〇九頁 送價 ●九二〇	各一〇頁 送價 ●八〇〇	三〇八頁 送價 ●一五〇〇	三〇八頁 送價 ●一五〇〇	三〇九頁 送價 ●一五〇〇	三〇六頁 送價 ●一五〇〇	三〇〇頁 送價 ●一五〇〇	三〇〇頁 送價 ●一五〇〇	一八〇頁 送價 ●一五〇〇	
本書は伊太利の文豪アマチスの作つた世界的名作の中最も有名で又最も面白く、七篇を集めた。何れも不朽の名作揃ひです。世界に於ける有ゆる童話を集めて學校に於ける教育資料又は家庭の讀物となしたるもの竹久夢二氏の装幀にて頗る美麗。	お日様ごっこに提灯祭・金の杓子・けちん王・赤い種白い種・煙仙人其他の傑作を収む。お日様ごっこには先年お人形座に脚を上演したる功名・銀色蛇・海の女王其他の傑作を収む。お日様ごっこには先年お人形座に脚を上演したる功名・銀色蛇・海の女王其他の傑作を収む。	内容——馬鹿のイワン・風の神・龍の舌・空さぶ船・オ・様・裸の王様・イリアの話・脚なしニキタ・麥苗の牛・二人の囚人其他三篇。	美しい童話の國フランスに於ける傑作のみを一粒選りにしたるもの、柵指さん・靴をはいた猫・魔法の指環・れむり姫・其他十一篇。	内容——仕立屋のちびさん・ながはな小人・太陽馬・白蛇・奇妙な兵士・狐の裁判・魔法の笛等。	特に長編ばかりを集めたもの、オロマンの護符・ミスナル王と四人の魔法使・アザド王と二人の仙人の話等いづれも傑作ぞろひ!	リオンプルウ・馬鹿で仕合せ・靴屋の出世賢い少女・小鳥仙人・風琴物語・もの言ふ木赤白黒姫・羊になる泉・薔薇の花其他三篇。	講談芝居と種々な形となつて世に現はれてゐる赤穂義士四十七士の話を少年少女の爲に最も史實に近く且つ面白く特に書かれたるもの。	一代の暴君ネロ皇帝の飽く事を知らない暴徒、美しき微笑み乍ら死についたキリスト教徒、子供の爲の劇的物語!	曲亭馬琴が二十八ヶ年の歳月を費して書き上げた世界的傑作を小供の爲に書き直したものに於て學校の科外讀本として最も適す。
金の星社	寶文館	寶文館	同	同	同	同	同	同	

世界名篇物語叢書 第三編 クオ・ヴァ・ヂス	世界名篇物語叢書 第二編 八犬傳物語	世界名篇物語叢書 第四編 水滸傳物語	タドモノ世界童話讀本 第一、二、三、四、五、六	創作童話 第一集 笛吹き小鳥	創作童話 第二集 逢ひに來た人魚	創作童話 第三集 唄を忘れた王子	第一童話叢書 (1) 惡魔の尾	第一童話叢書 (2) 天と地の出來事	第一童話叢書 (3) 森の梟
永橋卓介	甲田正夫	田中實	高山流月	永井花水	永井花水	永井花水	宮原晃一郎	宇野浩二	前田晃
一七〇頁 送價 ●九二〇	一九三頁 送價 ●九二〇	一八四頁 送價 ●九二〇	一四六頁 一五五頁 送價各 ●六〇〇 ●四〇〇	二〇〇頁 送價 ●〇〇八〇	二〇〇頁 送價 ●〇〇八〇	二〇〇頁 送價 ●〇〇八〇	二〇〇頁 送價 ●〇〇八〇	二〇〇頁 送價 ●〇〇八〇	二〇〇頁 送價 ●〇〇八〇
一代の暴君ネロ皇帝の飽く事を知らない暴徒、美しき微笑み乍ら死についたキリスト教徒、子供の爲の劇的物語!	曲亭馬琴が二十八ヶ年の歳月を費して書き上げた世界的傑作を小供の爲に書き直したものに於て學校の科外讀本として最も適す。	支那と云ふ大舞臺を縦横に活躍する百八人の豪傑、息をも吐かないで一氣に讀み終らせる面白く讀物それこそこれ水滸傳物語!	英佛、獨伊、米、の讀本中より選み學年相應に編纂したる家庭教科書とも云ふべき兒童の好讀もの賞與品にも適す。	笛吹き小鳥の和尙の夢の小鳥の天女の酒の太吉と玉手箱等、皆これ迄にない創作物はかりで面白く中々種々教訓が含まれて居ます。	神に使用した少女が人魚の姿に紛し高塔より遁れ一人の母を養ふ或時王子の寶刀を拾ひ王子それを尋ねて人魚の後を追ふ神秘童話外數篇。	王城の寶石は失はれまじた王様は不慮の禍に王妃が行方不明王子は寶石の唄を忘れ第二の王女が古城から王子を救ふと云ふお話外五篇。	十二篇の童話を収む總ては氏最近の名作。著者は純粹に兒童の心理にはひつて此等の作を物とした。自然で作爲のない文は子供的好讀物。	八篇の童話を収む。其取材の支妙自在なること表現の奇矯警拔なる事は天下に比を見ない。絢爛たる永瀬義郎氏の装幀に先づ目を見られる。	十三篇の童話を収む。著者は其序に自分此書の中に一種の教訓を織り込みに分る。此い世界へ旅立つ子供への健全なおくりもの。
金蘭社	同	同	網島書店	泰文館	同	同	出版協會一	同	同

第一童話叢書(5)	江口 渙	八篇の童話を收む。題材は皆神秘的なものばかり。子供に喜ばれる事受合、雄健にして直勁なる筆致は複雑な話を好く単純化して妙。	出版協會一
かみなりの子	徳永壽美子	四人の子供に對する限りなき愛の結晶。童話は夫人の子供に對する限りなき愛の結晶。	同
をどる小馬	中島 薄紅 外四名	「日本少年」「少女の友」の六記者が、腕によりを掛けて新たに書き下した少年少女用の對話十二編を収めてあります。	同
少年對話六人集	赤坂 清七	スチアンソンの原著「トレチヤアランド」を譯述したものの文學的價值から言つても立派なものである。息をもつかせない。	同
黄金の薔薇	近藤 宗男	「内容」(一)馬鹿なマイダス王、(二)ゴルゴンの首、(三)タンホイザー、(四)聖ヨージと龍、(五)聖ダビドトウエルズの縁の莖等。	同
小さいコゼット	福田正夫 譯	少年少女の爲にユーゴー傑作中のコゼットを譯したもので或は涙をじほらじめ或は嬉しさ胸を躍らしめ無限の趣味と教訓とを與へる。	文明社
小さな世界	山村 暮鳥	小學校低學年向の童話集。詩人の深き詩情を通過して描き出された草木鳥獸は皆一様に大きな何物かを我等に語る。	イデア書院
地獄の門	山村 暮鳥	長中篇童話集。豊富な思想と尊敬すべき人生觀の一流の才筆によつて輝いてゐる。子供用のものとして片づけるに忍びない。	同
父戀し	沖野岩三郎	海に出たまゝ行衛不明になつた父を母と共に尋ね歩く姉と弟がたづねつて遂にはるばる満州の空でめぐり逢ふ清い涙の物語りです。	金の星社
蝶と花との對話	金子 洋文	花に關するあらゆる秘密を上手に物語るお伽話を得らる様に仕組まれてあります。	日本業社之

蝶々のお手紙	北村 壽夫	尋常三、四年程度の讀物。すなほに甘へた子供の心をこの一篇を以て微笑もて見る若い親の心が此の一篇を以てする態度である。	イデア書院
藤村讀本	島崎 藤村	藤村氏が久しき宿望たる小學時代より中學高女上級の爲の滋味不盡の藝術讀本、各巻に童話小品詩感想等數十篇を收めたる名著。	研究社
童話鹿の眼	土田 耕平	狐の家來外二十篇の童話集であつて著者は暢であるだけに字句の驅使輪廻も美しく流暢で子女の快讀にも甚だ適當である。	古今書院
童話選集	童話研究会	家庭に於ける兒童教育の資料として編輯しあすれば面白く校外讀本としての價值あるものこそ。	網島書店
演童話と兒童劇集	大正大學兒童研究会	世に權威ある兒童研究会員多年の經驗より生れたる實演的童話と兒童劇廿篇。お伽壇上の人は勿論兒童及家庭の人の最も新しい讀物。	弘導閣
赤い猫	沖野岩三郎	尋常三年生以上の少年少女の爲に面白くてめになるやうに童話の大家で有名な沖野先生が書かれた日本で最初に出來た童話讀本です。	金の星社
金の釣瓶	沖野岩三郎	最も、課外讀本として出來たのがこの童話讀本です。發行以來第一編の赤い猫と共に全讀本の各小學校から多大の歡迎を受けて居ります。	同
現代童話の泉	日本童話研究会	現代一流作家菊池寛、小川未明、久米正雄、野口雨情外數十名の名家揃の傑作で面白くて爲になる少年少女の讀物である。	文展堂
支那童話三十篇	瀧澤 青花	支那は世界で最も優れたる童話の國だ。童話に於て支那は無盡蔵の富を有つ。瀧澤氏は今その富を掘つた。支那童話三十篇即ちこれ。	出版協會一
内外教育童話	馬淵 冷佑	著者は童話お伽の大家で本書は古今東西の興味ある物語を多数蒐録せるもの小學校又は家庭に於ける教訓資料として絶好。	寶文館

長靴の國	久留島武彦	三判上裝 一七〇	伊太利建國の面白い傳説や、伊國勇士の忠君を繪入にした伊太利お嘶集です。	丁未出版社
日本一の畫嘶	巖谷季雄	袖珍紙裝 全三五冊 送價各 〇二五	カタカナ綴りひらがな綴りで幼稚園から尋常一年生位までのお子様が読み取りやすい。最も楽しい本です。	丸善
日本お伽嘶	巖谷小波	菊判紙裝 内各七〇頁 外各一〇八頁 送價各 〇一八	昔に次いで小波先生が整理し創作され最も廣く讀まれた小波お伽嘶の分本二十四冊。最も讀むに便利な挿繪二十餘葉入れている。は通讀せしむるに濟まされぬ好讀物。	博文館
改訂 日本お伽嘶	巖谷小波	袖珍布裝 六六〇頁 送價二 〇二八〇	幾百年間言ひ継ぎ語り古された我國の昔嘶に新なる生命を吹き込んで全二十四冊に纏められた小波先生の勞作童話の基礎。	同
日本昔嘶	巖谷小波	菊判紙裝 内各五〇頁 外各二八頁 送價各 〇二八	小波先生の日本昔嘶全二十四冊を一巻に纏め口繪を多數に加へて興味深く手に讀めるやうに改訂縮刷したるもの家庭必備の一書。	同
改訂 日本昔嘶	巖谷小波	袖珍布裝 四五〇頁 送價二 〇〇〇	繪入フランス童話集の一冊で、人魚の唄を頭にフランスのお話が収められてゐる。そして最も藝術的雰囲気の中に澄み切つた相互扶助精神も健全な科學的教訓、敬虔な宗教的純情さへも加味したるもの。眞に類書中の白眉。	紅玉堂
人魚の唄	松本苦味	二判紙裝 二〇〇頁 送價 〇六五	歐洲に傳つてゐる種々の傳説を編したるもの。尋常科高學年の讀物である。	厚生閣
集童話 ノアの船	河野田通勢	挿繪美裝 一八〇頁 送價二 〇一八〇	一少年が種々の苦痛と艱難を嘗め試みた冒險談にして勇壯活潑なそれこそホントに躍りつくやうな話ばかりが満載されて居る。	三輪書店
白鳥の騎士	近藤宗男	四六判 一六八頁 送價一 〇二〇	尋常科高學年の讀物である。	イデア書院
小傑 蟹島王	堀内新泉	二判洋裝 二二〇頁 送價 〇六五	一少年が種々の苦痛と艱難を嘗め試みた冒險談にして勇壯活潑なそれこそホントに躍りつくやうな話ばかりが満載されて居る。	イデア書院

童話 ピノチオ	佐藤春夫	二判上裝 二九六頁 送價一 一八〇	豊富な構想上品な滑稽適度の教訓空想や感傷年に陥らず而かも子供の性情とびつたりせる少年文學の上乗。	改造社
國定 標準 お伽	千草茂	四判函入 四五八頁 送價 〇七五	尋四五六年を智仁勇の各三編に別ち、多種多様な内容を蔵するもの、殊に兒童教育の課外訓話として愛兒の爲め、千金の玉手函。	崇文堂
ためになる ひらかなおとき	樋口紅陽	四六判 二〇五頁 送價一 〇八〇	武井先生の童話と畫は實に先生獨特のもので、こゝに面白く、上品な高級の童話讀本ではない。ほゞに無類の上品な高級の童話讀本です。	金の星社
繪入童話集 ブウ太郎鍛冶屋	武井武雄	表紙美裝 二九二頁 送價一 〇二〇	有名な自由な盡くる所を知らぬ子供に空想したものが愉快に描き出されてゐる。	イデア書院
ふしぎなお庭	鷺尾知治	一四判上裝 一四四頁 送價一 〇二〇	木曾の山中から初めて上京された幼ない時蝶と友の山の中から木、川の水草の花、小鳥や蝶の物語り、山の木、川の水草の花、小鳥や蝶の物語り、山の木、川の水草の花、小鳥や蝶の物語り。	日實業社
童話 ふるさと	藤島藤村	三判上裝 二四一頁 送價一 〇〇四	「お城シリーズ」の第四編。あまりに賢いさるるの目にあつた王子の缺點のためにお話もあつた。王子の缺點のためにお話もあつた。王子の缺點のためにお話もあつた。	日實業社
プリンス・プリジオ	村山知義	一〇判洋裝 一〇〇頁 送價一 〇四〇	「お城シリーズ」の第四編。あまりに賢いさるるの目にあつた王子の缺點のためにお話もあつた。王子の缺點のためにお話もあつた。	婦人之友社
お伽集 ベルの音	澁澤青花	二判上裝 二二八頁 送價一 〇二〇	最も廣く讀まれた小波お伽嘶の分本二十四冊。最も讀むに便利な挿繪二十餘葉入れている。は通讀せしむるに濟まされぬ好讀物。	日實業社
ホケット童話叢書(1) 竹取物語	須藤和彦	一三〇頁 送價一 〇四〇	輝映細やかな文章は子供の外に百合若大臣を附す捉へて了ふ。文章は子供の外に百合若大臣を附す捉へて了ふ。文章は子供の外に百合若大臣を附す捉へて了ふ。	出版協會
ホケット童話叢書(2) あら無情	小島徳彌	一三〇頁 送價一 〇四〇	かの手ぎはの鮮かき。文章流麗。読み初めたら面白くて最後まで巻を置くことが出来ぬ。	同

西	青	八	僕	マツチ	ろしあ	メエテル	アラビヤ	ロビンソン	
ホケツト童話叢書(3)	ホケツト童話叢書(4)	ホケツト童話叢書(5)	僕の好きな英雄	マツチの兵隊	ろしあ マルコとワシカ	メエテル 童話集	アラビヤ ナイト	ロビンソン 漂流記	
上 脇 進	光 田 潤	大 原 善 二 郎	小 林 鷺 里	水 谷 ま さ る	昇 醒 夢	西 川 勉	樋 口 紅 陽	樋 口 紅 陽	
一三〇頁 裝 送 價	一三〇頁 裝 送 價	一三五頁 裝 送 價	四六頁 裝 送 價	二九〇頁 裝 送 價	二四八頁 裝 送 價	三二〇頁 裝 送 價	四〇九頁 裝 送 價	四九頁 裝 送 價	
〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・〇八	一・二〇	一・四八	一・五八	〇・九五	〇・九五	
孫悟空が三歳のお供をして、唐から天竺へわたる間に、妖怪變化を平げるさいふ支那の話。	チルチルとミチルとの二人の兄妹が、青い鳥のあそびを慕つて幻の世界に這入りこむさいふメーテルリンクの戯曲を子供に解り易く書いた	瀧澤馬琴の代表名作とされた八犬傳の名を知らないものは無い。世界的なこの怪物物語を著者は子供の爲に分り易くおもむきよく書いた	児童禮讃を力説し、児童の世紀實現に努力する著者が、多年育兒事業に従事の際、童心を透して表現せる童話寶玉集である。	古來の英雄といはれる人々には、子供のときから秀でてた所がある。それを述べたもの、本書の中には好きな英雄が一人はきつとある。	著者の名は已に子供達がよく御存じの筈あた程度の良い友である。	十歳前後の兒童に適するやう面白いお伽噺を収めた本書は活字は大きくカット及び口輪挿しは申分なく美しく出来てゐます。	メエテル文豪の精神を少年少女達に觸れさせべく青い鳥外四篇の童話を尤も面白く爲めになる様に殆んど創作的に書いたものである。	世界の奇書アラビヤナイトを少年少女達に最も解り易く美麗なる口輪挿しで著らしたのが本書である。何度讀んでも倦まないお話です	ロビンソンは美しき自然とあらゆる艱難限りなき希望と奇の運命それ等のものが織込まれた波瀾重疊痛快無比な長い旅の物語です
出版協會	同	同	國民精神社	イデア書院	大倉書店	米本書店	いろは書房	同	

新	日	ガ	ア	グ	イ	ア	ロ	世	西
模範家庭お伽噺書 第三編	模範家庭お伽噺書 第五編	模範家庭お伽噺書 第四編	模範家庭お伽噺書 第二編	模範家庭文庫 一輯三編	模範家庭文庫 一輯四編	模範家庭文庫 一輯五編	模範家庭文庫 一輯六編	模範家庭文庫 一輯七編	模範家庭文庫 一輯八編
新イソップ物語	日本童話選集	ガリヴァー旅行物語	アラビヤナイト上下	グリム御伽噺全	イソップ物語全	アンデルセン御伽噺全	ロビンソン漂流記全	世界童話寶玉集全	遊記全
樋口紅陽	樋口紅陽	樋口紅陽	三杉谷代水	中島孤島	楠山正雄	楠山正雄	平田禿木	楠山正雄	中島孤島
四〇九頁 裝 送 價	四〇五頁 裝 送 價	四二一頁 裝 送 價	九八〇頁 裝 送 價	四五八頁 裝 送 價	五〇四頁 裝 送 價	四四四頁 裝 送 價	四二二頁 裝 送 價	五八四頁 裝 送 價	四八四頁 裝 送 價
〇・九五	〇・九五	〇・九五	二・八〇	三・二七	三・二七	三・二七	三・二七	三・二七	三・二七
世界で一番有名な誰れでも知らない人がない「白鳥の聲」外二百餘種少年少女の好讀物です。	日本に傳はるお伽噺はなご十八種、素適に面白いために話ばかりです。	英國の一青年が或航海中船が難破し九死に一生を得て漂着したのが本書の眼目たる少年國である讀めば讀む程興味が湧いて来る。	世界第一の奇書、物語文學の大玉として「花はやされてゐるこのお伽噺は殘忍非道なベルシヤ王をいさめる爲に夜な語られたお話です	赤頭巾やヘンゼルとグレーテルのおもしろいお伽噺の内から尤も面白いものを四十二篇おさめた	名高い動物のたさへばなしで面白いうちに皮肉さ教訓がおり込んであつて、しかもどの頁をみても繪が澤山はいつてゐます。	天才詩人アンデルセンのお伽噺は世界お伽噺學中の寶玉で、その心持も空想もすつかり子供になりきつて大人らしい理屈も教訓もなし	誰でも一度はきいたことのある漂流記で本書はそのロビンソンクリウソウの數奇な一生の出來事を面白くかいてあります。	世界各國の古いお話を各國から一つづつ選り出し又近代作家の新しい興味でかいた童話文學を選びすべての家庭すべての人のため	英三歳が太宗皇帝の勅命を帯びて西域に經なせりに行つた事蹟を基として長安の都から天竺大雷音寺までの十萬八千里の道中に起つた
いろは書房	同	同	富山房	同	同	同	同	同	同

自話 模範のお断集	岩田九郎	四〇六頁判 送價	一〇八〇	講話を面白く聴かせる手段方法を研究したもので句を切り節を分ち語調の緩急抑揚等の例話を掲げて其仕方詳細してある。	大日本圖書會社
森の祈り	沖野岩三郎	四六判 表紙美装 二四二頁 送價	一〇八〇	紀州の漁村にあつた實話で父は行衛がわからず、後に残された兄と妹が浮世の荒波にもまれつゝ、健な氣にも苦學奮闘する一大血涙記です。	金の星社
弓張月	瀧澤馬治	三〇三頁 送價	一〇六〇	「椿説弓張月」を小學生の爲に書き改めたものである。弓張月は己に解説不用の名小説、而して作者は子供文學に於て名ある人。	イデア書院
幼年ポンチ	木村小舟	各四八頁 送價	〇三八	極彩色の別刷挿畫があつて本文は二色刷、大文字片假名を用ひて幼稚園通ひの幼年諸君にも讀める面白いポンチ繪本。	博文館
義經物語	巖谷小波	三三六頁 送價	〇八五	少年少女諸君に最も興味深く人氣ある源義經の一代を最も興味深くしかも平易に描ける小波先生獨特の歴史童話。	同
ヨセフ物語	岩村清四郎	九〇頁 送價	〇八〇	舊約書の少年ヨセフ出世物語。凡ゆる苦難と誘惑の中に「吾れ神と共に在り」の信念を持つて遂に國政補翼の大任につく迄の立志童話	警醒社書店
トルストイ 四つの話	田尾一	二一四頁 送價	一〇四〇	數あるトルストイ名作の中より、「コーカサス」の四人、「大熊星」、「神の子」、「馬鹿のイザサ」の四つを選び譯したのである。	イデア書院
面白いうちに 理科の話	新教育研究会	二五〇頁 送價	一〇二〇	理科的事項を趣味たつぷりに説明し、面白く讀んであるうちに完全な理科的智識を得るように仕組んだのが本書の絶對特色である。	三共出版社
リップ・ヴァン・ウキンケル	村山知義	一〇餘頁 送價	〇五〇	「お城シリーズ」の第二編。——アメリカの浦島物語。村の若者リッパが一晚のうちに白髪のお爺さんになつた不思議なお話です。	婦人之友社
ろしあお伽集	昇曙夢	三七六頁 送價	一〇八〇	ろしあお伽は雪深い北國の人々が冬の夜長に爐邊を圍み乍ら幾百年さなく磨き上げたもので本書は二十六種を収めてあります。	大倉書店

文學

ろしあ傳説集	昇曙夢	三五八頁 送價	一〇八〇	本書は有名な露國の代表的傳説を平易に譯したもので兒童の讀物としても露國文學の研究資料としても最も興味あるものであります。	大倉書店
ろしあ童話集	昇曙夢	三六六頁 送價	一〇八〇	本書は露國の童話作者中最も有名な五大家の代表的童話百六十七篇を選んで譯したもので將に露國童話全集の觀があります。	同
新ロビンソン物語	青木茂男	二七〇頁 送價	一〇二〇	ロビンソン物語は大變にながく、そしてくぐらぐらと讀み耽けらるゝ快編。	崇文堂
ロビンフッド	村山知義	一〇餘頁 送價	〇五〇	十四五歳までの子供のために解り易く編んだ「お城シリーズ」の第一編。十二世紀の終りにゐたといふ英國の名高い傳説的人物の話。	婦人之友社
朝の生命に燃えて	柳一宣	四六判 三八〇頁 送價	二〇〇〇	朝鮮思想界の第一人者たる柳一宣氏が朝の感興に寓して「東洋に還れ」と叫べるもの。若き朝鮮の魂は何を我等に語り込ますか？	警醒社書店
熱海ページエント	坪内逍遙	二〇〇頁 送價	〇五〇	新時代への文化を幫助するための教養運動として新民衆藝術、新娛樂機關の最適者としてページエントの眞意義を知る必要愈々切なり	博文館
縮正一年有半	中井兆民	三〇四頁 送價	〇四〇	兆民病を獲て起つ能はざるを知り満腔の熱血を披瀝して「一年有半」讀一年有半の兩著を成すは今縮刷合装されて讀誦に便す。	同
一葉全集前篇	樋口一葉	八三六頁 送價	三二八〇	百年稀出の女流作家として年々共に其聲名を高き評價せらるゝに至つた一葉女史の内部生活を示した「日記及文範」を前篇に收めた。	同
一葉全集後篇	樋口一葉	六〇六頁 送價	三二八〇	一葉の名を不朽ならしめるものは其創作にあつた本篇は永く後代に残るべき珠玉である。	同

一老人の幼時の追憶	伊原、田中、大澤、植野	菊判布装 七七四頁	送價 五・三〇	五・三六	十九世紀初頭の獨逸に生まれし一畫家の遺著にあらゆる意味深く物語りし。當時を如何に豊かに正しく興味深く物語りしか。見よ。	岩波書店
井上明府遺稿	清水 澄	菊判上装 五三〇頁	送價 六・二〇	六・二七	一代の名府尹として噴々の名聲を馳せし故東京府知事井上友一君の未だ世に公にせられざりし手記、書翰、講述論策等を輯めたるもの。上田秋成の傑作雨月物語に親切なる標註を附加したるものである。	中央報徳會
註校 雨月物語	佐藤仁之助	一四〇頁	送價 一・〇〇	一・〇〇	著者が先年傷つた心を抱いて、三人の幼児を後に佛蘭西に旅立たれた心持から、往き歸りの海の上、さては佛蘭西の旅の訪れである。東西古今の書を博讀し、自然と人生と社會とで或る人これを「大正の徒然草」と評してある。	明治書院
海へ	島崎藤村	四六八頁	送價 二・〇〇	二・〇〇	夏目先生の文學論は文學の内容論でありませうか。本書は此疑問に解答します。	警醒社書店
運命以外の一路	別所梅之助	四〇六頁	送價 二・五〇	二・五〇	讀賣新聞評しその批判が公平で緻密、容易に他の批評を容れ得ないものであることは、文學史として最も優れた價值を持つ云々。	岩波書店
英文學形式論	夏目漱石	二〇〇頁	送價 一・五〇	一・五〇	實に黎明期よりミルトン時代迄を著して學界を驚異せしめたる著者、茲にその續篇を公にす。實に不朽の文獻と云ふ可し。	文獻書院
英文學史(上篇)	小日向定次郎	六〇〇頁	送價 五・〇〇	五・〇〇	現代英米詩壇の代表的作家三十氏の名作約九十篇に立派な邦譯と鑑賞の仕方や語句を懇切に説明した註釋と各作家の評傳とが添へてある。	寶文館
英文學史(續篇)	小日向定次郎	六五〇頁	送價 五・二〇	五・二〇	從來の傳統的演劇論の因習を破つて全然新しい見解の元に論を起した快著。演劇に整然たる系統を樹てた感がある。	岩波書店
英文學史(續篇)	小日向定次郎	六五〇頁	送價 五・二〇	五・二〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
英米新詩選	山宮 九	二九六頁	送價 二・五〇	二・五〇	嵐の前、余の態度、新藝術觀、思想藝術の超然性、感能のさまじく、覺の花等。	同
演劇論集	新關 眞三	三九七頁	送價 一・八〇	一・八〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同

犬・猫・人間	長谷川如是閑	四〇二頁	送價 一・八〇	一・八〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	改造社
野外劇の一幕	堺 利彦	二五八頁	送價 一・五〇	一・五〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
嵐の前	中澤 臨川	二三四頁	送價 一・五〇	一・五〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
朝の庭	高濱 虛子	三〇五頁	送價 一・七〇	一・七〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
筆の向くまゝ	武者小路實篤	二〇四頁	送價 一・二〇	一・二〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
二重生活	河東碧梧桐	二二〇頁	送價 一・二〇	一・二〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
學藝論鈔	阿部次郎	四一二頁	送價 二・二〇	二・二〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
革命ロシヤの藝術	尾瀨 敬止	三三二頁	送價 二・〇〇	二・〇〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
史實よ り觀た 歌舞伎芝居	三田村 鳶魚	三九八頁	送價 二・五〇	二・五〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同
歌舞伎と近代劇概論	伊藤 鶴松	四〇〇頁	送價 二・八〇	二・八〇	野外劇の一幕、獄中を顧みつ、出獄後の世の中、過去の夢、未來の夢、現在の夢、外數項。	同

神と神を祭る者との文學	武田祐吉	三〇〇頁裝	二・一三〇	上代の祝詞神樂歌や萬葉集や上代人の生活の主要な部分であつた神に關する生活のねき出して國文學上より研究されたものである	古今書院
上代國文學の研究	武田祐吉	四七〇頁裝	二・二一〇	國文學の研究に於て最も多くの難問を潜めた上代の國文學に一道の光を投げたる好著、篤學者の熱讀に値す	博文館
擬古文選釋	中等學術協會	四〇〇頁裝	一・〇四〇	江戸時代諸名家の擬古文を網羅註釋したるも生必携の良書たるを信す	文獻書院
未來派研究	神原泰	二五〇頁裝	二・一六〇	未來派といふもの、歴史から説き起し、現在の未來派運動を詳説し更にその將來にまで論及してゐる	イデア書院
希臘悲劇論第一冊	新關良三	五六六頁裝	四・二〇〇	希臘悲劇に造詣深き著者が多年著實なる研鑽をこめて文獻を渉獵し犀利な推定と明快な敘述によつてないし名著である	岩波書店
希臘悲劇論第二冊	新關良三	四二〇頁裝	二・二八〇	第一冊「希臘悲劇の完成」アイスキュロスのあきなうけて全卷リフォクレスの研究にゆだねてある。特筆すべき也	同
英國近代劇精髄	菊池寛	二七一頁裝	一・一八〇	「英愛の近代劇は作家としての私には一の郷土である」といふ菊池氏と、劇文學の研究に於て篤學稀に見る山本氏との協力になるもの	新潮社
世界文學の輪廓	木村毅	二〇四頁裝	〇・八〇〇	東西古今六千年の歴史を縦横に貫いて文藝全意の記述法を用ふ。文藝研究者の必讀の書	同
文藝入門叢書第五編 作劇の理論と實際	能島武文	一三三頁裝	〇・八〇〇	戯曲とは如何なるものかに説き起し、戯曲の本質、戯曲の構成等を、現代各作家の作品に例證を擧げ、平易明快に叙述せるものである	同
近代文藝十二講	文壇四家	四六〇頁裝	二・三〇〇	詳密なる世界各國の近代文學史で、精到を極めた近代文學論である。何人も讀んで文學者たる根柢を得べき紙上の大講堂である	同

近代劇十二講	楠山正雄	七五〇頁裝	三・五〇〇	十二講七十餘章、作家人に就きて其全面容を悉くし、劇壇劇術を説いて全細目に及ぶ。復雜多面なる世界近代劇の百科全書である	新潮社
相近世文學十二講	高須芳次郎	五〇〇頁裝	二・五〇〇	現代生活に立脚し現代精神を通じて徳川文學の一切を説く。新様の組織、新様の説述、且つ明快の行文、何人も一讀すべき書である	同
相現代文學十二講	高須芳次郎	五〇〇頁裝	二・五〇〇	明治の五十年、大正の十年、變化起伏甚しかつた文壇の表裏を叙して來つて、微を極め細を極めた。文藝研究者の必讀すべき寶卷である	同
小説研究十六講	木村毅	五〇二頁裝	二・一〇〇	小説の本質を明かにし、其の變遷を示し、更に幾多の實例を擧げて作法を教ふる事詳密明快を極む、空前の一大名著と稱されてゐる	同
東洋思想十六講	高須芳次郎	五三〇頁裝	二・一五〇	支那哲學の全般を新しい見方の下に解説し、傍ら印度の佛敎哲學日本の思想等に就て講す	同
トルストイ十二講	昇曙夢	四七〇頁裝	二・一〇〇	杜翁の人生思想と藝術と其の全面目を述べ來つて眞に精細な極め詳密を極めた。トルストイ百科全書として盛んに讀まれてゐる	同
反逆者	有島武郎	二二〇頁裝	〇・七四五	近代的生活の創始者にして、人生の未來に對し暗示深き教訓を與へた藝術家に向つて、憧憬美の心を寄せた有島氏の感想文である	同
自己を生かす爲に	武者小路實篤	二九〇頁裝	〇・九六〇	武者小路氏が數年の間に發表せる感想論文のうち、其最も力あり光あり熱あるものを收めた。眞に生きんとする人の必讀書である	同
新しき村の生活	武者小路實篤	三〇〇頁裝	〇・九六〇	いかにして新しき村を初め、いかにして其の生活をなすかあるか説き、世の正しく活きんとする人の爲めに教ふる書である	同
新しき村の労働	武者小路實篤	二五〇頁裝	〇・九六〇	「新しき村の生活」に並んで新しき村の理想と現實とを語るものである。這の選民の一團が如何に生き、いかに働きつゝあるかを看よ	同

佛蘭西文學印象記	吉江喬松	新四六判 三八〇頁裝	送價 二〇〇	吉江氏が多年佛蘭西に遊べる其の當時の印象記であり、人類生活最高の指標たる佛蘭西精神の深刻なる解剖でありまた批評である。	新潮社
英米文藝印象記	日高只一	新四六判 三七〇頁裝	送價 二〇〇	英米文學の眞髓を其深遠なる學識と親しく耳聞目睹せる印象の兩方面から説く。挿入寫眞豐富、坪内博士も近來の名著を推稱された。	同
新ロシヤ・パンフレット第二編 革命期の演劇と舞蹈	昇曙夢	一四六頁裝	送價 〇八〇	「革命期のロシヤ演劇」ロシヤ最近の舞蹈」以下數章。二十數面の最近舞臺藝術の寫眞と相俟つて藝術革命の先驅を語つて遺憾がない。	同
新ロシヤ・パンフレット第三編 新ロシヤ文學の曙光期	昇曙夢	一四八頁裝	送價 〇八〇	革命期間のロシヤ文壇の變遷を語り、新文學の發生とその新運動を叙して精細且つ詳密な極めた。挿畫例によつて最も豊富である。	同
新ロシヤ・パンフレット第五編 プロレタリア劇と映畫及音樂	昇曙夢	一四〇頁裝	送價 〇六〇	プロレタリア演劇、ソヴェート映畫及び新ロシヤ音樂の發達の経路、各作品の内容傾向特色等を説き、寫眞は六十數面を掲げてある。	同
森の生活	今井嘉雄	中判特裝 四六八頁裝	送價 二二〇	ワネル湖畔の原始林に起臥せる原著者が、大自然に隨順せる生活を、野趣深き筆を以て叙せる名著にして、本書は其の全譯である。	同
文學思想研究 第二卷	研究會	菊判特裝 四三二頁裝	送價 二八〇	早稻田大學文學部の各専攻科の最高研究の發表機關「文學思想研究」の第二卷で七大研究を收む。實に深く廣き人生科學の綜合である。	同
近代日本文藝讀本	芥川龍之介	式紙判 全五册裝	送價各 二五〇	中學學生と一般讀書家の爲に二年餘を費し創作以上の苦心と努力を以て標準的文藝讀本たる「こゝろ」を期し編纂せられたる絶好の讀物	興文社
近代の戀愛觀	厨川白村	菊判上裝 三七〇頁裝	送價 二五〇	○近代の戀愛觀(十三項) ○再び戀愛を説く(七項) ○三度戀愛に就て言ふ ○結婚式を評す等實行日本一	改造社
近代文學十講	厨川白村	菊判洋裝 六一三頁裝	送價 二三〇	故白村先生數多の著書中の最も歴史的學術的名著にして既に八十九版を累れて尙年々印刷部數を増加し最も學生青年に愛讀せらる。	大日本圖書會社

近代文藝筆禍史	齊藤昌三	一六二頁裝	送價 二〇〇	到底發刊は許されぬものと断念した本書も、研究家の間のみに僅少部數の配布を見る事となつた近來の文獻寶。	崇文堂
近代文明と藝術	吉江喬松	三三四頁裝	送價 二〇〇	○近代思想と文藝 ○現代日本文明と藝術 ○大自然と文藝等を氏の流麗な文章で述ぶ。	改造社
偶然問答	成瀬無極	四六頁裝	送價 二六〇	本書は詩人であり、エッセイストである著者が感興の赴く處詩を作しエッセイを綴つた情趣豊かな隨筆數十篇を輯む。座右無二の良書	大燈閣
偶像再興	和辻哲郎	四四四頁裝	送價 二八〇	偶像の破壊は新建設の準備でなくてはならぬ。此の精神に依て集められた著者内生の記録と文化批評とに依て成れるが本書である。	岩波書店
苦悶の象徴	厨川白村	二四四頁裝	送價 二八〇	白村の唯一といつてもよい系統ある藝術論「白村の唯一」といふもの。情熱に富んだ立派な文學概論だ。	改造社
黒煉瓦の家	櫻井忠温	四七四頁裝	送價 二八〇	満州の一軒家に、三年といふ日を暮した、ひとり者の記録が、この「黒煉瓦の家」です。	丁未出版社
藝術改造の序曲	宮島新三郎	四六六頁裝	送價 二二〇	著者は今文壇の重望を擔ふて文學研究の爲め渡歐した其置土産として最愛惜しておかなかつた稿はこれである。新興文學の委曲をさく。	早稲田社
藝術國巡禮	林久男	四六〇頁裝	送價 二八〇	「素人」と謙遜する、著者が遊歐三年如何にその自由なる主觀を以て歐洲の文物古蹟を鑑賞したるか、最近好評の名著也。	岩波書店
藝術創作の心理	園賴三	四六〇頁裝	送價 二〇〇	藝術作品は如何なる過程を経て創作されるかその外的心的要素を研究し、美學に於ける新しい分野を開拓せるものである。	警醒社書店
藝術哲學上	イボリイト・テエマ	三三八頁裝	送價 二八〇	原著者の獨創的哲學的環境論より出發し美學大寶典として古典の殿堂に入れる名著である	双樹社

藝 術 の 話	藝 術 の 本 質	藝 術 の 理 解	スキャンの藝術論	溪仙八十一話	集文京 都	中源氏物語	定源氏物語新解上	賢者ナータン
小林篤里	金子筑水	松原寛	小原國芳	富田静仙	村山龜齡	下村書房	金子元臣	大庭米治郎
四〇〇	二八〇	一五〇	四六〇	三四〇	二九〇	九六〇	七六〇	四六〇
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
二〇〇	二八〇	一八〇	六〇〇	二〇〇	二九〇	二〇〇	一八〇	二一八〇
藝術は人類に取つてなくてはならないものである。その渡つて平易な解説を試みたものである。その解説は、人生に於ける藝術の價值如何の問題を、理想主義の立場から新しう考察して、平明に解説論究せられた。學界推賞の名著。	眞に生きんとするもの、熾烈な欲求、苦悶、泣の叫びの結晶が、即ち藝術の最後姿である。乞ふ本書に依つて現代藝術の歸趣を知れ。	未來派の畫や立體派の畫がわからぬといふは、吾々觀るものゝ心が盲であるからだ。藝術の世界に國境なき筈である。	カンジンスキーの名著「藝術に於ける精神的要素に就いて」の「自序傳」の譯で原色版、寫眞版約六十葉原著者の面影を傳ふるもの。	名聲一世に高き溪仙氏の清談を集む。人物を悉く超俗の神品である。全篇之れ幽邃にして枯淡。	本書は古今文章家の經營苦心に成つた京都に關する論文、紀行、美文、韻文、情話、隨筆小説の中から其の精を抜き粹を集めたものである。	源氏物語は紫式部の作で國文の明星と見るべきものである。冷く社會一般の士に閱讀を奨めんとするために縮刷として携帶に便ならしむ。	近來の新發見に係る珍書「河内本源氏」を參照して本文を校訂し、これに明確簡約の現代的な新解釋を施し、好著（中下巻は續刊）。	レツシグ晩年の作同胞的愛と人類の交際の幸福が清朗な宇宙的情調の中に唱はれてゐる。其道徳的莊嚴美はゲーテのフアストに並ぶ。
岩波書店	東京堂	大阪屋號	イデア書院	改造社	銀鈴社	下村書房	明治書院	岩波書店

現代思潮十講	現代獨逸文學觀	現代文十二選講	現代文範選評集	現代名家文選	訂重 高等國文	國文學史概説	國文學史十講	國文學史總説	國文學全史（平安朝篇）
桑木嚴翼	片山孤村	友枝照雄	大日本文學會	國語漢文會	第一高等學校	板倉篤太郎	芳賀矢一	藤村作	藤岡作太郎
二二〇	二五〇	四六〇	三五〇	一七〇	全十二冊	三〇〇	二七〇	三九〇	七二六
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
二〇〇	一八〇	一三〇	〇〇	〇六六	七〇九五	二〇一九	二〇一八	二一五八	四二五〇
現代思潮の源泉を辿り正確詳細に其變遷沿革を推定して實證主義と理想主義との倫理的發展を講述せるものなり。	表現主義とダライズム、獨逸國民性も文學、ハウプトマンの「アトランチス」猫も文學等獨文學者の權威、片山氏の論文を集む。	著者は動もすれば現代文教授に誤られ勝ちの現狀に指針を示すべく本書を編み併せて試験準備其他長參考にも深くその點に留意する。	現代六十七名家の文範と近代外國代表名家十名九氏の作品を、その味ひ方を短評して文章の文藝創作上一大ヒントを與へたもの。	現代文讀解上の實力涵養と文學的情操の修養とに遺憾なく及ぶ。江蘇省立國文教科書に採用され、又受験準備書として敢て江湖に推薦す。	本書は高等學校國文科教科書として編纂せられたるものなり。故に同程度の諸學校國文科教科用書として多大の好評を博しつゝあり。	日本文學を縱断して序説話歌諸雜文明治時代等に分ち更に時代を横断し兩者併せ見るを得しむ。絶好の長參考書なり。	該博なる考證明快なる論斷よく我國文學史の要綱を發揮したり。蓋し國文學史中の最も典據とすべき著述なり。	高等學校の教科書として作つたものですが、著者が文檢の試験委員です。受驗者は必ず一讀して置かねばなりません。	環境に對する周到な理解と作品への細な味致さによつて此時代の文學の核心を捕へんこと。試みは國文學研究の一つの記念碑とならう。
弘道館	文獻書院	同	松陽堂	山海堂	六合館	文獻書院	富山房	中興館	岩波書店

國文叢書第一卷	諸博	七五四頁裝送價	三・二・一八〇	源氏物語前半を収む、本居、井上、萩野、關根諸博士と池邊義象氏の註解を加へたるもの。定本として永く保存せらるべき價値を蔵す。	博文館
國文叢書第二卷	諸博	八六二頁裝送價	三・二・一八〇	源氏物語後半を収む、第一卷と相俟つて完璧なる。附録として『源氏物語』『紫家七論』を載す。	博文館
國文叢書第三卷	諸博	八九四頁裝送價	三・二・一八〇	太平記前半を収む。毎卷首には挿繪を加へ、卷第二十五に至る。	同
國文叢書第四卷	諸博	八八二頁裝送價	三・二・一八〇	太平記後半卷第二十六より卷第四十まで後半を収めて前卷に續ぎ更に會我物語を添ふ。	同
國文叢書第五卷	諸博	八七八頁裝送價	三・二・一八〇	保元物語、平治物語、平家物語を収めて一巻とす。卷頭に院御所燒討の圖、玻璃版を掲げ卷毎に繪畫を挿入してある。	同
國文叢書第六卷	諸博	七二四頁裝送價	三・二・一八〇	竹取物語、落窪物語、土佐日記、徒然草、伊勢物語、枕草子、紫式部日記を収む。	同
國文叢書第七卷	諸博	九八八頁裝送價	三・二・一八〇	源平盛衰記前半を収む、慶長の刊本を底本として古寫本其他を參考とし、句讀を正し、段落を明かにして務めて読み易からしめたり。	同
國文叢書第八卷	諸博	七五四頁裝送價	三・二・一八〇	源平盛衰記後半を収め、前卷に引續いて完結す。	同
國文叢書第九卷	諸博	八九〇頁裝送價	三・二・一八〇	水鏡、大鏡、今鏡、増鏡を収む。	同

國文叢書第十卷	諸博	八三六頁裝送價	三・二・一八〇	榮花物語を収む、流布本を底本として諸本を參考とし頭註は諸説に考へてよろしきに従つた卷首に『駒くらへ行幸の圖』を掲げた。	博文館
國文叢書第十一卷	諸博	八二六頁裝送價	三・二・一八〇	宇治拾遺物語、池の藻屑、松蔭日記を収む、何れも諸本を涉獵して適切な校註を加へ、宇治拾遺物語には卷毎に繪畫を挿入してある。	同
國文叢書第十二卷	諸博	七四二頁裝送價	三・二・一八〇	蜻蛉日記、更科日記、濱松中納言物語、さりかへばや物語、方丈記、月のゆくへを収む。	同
國文叢書第十三卷	諸博	八〇六頁裝送價	三・二・一八〇	宇津保物語前半を収む。	同
國文叢書第十四卷	諸博	七一〇頁裝送價	三・二・一八〇	宇津保物語後半に住吉物語、堤中納言物語、狭衣を加ふ。	同
國文叢書第十五卷	諸博	七八二頁裝送價	三・二・一八〇	義經記、承久記、北條九代記を収む。	同
國文叢書第十六卷	諸博	八六八頁裝送價	三・二・一八〇	今昔物語前半を収む。	同
國文叢書第十七卷	諸博	八九六頁裝送價	三・二・一八〇	今昔物語後半に古今著聞集を加ふ。	同
國文叢書第十八卷	諸博	七九〇頁裝送價	三・二・一八〇	神皇正統記、梅松論、櫻雲記、吉野拾遺、十訓抄、大和物語、唐物語、和泉式部日記、十六夜日記を収む。	同
國文學の序説	齊藤清衛	菊判布裝送價	三・二・一四〇	紫式部西行兼好芭蕉の四人を選出してそれらの人々の個性の展開を叙することに於て同時に時代思潮の流れを辿らんとした書である。	古今書院

國文學の本質	齋藤清衛	三二〇頁	二二〇	我が國文學の内容本質に就て内面的觀察を究め我が國民の文學生活の様を明かにしたるもの。國文學研究上一生面を拓いた良書である。	明治書院
源氏湖月抄	吉澤義則	各六〇頁	各二二〇	名著湖月抄古板をそのまゝ、翻刻して、詳密正及頒布規定申込進呈。	文献書院
古寺巡禮	和辻哲郎	三四四頁	二五八〇	奈良を中心とする古美術巡覽の旅行記にして兼て古代文化追憶の書。在來の見解の多くが力強く覆れ古美術の新しい生命の獲得を見る。	岩波書店
五名著國文鈔	佐藤正範	一七八頁	〇六六	玉勝間、花月草紙、琴後集、權園文集、駿臺雜話の國文名篇を鈔録し、高等諸學校入學準備書無上の定評を得、問題適中の奇蹟書。	山海堂
最近の日本文學	花村辰雄	三八〇頁	一六〇〇	試験によく出る明治大正の主流作品を採擇し五年間の問題を説く、新人の解釋振を見よ。	太陽堂
最後の一人の生存權	水毛生伊作	三四四頁	二五二〇	新しい教養と爛眼を以て我國文學の研究に没頭せる少壯學者の遺稿なり透徹明快なる批評論評は一讀やがて巻を掩ふ能はざらざる。	弘道館
サイラスマアナ	今泉浦治郎	四七〇頁	二五〇〇	一部分の評家より詭激なる共産思想なりと論難つ、ある最後の一人の生存權の法學的解説。	警醒社書店
沙翁舞臺とその變遷	上田整次	四〇〇頁	三二七〇	英文學中の古典たるサイラスマアナの註解付全譯である。その精緻巧緻なる譯筆は厨川白村博士の推賞措かざりしところである。	同
支那人文講話	今關壽磨	三六四頁	二〇八〇	劇文學の權威上田博士の遺稿。沙翁舞臺の研究著者生前に蘊奥を極めしもの本書は沙翁研究者の一大照燈ならん。	岩波書店

支那文學概論講話	文學博士 鹽谷 溫	菊列總ク 天金函入	五〇一〇八	支那文學研究の權威たる著者が、戯曲小説の堂奥を究め、詩賦文章の精髓を悉したる眞に支那文學研究者の見逃すべからざる金字塔。	大日本 雄辯會
支那游記	芥川龍之介	二七六頁	二〇二〇	十訓抄は我が國最初の教訓書で文章も國文の模範として有名である本書は其の難解の字句に標註を施して読み易くしたものである。	改造社
十訓抄	石橋尙寶	三二〇頁	一五〇〇	支那省認定書——六百版——大隈侯序文——森鷗外博士題言——	明治書院
銃後	櫻井忠溫	四四五頁	一五八〇	文部省認定書——六百版——大隈侯序文——森鷗外博士題言——	丁未出版社
樹木と其の葉	若山牧水	三六七頁	二〇二〇	〇氏の洒脫な旅行記、感想、歌道感、人生感自然感を集めた面白く誦へらるる一書。	改造社
國文駿臺雜誌	上田萬年和	裝	〇四三	駿臺雜誌中意義あり趣味ある名文を抄録す教科用又は家庭自習の讀み本として適良なり。	大日本 圖書會社
春燈漫話	富士崎放江	一八〇頁	一三〇八〇	著者「春燈漫話」を著し忽ち讀者人を驚かした。肩の凝らない考證とすつきりしたエロチックな話春燈の下若を喫して耽讀すべき書。	坂本書店
象徵主義の文化へ	田中玉堂	六二六頁	二〇二〇	「瞬間の中に永久を觀ん」とし若くは「瞬間を以て永遠を捉へん」とする象徵主義の立場をりせる長論文集、思想界最高標準の名著。	博文館
文學に於ける象徵派の人々	久保芳之助	一四九〇頁	一〇八〇〇	「瞬間の中に永久を觀ん」とし若くは「瞬間を以て永遠を捉へん」とする象徵主義の立場をりせる長論文集、思想界最高標準の名著。	文献書院
抄本源氏物語	吉澤義則	二〇〇頁	二〇五〇〇	上巻には桐壺より須磨石まで下巻には宇治十帖を収め頭註を加へ、文中事件の脈路を説明し別冊内裏圖有職類の繪畫及説明を附す。	同

新講日本文學史	岩城準太郎	四〇六頁	送價	二・五〇	二〇	神代から東京時代に至るまで國文學の全體系に見渡してその開展の狀勢を鳥瞰圖的に明快に述べてある。	目黒書店
眞人の生活	小原國芳	七五〇頁	送價	四・五〇	一八〇	眞人の生きた血涙史の他に、童話、伽喃、詩歌、寓話、論說等清新にして深刻なる何れの記録にも見當らぬもの數百篇を載せてある。	集成社
新譯源氏物語上	與謝野晶子	二〇〇頁	送價	八・五〇	三六〇	本書は上代のいみじくも妙なる、現代人には夫だけ耳遠く難解な文調を、詩人晶子夫人が劉切明快の筆致を現代のリズムに移植した者	大體閣
新譯源氏物語下	東ゲ	二〇〇頁	送價	二・五〇	一八〇	あらゆる意味に於ての最も原文に忠實なる譯書、人生の教科書としてファウストにつかふ	岩波書店
坐る人間の評論	野口米次郎	三一六頁	送價	二・〇〇	一八〇	母性禮讚○重大な結果○米國人○露國人○メレテスへ行け○詩に於ける想像の力○外數	改造社
世界皮肉文集	六十大文豪	四四〇頁	送價	一・六〇	〇八〇	世界古今を通じての六十大文豪の洗練された一語一語の皮肉と警語も姉妹編として一字一句悉く千古の一大真理である一代の名著。	日本書院
惜春雜誌	竹越與三郎	三七四頁	送價	二・〇〇	一八〇	人草木にあらす人生牢獄にあらす苟も高尚にして意義ある生活を營まんとする者偽君子や道學先生の出來ない相談を棄てて此書を讀め	二〇西社
先驅者の言葉	野口米次郎	三二〇頁	送價	一・八〇	一六〇	○苦言○英雄崇拜の提唱○無用の長物○美感の凋落○單純性○世界心○近代生活○隅田川外十一項。	改造社
續南蠻廣記	新村出	五一〇頁	送價	三・〇〇	二七〇	博士の確實なる考證と該博の識、香ひ高き筆致さはいよ／＼へて續編をなす。埋れたる祖先の遺業を本書に於て忍ばれたし。	岩波書店
對譯源氏物語 第一卷	宮田和一郎	一五〇頁	送價	一・四〇	〇八〇	著者之を譯すに一字一句だも苟くもせず兩者併せ讀むによりて源氏の眞髓を領得し得べく更に頭註を加へて譯讀に便す。桐壺簾木の卷	文獻書院

對譯源氏物語 第二卷	宮田和一郎	二〇〇頁	送價	一・八〇	〇八〇	桐壺簾木の卷を公にした著者は、諸方面の研究者より本書の續刊をすめられ茲に本篇を著す。收むるさころ空蟬夕顔若紫の卷。	文獻書院
對譯源氏物語 第三卷	宮田和一郎	一五〇頁	送價	一・五〇	〇八〇	末摘花紅葉賀花宴の卷を收む。	同
對譯源氏物語 第四卷	宮田和一郎	一六〇頁	送價	一・五〇	〇八〇	葵、櫛、花散里の卷を收む。	同
對譯源氏物語 第五卷	宮田和一郎	一五〇頁	送價	一・五〇	〇八〇	須磨、明石の卷を收む。以下續刊。	同
魂の故郷	松浦一	二一七頁	送價	一・八〇	一〇〇	文學を通じて人生を視、文學の絶對境に到達しやうとする感想と、それから進り出た短歌とを載録したもので魂の故郷への導きである。	イデア書院
ダンテ・ロゼッティの研究	小日向定次郎	四六〇頁	送價	二・六〇	二二〇	十九世紀中葉の英國を代表する天才的神祕詩人に於て且天才畫家たりし彼の作品評及び傳記。著者苦心の大論文なり。	文獻書院
ダンテ研究	柏井園	三一五頁	送價	〇・七五	〇六五	著者ノルトンはダンテ研究に全半世を消費しダンテ研究に之以上の頁書あるを聞かず。	出版文部館
斷頭臺に上るまで	ステアニアク	四〇〇頁	送價	二・二〇	二二〇	ロシアの革命家の生活を扱つたもので、斷頭臺に上るまで此大膽雄渾の生活描寫は、變化に富む筋の發展と共に、變々人の胸を打つ	昭文堂
小さい國文學史	植松安	二一六頁	送價	一・八〇	一八〇	本書は國文學を系統的に最も簡潔平明に講述されたもので國文學研究初學者並に一般世人の常識として必讀すべき良書である。	廣文堂
小さい美學	佐藤直丸	二〇三頁	送價	一・五〇	一八〇	本書は自我と絶對との融合を以てそのまゝ、實人生の理想をなしそこに美と久遠の生命とを認め而して此見地より美學の内容を叙述す。	同

近松研究序篇	前島春三	四六	上四六	武蔵野書院
註釋徒然草	大町桂月	四六	長形洋裝送	河内書店
徒然草全集 第一卷	笹川崎種正	七六	八頁裝送	博文館
徒然草全集 第二卷	笹川崎種正	八七	〇頁裝送	博文館
徒然草全集 第三卷	高山林次郎	八五	六頁裝送	同
徒然草全集 第四卷	高山林次郎	九四	四頁裝送	同
徒然草全集 第五卷	高山林次郎	八五	六頁裝送	同
徒然草全集 第六卷	高山林次郎	七五	六頁裝送	同

徒然草全集 第一卷	高山林次郎	五八	四頁裝送	博文館
徒然草全集 第二卷	高山林次郎	一〇〇	〇頁裝送	同
徒然草全集 第三卷	高山林次郎	七二	二頁裝送	同
徒然草全集 第四卷	高山林次郎	二二	八頁裝送	同
徒然草全集 第五卷	高山林次郎	六六	二頁裝送	同
徒然草全集 第六卷	高山林次郎	三九	二頁裝送	同
徒然草全集 第七卷	高山林次郎	一八	七頁裝送	同
徒然草全集 第八卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第九卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十一卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十二卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十三卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十四卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十五卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十六卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十七卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十八卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第十九卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同
徒然草全集 第二十卷	高山林次郎	一〇	七頁裝送	同

徒然草釋義	伊藤平章	四三〇頁裝	送價	一・八〇	解釋がくわしく一番解りよい。云ふ事を主眼として山なす類書中より本書を選出された名譽と光榮を有す類書中の最高權威である。	二松堂
徒然草詳解	内海弘藏	五二〇頁裝	送價	二・二〇	著者の前著『徒然草評釋』よりも一層その註釋を詳しく且つ全部の口釋をも加へてあるから研究者に非常に便利である。	明治書院
徒然草新鈔	佐藤正範	八四頁裝	送價	〇・三六	教授の便を計り、發端に次いで、處世、交際、目録、感想、頭註を附記した新式の良教科書。	山海堂
徒然草評釋	内海弘藏	四〇〇頁裝	送價	一・五〇	且つ一段毎に文章内容につき最も適當である。聞かすに微笑まる、愛すべき趣味、自然美、床しき田園の詩文は、愛すべき清麗な待つ。	明治書院
田園文學	渡邊得司郎	五四〇頁裝	送價	二・〇〇	羅せる好文は、諸君の清鑑を待つ。	博文館
冬彦集	吉村冬彦	五〇〇頁裝	送價	二・五〇	自然に對する驚異の心を失つてゐない自然科學者と確實な認識を求めてやまない藝術家とがそこでは仲よく共棲してゐる。	岩波書店
東西遊記	上田萬年和	裝	送價	〇・四六	東西遊記中意義あり趣味ある名文を抄録す教科用又は家庭自習の讀み本として適良なり。	大日本圖書會社
佐日記	鳥野幸次	一〇〇頁裝	送價	〇・七五	土佐日記に懇切な頭註を加へ紀貫之傳及び貫之の文章全部を網羅したから土佐日記と共賞に實之の研究に至便なる新著である。	明治書院
トルストイとドストエーフスキイ	昇曙夢譯	六〇〇頁裝	送價	三・〇〇	世界的大批評家たるメ氏が學生の努力を傾け、割つて此書程深刻に達したものはない。	東京堂
浪六皮肉文集	村上瀨六	四三〇頁裝	送價	一・〇八	一代の文豪村上瀨六先生の快筆になれる本書は既に六十版を重ねた事、依つて如何に妙文であるかを知らるであらう。快著々々。	日本書院

南蠻廣記	新村出	五五〇頁裝	送價	三・〇七	閉ざれたる國の中に、西歐の文化をかきま見洩れ来る光を見、我々の祖先が示せる驚嘆すべき精神的昂揚を本書に於て知れ。	岩波書店
南蠻更紗	新村出	三九八頁裝	送價	二・六〇	〇雪のサンタマリア〇吉利支丹文學斷片〇蓮主聖範の舊譯本〇切支丹宗の遺物〇外世二項	改造社
南方閑話	南方熊楠	一八四頁裝	送價	一・三〇	著者は學界の嗜人である植物學者として世界的名聲を博するに共に考證論斷行くとして可ならざるなし。本書はよく其面目を示してゐる。	坂本書店
肉彈	櫻井忠温	三三八頁裝	送價	一・〇八	乃木大将題字・大隈侯序文・ルーズベルト閣下書簡・文部省認定書・好評書千二百版・巻頭寫眞著者左筆畫。	丁未出版社
ニジンスキイの藝術	澤柳禮次郎	七九頁裝	送價	〇・七〇	ニジンスキイ亡き後にニジンスキイ無し。彼と親交あつた英國の演劇舞踊批評家の權威チエフリ・ホイットワースの名著を譯したもののエフリ。	イデア書院
日本劇場史	後藤慶二	三二四頁裝	送價	四・〇七	我國劇場の如何に成長し發達し來りしかを歴史的に研究し大成したものである。劇場史なる共にも亦演劇史として貴重なる文獻である。	岩波書店
日本古代文化	和辻哲郎	四七六頁裝	送價	二・五〇	著者日本古代史を神話傳説から救出し古代人の心生活を彼等の想像力の産物に依つて明白ならしめ藝術宗教思想の一切を理解し批判す。	同
日本隨筆索引	太田爲三郎	八三二頁裝	送價	六・三六	代表的隨筆二百五十余种、一千余卷の中より二萬余條の件名を求め五十音順に排列す。讀者の利便大なる事云ふ迄もなし。	同
日本文學者年表	赤堀又次郎	菊判上裝	送價	二・一八	記録文書に現し文學者の物故年月著書等を年表に列記し後世に於ける此等の註釋類書等を代順に記したる得難き書本篇は上代より鎌倉迄	武蔵野書院
日本文學新史	尾上柴舟	三三四頁裝	送價	二・〇〇	思想の展開沿革を心理學的に看取して其中心核子の在る所により之を統合し分類して論述せるものにて新史の名に背かざる無二の好著	弘道館

日本文學全書	池野・落合	四一六頁	紙裝	各八五	古典な理想の國文學の作品を最も簡略に精選し得る。全書として多年世に行はる。全書二十四冊。國文學權威者の註釋を加ふ。	博文館
日本文章史	徳田秋聲	九〇頁	洋裝	〇五〇	黎明期平安朝時代鎌倉時代室町時代徳川時代明治以後等に講歩を進め日本文章の粹を展開しなから、絢爛たる花園を遺するが如し。	松陽堂
花と花言葉	橋本墨花	三六六頁	洋裝	一八〇	花をおくられても、又人に送るにもその花が何を意味してあるものであつかはれればならぬ。本書一冊に依りて、その凡てが判らば、花について描かれた著者の美しい夢のやうなロマンチックな傳説を、それによつて美しい花の繪から織りなされたものである。	紅玉堂
花の傳説	武井武雄	四六六頁	洋裝	一五〇	當代女流作家の花形たる著者の麗筆になる『花物語』女性無二の愛讀者として女學生間に狂熱的歡迎さる『花物語』讀まざる愚者あらむ。	日實業社
花物語	吉屋信子	四六六頁	洋裝	一五〇	美文歌句戯作を時代順に排列し文章の出所作者の概歴を加へ讀者の參考資料とす。	交蘭社
名作美文と戯文	小林鶯里	三四二頁	洋裝	〇〇六	難解なるが故に敬遠されぬ世界最大の名著は此處に平明にして興趣深く然も原作に對する深き理解を以て物語りの形式にて現る。	文陽堂
フアウスト物語	茅野蕭々	三四四頁	洋裝	二〇八	佛國の著名で信賴できる文學史のすべてを參考し且つ從來の列傳體文學史と違ひ之を貫く民族精神の推移を統括的に示した特色がある。	岩波書店
再訂 文は人なり	高崎山樗牛	五七二頁	洋裝	二八〇	本書は著者獨特の筆致を以て藝術を論じ詩とリズムとを研究し小説詩文演劇の各部門にわたり古今東西の文學を語る。	博文館
佛蘭西文學史	關根秀雄	四五四頁	洋裝	四二六	文學の本質とは如何、美とは如何、悲壯滑稽をエールスタア博士の名著により縦横に説く。	古今書院
改訂 文學概論	横山有策	四六六頁	洋裝	二〇二	文學は社會の環境と發達とを背景として初めて眞に理解せらるる。	泰早文稻社

文學原論	高橋禎二	四六六頁	洋裝	二八〇	文學の本質とは如何、美とは如何、悲壯滑稽をエールスタア博士の名著により縦横に説く。	東京堂
文學と革命	トロッスキイ	三六六頁	洋裝	二〇〇	非十月革命文學○プロック○未來派○詩の形○外四項。	改造社
文學と社會	石井眞峰	四六六頁	洋裝	二五〇	文學は社會の環境と發達とを背景として初めて眞に理解せらるる。	泰早文稻社
文學の絶對境	松浦一	五三三頁	洋裝	三八〇	深奥精緻の絶對境を揮つて世界的に文學を説く。第一講第三講自然文學の清淨智等皆金玉文字。	大日本圖書會社
文學の白光	松浦一	二九三頁	洋裝	二五〇	本書八講の中『白光』の中より見たるダンテ『生と死と文學』等は眞に天來の文學の神性。	同
文學の本質	松浦一	三六七頁	洋裝	二二〇	文學の絶對境の姉妹篇といふべきものに於て、斯道に趣味を有するの素地準備を作るを要す。	同
近代外國文學講話	生田長江	二〇〇頁	洋裝	〇六〇	英米獨佛露の近代文學の環境を細叙し伊太利の西班牙葡萄牙西白耳義和蘭諸國典丁抹等近代文學の歴史より近代歐米の自然文學を評して自然文學の生命をマザムと意識される。	松陽堂
自然文學講話	吉江孤雁	一〇〇頁	洋裝	〇五〇	自然文學の歴史より近代歐米の自然文學を評して自然文學の生命をマザムと意識される。	同
文學概論	相馬御風	六〇〇頁	洋裝	〇三五	文學研究上の諸要點、文學の起原、文學の特質を持つてその本質を論斷された雄編である。	同
文藝概論	吉藤直治	三五〇頁	洋裝	二〇〇	文藝の本質定義、哲學的科學的文藝觀、形態に就て何人にも理解出来る唯一の文藝入門。	弘文社

文藝管見	里見 淳	〇自序〇自分自身の紹介〇藝術の分野〇文藝概観〇内容と表現等、文藝に志す人の必讀の良書。	改造社
文藝思潮論	厨川白村	文學十講を繕くの前又は其後に於て必ず一讀すべき好書にして西洋文藝思潮の去來及び其の波瀾を曲盡せり。	大日本圖書會社
文藝叢書 第一卷	櫻庭篁村	徳川時代文學の名篇にして永く後代に傳はるべきものを露伴、篁村、濂柿の三篇を校訂して全十二卷に收む。本篇を忠臣蔵文庫とす。	博文館
文藝叢書 第二卷	幸田露伴	椿説弓張月、俊寛僧都鳥物語、頼家阿闍梨怪傳の三種を收む共に曲亭馬琴の名作。	同
文藝叢書 第三卷	幸田露伴	西鶴文集とす、元祿文學の巨擘たる井原西鶴の眞骨頭は本篇に活現してゐる、日本永代蔵本朝二十不孝外十篇を收む。	同
文藝叢書 第四卷	櫻庭篁村	道中膝栗毛全集にして正續兩篇その他の全體を載す。十返舎一九の傑作として滑稽文學の珍寶なること改めて言ふまでもなし。	同
文藝叢書 第五卷	塚原濂柿	俠客全傳とす、一般民衆の喝采を受け其痛快味を満喫せしめた俠客本の精神を選んだ傳記集として珍しき編纂書。	同
文藝叢書 第六卷	幸田露伴	南總里見八犬傳前編とす、一部九輯五十三卷實に二十八星霜を費して成れる曲亭馬琴の大傑作を以て三卷に收めたるもの。	同
文藝叢書 第七卷	幸田露伴	南總里見八犬傳中篇とす。前篇に續いて原文第八輯上帙より第九輯下帙に至る分を收む。	同
文藝叢書 第八卷	幸田露伴	南總里見八犬傳後篇とす。中篇を繼いで完結に至る。	同

文藝叢書 第九卷	櫻庭篁村	演劇脚本集とす、代表的十三作を選び狂言本の筋書と全部の臺帳とを併せ載せ。上方と江戸との芝居の變遷發達をも窺ひ得。	博文館
文藝叢書 第十卷	塚原濂柿	忠義復讐傳とす、景清外傳、左野朝義録、松田系圖、相馬大作の四篇いづれも主従關係の警討を取扱へたる名作を收む。	同
文藝叢書 第十一卷	幸田露伴	紀行文篇とす、諸名家の紀行にして其名作を好箇の文集。	同
文藝叢書 第十二卷	櫻庭篁村	世話浄瑠璃名作集とす、近松門左衛門の名作二十篇、紀海音作七篇、都一中設物二作、中村重作一篇を收む。	同
文藝と美術	青山爲吉	美、藝術、文藝、文藝史、美術、美術史、等に亘り文藝とは何ぞや？美術とは何ぞや？との入門的解説書として誠に此上もなきもの。	日實業社
大正十五年文藝年鑑	文藝年鑑編輯所	大正十四年中に於ける文藝界の出來事全部を網羅せる文藝百科辭典の縮圖たり文藝萬卷の書を讀むより本書一冊を見よ。	二松堂
文藝類纂	柳原芳野	文部省出版にして我が國の假名文字の由來沿革儒學國學及び書學畫學文房具等のものまで研究したるものにて説明には圖畫を用ふ。	大日本圖書會社
文藝叢書	小林鶯里	何人も文學なしには生きられない。が文學とは何かに就て知る人が極めて少ない。本書は平易に文學全體に亘る知識を與へようとした物	文藝社
國本文藝叢書	上田萬年	紀行文として近古及び近代の傑作を見るべきものには東關紀行と奥の細道であり叙事文として秀でたるものは方丈記を推さざるを得ない	大日本圖書會社
方丈記評釋	内海弘藏	方丈記に著者獨特の新評釋を加へたもので新釋書中の最も完備したものである。	明治書院

北郊雜記	阿部次郎	菊牛上裝 五〇二頁送	一・九〇 一・一八	○北郊雜記(十三項)○思潮雜記(二十五項)○雜纂(十一項)	改造社
星より星への通路	賀川豐彦	菊牛上裝 三七八頁送	二・〇〇 二・〇〇	○星より星への通路○アオニソスの誕生○混迷の巻より。	同
枕草子	金子元臣	菊牛上裝 三一〇頁送	一・五〇 一・〇〇	流布本の誤謬を正し簡明的確な頭註を加へてあるから高等學校程度の教科用及び一般の讀書家に至便の書である。	明治書院
枕草子新解	鳥野幸次	菊牛上裝 七〇〇頁送	三・八〇 一・二〇	本書は斯界に名聲噴々たる著者が殆ど三十年間の苦心研究の賜なれば釋義批判考異等新説創見多く類書中嶄然頭角を現せる一大著者也	弘道館
枕草子全釋	栗原武一郎	菊牛上裝 八〇〇頁送	六・五〇 二・八〇	第一段語義、第二段原文、第三段口譯の三段式とし且枕草子解題、研究法、索引及び當時の風俗調度寫真二十葉添付の良書。	廣文堂
枕草紙選釋	佐佐政一	菊牛上裝 二五〇頁送	一・〇八 〇・八〇	徳川文學の權威であり古文學に造詣の深かつた故博士が、枕草紙を選んで周到適切な註釋を加へたるもの、最も信憑に値する。	博文館
枕草紙通釋	武藤元信	菊牛上裝 各四〇〇頁送	七・五〇 二・四〇	著者が一生の心血を凝き盡した研究的述作で十九種の異本によつて立てた本文はその明解さ相俟つて正に學界不滅の鐵案である。	有朋堂
枕草子評釋	金子元臣	菊牛上裝 一、二〇〇頁送	七・五〇 二・四〇	清少納言の枕草子に最も精細なる解釋を王朝當時の文化史に立脚した内容的批判を加へ且つ全部の口譯をも添へてある大著。	明治書院
萬葉集新釋	豐田八十代	菊牛上裝 入三〇〇頁送	三・八〇 二・七〇	本書者は職を奈良に奉じ傍ら自ら近畿九州北陸等萬葉に關係深き山川湖海古蹟を踏し踏査し其結果漸く大成された空前絶後の良書。	廣文堂
武蔵野の一角に立ちて	別所梅之助	菊牛上裝 四四六頁送	二・五〇 二・二〇	苦惱の哲人にして寂寥の詩人である著者が過去二十年間武蔵野の一角に立ちて隠れたる神との對話であり絶えざる自然との應答である	警醒社書店

紫式部日記精解	關根正直	菊牛上裝 一八〇頁送	一・五〇 一・〇〇	古來難解といはれて居る紫式部日記の本文を嚴重に校訂し明快懇切な註釋を加へ舊註の誤謬をも正したものである。	明治書院
名著國文選	佐藤正範	菊牛上裝 一八六頁送	〇・六八 〇・六八	十二名著の國文名篇を、隨筆、家集、歴史、軍記、紀行、時文の六類に分ち、高等諸學校入學準備の絶好教科書、問題適中の奇蹟書。	山海堂
明治文學選釋	研國語漢文會	菊牛上裝 三三〇頁送	一・〇二 〇・六〇	嶄新なる受驗書。明治時代に於る三十名家の代表作につきて註釋通釋語釋を加ふ。尙國語試験問題の出所と傾向等を明にす。	文獻書院
譯註十六夜日記	飯田潮春	菊牛上裝 一四〇頁送	〇・三五 〇・三五	最も短時間で讀者に本文の正確な知識を獲得するに原文と譯文と對照し、忠實に簡明な註釋を附し受驗者には是非共机上にせられよ	河内書店
譯註土佐日記	飯田潮春	菊牛上裝 一〇一頁送	〇・三五 〇・三五	十六夜日記同様の様式にて中學生高等專門學生の参考書として是非共なくならず其書なり、前書と共に一本は机上に備へられたし。	同
譯註枕の草紙	溝口白羊	菊牛上裝 九二〇頁送	二・五〇 一・二〇	本書は在來の註釋書と異なり現代式に簡明に正しく枕の草紙の文學を親しむ可き者又國文受驗者の参考書として必ず一讀す可もの傑出した墨繪の濃淡のうちに深い美が籠つてゐる様に自然と人生のさゝやかな姿の中に汲み盡せぬ深い意味がある其を鋭く捕へてゐる	岩波書店
山のしづく	別所梅之助	菊牛上裝 三〇〇頁送	二・三〇 二・二〇	「務の王國」以後の紀行文を集めたもので、わけて山好きの著者が山を禮拜する氣持になつた文章で何人も山を愛し親しまふに居られぬ	警醒社書店
幽秘記	文學博士 幸田露伴	菊牛上裝 三三八頁送	二・五〇 二・四〇	○運命 ○眞眞 ○師帥 ○樓船斷橋 ○水殿雲廊 ○共命鳥 ○一枝花 ○泥人 ○玉主 ○碧梧紅葉 ○狂瀧艶魂 ○金鷄鏡 ○桃花扇 ○幽夢	改造社
ゆかり	親佛文學會	菊牛上裝 四四六頁送	六・五〇 二・〇〇	クロール大使を送る爲めに佛蘭西に關係ある文豪詩人畫家が自分の最もいい作を集めた趣味ある著書。	同

文	文學	論	夏目漱石	七四〇頁	送價	二・一八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	同
文	文學	論	夏目漱石	三二八頁	送價	一・七六〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	同
行	人	夏目漱石	六四八頁	送價	二・一八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	同	
行	人	夏目漱石	七六八頁	送價	二・二八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	大倉書店	
吾輩は猫である	夏目漱石	七六八頁	送價	二・二八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	大倉書店		
ロマンチック時代	大卒施門	二六六頁	送價	二・〇〇〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	同		
露國現代の思潮及文學	昇曙夢	七八六頁	送價	四・三八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	改造社		
蘆花文集	大編二郎	三〇〇頁	送價	一・〇三〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	米本書店		
戀愛價值論	石原純	二八二頁	送價	一・一六〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	改造社		
謠曲物語 (繪刷版)	和田萬吉	一〇三頁	送價	四・二七〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	富山房		
謠曲	高野辰之	二五六頁	送價	一・〇五〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	光風館		

感想・隨筆

文	藝	文藝社	柴田行々舌	三五〇頁	送價	一・〇五〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	文藝社
愛するが故に	倉田百三	四三〇頁	送價	二・一〇〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	岩波書店		
愛と認識との出發	樋口龍一	三五〇頁	送價	二・一〇〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	岩波書店		
歐米うらおもて	小林操	三五〇頁	送價	一・〇五〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	弘道館		
或る學生の手記	日下部四郎太	四六〇頁	送價	二・一八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	文藝社		
異國行脚	生方敏郎	四七〇頁	送價	一・〇六〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	大日本會		
家より旅より	村山龜齡	三四〇頁	送價	二・一八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	日本書院		
永遠への理想	石原純	三四〇頁	送價	一・一八〇	漱石先生が帝大文科に講述せられたるものに、質を極め、凡に演繹し思想根底を確立せり。	銀鈴社		

運命に従ふ者	小林綾子	三〇〇頁	洋裝	一・五〇	著者は愛の殿堂に美しき生活をつとめ、最近の感想を集めたもの。	文藝社
エビクテータス語録	佐久間政一	四〇〇頁	總布	二・六〇	アトア學派の大宗エビクテータス氏の教話に要訓加ふるに断片的のものを附加して一冊をなす蓋し不朽の大文字である。	文明書院
オーガスチン懺悔録	宮原晃一郎	四〇〇頁	總布	二・六〇	本書は世界三大懺悔書の第一に擧げらるゝ、聖典である。此書に依て吾人は如何に心の洗濯をなすべきか。	同
オーレリアス冥想録	木村毅	四〇〇頁	總布	二・六〇	本書はバイブルや佛典と並稱せらるゝ、世界の如きも激賞し居る。	同
カアペンター吾日吾夢	宮島新三郎	四〇〇頁	總布	二・六〇	英の哲人カアペンターの七十年の生活の最も端的な赤裸々な記録である。彼は右腕に實行の斧を持ち左腕は理想の炬を撃す。	同
史蹟名勝 花袋行脚	田山花袋	四〇〇頁	總布	二・三〇	所謂旅行記の單純なものではなく隨所に歴史と地理とを巧みに調合せしめて描ける歴史の臨地教授とも謂ふべき独自の旅行記。	雄大日本會
硝子戸の中	夏目漱石	二七六頁	洋裝	一・〇〇	常に書齋の硝子戸の中に座し靜に人生を思ひの過去を現在の周圍を赤裸々に寫せるもの。	岩波書店
感傷と反省	谷川徹三	三五六頁	洋裝	一・八〇	著者曰「轉められた小篇は何れも私の生活の淨化。雨の靈魂。孤獨。夜。古典的と浪漫的の體験の直接の反省である。内容山。憂鬱。	同
歸雁の蘆	新渡戸稻造	中判上裝	送價	一・〇〇	著者の歐米に遊べる感想隨感録也極めて輕快に處々に諷刺を交へ數百の談話錯綜横眞に超凡脱俗的なる博士の面目を躍如たらしむ。	弘道館
桂月 近年の我輩	大町桂月	四六六頁	洋裝	二・二〇	近年の我輩、自然と我輩、人物と我輩、酒と我輩等を蒐めて一巻としたもの、印刷半ばに計を傳へ圖らずも最後の著となる乞一讀を。	興文社

愚談	水島爾保市	二二〇頁	上裝	二・〇〇	現代世相を縦横無盡に解剖し諷刺して深刻な極む、如是閑氏をして堅實な眞面目な文明人であつた十返舎一九の面影ありと評せしめた	厚生閣
哄笑・微笑・苦笑	生方敏郎	四六六頁	美裝	二・三〇	日本一の諷刺家たる著者が戀愛、政治、思想等飽ゆる問題に對して獨特の妙筆を揮はれたるもの其穿てる諷刺諧謔に自ら苦笑せしむ。	雄大日本會
古溪隨筆	波多野承五郎	二四四頁	美裝	一・五〇	三井王國の元老たる氏が戯曲に餘技と思はれぬ。力を有するは公知の事實である。江湖の諸彦にすむ。	日實本業社
雲梯 紅茶を啜りながら	林田龜太郎	四〇〇頁	洋裝	一・五〇	ロンドンや巴里を背景とした靈性の女や洋行中の赤毛布を遺憾なく發揮したのが本書である。粹翰長とての妙味書中にあふれてゐる。	日本書院
甲鳥園隨筆	五十嵐力	五三二頁	洋裝	二・五〇	「國歌の胎生及び發達」と並んで、著者の半生を區劃する記念著述の一。内容は、折々の思出と歌謡と旅行記との三種に分れた當代無類	銀鈴社
小鳥の來る日	吉田絃二郎	二六〇頁	紙裝	一・二〇	慈眼愛腸の詩人にして哲人的風格を有する吉田氏の詩味宗教味人間味に富める感想二十篇を集めたもので盛んな愛語を受けてゐる。	新潮社
草光る	吉田絃二郎	二七〇頁	紙裝	一・二〇	「小鳥の來る日」の姉妹篇芭蕉を説き基督を語り、自然の美を讃へ、人間の哀しみを歌ふ。哲人の語録の如く、聖者の祈禱の如し。	同
木に凭りて	吉田絃二郎	二八〇頁	紙裝	一・二〇	新感想集で「草の花あり」「落葉に聴け」等廿餘篇。復雜なる小説家の觀察と深遠なる哲人の冥想と豐潤なる詩人の情愛とが溢れてゐる。	同
眞實に生きる悩み	生田春月	三一〇頁	紙裝	一・三〇	感想集である。永く孤獨と寂寥さに坐して只眞實の生活に進まんとする著者の尊き努力は、此の三十篇の感想の中に窺はれやう。	同
旅ゆく一人	生田春月	三〇〇頁	紙裝	一・三〇	人生行旅の半ばにある旅人春月氏が、折にふ境地の消息、親しい挨拶である。心の自由な境地への進展、新生の調和への過渡を物語る。	同

自然・人生・社會	武者小路實篤	菊半特裝 三一〇頁送	一〇〇八〇	折々の考察を、例の明快卒直なる全人格的表 白に託せるもの。短章すべて二百二十余篇。 最も鋭敏なる智慧の言葉に聴く事が出来る。	新潮社
人生を斯く考へる	武者小路實篤	菊半特裝 二九二頁送	一〇〇六〇	われ等いかにかに生く可きかを、自由は大膽に語 りて、天才の閃光、端的に人の胸を打つ。斷 章凡て百六十節。人生の眞の教科書は是れ。	同
わが文藝陣	菊池 寛	新装紙裝 二六〇頁送	一〇二〇六〇	堂々たる大論をか、けて論壇に雄視する菊池 氏の評論感想と共に、身邊雑記、旅行記の類 を収めて、最も興味深き讀みものである。	同
泉のほとり	正宗白鳥	新装紙裝 二七〇頁送	一〇二〇六〇	正宗氏の小品、感想は、その渾然たる風格に 如く閃めく警抜なる心境に於てその時に電光の 人間観はすべて此中に窺はれる。	同
微苦笑藝術	久米正雄	新装紙裝 二七〇頁送	一〇二〇六〇	人生小話、印象批評、震災手記、災後雜感の 人間観はすべて此中に窺はれる。	同
七寶の柱	泉 鏡花	新装紙裝 二六〇頁送	一〇二〇六〇	謂ゆる小品文に於て、眞に天下一品、他の追 隨を許さざる鏡花氏が震災當時の情景を描い た『露宿』をはじめ數十篇の名文の集。	同
草原	武者小路實篤	新装紙裝 二六五頁送	一〇二〇六〇	武者小路氏の融通無碍の心境は、その直截大 膽なる表現と相待ち天衣無縫の神品を成して ある。氏自ら會心の書と云へるものである。	同
文學的散步	宇野浩二	新装紙裝 二八〇頁送	一〇二〇六〇	觀察の奇警と話術の巧妙とに見ざる宇野 以外別箇の興趣ありて氏が漫談を集む。小説 の筆致は、その筆の折々たる筆のすさびを集む。	同
白醉亭漫記	里見 弴	新装紙裝 二六八頁送	一〇二〇六〇	現下文壇の名匠たる里見氏がその藝談を始め 彩なる作家生活の折々の断想のすさびを集む。	同
百艸	芥川龍之介	新装紙裝 二五四頁送	一〇二〇〇〇	犀利な批評、上品なユウモア、更に趣味の廣 汎な學識の深遠さを以て聞ゆる芥川氏が隨筆 家の第一者たる眞面目を示せる感想集である。	同

我が小畫板	加藤武雄	新装紙裝 二六六頁送	一〇二〇六〇	眞實の作風を以て靜かに獨りの路を往く氏の 小品、紀行文、文壇偶感、生活に縁故深き隨 筆等を収めて、津々たる興味全巻にあふる。	新潮社
文壇隨筆	中村武羅夫	新装紙裝 二二〇頁送	一〇二〇〇〇	文壇の歴史と内幕と情實と現勢とに最もよく 通じたる氏の隨筆集で、文壇印象記と心境雜 記と文壇時言と等、何れも氏の風貌が視られる。	同
途上	山本有三	新装紙裝 二五三頁送	一〇二〇八〇	作家としての心境を語り、演劇に對する折々 なる批評を述べたもの。凡て三十餘篇。最も嚴 なる藝術家としての氏が心血の餘瀝である。	同
碁と將碁の話	村松梢風	四六判 三〇〇頁送	一〇二〇八〇	▲碁勢大徳一鎌倉殿中騷動▲水汲論▲御碁碁 ▲待つた一すくみ▲將碁の起原▲馬上將碁▲ ▲八百屋お七▲白木屋お駒▲今宿心中▲其他	大阪屋號
小波世間噺	巖谷小波	四〇〇頁送	一〇一五八〇	輕快にして非常に面白く讀ませるものは小波 先生の文である一般の社界觀察に一眼識を有 する先生獨特の趣味ある名文讀め。	日本書院
雜草の中	吉田絃二郎	四〇〇頁送	一〇一四八〇	現實を審美的に流瀟して何人をも魅惑する感 想集にして讀み多き人生の途上に無限の純愛 と淨化とを投げて涙ぐまじき慰安と魅力満。	聚英閣
淋しきまゝに	萩原井泉水	二六〇頁送	一〇一七八〇	愛妻を失ひし著者が孤獨に閑居して、寂しき まゝに筆をこりしもの、淡彩の筆触裡に拘め ども盡きざる俳味と溢る、ばかり自然の幽玄	同
合本三太郎の日記	阿部次郎	菊半布裝 七五〇頁送	一〇一五八〇	著者が三十歳前後に書ける文章の全集とも名 づけるもの、當時の著者の全生活を書きし ものとして青年の胸に響く處甚大ならむ。	岩波書店
山中雜記	安倍能成	四〇〇頁送	一〇一三八〇	過去十四五年に渉る著者の情意生活に關する 感想集。深く究め行く哲學者の靜かなる冥想 の果實。收むる處、日記、手紙、隨筆等々。	同
紫煙	馬場孤蝶	四〇〇頁送	一〇一五八〇	詩聖バイロンの「崇高なる煙草」▲コロソバ の煙草發見▲等我が文壇の巨星が愛玩のバイ ブより生れ出てし紫煙はそも何を物語るか!	大阪屋號

四季の趣味	鳥野幸次	四三頁	三二〇	四季の景觀と年中、時を定めて行はれる人事を著者が得意の才筆で説述したものである。歌人文章家の好伴侶、國民性研究の好資料。	文友社
詩人野口米次郎	グアインズ	四六頁	一八〇	屢々歐米に歴遊せる著者が、其明敏なる觀察眼と珠玉の如き名文を以て歐米の大人物の月旦、人情風俗及思想を敘したる隨筆集。	第一書房
思想・山水・人物	鶴見祐輔	寫眞挿入	二五〇	講談落語を讀むが如き面白さのうち、只笑つて了へない或る物を考へさせる、得難い修養的隨筆である。	雄大辯日會
修養 叱 牛 錄	坪野平太郎	三六頁	二〇〇	肉體から抽象された魂は神の呼吸として永遠に息づく。愛兒の死に直面した純教徒博士の叫びは安定なき現代人の心の泉である。	日實本業社
死に直面せる體驗	工學博士 佐藤定吉	四六頁	二五〇	『現代日本の開化』『中味と形式』『文藝と道徳』『創作家の態度と文藝の哲學的基礎』を收む。	厚生閣
社會と自分	夏目漱石	三六頁	二〇〇	『磯子島』の匿名を以て巧に女性の筆使ひを模し隨筆としての絶品を相次いで發表せる一宮榮氏の遺稿を整理せるもの愛誦に堪ゆ。	日實本業社
趣味の文がら	厨田白村	七〇八頁	二〇〇	生物の進化の狀態を澤山の面白い珍しい實例による論議は思想界の一大警鐘である。	博文館
進化と思想	農、理學博士 松村松年	菊判 三〇〇	一四〇	新聞人としての海南下村博士の漫文漫録短歌を憂ふる熱調あり。博士の眞骨頭躍如たり。	雄大辯日會
新聞に入りて	下村宏	五五〇頁	三〇〇	本書は著者の紀念文集にして、議論に感慨に講演に紀行に隨筆に消息に、正に文藝と趣味と生活との交響樂とも謂ふべきもの。	日本評論社
紀念文集 惜春雜記	村山龜齡	菊判 二九〇	一八〇	虚無の中に光を絶望の中に眞理を求めて歸就に迷へる近代精神の爆發。科學を藝術と宗教を哲學を全人へ、そして全文化の建設へ。	銀鈴社

文明全體の回復	石原憲次	一八〇頁	一八〇	工學博士海軍中將さいふ殿しい肩書に似ても似つかないやさしい懐しみの溢れた筆致で綴られてある軽快な讀物。	厚生閣
隨筆 象の欠伸	有坂鋁蔵	四六頁	二〇〇	天才革命児石川啄木は歌人詩人として知られて居るが晩年の思想は一大驚異である。啄木の總てを傳へるに共に彼の思想全傳である。	日實本業社
啄木の思想と生涯	金田一京助	三〇〇頁	一五〇	著者はタバコの人でありパイプの人である我々が世の喫煙家の愛讀に供するを誇り出す。	弘文社
煙草とパイプ	石川欣一	四六頁	一八〇	紫煙場裡にて名聲噴々たる著者の煙草に關する隨筆を集めたるもので内容は煙草の起源と社會的發達から説き起し餘す處無し。	郊外社
煙草禮讚	薔薇閑	四六頁	二五〇	俳人一茶が病める父の介抱の傍ら其日其日の感想を奥底なく披瀝したるものにて一字一句殆ど涙の痕ならざるはなし。	同
一茶 父の終焉日記	東松露香	四六頁	一八〇	日夜實驗室に閉ち籠つて研究に没頭して居る物理學者が盛夏の數週間暑を三浦海濱の村莊に避けて田園の自然と親み乍らの隨感録也。	岩波書店
田園銷夏漫錄	長岡半太郎	四六頁	一六〇	身を叙しく南洋の諸島を踏破し、或は山川風物を叙して無量の感慨を述べ、或は慧敏なる觀察を披瀝して大いにその抱負を語る名著。	同
南洋遊記	鶴見祐輔	六〇頁	一八〇	一世の科學者たる著者が、日本全國を行脚して珍風俗珍現象、さては可愛き迷信の數々まで素破ぬいた前代未聞の快著。	雄大辯日會
二人行脚	理學博士 日下部四郎太	四三頁	三二〇	日本の研究日本人の性質日本人の特色健忘性の國民準備なき國民日本人の缺點等七十四項に於て其特長と欠點とを簡易に書いたもの。	同
日本國民性の解剖	大町桂月	三六〇頁	一五〇		日本書院

沼のほとり	中 勘助	四判洋装 二一四頁	送價 一・四八〇	古のほとりに自然を伴ひ純情に生き行く詩人の生活記録である。澄みて露ふ情の泉は一巻に溢れる。	岩波書店
猫のあくび	生方敏郎	四判洋装 四二〇頁	送價 一・六二〇	敏郎氏の奇警にして一種獨特の妙文はたしかに當代に其類をみない。本書は社會味や人間味の徹底した面白味のある十數篇を収む。	日本書院
野を歩む者	相馬御風	三木版手摺装 三四五頁	送價 二・一三〇	世を避けて静寂に住む著者の魂の奥底から珠の如く流れて出た感想録。文明の功罪に文化の過重に悩める人々にまつての魂の清涼劑。	厚生閣
パスカル感想錄	柳田 泉	四判總布装 四〇三頁	送價 二・一六〇	パスカルは知識該博で冥想は深刻である本書は唯一の遺著又附録の戀愛論が又吾人に教ゆる所の多き一讀三嘆たり。	文明書院
話の庫 (續篇)	辻井 享	八判六頁 八八〇頁	送價 一・一八〇	打出の小槌より金銀財寶の出づるが如く話の庫よりは奇談珍説が際限なく湧出す演説講話の佳作の好材料として重寶の書なり。	大日本圖書會社
煩悶と自由	理學博士 丘 淺次郎	並上總布装 並新装 三六〇頁	送價 一・〇二〇	社會問題を流れる一大原理に立脚して人類問題の。實に權威ある文明批判。	大日本辯會
人のアラ世間のアラ	生方敏郎	菊半洋装 三六〇頁	送價 一・〇二〇	諷刺作家として他に追隨を許さない生方氏の最も其手腕を發揮した著書の一つとして如何に生氣ある作品なるかは二十版發賣が證據。	日本書院
皮肉社會見物	三 四 郎	三判上装 三四〇頁	送價 一・一五〇	現時社會の裏面觀察、人間表裏の皮肉な透視其内容實に百七十項正に百鬼夜行の大亂痴氣騒ぎ近來の面白い書物。	同
皮肉と警語	漱石、獨歩、雪嶺、其他、益判洋装 四七〇頁	送價 一・〇六〇	漱石、獨歩、雪嶺、露伴、蘆花、鷗外、逍遙、蘇峰、櫻牛、九犬先生の人間觀思想社會觀などほご入ご格言に近き千古の眞理ある名文をなさむ	同	
批 評 集	小宮 豊隆	三判布装 三九六頁	送價 二・一八〇	内容目次ハ櫻の園に就いて。ヘッベルとシヨオと。ヘッタカアラの生涯。ノラに就いて。吉右衛門の第一印象。近代劇の將來。等々。	岩波書店

高 鼻 の 樹	山村青二	四判六頁 一七〇頁	送價 一・三〇〇	哲學宗教藝術の根源にあつて人間の靈識に清新な光を與へる森嚴な自由の精神を最も平明な寓話の形に依つて表現したものが本書。	弘導閣
筆にまかせて	芳賀矢一	三判洋装 五五〇頁	送價 二・二〇〇	芳賀先生は國文學界の一大明星である。その研究的に貢獻された幾多の文獻的收穫はこの一冊中に満載されたのである。名著の隨一。	日本書院
文化境と自然境	藤代 禎輔	四判六頁 二八〇頁	送價 二・一〇〇	博士素人の名江湖に著聞するも長く著作を公にせず。只本院の懇請に依り此著あり。文化と文明夏目君の片鱗等二十餘篇を収む。	文獻書院
文章 春秋	小林 鶯里	三判美装 三〇〇頁	送價 一・〇〇〇	春夏秋冬、折々の季節を題材としたる美文を集めたるもの。讀んでその筆によはされ、或は文章を志す者に取つて唯一の参考書。	文藝社
へちまの皮	杉村楚人冠	三判布装 七〇〇頁	送價 二・〇五〇	かつて洛陽の紙價を高からしめたる『へちまの皮』の新装縮刷にして、年を経るに従つて著者一流の筆の味いよく賞すべし。	至誠堂
虫のねどころ	杉村楚人冠	四判六頁 四一〇頁	送價 二・〇五〇	蟲のぬごころの、好みに惡しきにつけても脱したる楚人冠先生獨特の文集にして、輕妙洒	同
隨 考 錄	石 黒 忠 意	四判二重装 一五五頁	送價 一・〇五〇	石黒子爵は維新の元勳である。常に時代の先頭に立つて青年の精神を導かれた人である。言々句句傾聴すべき金科玉條である。	日實業社
落葉と語る	下 田 將 美	四判六頁 三〇〇頁	送價 二・一〇〇	詩人にして經濟學者たる著者が滯英中其銳利なる眼光に映じた世相を麗筆を以て幾篇かの物語としたものが、この書の主要部分をなす	郊外社
戀愛の諸問題	土 田 杏 村	四判六頁 四一〇頁	送價 二・一三〇		第一書房
若人の胸へ	小林綾子	菊半裁判 装ホプリン	送價 一・〇五〇	情熱に燃ゆる二人の著者の生活記録、詩、短歌、及びAとBとの間に取り交されし感想を集めたるもの、青年子女の胸を焼くもの。	文藝社

詩

集詩 哀別	勝田香月	菊半紙裝 二五〇頁	送價	〇九五	青春の日の苦しみ、かなしみ、もたえ、寂し さな歌ひたる著者の詩はまた、若き人々の誰 にも共鳴されるであらう。	紅玉堂
新しい詩とその作り方	室生犀星	異判並裝 三五六頁	送價	二〇〇	詩とはなんなるものであるか、詩を作るにはど うすればよいか云ふことをいかなる初心 の人でも解り易く詳しく記された書である。	文武堂
上田敏詩集	文學博士 上田敏	四六六頁 七五〇頁	送價	三二八〇		第一書房
集詩 海の愛	松原至大	異判假裝 一七〇頁	送價	〇八五	著者の第二詩集である。徒らに奇を衒はず巧 を弄せず静かにして平明、しかも清新なる格 調は何人の追隨をもゆるさない。	紅玉堂
英國兒童詩選集	小山鬼子三	異判布裝 一五〇頁	送價	〇八〇	藝術の大家が兒童の爲めの作詩數十篇を集め 譯文と譯解を加へたもので中學二三年程度の 家庭讀物として絶好である。	文明書院
やさしい英詩の學び方	關口晃南	四六六頁 一八〇頁	送價	一五八〇	著者はケンブリッジ大學出の錚々たる英學者 であり、本書は英詩を學ばんとする諸子の爲 に優れた外詩に付き講述せる指導研究書。	交蘭社
集詩 風は草木に囁いた	山村暮鳥	異判上裝 二四一頁	送價	一六二〇	背負ひ切れぬほどの苦悶の中に雄々しくも人 生を肯定し、自然を讚美した強い詩集で全篇 に詩人の姿が活々さあらはれてゐる。	イデア書院
韻文 黃菊白菊	大町桂月	菊半紙裝 四〇四頁	送價	〇八六〇	麗にして沈痛、優にして豪宕、まことに一代 の名筆を有し幾多の歸依者有するは此著者 である。讀書子必藏の名玉集。	博文館
近代詩用語辭典	河井醉茗	菊半紙裝 四〇〇頁	送價	一八二〇	明治大正に涉つて出版された主なる詩集よ り採つて範とすべき詩の一部分を抄して各部 門に分け、難解の語には註を施したり。	紅玉堂

集詩 雲	山村暮鳥	異判上裝 一八三頁	送價	一八二〇	人生の大きな味をうしるにひかへ其の心境は 愈々深く、一種の信念を得、詩調又高きを加 へ觸るれば温き血潮のほさばしる趣がある。	イデア書院
譯詩集 月下の一群	堀口大學	菊半紙裝 七六〇頁	送價	四二八〇		第一書房
現代詩歌選	國語漢文會	菊判上裝 一二八頁	送價	〇五一	明治大正の文壇の重鎮が作せる詩歌俳句の中 から藝術品とし且つ學生の生活に近接せるも のを選擧したる清純典雅なる情操に富む良書	山海堂
現代抒情小曲選集	西條八十	菊半紙裝 三二〇頁	送價	一四一〇	著者が多方面の選評中より再嚴選せる抒情小 曲三百編、大家をも凌駕する優秀作品のみに して若き人々の參考的良愛詩集。	交蘭社
紅綠	菱沼理式	異判上裝 一二〇頁	送價	一〇六〇	紅編は萬葉集以下各家群書中より名歌絶調壹 百首、綠編は唐宋以下現代まで我が國の七言 絶句の粹妙壹百首を選出したる斯道の座右銘	文書堂
文藝入門叢書 第三編 作詩の新研究	川路柳虹	新四六六頁 二〇〇頁	送價	〇八〇	著者自身の深き経験を背景とし周到深切の用 意を以て、詩の根本義を韻律の問題を、作 詩の方法を説く、好個の作詩入門書である。	新潮社
詩の作り方	生田春月	菊半紙裝 二五〇頁	送價	〇七〇	詩とはなんなるものか。詩人とはどんな人か。 詩はさうすれば出来るか。かういふ風な二十 餘項の下に詳細に明快に詩作の法を説いた。	同
現代詩の研究	白鳥省吾	新異紙裝 三七八頁	送價	〇五〇	詩の本質を明かにし、各詩人の作風を解剖す るに、初學者の爲に具體的の指導を與へ たるもので、入門者の必讀すべき寶卷である。	同
震災 災禍の上に	詩話會	四六六頁 二五〇頁	送價	〇五〇	現下わが詩壇の殆ど全作家を網羅して四十八 氏が地震の慘禍を悲しみ、壊滅せる東京を嘆 ける新作を集めた、世界的一大詩集である。	同
長篇叙事詩 第一編 高原の處女	福田正夫	菊半紙裝 二四〇頁	送價	〇八〇	一人の美しい處女の、美しくしき戀を主題とし て永遠の人生を歌へるもの、七篇數十章から 成る長篇叙事詩で、小説以上の興味がある。	同

戀の彷徨者	長篇叙事詩 第二編	福田正夫	菊半紙裝 二八〇頁送	一〇〇六〇	「高原の處女」に次いで長篇叙事詩の第二編。戀の運命の悲劇を題材として、詩の曲節に小説的興感を托せる。福田氏獨得の作である。	新潮社
嘆きの孔雀	長篇叙事詩 第三篇	福田正夫	菊半紙裝 二六六頁送	〇九〇六〇	無蹄の天才たる絶世の美人が、失戀の悲しみにリズムを流るゝ如き華麗の詞句をよみよ。	同
筑波の白百合	長篇叙事詩 第四篇	福田正夫	菊半紙裝 二八六頁送	〇〇八〇〇	筑波のほこり白百合の如く咲き出でたる豊麗の美女の、悲しき半生を歌へるもので、堂々三百五十枚、叙事詩中第一の長篇である。	同
輝ける薔薇	長篇叙事詩 第五編	福田正夫	菊半紙裝 二二四頁送	〇〇八四〇	上野の秋を飾る寂しき名畫のモデルとなる美女! その美女にまつはる若き戀の戦が、高調無比のリズムを以て表現せられてゐる。	同
明治詩歌選		詩壇六家	菊半紙裝 一五〇頁送	〇〇五四〇	若菜集(島崎藤村)天地有情(土井晩翠)暮笛集(澤田泣菫)みだれ髪(與謝野晶子)獨絃哀歌(蒲原有明)東西南北(與謝野寛)等。	同
死の島の美女		福田正夫	新四六判 二四七頁送	一四〇〇〇	幻の死の島、麗女の呪ひ、緑の海に浮ぶ戀の船、海底の美しき人魚、これ等の幻想の中に歌はれた戀の三角關係を描ける詩劇である。	同
はつ戀		川路柳虹	菊半紙裝 二九二頁送	一三〇〇〇	現下詩壇の權威たる川路氏がその作にかゝる叙情小曲のすべて百五十篇を収む。句々あはれなこめ再誦三誦禁することをはさらしめる。	同
純情小曲集		萩原朔太郎	與判特裝 九二一頁送	〇〇八〇六	「愛憐詩篇」郷土望景詩の二篇より成る。前者は若き日の夢の記念、後者は此詩人を容るる事能はざりし故郷への告別の言葉である。	同
静かなる時		百田宗治	與判特裝 一〇八頁送	〇〇〇八〇	民主派詩人の第一人者たる作者の代表的自選詩集。長詩「吠える犬」以下十數篇。その作者の緊張せる全精神は直接萬人の胸奥に訴へる。	同
自然の恵み		生田春月	菊半紙裝 二五〇頁送	〇〇八〇六	九月の葡萄の如く豊熟せる此の作の中に、あさりゆる人間の試練に堪へた忍苦の人たる氏が迎りつく事の出来た法悦境が示されてゐる。	同

白秋詩歌選	代々の名作選集 第四十一編	北原白秋	菊判布裝 一五四頁送	〇〇五五〇	不出世の天才白秋氏の全集二十三冊の中よりその粹を抜く、詩情の豊潤、詩境の廣汎なる古今東西を通じて、その儔を見ざる名詩集。	新潮社
日本童謡集		童謡詩人会	與判特裝 三九〇頁送	二二〇二〇	毎年一回刊行し、その前年に於ける各作家の代表作を集めて、一卷とする年刊童謡集である。世の父兄姉妹が、子女の爲めに備ふ可き書。	同
日本詩集		詩話會	四六判裝 三七〇頁送	各二、三、六、八	毎年一回刊行し、その前年に於ける各詩人の代表作を集めて、一卷とする年刊詩集である。一九一九年創刊し、第七集を發行した。	同
春月小曲集		生田春月	菊半紙裝 二八〇頁送	〇〇八〇六	小曲すべて百八十餘篇。戀を歌ひ、少女を歌ひ、若き日の夢を歌ひ、破れし胸のかなきみを歌ふ。哀切にして可憐、悲痛にして哀婉。	同
靈魂の秋		生田春月	菊半紙裝 二九〇頁送	〇〇八〇六	春月氏の第一詩集で、又最も多く讀まれたもので、今尚盛んなる愛誦を受けてゐる。收むるさころ二百篇、何れも珠玉の如き名作である。	同
感傷の春		生田春月	菊半紙裝 二八〇頁送	〇〇八〇六	「靈魂の秋」と共に、若き人々の熱烈なる愛誦を受け、驚く可き賣行を示してゐる。熱き戀はかなき憧れを歌へる長曲短曲二百餘篇。	同
明治大正詩選		詩話會	菊大判裝 四一〇頁送	二一八〇六	新體詩創始時代より今日に至る、明治大正を通じての代表作を集めた。作者は八十四人、詩は二百七十篇。眞に空前の大詩集である。	同
西條童謡全集	西條八十	菊判特裝 三七二頁送	二一五〇二	現下童謡界の第一人者たる西條氏の童謡の全作集である。全國に膾炙せらるる名作「かなりや」以下實に百四十篇を収めた大判美本。	同	
赤き獵衣	西條八十	菊半布裝 一九〇頁送	一四〇〇〇	西條氏の「小曲七十餘篇の集」。何れも字々精金句々美玉、西歐の名詩に比して遜色なき作。装幀また優麗の趣を盡くした美本である。	同	
雨情民謡百篇	野口雨情	菊半特裝 二二二頁送	一四〇〇〇	雨情氏は人も知る民謡の第一人者である。本集はその大部分は未だ他の集に入らないものすべて百篇、鬱然たる一大詩集である。	同	

啄木全集	石川啄木	菊半布裝 六九〇頁送	二〇〇	全三卷、第一卷は小説集で、雲は天才である。以下數篇。第二卷は作者の本領たる詩歌の集。第三卷は感想評論と書簡の集である。	新潮社
ハイネ詩集	生田春月	興判背布 三七八頁送	一〇〇	青春の子女にしてハイネの名を知らざるなく亦此書を愛誦せざるはなからう。其詩、戀のなやみを歌つて可憐麗麗の趣を極めてゐる。	同
ホイットマン詩集	白鳥省吾	興判背布 三七六頁送	一〇〇	民主的精神の大波は全世界に澎湃たる時、其波頭に立つて千波萬波を摩く此大詩人の莊重雄大の韻律を聞かんとする人に此集を捧げる	同
ゲエテ詩集	生田春月	興判背布 三五六頁送	一〇〇	主として戀を歌へるものを選び、春月氏の哀婉優麗の筆を假りて邦語に譯した。『若きエルテルの悲み』と共に、また是れ戀愛の聖典。	同
エルレーヌ詩集	川路柳虹	興判背布 三四二頁送	一〇〇	詩は象徴、象徴の詩は則ちエルレーヌ。エルレーヌを讀んで始めて近代の詩を談る可きである。譯は此作者に傾倒する事深き川路氏。	同
トラウベル詩集	福田正夫	興判背布 四〇八頁送	一〇〇	ホイットマンの衣鉢を傳へて、民主的精神を高唱せる亞米利加の詩人トラウベルの代表作は、わが民主詩人福田氏によつて譯された。	同
カアペンタア詩集	福田正夫	興判背布 三一〇頁送	一〇〇	額に汗して生活する人々への共鳴より、大地に即せる生活の讚美に導かれた。素朴純眞なる此の詩人の風格は本書のなかに生きてゐる。	同
現代佛蘭西詩集	柳澤健	興判背布 三四八頁送	一〇〇	最近佛蘭西の詩壇を代表するレニエ、フオー、は、佛蘭西文藝に造詣の深き詩人である。柳澤氏は、佛蘭西文藝に造詣の深き詩人である。	同
ワイルド詩集	日夏耿之介	興判背布 三二二頁送	一〇〇	唯美主義享樂主義の詩人として世界古今の詩壇を獨歩するワイルドの詩は、氣稟の原作者と共通すと云はるゝ日夏氏によつて譯された。	同
フェルハアレン詩集	金子光晴	菊半背布 三九八頁送	一〇〇	自然主義的絶望より新理想主義の輝かしき希望への心的過程を歌ふ。晩近西歐詩壇の第一者の眞面目は此一卷の中に躍如としてゐる。	同

現代英國詩集	大藤治郎	興判背布 送價	一〇〇	現代英國の詩壇に活躍せる二十一詩人の代表選集。譯者は優れた詩人たるのみならず、久しく英國に遊び、英詩の研鑽極めて深き人。	新潮社
ツルゲ散文詩	生田春月	菊判特裝 一八四頁送	〇六五	これは、詩の衣裳をつけた哲學である、近代文學の生んだ最も警拔な詩である。而して此の憂鬱なる露西亞の天才の一生の懺悔である	同
現代詩人叢書	詩壇諸名家	菊半紙裝 各一〇頁送	〇六〇	1沈黙の血汐(野口米次郎) 2蠟人形(西條八十) 3預言(川路柳虹) 4田舎の花(室生犀星) 5季節の馬車(佐藤惣之助)……	同
現代詩人叢書	詩壇諸名家	菊半紙裝 各一〇頁送	〇六〇	6青き樹かげ(三木露風) 7炎天(千家元磨) 8澄める青空(生田春月) 9風車(百田宗治) 10古風な月(日夏耿之介) 11愛慕(白鳥省吾)……	同
現代詩人叢書	詩壇諸名家	菊半紙裝 各一〇頁送	〇六〇	11沙上の夢(野口雨情) 13遠き薔薇(堀口大學) 14蝶を夢む(萩原朔太郎) 15耕人の手(福田正夫) 16世界の民衆(正富汪洋) 17斑猫(深尾須磨子)	同
佐藤春夫詩集	佐藤春夫	菊二〇〇頁送	二五〇	『世の若き、さびしき人々へ』送る。著者の抒情詩集なり。此の可憐なる抒情詩集は必ずや、若き諸君に深刻な感激を與へるであらう	第一書房
シエリーの詩論	横山有策	送價	一〇〇	シエリーの詩論は近代文學論中の先頭にて我横山教授によりて丁寧懇切なる解説序文を伴ひて全譯する詩文に志す人の愛讀を待つ。	早稲田社
詩吟教範	片岡茂	興判紙裝 三七八頁送	一〇〇	詩吟も亦一の藝術たる立場より、新界に通曉せる著者が親しく指導教授を試みたるもの。期吟に値する詩句をも多く引用せり。	博文館
現代の詩史と詩講話	井上康文	四六判 三〇〇頁送	一六〇	明治初年より現代に到る迄全詩壇の消長變移並に此の間百餘詩人の作品業績等に迄詳論せる詩史を兼ねたる一大研究書。	交蘭社

詩集砂の枕	堀口大學	四六判 二〇〇頁	送價 一八〇	著者は此書にて大自然詩人を評傳し我を我が西行芭蕉に比較した彼の名詩「ミカエル」以下數十篇を譯出した評傳と詩集を兼ねたる名著	第一書房
自然詩人ワズワース	鷺山弟三郎	四〇〇頁	送價 二五八〇	詩を正しく翫賞し解せんは詩人々々著者は、自己の作品或は内外諸詩人の秀作を引證し、平易懇切に語つて一讀難詩をも真解さる。	新生堂
新しい詩の味ひ方	西條八十	四六判 二七〇頁	送價 一六八〇	全國男女學生諸君から自熱的の歡迎をうけるわけは、本書が純眞なる體驗的叫びだからである。若き著者の高鳴るハートの響をきけ。	交蘭社
詩歌集 鈴蘭の歌へる	小林綾子	菊半判 二〇〇頁	送價 一〇二〇	折に觸れて書き出でて歌ひ出でたる著者の散文韻文が凝つて一卷となりたるもの。約二百篇の長章短文みな愛語に値する佳品。	交蘭社
美文 雪月花	大和田建樹	菊半上装 六二四頁	送價 一〇〇〇	重版にて重版して廣く世に行はれたる名著、隨筆の文字を連ね朗々誦すべし。	博文館
美文 續花紅葉	武島羽衣	袖珍判 五〇〇頁	送價 一〇〇〇	啄木は青年の先驅である。天才啄木の廿歳前後を語るものは詩のみである。本書は「あか」が「れ」を始め代表詩作を選びたるものである。	同
啄木詩集	石川啄木	菊半洋装 一〇〇頁	送價 一〇〇〇	歌壇の革命者石川啄木は多感なる詩人であつた。青春の子が愛語として措かざる抒情詩集なり。	弘文社
石啄木抒情詩集	佐藤寛	三四半載 三七〇頁	送價 〇九八五	旅の歌、小曲、幼き歌等すべて幼き人達の爲に集め、幼なき思出です。つかし、たのしく、かなしい。	紅玉堂
詩集 旅人	有本芳水	菊半載 二六二頁	送價 〇八四〇	詩聖ダンテが青年時代に於けるロマンチックな戀を覺えた時に詩の出來た理由及詩の註解をなしたもので顔る面白いものである。	日實業社
ダンテの新生	平林初之輔	四〇〇頁	送價 二一六〇		文明書院

詩地上の光	五十名家	洋装 七二〇頁	送價 一五二〇	春は春、夏は夏、秋は秋、冬は冬、昔は昔、今は今、の趣はあり。藤村、晚村、春月、白秋、啄木、御風、白蓮、長江、八十、犀星、白星、泣菫、諸大家	日本書院
バイチャイルド。ハロウドの巡禮	土井晚翠	四〇〇頁	送價 三〇八〇	バイロン一代の傑作長編の全部を晩翠先生が心血を注ぎ、麗妙の筆を以て麗麗な日本韻文に譯されたもの。青春の血を湧かせる一大雄編	二松堂
ステインメモリヤム	片山伸		送價 一〇〇〇	情を展べたもの。流暢なる譯述と懇切なる評註とは相俟つて、英詩研究者の絶好伴侶である。	早稲田社
天地有情	土井晚翠	菊半上装 三〇〇頁	送價 〇六四五	詩壇の先覺たりし晚翠氏の傑作あつまつて、此は一篇にあり、年を経るに共に價值を深め、もはや古典として見らるゝに至る。	博文館
米佛伊 遠き幻	水谷まさる	三六六判 二〇〇頁	送價 一四六〇	アメリカにフランスにイタリイに、珍奇な物語、活字の華麗なる筆致は自づから詩趣を溢し、興味盡きざる處の遊記中の粹である。	交蘭社
唐詩選	李攀龍	四六判 一六四頁	送價 〇八六〇	四號活字白文で鮮明に印刷されてある誤字の無いものたるを失はぬ。	文求堂
動物詩集	ギョイコオム	四六判 一六四頁	送價 二〇二〇		第一書房
獨歩詩集	國木田獨歩	紙六半載 一八〇頁	送價 一〇一八〇	文豪獨歩の眞面目は、彼の小説よりも、むしろ詩に於て窺ふを得べし。散佚せる彼の詩をすべて輯めて一巻とす。	紅玉堂
抒情集 惱み知る頃	勝田香月	菊半載 三〇〇頁	送價 〇九六五	人生の春にめざめて、はて知らぬ憧れと、やるせなき淋しさにたゞひさり物思はしげなる若き人々の心に此の可憐なる一巻をさしげ。	同
美文 花紅葉	兩江・羽衣・桂月	菊半上装 四三〇頁	送價 〇八六〇	三氏三様の才筆爛發して紙上に珠を聯ね、朗も古くして最も廣く讀まる、美文集なり。	博文館

晚翠詩集	士井晚翠	六〇四頁送	二〇〇八〇	先覺詩人としての晩翠先生の名作、擧げて此史の上の寶玉として光輝を放つ。	博文館
表象抒情詩	野口米次郎	一四六頁送	一〇八〇	詩の史的分野を説いて變遷傾向を示し詩の評釋によく藝術感能を味解し詩の分類に作詩の用意を盡した全く著者その人を得たる名著。	第一書房
長詩作法	三木露風	一四〇頁送	〇六五〇	少年時代の懐しい回憶を歌ひ、幽愁切々の旅情を吟じたものです。玉の様な麗はしい情調さ泉の様な豊かな詞藻さが全巻に溢れてゐる。	松陽堂
芳水詩集	有本芳水	三〇二頁送	〇八〇〇	未だ日本に紹介されざりし、新らしきロシアの譯詩集なり。附するに各詩人の略傳を附したれば、讀者の便多し。	日實業社
幻の鐘	若目田三郎	二〇〇頁送	〇九〇〇	現代ロシア詩集	紅玉堂
近名家抒情詩集	畑喜上代文	三〇二頁送	一四〇〇	現時壇の大家三十三氏の愛唱深き傑作を選録し之に寫真小傳を附したるもの、以て抒情詩の趨向を何ふに足る好詩集。	交蘭社
和名詩類選評釋	簡野道明	一〇七頁送	三〇五〇	和漢の有名な漢詩一千餘首を選んで正確な讀方易に其の意義を解し得る好著である。	明治書院
詩眼と眼	加藤介春	二〇〇頁送	〇〇八〇	詩からして強き生命の意欲を感じさせ突きが神經の髓にまで覺の様にればりつくやうなものは本集に盛られた介春氏の詩あるのみだ。	紅玉堂
童よしきり	山村暮鳥	一三〇頁送	一六〇〇	暮鳥氏は詩集「雲」のこして死んだ。氏死してその詩愈々光る。本書は氏の唯一なる童謡集添ふるに山田氏の數曲を以てする。	イデア書院
亂舞する焰	加藤一夫	三〇八頁送	二〇〇八〇	〇亂舞する焰〇悲劇の成長〇寂しき道づれ〇愛の復活。	改造社

隣人	新島榮治	二五〇頁送	一五〇〇	一錢の錢も持たないで平氣で戀もするし、詩もつくる男は榮治一人だ。その造つた處の詩は實に痛快なものばかりだ。	紅玉堂
私の詩畫集	落谷虹兒	三〇一頁送	一六〇〇	虹兒！虹兒！其の名知られざるなき作者が、渡佛記念として優麗高雅なる抒情畫を選收し加ふるに可憐なる詩と相俟つて氣品更に高し	交蘭社
歌	今中楓溪	二五〇頁送	二〇〇〇	自然を歐つて幽閑閑寂、人を歌うて哀々切々著者の第一歌集は二十年の收穫を盛つて、歌壇の慧星の驚異を喚起しつゝある。	紅玉堂
あかね	中島村憲吉	四六〇頁送	一八〇〇	大正元年に初めて世に出たアララギ叢書の第一歩まされてゐた歌壇の兩雄が當時如何なる歌境を歩まされてゐたか本書は正に歌壇の珍寶である	古今書院
馬鈴薯の花	松倉米吉	四六〇頁送	一五〇〇	著者は廿五歳で世を去つた生來不遇の境涯が晩年の病を得るに至つて極に達し生を畢るまで自己の生命を正視し得た心が此歌境を拓いた	同
松倉米吉歌集	松倉米吉	四六〇頁送	一五〇〇	青杉の歌は清澄無比である清澄さいふても今迄現れた若干歌人の清澄さとは類を異にしてゐる著者の特質はそのここに明白に現はれてゐる	同
青杉	土田耕平	四六〇頁送	一八〇〇	アララギ同人百五十九名が大震災に直面して詠んだ惨ましくも亦嚴肅な思出の結晶で何れも感銘深い心の歌九百三十一首を収めてある	同
灰燼集	アララギ	四六〇頁送	一八〇〇	著者の歌壇に於ける權威に就ては贅言をまつ迄もない本書には大正九年から十三年迄の作品の中から四百八十一首を収められてゐる	同
太虚集	島本赤彦	四六〇頁送	二二〇〇	著者は根岸短歌會の同人中の先進であつて氏作品の中から嚴選して本書を爲したものである	同
翠微	村上成之	四六〇頁送	一五〇〇	著者は根岸短歌會の同人中の先進であつて氏作品の中から嚴選して本書を爲したものである	同

アララギ叢書 第二十編 歌集 ふゆくさ	土屋文明	四六 裝判 送價	二・三〇 一・八〇	著者の如く外が落ちて、地味で内に閃くものが動いてゐる。實に少い。常に深い命の香が動いてゐる。著者十六年精進の成果	古今書院
アララギ年刊歌集 (大正十三年度版)	島本赤彦	四六 雅裝 送價	一・五〇 一・八〇	現代歌壇の主調は萬葉調にして、アララギは其根源である。本書はアララギ一年間の作歌中より最も秀れしものを集めて一巻とせる也	岩波書店
歌集 泉のほとり	窪田空穂	新四六 判送價	一・〇〇 〇・六〇	著者の温雅清明なる作風は本集に到りて實に渾熟の域に達した。稱すべきが、一巻三百首、新歌壇の正道を指示するの新聲なり。	紅玉堂
歌に就ての考察	花田比露思	三六〇 頁送價	二・一五〇 一・五〇	自己の生活の純真化を歌に求めて居る著者の過去九年間に於ける考察感想の集積であつて、本書は恐らく現歌壇のバイブルたるべし。	同
改歌はかうして作る	尾山篤二郎	紙半 二五〇 頁送價	一・〇二〇 〇・八〇	世に多くある所謂作法書ではなく、歌の詠める方法に就て、書いた新しい短歌作法書である。	同
歌 まなび	大和田建樹	三三八 頁送價	二・一八〇 一・八〇	和歌初學者の暗夜を導く燈明臺はこれ、部類を用いて列挙して名家の作例を満載してある。	同
詠進歌の栞	小林鶯里	和半 二〇三 頁送價	〇・八四〇	毎年新しき春に陛下から國民に向つてお尋ねから、その注意事項まで詳細に述べしもの。	文藝社
新香川景樹歌集	半田良平	一四 二四 頁送價	〇・八五〇 〇・六五	桂園派の視たる、香川景樹の佳作を撰び、親切なる評釋を施したるもの、桂園派一流の優れたる處を知らむとするによき書なり。	紅玉堂
改歌集おもひ草	文學博士 佐々木信綱	一四〇 頁送價	〇・八五〇 〇・六五	竹柏園主人としての信綱博士が比較的初期に屬する作歌を蒐録せるもの、清新高雅の作風に、朗々吟誦に値す。	博文館
歌集 鏡葉	窪田空穂	二九〇 頁送價	二・三〇〇 一・二〇	大正十年より十四年までの作を収む。先生の歌風本集に及んで閑寂枯淡の境に徹し一段の老熟味を加ふ。近來歌壇の好收穫と云ふべし。	紅玉堂

歌 道	小倉博	四五〇 頁送價	一・五二〇	古今の歌道を大成して、歌の意義修辭作法等を明に記した名著で、荷も歌を學び歌を作り歌を講ずる人士の必讀すべき書である。	有朋堂
歌 道 小見	島木赤彦	二五〇 頁送價	一・一五〇 〇・八〇	著者が其包蔵を發表し新たに歌の門に入る者にも久しく歌の道にある者にも單なる歌の鑑賞者にも通ずる様に歌の意見を述べしもの。	岩波書店
金子薫園全集	金子薫園	五二〇 頁送價	二・一五〇 一・二〇	處女歌集(片われ月)以下十冊の歌集の外、未だ集を成さざりし近作に至る迄、全作三千五百首を集む。眞に是れ歴史的大歌集である。	新潮社
歌の作り方	金子薫園	二一〇 頁送價	〇・七六〇	思ひきつた極度の平易と極度の懇切とを以て歌の作り方を説き、いかにせば上達し得るかを教ふ。初學者の是非一讀すべき書である。	同
現代自選歌集	諸現代歌壇名家	三三〇 頁送價	〇・二八〇	(1)與謝野晶子集(2)金子薫園集(3)若山牧水集(4)吉井勇集(5)土岐哀果集(6)前田夕暮集(7)以上第六卷迄發行。	同
晶子短歌全集	與謝野晶子	四一〇 頁送價	一・一五〇 一・二〇	明治大正の藝術界の所屬中、眞に後代に誇り得べきものは本集である。我社は萬戶一部を蔵すべき國民的寶卷と云ふに憚らない。	同
新代表歌選	薫園牧水	二七〇 頁送價	〇・七六〇	現代諸名家の作の一切に互つて極めて嚴密に選集し、之を檢索に便なるよう、各部門に細かく分類した。初學入門者の必需書である。	同
作歌新辭典	金子薫園	三三〇 頁送價	〇・九六〇	新しき歌語を網羅し分類して簡明なる註解を加へ、例を列ねて一首ごとなすべき方法を説き、作例を擧げて註解を施す等用意最も懇切	同
鎌倉右大臣家集	文學博士 佐々木信綱	二〇八 頁送價	〇・〇四〇	本書は鎌倉三代將軍源實朝公の歌集に善本少なきを憂ひ、新に佐々木博士の校訂を請うて發刊したるもの也。公は温聰慧幼にして學を好み、歌史に於ける佐々木博士の造詣は衆説するまでもなし。近世に傑出せる歌人幾十を研究の對象として、前人未發の史料を供す。	文祥堂書店
近世和歌史	文學博士 佐々木信綱	四三二 頁送價	三・二八〇	歌史に於ける佐々木博士の造詣は衆説するまでもなし。近世に傑出せる歌人幾十を研究の對象として、前人未發の史料を供す。	博文館